笹川勲　著　978-4-585-29139-8（2017年2月）

源氏物語の漢詩文表現研究　A5判・上製・384頁・10000円

漢詩文の学識を備えた紫式部の著した『源氏物語』には、多くの漢詩文が典拠として用いられ、物語独自の表現としての漢詩文をもみることができる。漢詩文が物語の主題や構想、表現にいかに関連しているのかを明らかにする。

本田義憲　著　978-4-585-29126-8（2016年11月）

今昔物語集仏伝の研究　A5判・上製・912頁・15000円

仏伝の世界性に目を向け、綿密詳細な文献考証により、日本初の組織的な釈迦伝たる『今昔物語集』成立の必然を問う。表題論文をはじめ、鋭敏かつしなやかな感性と躍動する文体により彩られた珠玉の論文23本を収載。

佐藤道生　著　978-4-585-29132-9（2016年11月）

句題詩論考　王朝漢詩とは何ぞや　A5判・上製・408頁・9500円

政治・文化の場にも深く関わり、他の文学ジャンルにも大きな影響を与えながらも、これまでその実態が詳らかには知られなかった句題詩の詠法を実証的に明らかにし、日本独自の文化が育んだ「知」の世界の広がりを提示する。

荒木浩　著　978-4-585-29123-7（2016年5月）

徒然草への途　中世びとの心とことば　A5判・上製・440頁・7000円

日本文学史に燦然と輝くこの作品は、如何にして出来したのか。中世びとの「心」をめぐる意識を和歌そして仏教の世界にたどり、『源氏物語』『枕草子』などの古典散文との照応から、〈やまとことば〉による表現史を描きだす。

渡瀬淳子　著　978-4-585-29124-4（2016年5月）

室町の知的基盤と言説形成　仮名本『曾我物語』とその周辺　A5判・上製・400頁・10000円

最も広く享受されながらも“荒唐無稽”として等閑視されてきた仮名本『曾我物語』に正面から向き合い、その背景にある15・16世紀の知の基盤を考察、室町における新たな教養のあり方を明らかにする。

山田尚子　著　978-4-585-29121-3（2016年3月）

重層と連関　続　中国故事受容論考　A5判・上製・272頁・6500円

「規範」としての中国文化を日本人は如何に読み替え、自己のものとして変容させていったのか。平安期を中心に、公文書や詩歌、物語や学問注釈の諸相を精緻に読み解くことで、日本文化における思考の枠組みを明らかにする。

青井紀子　著　978-4-585-29122-0（2016年3月）

源氏物語　宇治十帖を読む　四六判・上製・496頁・3600円

光源氏みまかりし後、光の無い世界に残されたのは香りだった。二人の貴公子、薫と匂の宮、そして女人たちの愛と苦悩の物語。都の鄙、宇治の地で紡がれる十の物語をていねいに読み解く。

村上征勝　金明哲　土山玄　上阪彩香　著　978-4-585-24007-5（2016年3月）

計量文献学の射程　A5判・上製・256頁・3800円

紫式部、シェイクスピア、チェーホフ…、文章を各要素に分解し統計的に分析することで、その作家の文体もクセも計り知ることができる。文献研究の世界に統計の手法を持ち込んだ計量文献学の全貌をここに披露する。

相田満　著　978-4-585-29117-6（2016年3月）

時空間とオントロジで見る和漢古典学　A5判・上製・304頁・7000円

前近代日本の知識基盤分析のために構築を進めている「和漢オントロジ」を、より具体的・汎用的に利用するために。研究モデルの提示と、データ提供、ツールの開発に取り組んできたプロジェクトの研究成果。

宇野瑞木　著　978-4-585-29118-3（2016年3月）

孝の風景　説話表象文化論序説　A5判・上製・824頁・15000円

テクスト・イメージ・音声・身振りなどの諸現象と時代のコンテクストが相互に響き合うことで表象される「孝」にまつわる空間の生成と構造を立体的に捉え、中国漢代から出版文化の隆盛をみた日本近世に至る展開を描き出す。

上原作和　正道寺康子　編著　978-4-585-29119-0（2016 年 2 月）

日本琴學史　A5判・上製・600頁・15000円

琴は奈良時代に伝来し、『うつほ物語』や『源氏物語』等でも主人公の携行する楽器として描かれているが、かつて体系的に享受史が形成されたことはなかった。日本人は琴をどのように受容し、いかなる音楽文化を形成したのか。

陣野英則　著　978-4-585-29120-6（2016 年 2 月）

源氏物語論　女房・書かれた言葉・引用　A5判・上製・528頁・8000円

作中人物として物語に関与し、語り手・書き手・読み手としてその生成と享受に携わる女房たち。物語を織りなすネットワークとも多元的に関わりつづける女房たちのありように着目し、物語の内外の連環をもたらす方法を明示。

磯水絵　著　978-4-585-29114-5（2016 年 1 月）

説話と横笛　平安京の管絃と楽人　四六判・並製・282頁・2800円

平安・鎌倉時代の宮中や天皇の周辺には、どのような音楽が流れていたのか？　説話集や楽書に残る横笛のエピソードを通して、笛の知られざる機能、楽人の実態をさぐり、宮廷音楽史に迫る。日本音楽史の副教材としても最適。

秋山忠彌　著　978-4-585-29104-6（2016年1月）

江戸文人百景　四六判・上製・376頁・3500円

中国古代の文人に、強く憧れ慕う江戸時代の文人たちの豊かな人間性や人間味の種々相を、漢詩や和歌、俳句などの作人を通じて描く。作品に見られる文人同士の交遊交歓、家族間の情愛深情は現代人にもつながる感動がある。

工藤隆　著　978-4-585-29111-4（2015 年 12 月）

歌垣の世界　歌垣文化圏の中の日本　四六判・上製・280頁・4800円

日本古代の歌垣関連記事から旧来の歌垣論の再検討、幅広く「歌垣」を掘り下げた一冊。1995年に著者が中国雲南省ペー族集落に赴き、約1時間20分にわたる自然な歌垣の映像・音声を収録したDVDを附す。

岩山泰三　著　978-4-585-29108-4（2015 年 11 月）

一休詩の周辺　漢文世界と中世禅林　A5判・上製・472頁・12000円

中世禅林で異彩を放つ風狂の僧一休宗純。我が国の漢文学史において特異な位置を占める彼の『狂雲詩集』に内包された中国古典世界の特質を究明し、一休の詩作の基盤となった五山文学など周辺に広がる漢文世界をも照らし出す。

長尾直茂　著　978-4-585-29109-1（2015 年 11 月）

吉嗣拝山年譜考證　A5判・上製・392頁・10000円

漢詩集『古香書屋詩存』、『福岡日日新聞』等の地方紙、日記・草稿類や写真帖などの資料を網羅的に検証し、150点を超える図版とともに、拝山の生涯、そして明治期漢詩文界の動向を活写した年譜を収める。

鈴木健一　編　978-4-585-29110-7（2015 年 11 月）

形成される教養　十七世紀日本の〈知〉　A5判・上製・464頁・7000円

近世初期、かつての古典知を再獲得する動きが現れる。〈知〉が社会の紐帯となり、教養が形成されていくその歴史的展開を、室町期からの連続性、学問の復権、メディアの展開、文芸性の胎動という多角的視点から捉える。

日本文学風土学会　編　978-4-585-29096-4（2015 年 10 月）

日本文学の空間と時間　風土からのアプローチ　A5判・上製・288頁・2800円

特色ある風土や文化伝統は文学をより魅力的なものとする。その土地特有の自然環境が、文学・文化にもたらしたものとは何か。日本全国を隈なく調べ歩いてきた執筆陣による、風土からたどる日本文学史。

石川一　著　978-4-585-29105-3（2015 年 10 月）

慈円法楽和歌論考　A5判・上製・560頁・12000円

建暦・建保期から承久期にかけて集中する諸社法楽百首群。それらに通底する「法楽」の意味を明確にし、「法華要文百首」における詠歌方法やそれが内包する法楽意図を論ずる。また、慈円歌における西行についても考察。

岡田貴憲　著　978-4-585-29106-0（2015 年 10 月）

『和泉式部日記』を越えて　A5判・上製・296頁・7000円

『和泉式部日記』をめぐる文学史の記述は、はたして鑑賞の域を越えて、正しく評価された結果によるものか。虚心坦懐に諸伝本と向き合うという研究の起点へ立ち返り、本文や諸説のゆらぎを読み解き、研究史の陥穽を突く。

河野貴美子　Wiebke DENECKE　新川登亀男　陣野英則　編　978-4-585-29491-7（2015 年 9 月）　日本「文」学史1

日本「文」学史　第一冊　四六判・並製・552頁・3800円
A New History of Japanese “Letterature” Vol.1　「文」の環境―「文学」以前

「日本文学史」は、その本質を正しく記述してきたか。和と漢、西洋が複雑に交錯する日本の知と文化の総体を、人びとの思考や社会形成と常に関わってきた「文」を柱として捉え返し、過去から現在、未来への展開を提示する。

島村幸一　著　978-4-585-29098-8（2015 年 7 月）

琉球文学の歴史叙述　A5判・上製・448頁・9800円

編纂者や受容者をはじめとする人びとの意識、そしてウチとソトの視点が交叉し、物語としての「歴史」が創られていく様相を詳細に読み解き、複合的な視点から琉球の総体を把捉するための基盤を提供する。

木下華子　著　978-4-585-29090-2（2015 年 4 月）

鴨長明研究　表現の基層へ　A5判・上製・424頁・8750円

『方丈記』『無名抄』『発心集』の作者にして、歌人・音楽家でもあった鴨長明。数多くの領域にまたがったジャンル横断的な作者であった長明は、いかなる意図の下に作品を作り出し、何を実現しようとしたのか。

中木愛　著　978-4-585-29089-6（2015 年 3 月）

白居易の幸福世界　A5判・上製・440頁・12800円

白居易が確立した「閑適詩」という新たなジャンル。そのひとつひとつの語彙に対する細かな検証を加えることによって、人間の本性に根ざした幸福のありかたを追求し享受しようとする白居易の幸福世界の様相を明らかにする。

林洋子　クリストフ・マルケ　編　978-4-585-27021-8（2015 年 2 月）

テキストとイメージを編む　出版文化の日仏交流　A5判・上製・352頁・4800円

19世紀後半から両大戦間、出版文化は日仏を繋いでいた。作家や編集者、アートディレクターなどの人びとの営み、印刷技術や製本方式、装幀などのモノの文化。挿絵本という場を舞台に、日仏の文化交流を多角的に描き出す。

石澤一志　著　978-4-585-29094-0（2015 年 2 月）

風雅和歌集　校本と研究　菊判・上製・576頁・12000円

足利尊氏、高師直や夢窓疎石等、武家政権創成を担う人々が多数入首し、来るべき時代を示す画期として位置づけられる『風雅和歌集』。60点余にわたる諸本を網羅的に博捜・調査し、拠るべき良質の本文を提供する校本を整備。

人間文化研究機構　国文学研究資料館　編　978-4-585-22108-1（2014 年 12 月）

シーボルト日本書籍コレクション　現存書目録と研究　A5判・上製・688頁・15000円

オランダ・オーストリア・フランス・デンマーク・イギリスの各国に残された、第一次滞日時のシーボルト蒐集にかかる日本書籍を網羅的に実見・調査。ラテン語版目録未収載書を含むのべ792点にわたる典籍の現存書目録。

市古夏生　編　978-4-585-22102-9（2014 年 11 月）

元禄・正徳　板元別出版書総覧　A5判・上製・848頁・15000円

元禄9年(1696)から正徳5年(1715)に流通していた7,400に及ぶ出版物を、480以上の板元ごとに分類し、ジャンル別に網羅掲載。文学史、歴史、宗教史、出版文化史、図書館学など諸分野に有用な基礎資料。

藤川玲満　著　978-4-585-22107-4（2014 年 11 月）

秋里籬島と近世中後期の上方出版界　A5判・上製・384頁・8500円

諸ジャンルの複合体としてある『都名所図会』の作者の伝記・著作を多角的に検討、同時代の文壇との接点や書肆との関わりなどの知的ネットワークを浮き彫りにし、変動期の上方における文芸形成の動態を明らかにする。

中川照将　著　978-4-585-29081-0（2014 年 10 月）

『源氏物語』という幻想　A5判・上製・336頁・6000円

紫式部による日本屈指の古典文学作品として位置づけられる『源氏物語』。しかし、その「作者自筆原本」は現存していない。作者・原本という幻想のなかで生成されてきた物語へのフィルターを可視化し、文学史を問い直す。

廣田收　著　978-4-585-29073-5（2014 年 10 月）

入門　説話比較の方法論　四六判・上製・528頁・4800円

「文献そのものの解明」から脱却し、相互の影響関係や受容関係に捕らわれず、「話型」・「表現」に着目することで、地域的な文化や歴史の異なりなどが織り重なる説話の深層に踏み込む。説話を「立体的」に捉えるための方法論。

鈴木元　著　978-4-585-29084-1（2014 年 10 月）

室町連環　中世日本の「知」と空間　A5判・上製・448頁・9800円

多元的な場を内包しつつ展開した室町期の文芸テキストを、言語・宗教・学問・芸能等諸ジャンルの交叉する複合体として捉え、その表現の基盤と成立する場を照射することで、室町の知的環境と文化体系を炙り出す。

後藤昭雄　著　978-4-585-29222-7（2015 年 10 月）

本朝文粋抄　四　四六判・上製・192頁・2800円

日本漢文の粋を集め、平安期の時代思潮や美意識を知る上でも貴重な史料「本朝文粋」。第四巻では、寺院や仏教にまつわる詩文や、政治・外交の場における文章など十二編を紹介。漢文世界の深遠へと誘う格好の入門書。

後藤昭雄　著　978-4-585-29221-0（2014 年 7 月）

本朝文粋抄　三　四六判・上製・208頁・2800円

日本漢文の粋を集め、平安期の時代思潮や美意識を知る上でも貴重な文献「本朝文粋」。第3巻では、和歌序、そして源順の詩文を中心に13編を対象に、各詩文の書かれた背景、文体・文書の形式まで克明に解説。現代語訳も併記。

後藤昭雄　著　978-4-585-05407-8（2009 年 2 月）

本朝文粋抄　二　四六判・上製・232頁・2800円

日本漢文の粋を集め、平安期の時代思潮や美意識を知る上でも貴重な史料「本朝文粋」。432編の漢詩文の名作から14編を紹介。各詩文の書かれた背景や、文体・文書の形式まで克明に解説。現代語訳も併記。

後藤昭雄　著　978-4-585-05367-5（2006 年 12 月）

本朝文粋抄　四六判・上製・200頁・2800円

平安時代の名文集「本朝文粋」は、文学的歴史的価値が非常に高いにもかかわらず、漢文ゆえに読者を狭めてきた。平安朝漢文学の第一人者による現代語訳・解説を附し、漢文初心者でもその世界を味わえるように工夫した。

渡辺秀夫　著　978-4-585-29070-4（2014 年 6 月）

和歌の詩学　平安朝文学と漢文世界　A5判・上製・568頁・13000円

漢詩と和歌、礼学思想の日本的変容、平安朝物語文学の発生とともにあった漢文世界の意義。和、そして内在化されていく漢が相互干渉的に綾を織り成していく様相を把捉し、日本文化形成の思想と方法を鮮やかに切り出す画期的成果。

国文学研究資料館　コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所　編　978-4-585-29071-1（2014 年 5 月）

集と断片　類聚と編纂の日本文化　A5判・上製・416頁・8000円

万葉集をはじめ、日本には「一集」という書物が大量にある。短い作品や断片を集成し、一つの著作や集に纏める手法は、特筆すべき編成原理である。古代から近代にわたる知の再生産の営みに着目し、日本文化の特質を炙り出す。

加藤昌嘉　著　978-4-585-29069-8（2014 年 5 月）

『源氏物語』前後左右　A5判・上製・296頁・4800円

作り物語とは何か？　作り物語はどのように存在していたのか？　連鎖・編成を繰り返し、アメーバのごとく増殖・変容するあまたの写本・版本を、あるがままに虚心に把捉することで見えてくる、ニュートラルな文学史。

麻原美子　著　978-4-585-29066-7（2014 年 3 月）

平家物語世界の創成　A5判・上製・656頁・17000円

これまで等閑視されてきた読み本(広本源平系)平家物語に焦点をあて、平家物語編纂説の立場から、延慶本・長門本を中心に研究。平家物語の成立およびその受容・変容の諸相についても考察。

諏訪春雄　著　978-4-585-29062-9（2014 年 1 月）

国文学の百年　四六判・並製・280頁・2200円

古典文学は、アジア世界との関わりのなかで成立した〈神と人間の交流の世界〉であり、近現代文学は、西洋世界との関わりのなかで形成された〈神と人間を峻別する世界〉である。国文学の成立史を丹念に辿り、再生のための道筋を示す。

鈴木健一　編　978-4-585-29061-2（2013 年 11 月）

浸透する教養　江戸の出版文化という回路　A5判・上製・464頁・7000円

出版文化の隆盛とともに、それまで権威とされてきた「教養」が、さまざまな回路を通して庶民層へと「浸透」していった近世日本。「図像化」「リストアップ」「解説」の視座から、近世日本における「知」の形成と伝播を探る。

日下幸男　著　978-4-585-29056-8（2013 年 10 月）

中院通勝の研究　年譜稿篇・歌集歌論篇　A5判・上製・528頁・12000円

中世末期から近世初頭、激動の時代を生きた中院通勝(也足軒素然)の営みと、その背景となる時代状況を、年譜稿として集成。また、通勝の歌学歌論を伝える未発表資料を翻刻収載。堂上歌人中院通勝の総体を捉える画期的成果。

尤海燕　著　978-4-585-29055-1（2013 年 6 月）

古今和歌集と礼楽思想　勅撰和歌集の編纂原理　A5判・上製・432頁・12000円

古代東アジア儒教文化圏における国家統治・人心調和の思想基盤である「礼楽思想」の観点より、『古今集』真名・仮名両序を精緻に検証。「歌」そして「勅撰」の思想を全面的かつ体系的に捉え直し、勅撰集編纂の営みを定位する。

中野三敏　監修／河野実　編　978-4-585-29045-2（2013 年 5 月）

詩歌とイメージ　江戸の版本・一枚摺にみる夢　A5判・上製・500頁・10000円

日本近世の出版文化に見る詩歌と絵の交響。「詩歌(和歌・狂歌・俳諧・漢詩)」と「イメージ」が響き合う近世の諸作を、画と文の連関・絵師と俳諧師との関わり・制作に携わった版元や彫師など、国文学・美術史の最新の知見を示す。

後藤昭雄　著　978-4-585-29039-1（2012 年 11 月）

本朝漢詩文資料論　A5判・上製・488頁・9800円

いまなお研究が進んでいない数多の漢文資料にどのように対峙すべきか。新出資料や佚文の博捜、既存資料の再検討など、漢詩文資料の精緻な読み解きの方法を提示、平安朝文学史に当該資料を鮮やかに位置づける。

小池一郎　著　978-4-585-29054-4（2013 年 7 月）

老子訳注　帛書「老子道徳経」　四六判・並製・312頁・3200円

新出土資料を最大限に活用、最古の「老子道徳経」写本全文に訳注・校注を施す。現行諸本との緻密な本文対照により、テキスト変遷の通観も可能にする。老子五千余言、その原形を読む。

白居易研究会　編　978-4-585-07095-5（2017 年 1 月）　白居易研究年報17

白居易研究年報　第十七号　特集　書蹟と絵画　A5判・並製・336頁・4200円

本特集では、詩書画三絶の第一人者である白居易の書蹟と絵画、および後代への影響に着目する。維摩詰図題詩の変遷、白居易が始めた文人交流会「尚歯会」の平安朝における展開、白詩の「伊勢物語」への影響など。

白居易研究会　編　978-4-585-07094-8（2016 年 1 月）　白居易研究年報16

白居易研究年報　第十六号　特集　仏教と文学　A5判・並製・424頁・5400円

白居易の維摩経、禅、弥勒・阿弥陀信仰など多面的な広がりが見られる仏教への関心や僧侶との交流の実態、白居易の仏教思想が表れた作品と、日本の古典文学・詩作品への影響を明らかにする。

白居易研究会　編　978-4-585-07093-1（2015 年 4 月）　白居易研究年報15

白居易研究年報　第十五号　特集　先蹤と継承　A5判・並製・384頁・4200円

陶淵明「帰去来兮辞」と白居易「自誨」詩との本質的なつながりについて論じた論考、北宋の晁迥の著作や蘇軾の詞など宋代の詩・詞・文に与えた影響に関する論考など、漢詩、和漢聯句、和歌、俳諧等の詩歌を対象とする特集。

白居易研究会　編　978-4-585-07092-4（2014 年 1 月）

白居易研究年報　第十四号　特集　閑適と隠遁　A5判・並製・400頁・5000円

白居易において、いかにして閑適への決意に向けた心理的基盤が形成されていったのか。その閑適詩はどのような文学史的広がりを見せるのか。白居易の「閑適」なる概念の生成を問う。

白居易研究会　編　978-4-585-07091-7（2013 年 1 月）

白居易研究年報　第十三号　特集「琵琶行――天涯淪落の歌」　A5判・並製・608頁・7000円

白居易「琵琶行」研究における必備の一冊！　「長恨歌」とともに愛唱され、日中韓の文学に多大な影響を与えた「琵琶行」。主題論・成立論・音楽表現論など多角的な観点から、その豊穣な世界を明らかにする。

白居易研究会　編　978-4-585-07090-0（2012 年 2 月）

白居易研究年報　第十二号　特集「新楽府――諷諭の精神」　A5判・並製・292頁・3800円

唐代の詩壇において爆発的な流行を遂げ、日本でも平安朝初期の白詩伝来以来、源氏物語、菅原道真の詩や古今集序など、様々な影響を与えてきた「新楽府」の受容の諸相を多角的に論じる。

白居易研究会　編　978-4-585-07089-4（2011 年 1 月）

白居易研究年報　第十一号　特集『長恨歌』　A5判・並製・392頁・4200円

ここ10年ほどの研究成果を考察し、多様な読みの傾向を探る。「長恨歌」研究の前進を目論む。

太田次男ほか　編　白居易研究年報

白居易研究年報　第一～十号

わが国に大きな影響を及ぼした白居易に関する研究は、現在においても中文・国文・比較文学を中心に広い分野で毎年多くの研究論文が作成されている。『白居易研究講座』に引き続き、毎年刊行。

- 『白居易研究年報　創刊号』978-4-585-04038-5（2000年5月）　A5判・並製・270頁・3500円
- 『白居易研究年報　第二号』978-4-585-04045-3（2001年6月）　A5判・並製・270頁・3500円
- 『白居易研究年報　第三号』978-4-585-04046-0（2002年6月）　A5判・並製・224頁・3500円
- 『白居易研究年報　第四号』978-4-585-04047-7（2003年9月）　A5判・並製・368頁・4800円
- 『白居易研究年報　第五号』978-4-585-04058-3（2004年8月）　A5判・並製・312頁・4800円
- 『白居易研究年報　第六号』978-4-585-04059-0（2006年1月）　A5判・並製・288頁・4200円
- 『白居易研究年報　第七号』978-4-585-04060-6（2006年10月）　A5判・並製・304頁・4400円
- 『白居易研究年報　第八号』978-4-585-07086-3（2007年10月）　A5判・並製・376頁・5000円
- 『白居易研究年報　第九号』978-4-585-07087-0（2008年9月）　A5判・並製・352頁・5000円
- 『白居易研究年報　第十号』978-4-585-07088-7（2009年12月）　A5判・並製・376頁・5000円

徳田武　著　978-4-585-29042-1（2012 年 10 月）

秋成前後の中国白話小説　A5判・上製・440頁・9800円

『雨月物語』を始めとする上田秋成の文業は、いかにして生み出されたのか。秋成の漢文受容は、後世へどのように展開するのか。秋成と漢文学を軸に、近世の中国小説受容史を構築する。

陳翀　著　978-4-585-29015-5（2011 年 4 月）

白居易の文学と白氏文集の成立　廬山から東アジアへ　A5判・上製・288頁・9000円

白居易の文学思想に大きな影響を与え、また、入唐僧恵萼が『白氏文集』を筆写した廬山という「場」に着目、その歴史的・文化的背景の考察より、『白氏文集』の成立とその東アジアにおける受容の契機を明らかにする。

諸田龍美　著　978-4-585-10447-6（2011 年 2 月）

白居易恋情文学論　長恨歌と中唐の美意識　A5判・上製・408頁・12800円

恋愛という概念を定着させ文学を根底から変革した白楽天は、「物のあはれ」を知る「多情の人」であった――中唐の恋愛文学の本質と、文学史への影響を考察。

財団法人前田育徳会　編　978-4-585-22533-1（2013 年 4 月）

国宝　水左記　A4判・並製・18頁・800円

加賀藩主前田家が所蔵する国宝『水左記』ほか関連する収蔵品についてカラー図版を掲載。詳しい説明を付し、記主の経歴とその時代背景、日記の内容、前田家が中院家より『水左記』を入手した経緯などにもついても解説。

財団法人前田育徳会　編　978-4-585-22532-4（2012 年 4 月）

国宝　名物大典太・名物太郎作正宗・名物富田郷〈刀剣三振〉　A4判・並製・20頁・800円

加賀藩主前田家が所蔵する国宝の刀剣三振「名物大典太」「名物太郎作正宗」「名物富田郷」をフルカラーで紹介。かつて前田家にあった刀剣や腰物帳の伝来やエピソード、入手の経緯なども解説した歴史資料。

財団法人前田育徳会　編　978-4-585-22531-7（2011 年 4 月）

国宝　宝積経要品　高野山金剛三昧院奉納和歌短冊　A4判・並製・20頁・800円

足利尊氏と、その弟・直義、夢窓疎石の3人による写経で、直義が高野山金剛三昧院に奉納した『宝積経要品』。光厳院や兼好などが詠んだ和歌短冊120枚を貼り継いだ『高野山金剛三昧院奉納和歌短冊』を紙背とする。

財団法人前田育徳会　編　978-4-585-22003-9（2010 年 4 月）

国宝　万葉集　A4判・並製・20頁・800円

国宝『万葉集』について、原本及び尊経閣文庫所蔵の典籍類のカラー図版を掲載。成立の背景、平安から鎌倉時代の受容とその時代の文化などに触れ、蔵品の図録としてだけでなく、歴史史料として活用できる一冊。

財団法人前田育徳会　編　978-4-585-03224-3（2008 年 12 月）

国宝　土佐日記　A4判・並製・20頁・800円　※在庫僅少

鎌倉時代に藤原定家により書写され、今日も歴史を伝え続ける国宝・土佐日記。作者・紀貫之の人間像、土佐日記の成立、定家とその時代、前田家の蒐集などをカラー図版と共に解説。文化を知り、国宝を知る。

前田金五郎　著　978-4-585-29041-4（2012 年 10 月）

思い出雑記帳　A5判・上製・650頁・18000円

岩波古語辞典の編纂、井原西鶴研究。殊に、近世語研究に生涯（しょうがい）をかけた筆者の記録。大阪府下・都立の高校。大学教員と学校校務のかたわらで、ひたすら室町・近世文献の渉猟（しょうりょう）の足跡を綴る。

緑川明憲　著　978-4-585-29037-7（2012 年 7 月）

豫楽院鑑　近衛家凞公年譜　A5判・上製・480頁・9800円

近衛家凞はどのような人的ネットワークの基に学問・芸道を修し、いかなる政治的・文化的営みを為したのか。陽明文庫所蔵の古記録・典籍・書画等や関係資料を博捜し、王朝文化を体現した近衛家凞の足跡を年譜形式で再現。

小峯和明　監修／琴榮辰　著　978-4-585-29038-4（2012 年 7 月）

東アジア笑話比較研究　A5判・上製・352頁・10000円

朝鮮文学を比較研究の基軸に据え、徹底的な文献博捜力により、単線的な対比を越えた多面的・複合的な観点を確立。笑話にとどまらず、東アジアの説話や物語世界、文芸や文化論に通底する課題を浮き彫りにする。

河野貴美子　王勇　編　978-4-585-29036-0（2012 年 7 月）

東アジアの漢籍遺産　奈良を中心として　A5判・上製・416頁・8000円

漢籍は日本にどのように伝わり、何を生み出したのか。専ら漢字による著述が行われていた奈良時代、そして奈良という場にスポットをあて、漢籍を基軸として様々な方面へと派生し広がりゆく知の世界を多面的・重層的に描き出す。

中野幸一　編　978-4-585-29032-2（2012 年 6 月）

平安文学の交響　享受・摂取・翻訳　A5判・上製・624頁・15000円　※在庫僅少

『源氏物語』『伊勢物語』『更級日記』…。相互に連関し、漢詩・和歌にも詠み込まれてきた平安文学の数々。近現代においても翻訳・翻案を通じて更なる広がりを見せる平安文学の享受に焦点をあて、深く豊かな世界を知らしめる。

小峯和明　編　978-4-585-23012-0（2012 年 6 月）

東アジアの今昔物語集　翻訳・変成・予言　A5判・上製・736頁・13000円

天竺・震旦・本朝の三国を焦点に、仏教を軸とした東アジア世界を描いた『今昔物語集』は、東アジアという文脈の中でどのように立ち現れるのか。説話圏・翻訳・予言など多角的な観点から『今昔物語集』の位置を明らかにする。

ハルオ・シラネ　兼築信行　田渕句美子　陣野英則　編　978-4-585-29034-6（2012 年 5 月）

世界へひらく和歌　言語・共同体・ジェンダー　A5判・並製・424頁・3200円

日本文化を捉えるために欠かすことの出来ない和歌文化の重層的・多義的なあり方を、和歌文学研究の到達点よりわかりやすく解説し、さらには和歌が世界文学の重要な要素たりうることを明らかにする。日英バイリンガル版。

諏訪春雄　著　978-4-585-29031-5（2012 年 4 月）

大地母神と役行者　神々の原風景を描く『八犬伝』　四六判・並製・208頁・1800円

『南総里見八犬伝』は合理主義的読み方を許さない複雑な作品であり、馬琴のしかけた意図の奥には、馬琴すら意識していなかった第二の深層がある。これを「女神と男神対立・拮抗、融和」「神仏と人の循環」のテーマで読み解く。

後藤昭雄　著　978-4-585-29027-8（2012 年 4 月）

平安朝漢文学史論考　A5判・上製・464頁・7000円

漢詩文はいかなる場で為され、どのように変化し、和歌文化に作用していったのか。政治的・社会的側面における詩作・詩人のあり方を捉えつつ、漢詩文の表現・形態への視座より描き出される平安朝漢文学史。

荒木浩　著　978-4-585-29030-8（2012 年 4 月）

説話集の構想と意匠　今昔物語集の成立と前後　A5判・上製・768頁・12000円

「今は昔」と始められる物語のかたちがあった――〈いま〉と〈むかし〉が交錯し、物語世界の連環が揺れ動く。〈和語〉による伝承物語(＝説話)文学の起源と達成を解明する。

徳田武　著　978-4-585-20010-9（2012 年 3 月）

馬琴・京伝　中編読本解題　B5判・上製・480頁・16000円

博学や独創を強く打ち出し、その典拠の判断において、厖大な知識量を要する曲亭馬琴と、馬琴のかつての師であった山東京伝の中編、計38作品を取り上げ、典拠・成立・梗概について詳述。

河野貴美子　張哲俊　編　978-4-585-29024-7（2011 年 12 月）

東アジア世界と中国文化　文学・思想にみる伝播と再創　A5判・上製・368頁・9800円

通時的かつ多角的な観点から中国文化の伝播と再創の諸相を論究、漢字・漢文文化圏の相互影響下に形成された東アジアの学術文化史を再構築することで、世界史上における東アジア文化の特質を捉えなおす。

小野泰央　著　978-4-585-29022-3（2011 年 11 月）

中世漢文学の形象　A5判・上製・584頁・13000円

漢文日記や家記などの古記録類における典故引用や、宋代詩論の受容、五山禅林の詩作や抄物のあり方など、中世漢文学の諸相を多角的に論証し、院政期から室町期にいたる漢文学史を立体的に描き出す。

加藤昌嘉　著　978-4-585-29020-9（2011 年 9 月）

揺れ動く『源氏物語』　A5判・上製・296頁・4800円

“原作者によるオリジナル”という幻想によって矮小化されてきた『源氏物語』。“生成変化する流動体”という平安物語本来のあり方に立ち返り、『源氏物語』のダイナミズムを文学史に再定立する。　第13回紫式部学術賞受賞

李宇玲　著　978-4-585-29017-9（2011 年 5 月）

古代宮廷文学論　中日文化交流史の視点から　A5判・上製・344頁・10000円

「宮廷」という古代日中において文化的求心力を有した「場」に着目し、歴史的文脈・社会的文脈からのアプローチにより、平安朝文学、そして唐代文学の特質を明らかにする。　第7回関根賞受賞

都留文科大学国文学科　編　978-4-585-29014-8（2011 年 4 月）

文科の継承と展開　都留文科大学国文学科 50 周年記念論文集　A5判・上製・616頁・12000円

文献的実証的方法により学的探究を推進するという、国文学科の学風＝「文科」の成果を披瀝し、新しい文科への展開と、さらなる飛躍への一歩をふみだす。

磯水絵　著　978-4-585-22009-1（2010 年 12 月）

大江匡房　碩学の文人官僚　四六判・上製・288頁・3400円

平安時代後期の政治家、漢学者、歌人、説話の談話者として才能を発揮した大江匡房。説話や漢詩文集、日記、資料を博捜し、彼の周辺の人物、事件、時代背景を調べ上げ、これまでに語られることのなかった一面を浮き彫りにする。

堀川貴司　著　978-4-585-20001-7（2010 年 4 月）

書誌学入門　古典籍を見る・知る・読む　A5判・並製・272頁・1800円

この書物はどのように作られたのか。どのように読まれ、どのように伝えられ、今ここに存在しているのか。「モノ」としての書物に目を向けることで、人々の織り成してきた豊穣な「知」のネットワークが浮かびあがってくる。

今西祐一郎　室伏信助　監修／上原作和　陣野英則（第 1 ～ 3 巻）　加藤昌嘉　中川照将（第 4 巻）　編

テーマで読む源氏物語　全4巻

時をへだててもなお読まれるべき名論文を厳選して収録。各巻ごとに全体の「総説」、各論文を読み解く「解説」及び「研究史の総括と展望」を附し、これまでの研究成果を整理。総論執筆陣には『源氏物語』研究の第一人者を抜擢。

- 第1巻『「主題」論の過去と現在』978-4-585-03186-4（2008年10月）　A5判・上製・568頁・10000円
- 第2巻『本文史学の展開／言葉をめぐる精査』978-4-585-03187-1（2008年6月）　A5判・上製・500頁・8000円
- 第3巻『歴史・文化との交差／語り手・書き手・作者』978-4-585-03188-8（2008年10月）　A5判・上製・724頁・12000円
- 第4巻『紫上系と玉鬘系　成立論のゆくえ』978-4-585-29006-3（2010年5月）　A5判・上製・568頁・10000円

高松寿夫　雋雪艷　編　978-4-585-29002-5（2010 年 4 月）

日本古代文学と白居易　王朝文学の生成と東アジア文化交流　A5判・上製・360頁・8000円

多岐にわたる文化的影響を与えてきた唐代の詩人・白居易。日中双方の視点から、日本における受容のあり方を中心に、東アジアの文学的伝統と展開の諸相を明らかにする。

家入博徳　著　978-4-585-03251-9（2010 年 2 月）

中世書写論　俊成・定家の書写と社会　A5判・上製・384頁・12000円

各種資料の筆跡や書写形式の綿密な検証により、俊成・定家の書写の「独自性」を考察し、書風や書写に対する意識を明らかにする。また、享受・継承されカノン化されるまでに至る「定家自筆」の問題を社会的背景から読み解く。

静永健　著　978-4-585-05445-0（2009 年 12 月）

漢籍伝来　白楽天の詩歌と日本　四六判・上製・312頁・2800円

日本人が古来読み続けてきた「ホン」とは何か？　『竹取物語』『源氏物語』をはじめとする「やまとことば」の文学に多大な影響を与えた詩人・白楽天による大ベストセラー『白氏文集』から日本そして東アジアの伝統文化を考える。

今西幹一　企画／五月女肇志　土佐秀里　針原孝之　山崎正伸　編　978-4-585-03253-3（2009 年 12 月）

黄金の言葉　和歌編　四六判・並製・312頁・2000円

古代から現代までの代表的な名歌143を精選。わかりやすい作者紹介・歌意・鑑賞とともに傑作をあじわえば、日本人の感性・考え方・思想が見えてくる。中高生からわかりやすく楽しく読める和歌鑑賞へのいざない。

有吉保　著　978-4-585-03250-2（2009 年 10 月）

カラー図説　勅撰和歌集入門　和歌文学理解の基礎　B5判・上製・176頁・3200円

当時の人々の美意識や恋愛感を映し出す勅撰和歌集を歴史的背景や作者の心情など多角的な側面から、和歌文学研究の第一人者が判りやすく解説。100点を超える貴重な写真資料・最新の研究成果を盛り込んだ決定版！

ハルオ・シラネ　編　978-4-585-03226-7（2009 年 4 月）

越境する日本文学研究　カノン形成・ジェンダー・メディア　A5判・並製・272頁・2800円

日本文学と世界を繋ぐ、文化・言語・領域を越える研究の最前線。国内外の気鋭の研究者による学術交流の成果をバイリンガルで掲載。国際的な共同研究が必要とされる現代の日本文化・比較文化研究の画期的成果。

稲田篤信　編著　978-4-585-00847-7（2009 年 3 月）

雨月物語　精読　A5判・並製・224頁・1700円

本文は原文の特徴を残しつつ校訂、読解を助ける詳細な注、各話の概要を付した。付録には練習問題を収録。表現・技法などを対象とし、古典読解の着眼点を導く。関連地図や参考文献など付録も充実させた、待望の入門テキスト。

東洋大学附属図書館　蔵／河地修　古田正幸　解説・翻刻　978-4-585-03214-4（2008 年 10 月）

阿仏尼本　はゝき木　変形判・上製・216頁・12000円

東洋大学附属図書館が所蔵する伝阿仏尼筆源氏物語帚木は近年特に注目を集めていた青表紙伝本である。源氏物語の専門的研究のみならず、日本の古典文化の創造的継承という点でも、大きな寄与を果たすであろう。

江戸英雄　著　978-4-585-03205-2（2008 年 8 月）

うつほ物語の表現形成と享受　A5判・上製・368頁・9500円

豊かな物語の沃野を拓いている最古の長篇『うつほ物語』、その多角的な読み解きから物語史を更新するための論点を提示する。

小林保治　監修／大津雄一　兼築信行　日下力　高津希和子　竹本幹夫　土屋有里子　三田明弘　編　978-4-585-05395-8（2008 年 4 月）

中世文学の回廊　四六判・上製・544頁・3500円

説話・軍記・演劇・和歌など多様な文学ジャンルが華々しく栄えた中世文学の魅力を、現在活躍中の文学研究者が最新の研究成果を織り込みながら、著名な作品からマイナーな名作までを通してわかりやすく具体的に論じた書。

今野達説話文学論集刊行会　編　978-4-585-03172-7（2008 年 3 月）

今野達説話文学論集　A5判・上製・800頁・24000円

説話文学研究の泰斗による待望の論文集！　広範な説話の世界から文学が醸成される仕組みを明らかにした研究者必読の書。

小磯純子　著　978-4-585-03178-9（2008 年 3 月）

俳諧と紀行文学　研究と資料　A5判・上製・416頁・12500円

西山宗因『津山紀行』、宗祇『下草』など、相模女子大学所蔵本を中心とした正確な翻刻と詳細な解題。近世の紀行文・俳諧研究に新たな光を当てる。紀行篇、連歌俳諧篇からなる。

江口孝夫　著　978-4-585-03163-5（2008 年 3 月）

対訳　唐詩三百首（上）古詩篇　四六判・並製・316頁・2700円

唐詩のリズムを活かしたわかりやすい対訳で、初心者でもすぐに詩人たちの世界を堪能できる！　上巻には、『源氏物語』などの日本文学に多大な影響を与えた、白居易「長恨歌」、李白「月下独酌」を含む、古詩90編を収録。

江口孝夫　著　978-4-585-03164-2（2008 年 3 月）

対訳　唐詩三百首（下）律詩・絶句篇　四六判・並製・320頁・2700円

唐詩のリズムを活かしたわかりやすい対訳で、初心者でもすぐに詩人たちの世界を堪能できる！　下巻は、現代人にもなじみの深い、杜甫「春望」、孟浩然「春暁」など、律詩・絶句231作品を収め、巻末に作者別索引を附す。

諏訪春雄　高田衛　編著　978-4-585-03175-8（2008 年 1 月）

復興する八犬伝　A5判・上製・432頁・8000円

複合重層的な物語を描く方法、出典、受容等について、気鋭の執筆陣が多方面から解読。
近代小説を超える、21世紀文芸復興の方向を示す珠玉の論文集。

太田次男　著　978-4-585-03165-9（2007 年 6 月）

空海及び白楽天の著作に係わる注釈書類の調査研究　A5判・上製・1600頁・40000円

『三教指帰』およびその注釈書類など、空海に関する古典籍類を精細な書誌学・校勘学的視点から調査研究し、従来の説を補正する基礎資料を提供。空海の文学・信仰・歴史の世界、及びその受容の様相も明らかにする。

小林保治　李銘敬　著　978-4-585-10433-9（2007 年 3 月）

日本仏教説話集の源流　B5判・上製・752頁・40000円

『日本霊異記』『今昔物語集』に対する『冥報記』『三宝感応要略録』の密接な影響関係を具体的に解明し、従来の日本仏教説話文学形成への認識を新たなものに修正する。

工藤隆　著　978-4-585-03151-2（2006 年 6 月）

雲南省ペー族　歌垣と日本古代文学　A5判・上製・568頁・14200円

失われつつある中国少数民族の“生きている”歌垣を取材し、少数民族語（ペー語）、中国語訳、日本語訳による膨大な歌詞資料を作成。無文字文化の言語表現モデルを通して、日本古代の歌垣の実態に迫る！

下定雅弘　著　978-4-585-05354-5（2006 年 4 月）

白楽天の愉悦　生きる叡智の輝き　四六判・上製・348頁・3500円

唐代の詩人・白居易（白楽天）の半生を、数々の詩とともに描く。
白居易の愛した自然、女性、食べ物についても言及。

新編西鶴全集編集委員会　編

新編西鶴全集　全５巻

最も信頼できる版本の影印を掲げ、下段注記欄に語釈上の問題を記すとともに、現段階の最高水準の本文を提供する。また、すべての自立語の語彙索引を KWIC 形式で示す。今後の西鶴研究の基礎を確立する決定版全集。最終巻である第５巻には、既刊（第１巻〜第４巻）未収録の西鶴作品を網羅。

- 『新編　西鶴全集　第一巻・索引』978-4-585-10063-8（2000年2月）　B5判・上製・2766頁・86000円
- 『新編　西鶴全集　第二巻・索引』978-4-585-10086-7（2002年2月）　B5判・上製・2944頁・117000円
- 『新編　西鶴全集　第三巻・索引』978-4-585-10087-4（2003年2月）　B5判・上製・2836頁・86000円
- 『新編　西鶴全集　第四巻・索引』978-4-585-10093-5（2004年2月）　B5判・上製・2658頁・85000円
- 『新編　西鶴全集　第五巻・索引』978-4-585-10434-6（2007年3月）　A5判・上製・3658頁・90000円

前田金五郎　著　978-4-585-03110-9（2005 年 11 月）

近世文学雑考　A5判・上製・688頁・22000円

近世の厖大な言語資料を博捜した著者が、前著作『西鶴語彙新考』に継ぐものとしてこれまで執筆・成稿・発表した諸成果を中心に、編集しまとめた書。新論考をも収めた、著者の研究の集大成。筆者著者論文一覧・要語索引つき。

原田信之　著　978-4-585-10099-7（2005 年 3 月）

今昔物語集南都成立と唯識学　A5判・上製・480頁・15500円

長年にわたって論争が行われてきたにもかかわらず未解決のままであった『今昔物語集』の成立圏の問題を正面から取り上げ、その解明を試みる。本書では南都成立説を取り上げ、内部徴証・外部徴証の両面から総合的に検討する。

後藤昭雄　著　978-4-585-07085-6（2005 年 1 月）　学術選書

平安朝漢文学論考　補訂版　A5判・上製・476頁・5600円

旧来の文学史は仮名文学を主流とするが、平安朝の当時には、より正当的なものとして漢文学があった。漢詩・漢文を詳細に考察し、詩人・文人を掘り起こして平安朝漢詩文の世界を再構築。平安朝文学史を語るうえで必携の書。

柴格朗　訳注　978-4-585-03102-4（2004 年 6 月）

劉白唱和集（全）　A5判・上製・950頁・25000円

知足安分を座銘とし、政権抗争から遠ざかろうとした白居易と、不撓不屈を信条とし、何処までも中央政界へ進もうとする劉禹錫。二人を取り巻く環境をふまえて読みなおすことにより、中国を代表する士大夫の生きざまが見えてくる。

田中隆昭　編　978-4-585-03107-9（2004 年 3 月）

日本古代文学と東アジア　A5判・上製・640頁・15000円　※在庫僅少

日本の古代物語を理解するためには、中国や朝鮮半島との交流を視野に入れなくてはならない。東アジア諸国の研究者が一堂に会し、世界史的視点に立った、日本古典の受容のかたちを究明する。

現代語で読む歴史文学　全19巻

日本文学史上から歴史文学の名作を精選、従来の難解な訳文とは一線を画す読みやすい現代語で贈るシリーズ。主要登場人物・系図・略年譜・解説なども充実させ、原典世界の理解を助ける。中・高校生の歴史教育、大学生・社会人の教養読書に最適。全 8 作品 19 巻全巻完結。

- 『南総里見八犬伝　上』鈴木邑　訳　978-4-585-07063-4（2004年5月）　四六判・上製・384頁・3000円　※品切
- 『南総里見八犬伝　下』鈴木邑　訳　978-4-585-07064-1（2004年5月）　四六判・上製・400頁・3000円　※品切
- 『平治物語』中村晃　訳　978-4-585-07067-2（2004年5月）　四六判・上製・232 頁・2500円　※品切
- 『曾我物語』葉山修平　訳　978-4-585-07065-8（2004年12月）　四六判・上製・384頁・3000円
- 『古事記』緒方惟章　訳　978-4-585-07061-0（2004年5月）　四六判・上製・400頁・3500円
- 『保元物語』武田昌憲　訳　978-4-585-07068-9（2004年12月）　四六判・上製・248頁・2500円　※品切
- 『義経記』西津弘美　訳　978-4-585-07066-5（2004年5月）　四六判・上製・464頁・3500円
- 『完訳 太平記　1巻』上原作和　小番達　監修・訳／鈴木邑　訳　978-4-585-07073-3（2007年3月）　四六判・上製・350頁・3000円※品切
- 『完訳 太平記　2巻』上原作和　小番達　監修・訳／鈴木邑　訳　978-4-585-07074-0（2007年3月）　四六判・上製・350頁・3000円
- 『完訳 太平記　3巻』上原作和　小番達　監修・訳　978-4-585-07075-7（2007年3月）　四六判・上製・350頁・3000円
- 『完訳 太平記　4巻』上原作和　小番達　監修・訳／和田琢磨　解説　978-4-585-07076-4（2007年3月）　四六判・上製・350頁・3000円
- 『完訳 源平盛衰記　一』岸睦子　訳　978-4-585-07053-5（2005年7月）　四六判・上製・256頁・2700円
- 『完訳 源平盛衰記　二』中村晃　訳　978-4-585-07054-2（2005年7月）　四六判・上製・256頁・2700円
- 『完訳 源平盛衰記　三』三野恵　訳　978-4-585-07055-9（2005年9月）　四六判・上製・250頁・2700円
- 『完訳 源平盛衰記　四』田中幸江　緑川新　訳　978-4-585-07056-6（2005年9月）　四六判・上製・250頁・2700円
- 『完訳 源平盛衰記　五』酒井一字　訳　978-4-585-07057-3（2005年9月）　四六判・上製・250頁・2700円
- 『完訳 源平盛衰記　六』中村晃　訳　978-4-585-07058-0（2005年9月）　四六判・上製・250頁・2700円
- 『完訳 源平盛衰記　七』西津弘美　訳　978-4-585-07059-7（2005年9月）　四六判・上製・250頁・2700円
- 『完訳 源平盛衰記　八』石黒吉次郎　訳　978-4-585-07060-3（2005年9月）　四六判・上製・250頁・2700円

楊儒賓　張寶三　共編　978-4-585-03092-8（2002 年 10 月）

日本漢学研究初探　A5判・上製・448頁・9600円　※在庫僅少

【目次】 公刊にあたって／第一部　序　論　日本の漢学が華人に与えるもの／第二部　儒学思想の受容／第三部　中国文学の反映／第四部　東アジア文化交流史

野田壽雄　著　978-4-585-03070-6（2000 年 7 月）

日本近世小説史　浮世草子篇（上）　A5判・上製・400頁・12000円　※在庫僅少

「仮名草子篇」「西鶴篇」「談義本篇」に続く第四冊目。八文字屋本以前の浮世草子を扱い、出来るだけ作品の内容の紹介に努めた。

上原作和　編／室伏信助　監修

人物で読む源氏物語　全20巻

登場人物31人を選び、各人物に即した本文・現代語訳・論文・コラムという構成で『源氏』のエッセンスを満載して提供。最新最大の研究成果から『源氏物語』を読む。『源氏物語』の深遠な森への画期的案内書！

- 第1巻『桐壺帝・桐壺更衣』978-4-585-01141-5（2005年10月）　A5判・上製・356頁・3800円
- 第2巻『光源氏Ⅰ』978-4-585-01142-2（2005年5月）　A5判・上製・440頁・3800円
- 第3巻『光源氏Ⅱ』978-4-585-01143-9（2005年10月）　A5判・上製・392頁・3800円
- 第4巻『藤壺の宮』978-4-585-01144-6（2005年5月）　A5判・上製・378頁・3800円
- 第5巻『葵の上・空蟬』978-4-585-01145-3（2005年10月）　A5判・上製・388頁・3800円
- 第6巻『紫の上』978-4-585-01146-0（2005年5月）　A5判・上製・408頁・3800円
- 第7巻『六条御息所』978-4-585-01147-7（2005年5月）　A5判・上製・336頁・3800円
- 第8巻『夕顔』978-4-585-01148-4（2005年5月）　A5判・上製・344頁・3800円
- 第9巻『末摘花』978-4-585-01149-1（2005年10月）　A5判・上製・380頁・3800円
- 第10巻『朧月夜・源典侍』978-4-585-01150-7（2005年10月）　A5判・上製・322頁・3800円
- 第11巻『朱雀院・弘徽殿大后・右大臣』978-4-585-01151-4（2006年5月）　A5判・上製・438頁・3800円
- 第12巻『明石の君』978-4-585-01152-1（2006年5月）　A5判・上製・424頁・3800円
- 第13巻『玉鬘』978-4-585-01153-8（2006年5月）　A5判・上製・394頁・3800円
- 第14巻『花散里・朝顔・落葉の宮』978-4-585-01154-5（2006年5月）　A5判・上製・434頁・3800円
- 第15巻『女三の宮』978-4-585-01155-2（2006年5月）　A5判・上製・434頁・3800円
- 第16巻『内大臣・柏木・夕霧』978-4-585-01156-9（2006年11月）　A5判・上製・350頁・3800円
- 第17巻『薫』978-4-585-01157-6（2006年11月）　A5判・上製・350頁・3800円
- 第18巻『匂宮・八宮』978-4-585-01158-3（2006年11月）　A5判・上製・350頁・3800円
- 第19巻『大君・中の君』978-4-585-01159-0（2006年11月）　A5判・上製・350頁・3800円
- 第20巻『浮舟』978-4-585-01160-6（2006年11月）　A5判・上製・350頁・3800円

枕草子研究会　編　978-4-585-00146-1（2000 年 4 月）

枕草子　A5判・並製・408頁・3000円

枕草子全文を翻刻し、詳細な参考年表を付した。底本には陽明文庫蔵本（三巻本系統第一類本「安貞二年本」）と『弥富破摩雄旧蔵本』を用い、漢字やふりがなを読みやすく表示。研究の基礎となる一冊。

内山美樹子　著　978-4-585-03064-5（1999 年 11 月）

浄瑠璃史の十八世紀　A5判・上製・648頁・20000円

日本演劇史が最も複雑かつ密度の濃い言葉と行為を持ち得たのが、なぜ十八世紀の人形浄瑠璃においてでなければならなかったか…。18世紀浄瑠璃史諸問題の考察を通じて、劇とは何か、の探求をめざす。

中田武司　編

田中大秀　全７巻 10 冊

23歳にして本居宣長に師事した大国学者、田中大秀。その文学・歴史・民俗・神道にわたる偉大な業績を初めて翻刻、紹介する。

・第一巻『物語(一)』978-4-585-03081-2（2001年6月）　A5判・上製・604頁・20000円
・第一巻『物語(二)』978-4-585-03082-9（2001年11月）　A5判・上製・524頁・18000円
・第一巻『物語(三)』978-4-585-03091-1（2002年7月）　A5判・上製・498頁・18000円
・第二巻『土佐日記解』978-4-585-03094-2（2003年5月）　A5判・上製・544頁・19000円
・第三巻『寺社考・記録』978-4-585-03074-4（2000年3月）　A5判・上製・630頁・21000円　※品切
・第四巻『日記・紀行』978-4-585-03124-6（2004年10月）　A5判・上製・498頁・16000円
・第五巻『随筆・冊子(一)』978-4-585-10059-1（2000年1月）　A5判・上製・724頁・22000円
・第五巻『随筆・冊子(二)』978-4-585-03126-0（2005年2月）　A5判・上製・520頁・18000円　※在庫僅少
・第六巻『歌謡・和歌』978-4-585-03112-3（2004年5月）　A5判・上製・592頁・20000円
・第七巻『詠藻』978-4-585-03127-7（2005年3月）　A5判・上製・552頁・21000円

千本英史　著　978-4-585-10041-6（1999年2月）

験記文学の研究　A5判・上製・404頁・10200円

説話文学において「験」(ものごとのしるし＝表徴、事柄の甲斐)を描くことは、大きなテーマである。本書は初めて験記ジャンル文学の系統的全体像の見通しを示し、『本朝法華験記』を中心とした成立論的作品論的分析を行った。

武井和人　著　978-4-585-10036-2（1999年1月）

中世古典学の書誌学的研究　A5判・上製・796頁・19600円

中世古典学の領域は極めて広大で、部分的には考究されているものの、文学・有職などの領域においては、総体として立ち後れている。書誌学を基盤とした総合文化学の提唱。

中西健治　著　978-4-585-10020-1（1997年12月）

平安末期物語攷　A5判・上製・376頁・11000円

浜松中納言物語・寝覚物語さらにそれ以降に成立したとりかえばや物語や在明の別れについて、物語の解読を基軸とし、その作品の捉え方、本質、問題点や現代的な課題などを多角的な視点から解明。物語享受の態様を論述する。

北原保雄　大倉浩　著　978-4-585-10013-3（1997年3月）

狂言記　外五十番の研究　B5判・上製・440頁・32000円

『狂言記の研究』『続狂言記の研究』『狂言記拾遺の研究』に続く最終巻。京都大学文学部蔵の初版本を影印・翻字。索引篇には随所に国語学的な注記を加えた。研究篇には前三著の研究成果をも取り入れて国語史的な特徴を論述。

太田次男　著　978-4-585-10010-2（1997年2月）

旧鈔本を中心とする白氏文集本文の研究　A5判・上製・2404頁・63000円

長年の間、主要な伝存本類をほぼ網羅的に調査・研究し、作品集の編成をはじめ本文間の異同などを写本・版本間で比較検討、校勘作業を行なってきた成果の集大成。

武山隆昭　著　978-4-585-10016-4（1997年1月）

住吉物語の基礎的研究　A5判・上製・842頁・23000円

第Ⅰ部「成立論」では、様々な例証を挙げて現存祖本の成立が平安時代中期であることを証明する。「諸本論」では120を越す写本・版本を分類し、祖本から諸系統本への展開過程を論ずる。第Ⅱ部は、校本と2本対照文節KWIC索引。

前田金五郎　著　978-4-585-03044-7（1996年11月）

好色一代女全注釈　A5判・上製・880頁・18000円

近世の尨大な言語資料を博捜した著者が、適切・豊富な用例を駆使して西鶴の全作品を徹底的に注釈。語彙索引も完備して利用の便を図る。今後の西鶴研究に不可欠の金字塔である。

下定雅弘　著　978-4-585-03045-4（1996年10月）

白氏文集を読む　A5判・上製・848頁・20000円

白居易の詩作は政治家時代の「諷諭詩」、詩と隠逸に生きた時代の「閑適詩」に代表されるとされてきたが、人生の各時代の詩体の変化や違いを丹念にたどり、各時期の処世の諸観念に注目することで、その変化を明らかにする。

三木雅博　著　978-4-585-10001-0（1995年9月）

和漢朗詠集とその享受　A5判・上製・428頁・13000円

『和漢朗詠集』の成立と享受を論じることにより、和の世界が有していた流れと漢の世界からもたらされた流れが交錯し、新しい流れが生み出されていく我が国の文化の創造の過程で現れた、一つの典型的な現象を明らかにする。

大谷大学文学史研究会　編　978-4-585-03027-0（1995年2月）

魚太平記　校本と研究　A5判・上製・232頁・7767円　※在庫僅少

本書では天理本・国会本・鶴舞本(以上写本)・筑波大学本・龍門文庫本・東大霞亭文庫本(以上版本)の六本をとりあげ、精密な校異とそれに基づく論考を収載する。また、口絵として図版32枚を付し、参考に資す。

永藤靖　著　978-4-585-03026-3（1994年6月）

古代説話の変容　風土記から霊異記へ　A5判・上製・272頁・8000円　※在庫僅少

『風土記』説話などに見られる地域共同体の神々や信仰・習俗の在地性が、『日本霊異記』では中央からの仏教の流入や律令制の浸透により大きく変質し、説話としてあらたな表現を獲得してゆく。その変貌の過程と様相を論ずる。

白井忠功　著　978-4-585-03022-5（1994年3月）

歌人正徹研究序説　A5判・上製・344頁・11000円　※在庫僅少

時代を代表する抜群の歌才と、批評精神を持つ正徹の作品『草根和歌集』『正徹物語』を精読し、考察を試みる。巻末に、正徹略年譜、文芸関係人物生歿表、和歌索引を付す。

北原保雄　大倉浩　著　978-4-585-00792-0（1987年2月）

狂言記拾遺の研究　B5判・上製・1116頁・40000円

底本には早大演劇博物館蔵享保15年野田板(初版)を影印し全文の翻刻および総索引を付す。研究編では『狂言記拾遺』の刊行の概況、諸本と底本、編者、後刷本との校異、明治以後の活字本との校異などについて論述する。

藤田徳太郎　著　978-4-585-00790-6（1986年2月）

近代歌謡の研究　A5判・上製・556頁・12000円　※在庫僅少

室町・江戸時代の歌謡に関する研究を集録。近代だけでなく、古代・中世にも及ぶ資料の蒐集・博捜による考証・論述から研究の著しい飛躍と進展を示す。

北野克　著　978-4-585-00775-3（1982年2月）

算合本拾遺集の研究　B5判・上製・584頁・25000円

算合本拾遺集の研究に着手して以来50年、著者積年の論考を集大成するとともに、細密な検証の過程を明らかにする。新たに算合本と異本の釈本に加えて各句索引、作者索引、詞書における人物索引を付す。

土田衛　北川博子　福嶋三知子　編

菅専助全集　全６巻

これまでの人形浄瑠璃研究は近松に偏し過ぎて専助の作品はあまり注目されることはなかったが、全集では現存する専助作品のうち33篇を翻刻し、絵尽し、番付を収録。第六巻には全巻の人名索引・地名索引を付した。

- 第一巻　978-4-585-00201-7（1990年9月）　A5判・上製・460頁・12136円
- 第二巻　978-4-585-00202-4（1991年4月）　A5判・上製・432頁・12136円
- 第三巻　978-4-585-00203-1（1992年3月）　A5判・上製・460頁・12136円
- 第四巻　978-4-585-00204-8（1993年1月）　A5判・上製・436頁・12136円
- 第五巻　978-4-585-00205-5（1993年10月）　A5判・上製・416頁・12136円
- 第六巻　978-4-585-00206-2（1995年11月）　A5判・上製・528頁・12136円

川瀬一馬　監修

龍門文庫善本叢刊　全12巻・別編３巻

- 1『千載和歌集』978-4-585-00733-3（1985年7月）　A5判・上製・630頁・12000円　※在庫僅少
- 2『増鏡』978-4-585-00734-0（1985年8月）　A5判・上製・564頁・12000円　※在庫僅少
- 3『色葉字訓・色葉字平宜・管蠡抄』978-4-585-00735-7（1985年10月）　A5判・上製・594頁・12000円　※品切
- 4『江湖風月集抄・百丈清規抄』978-4-585-00736-4（1985年12月）　A5判・上製・462頁・12000円　※品切
- 5『古事記(寛永十五年写)』978-4-585-00737-1（1986年2月）　A5判・上製・570頁・12000円　※在庫僅少
- 6『梅松論・櫻雲記・神皇正統記』978-4-585-00738-8（1986年6月）　A5判・上製・636頁・12000円　※在庫僅少
- 7『節用集(室町中期写)』978-4-585-00739-5（1986年8月）　A5判・上製・556頁・12000円　※在庫僅少
- 8『横笛の草子・しゅ天どうじ・ゆみつぎ・きふねの本地・敦盛』978-4-585-00740-1（1987年1月）　A5判・上製・490頁・12000円
- 9『和漢朗詠集・宴曲抜華』978-4-585-00741-8（1987年12月）　A5判・上製・448頁・12000円　※在庫僅少
- 10『紫明抄』978-4-585-00742-5（1988年3月）　A5判・上製・562頁・12000円
- 11『おちくぼ・一本菊・精進魚類物語・鴉鷺合戦物語・しぐれ物語』978-4-585-00743-2（1988年4月）　A5判・上製・512頁・12000円　※在庫僅少
- 12『小野経蔵目録・諸阿闍梨真言・密教部類惣目・三家選集目録・醍醐寺楽器等目録・醍醐慈心院聖教目録・弘法大師御請来目録』978-4-585-00744-9（1988年5月）　A5判・上製・502頁・12000円　※在庫僅少
- 別編1『萬代和歌集　原装複製本』978-4-585-00745-6（1985年11月）　A5判・上製・1620頁・180000円　※在庫僅少
- 別編2『花鳥余情』978-4-585-00746-3（1986年10月）　B5判・上製・1188頁・36000円　※在庫僅少
- 別編3『宇治大納言物語』978-4-585-00747-0（1988年6月）　B5判・上製・536頁・18000円　※在庫僅少

中野幸一　訳　978-4-585-29578-5（2017年3月）　正訳　源氏物語　本文対照8

正訳　源氏物語　本文対照　第八冊　匂宮／紅梅／竹河／橋姫／椎本／総角

A5判・上製・448頁・2500円

第八冊は匂宮巻～総角巻。薫十四歳～二十四歳の年末までの出来事。光亡き後の世界を彩る、「宇治十帖」の幕開け。巻末の論文では『源氏物語』の遡及表現を取り上げ、その具体例を紹介。物語における効果を考察する。

中野幸一　訳　978-4-585-29577-8（2017年1月）　正訳　源氏物語　本文対照7

正訳　源氏物語　本文対照　第七冊　柏木／横笛／鈴虫／夕霧／御法／幻

A5判・上製・376頁・2500円

源氏四十八歳の正月から五十二歳の年末までの出来事。罪の子を出産した女三の宮の出家・紫の上の死と、悲劇が続き、源氏は出家を望みつつ、物語から退場する。巻末の論文では『源氏物語』の擬作の数々を紹介する。

中野幸一　訳　978-4-585-29576-1（2016年10月）　正訳　源氏物語　本文対照6

正訳　源氏物語　本文対照　第六冊　若菜上／若菜下

A5判・上製・376頁・2500円

第六冊は若菜上巻・若菜下巻。源氏三十九歳の冬から四十七歳の年末までの出来事。女三の宮が降嫁するも柏木と密通し、因果応報の恐ろしさに源氏は愕然とする。巻末の論文では現代人からは理解の及ばない、貴族の生活習慣の実態に迫る。

中野幸一　訳　978-4-585-29575-4（2016年7月）　正訳　源氏物語　本文対照5

正訳　源氏物語　本文対照　第五冊　蛍／常夏／篝火／野分／行幸／藤袴／真木柱／梅枝／藤裏葉

A5判・上製・384頁・2500円

源氏に恋情をほのめかされ、戸惑いを隠せない玉鬘。その美しさは多くの貴公子たちを魅了し求婚を受けるが、彼女を得たのは、何と鬚黒の大将であった。一方夕霧と雲居の雁との幼な恋もようやく内大臣の許すところとなる。

中野幸一　訳　978-4-585-29574-7（2016年5月）　正訳　源氏物語　本文対照4

正訳　源氏物語　本文対照　第四冊　薄雲／朝顔／少女／玉鬘／初音／胡蝶

A5判・上製・352頁・2500円

最愛の人藤壺の崩御。その後冷泉帝は夜居の僧から自らの出生の秘密を知り恐懼する。一方、亡くなった夕顔の娘玉鬘が筑紫から上京し、六条院に迎えられる。二十歳に育っていた玉鬘は日ごとにその美しさが評判となっていく。

中野幸一　訳　978-4-585-29573-0（2016年2月）　正訳　源氏物語　本文対照3

正訳　源氏物語　本文対照　第三冊　須磨／明石／澪標／蓬生／関屋／絵合／松風

A5判・上製・384頁・2500円

政敵右大臣の娘朧月夜との密会の露見により、須磨・明石で憂愁の日々を送る光源氏。しかしその地で明石の君と出会い、姫君を儲ける。やがて、帰京し政界に復帰した源氏は権大納言・内大臣と昇進して栄華をきわめてゆく。

中野幸一　訳　978-4-585-29572-3（2016年1月）　正訳　源氏物語　本文対照2

正訳　源氏物語　本文対照　第二冊　末摘花／紅葉賀／花宴／葵／賢木／花散里

A5判・上製・352頁・2500円

第二冊は末摘花巻～花散里巻。光源氏十八歳～二十五歳の出来事。巻末の論文では、物語の本筋とは関係がないが、その場面があることによって、より物語に深みと、奥行きをもたせる「かざり」と呼ばれる方法を解説する。

中野幸一　訳　978-4-585-29571-6（2015年11月）　正訳　源氏物語　本文対照1

正訳　源氏物語　本文対照　第一冊　桐壺／帚木／空蟬／夕顔／若紫

A5判・上製・362頁・2500円

第一冊は主人公光源氏の誕生から十八歳の冬まで。類い稀なる人物、光源氏を称揚しつつも、青春を謳歌し、時に失敗もするその姿を、控えめではあるが批判的に描写する。本書は、その語り手の姿勢を丁寧に訳出する。

日下幸男　著　978-4-585-29141-1（2017年3月）

後水尾院の研究　研究篇・資料篇・年譜稿　A5判・上製・1736頁・28000円

近世初期を代表する貴顕や文化人たちが周囲に群集し、古典学や有職学の復興を領導した後水尾院。その文事を明らかにする論考、未公刊歌集資料4点、800頁を越える年譜稿により院とその時代の実相を再現する画期的成果。

人間文化研究機構　国文学研究資料館　編　978-4-585-29130-5（2016年9月）　国文学研究資料館影印叢書7

嵯峨本　方丈記　A4判・上製・88頁・9800円

日本が誇る近世出版文化の粋を示す嵯峨本。その流麗な仮名書体と美麗な雲母刷模様で彩られた美装古活字本を原寸・原色で再現。古活字版研究をリードする小秋元段氏（法政大学）の解説および雲母刷模様見本を附した。

半澤幹一　津田潔　著　978-4-585-29095-7（2015年3月）

対釈新撰万葉集　B5判・上製・880頁・23000円

従来の注釈書では正面から取り上げられてこなかった和歌と漢詩の比較対照に重点を置きながら、諸本の校合も入念に行うなど文献学的・解釈学的に注釈を行い、先行研究・解釈の見直しを迫る基礎資料を提供。

鈴木俊幸　編　978-4-585-22092-3（2014年9月）

近世・近代初期　書籍研究文献目録　A5判・上製・656頁・8000円

前近代から近代初期における書物・出版に関わる研究文献を網羅的に分類・整理。のべ14,000以上の文献を対象に、18の大項目、280以上の小項目より検索できる要を得た編集による日本文化史・思想史研究必備の書。

文草の会　著　978-4-585-29581-5（2014年9月）

菅家文草注釈　文章篇　第一冊　巻七上　A5判・上製・368頁・5400円

最新の日本漢文学・和漢比較文学研究の粋を結集して、『菅家文草』文章の部の全てを注釈。今後の研究の基盤となる決定版。第一冊となる本書では、巻七に収載される賦・銘・賛・祭文・記・書序・議を注解する。

佐藤道生　著　978-4-585-29067-4（2014年3月）

三河鳳来寺旧蔵暦応二年書写　和漢朗詠集　影印と研究　菊倍判・上製・502頁・30000円

史上未公開の貴重典籍の全編を原色影印。詳密な訓点・小字注記・紙背書入をも忠実に再現した翻刻を附した。解題・論考では、和漢朗詠集の全体像を明らかにし、国文学史上の位置づけ、朗詠集研究の到達点を示す。

中野幸一　榎本千賀　編　978-4-585-20027-7（2014年3月）

ちりめん本影印集成　日本昔噺輯篇　B5判・上製・1304頁・100000円

長谷川武次郎により出版された「ちりめん本」のうち、特にその主要な出版物である「日本昔噺」について、管見の限りの各国語版計92種を全編、原色原寸で影印。附録として、貴重なカタログ3種を附した。

国文学研究資料館　編／今西祐一郎　序／福家俊幸　解説　978-4-585-29064-3（2014年3月）　国文学研究資料館影印叢書5

鵜飼文庫　蜻蛉日記　阿波国文庫本　B5判・上製・570頁・25000円

古本系諸本の親本から直接書写した最善本であると山田清市氏により紹介された阿波国文庫旧蔵本を高精細写真版で全篇影印。書き入れや校訂の跡を有する本書は、現在の『蜻蛉日記』研究に対し、本文批評の基盤を構築する礎となる。

小川武彦　著　978-4-585-29043-8（2013年3月）

百物語全注釈　A5判・上製・968頁・25000円

緻密な本文校訂と注釈・口語訳がなされた画期的な出版。底本は、万治二年刊本を使用。注釈は『文明本節用集』『易林本節用集』『合類節用集』等の諸節用集、同時代の諸作品を通覧した。巻末には、要語索引を付した。

国文学研究資料館　編／今西祐一郎　序文／池田和臣　解題　978-4-585-29047-6（2012年12月）

源氏物語　榊原本　B5判変形・上製・2000頁・75000円

鎌倉時代の書写本にして青表紙本の本文をもつ、希少かつ重要な古写本を完全影印。筆跡は鎌倉中期と推察され、鋭く筆力があり、後京極様につらなる筆跡である。源氏物語大成の現存重要諸本にあげられた榊原本の再出現。

下定雅弘　神鷹徳治　編　978-4-585-29026-1（2012年3月）

宮内庁所蔵　那波本　白氏文集　変形判・上製・1904頁・61905円

白居易自らの意思による編纂の形態を残した那波道圓刊の古活字版『那波本　白氏文集』全篇を完備するとともに、宮内庁書陵部蔵本を影印。利用の便を鑑み、現在の主要校本との対照検索の可能な索引を附した。

小磯純子　編　978-4-585-03244-1（2012年1月）

榎本星布全句集　A5判・上製・216頁・4000円

近世女性俳人随一といわれる榎本星布の全句を網羅。全発句の初句索引、略年譜に加え、自筆短冊や句集影印も多数カラー掲載。これからの星布研究の基礎資料。

国文学研究資料館　編　978-4-585-27010-2（2011年12月）

陽明文庫　王朝和歌集影　菊倍判・並製・272頁・2800円

陽明文庫の持つ膨大な名品の中から、王朝和歌文化1000年の伝承を凝縮。
実物に迫る美麗な姿を再現するとともに、第一級の研究者たちによる「解説」を付す。

加藤定彦　編著　978-4-585-27006-5（2011年11月）

『誹諧絵文匣』注解抄　江戸座画賛句の謎を解く　A5判・上製・272頁・8000円

古今東西、実在・架空の著名な人物104名を題材とする画賛句集『誹諧絵文匣』（享保7年刊）より46句を注解。
和漢の諸文献、絵手本類などを博捜し、江戸座俳句を読み解く。

石川一　広島和歌文学研究会　編　978-4-585-29021-6（2011年10月）

後京極殿御自歌合・慈鎮和尚自歌合　全注釈　A5判・上製・440頁・10000円

藤原俊成の薫陶を受け、和歌史に新風を吹き込んだ九条家歌壇。その中枢を担う九条良経、慈円の自歌合を全注釈。和歌史、歌論史における貴重資料を、韻文・散文研究双方の視角より注解する。

小秋元段　北村昌幸　長坂成行　和田琢磨　編　978-4-585-10448-3（2011年3月）

校訂　京大本　太平記　A5判・上製・1568頁・49500円

本書の刊行により、『太平記』全系統の主要伝本が翻刻や影印として揃うことになり、テキスト全体を俯瞰することが可能となる。軍記物語研究のみならず、中世文学・中世史・芸能史など多くの分野に貴重な情報を提供する。

岡雅彦　市古夏生　大橋正叔　岡本勝　落合博志　雲英末雄　鈴木俊幸　堀川貴司　柳沢昌紀　和田恭幸　編　978-4-585-10452-0（2011年3月）

江戸時代初期出版年表　B5判・上製・712頁・25000円　※在庫僅少

江戸文化を記憶し、今に伝える版本の情報を網羅掲載。天正19年（1591）～明暦末年（1657）の66年間に刊行されたあらゆる出版物（有刊記本）の総合年表。広大な江戸出版の様相を知る。

小林保治　石黒吉次郎　編　978-4-585-29010-0（2011年2月）

謡曲画誌　影印・翻刻・訳註　B5判・上製・464頁・15000円

山崎闇斎門下の中村平五・三近子による本文、狩野派の絵師で鶴澤山の弟子、板刻の密画の名手と言われた橘守国・有税による挿絵は、近世美術資料としても有用である。註釈、現代語訳、能楽史年表、解説を完備。

大野修作　著　978-4-585-10435-3（2008年2月）

述書賦全訳註　A5判・上製・448頁・12700円

『述書賦』初の全訳註。正確な本文訳に加え、近年の中国や日本の重要な研究成果を注に盛り込むことによって、書論の批評語彙や通史的な理解を助ける。「語彙索引」に加え「書法叢刊」「芸苑綴英」の図版索引を付す。

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫　編　978-4-585-03160-4（2007年3月）　斯道文庫書誌叢刊7

古今集注釈書伝本書目　A4判・上製・520頁・30000円

近世末に至る古今集注釈書・伝授書約1,700部を約300種に分類し、それぞれに通称書名を付し、伝本書目形式で一覧。和歌・説話・物語・謡曲・軍記・仏教文学など、あらゆる分野の研究者にとって必備の1冊。

米田明美　解説　978-4-585-03240-3（2010年2月）

源氏物語　梅枝・紅葉賀　甲南女子大学蔵鎌倉時代古写本

変形判・上製・270頁・18000円

青表紙本・河内本などの校訂を経ない、独自本文をもつ伝為家筆「梅枝」(鎌倉中期書写)および、青表紙系で、独自異文が見られる伝為相筆「紅葉賀」(鎌倉後期書写)をフルカラー影印。今、ここに蘇る『源氏』の鎌倉写本。

麻原美子　小川栄一　大倉浩　佐藤智広　小井土守敏　編　978-4-585-10449-0（2011年3月）

平家物語長門本・延慶本対照本文

B5判・上製・1408頁・44300円

延慶本・長門本は、数ある平家物語諸本の中で最も古い形態を残す。ふたつの本文を上下に対照させることにより、両者の本文・章段構成の違いを明示。平家物語成立の問題を究明する必須の資料。

麻原美子　小川栄一　大倉浩　佐藤智広　小井土守敏　編　978-4-585-10441-4（2009年2月）

長門本平家物語 自立語索引

A5判・上製・1088頁・29000円

正確なデータベースに基づいた『長門本平家物語』の自立語索引。底本の「表記」も明記し、『長門本平家物語』の言語研究、文学研究を飛躍的に進める待望の一冊。歴史・思想研究にも有益。

麻原美子　佐藤智広　小井土守敏　編

長門本平家物語　全4巻

万全の注意を払って底本の正確な翻字を行い、また抵抗なく読み進める一助とするために振り仮名・振り漢字を付した。長門本『平家物語』の普及版であるとともに、索引編『長門本平家物語自立語索引』の依拠本文。

- 『長門本　平家物語　一』978-4-585-03113-0（2004年6月）　A5判・並製・312頁・2500円
- 『長門本　平家物語　二』978-4-585-03114-7（2004年11月）　A5判・並製・280頁・2500円
- 『長門本　平家物語　三』978-4-585-03115-4（2005年6月）　A5判・並製・320頁・2500円
- 『長門本　平家物語　四』978-4-585-03116-1（2006年6月）　A5判・並製・352頁・2500円

麻原美子　名波弘彰　編　978-4-585-10033-1（1998年2月）

長門本平家物語の総合研究　第一巻　校注篇上

A5判・上製・950頁・29000円

延慶本などの諸本と比べて立ち後れている長門本研究に資するため、学問的に依拠できる本文の提供および研究基盤整備としての総合研究を目指す。まず校注篇上では巻一から十二までを正確に翻刻、本文校注を付す。

麻原美子　編　978-4-585-10034-8（1999年2月）

長門本平家物語の総合研究　第二巻　校注篇下

A5判・上製・830頁・27000円

延慶本などの諸本と比べて立ち後れている長門本研究に資するため、学問的に依拠できる本文の提供および研究基盤整備としての総合研究を目指す。巻十三から二十の翻刻、本文校注を付す。

麻原美子　犬井善寿　編　978-4-585-10061-4（2000年2月）

長門本平家物語の総合研究　第三巻　論究篇

A5判・上製・750頁・30000円

長門本の特殊性を明らかにして『平家物語』諸本における位相を究明し、その成立の問題を解明することを目的とする。第一部の伝本研究、第二部の作品研究からなる。

柳澤良一　編

石川県立図書館蔵 川口文庫善本影印叢書　全3巻

平安朝漢文学史研究の大家故川口久雄博士の旧蔵書で、日本の物語文学古典籍など貴重書を多く有する川口文庫の中から、漢詩漢文に関する古典籍の未公開資料、稀覯書の全篇を影印で初公開。全3巻完結。

- 第1巻『菅家文草』978-4-585-03181-9（2008年9月）　A5判・上製・470頁・12000円
- 第2巻『和漢朗詠集私註』『文筆問答抄』978-4-585-03182-6（2010年5月）　A5判・上製・392頁・12000円
- 第3巻『江吏部集』『無題詩』978-4-585-03183-3（2010年11月）　A5判・上製・388頁・12000円

北原保雄　小川栄一　編　978-4-585-01003-6（1990年6月）

延慶本平家物語　本文篇

A5判・上製・1230頁・25000円

『延慶本平家物語』に存するすべての単語(約33万語)の所在を示し、単語検索の便宜を図る。本文中のすべての語彙について、原本に存する漢字かな表記、ふりがな、声点などとともに、単語の所在を50音順に検索できる。※『索引編』品切

国文学研究資料館　監修　978-4-585-03241-0（2009年8月）

伊勢物語　坊所鍋島家本

B5判・上製・172頁・15000円

佐賀藩鍋島家伝来、現佐賀県立図書館蔵を全巻原寸フルカラー複製。
伝肖柏筆本に近い本文を持つ。朱書による句読点や四点濁点が用いられ、国語史研究にも有用な形態を持つ。

田渕句美子　編　978-4-585-00334-2（2009年2月）

十六夜日記　白描淡彩絵入写本・阿仏の文

B5判・上製・104頁・4800円

『十六夜日記』『阿仏の文』の稀覯本(国文学研究資料館蔵本)を影印、正確な翻刻と最新の研究成果を取り入れた注釈を附す。

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫　監修

古今集注釈書影印叢刊　全8巻

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫の45余年にわたる古今集注釈書類の研究調査により見出された各地の文庫、図書館が所蔵する古今和歌集の注釈書類の中から特に学術的価値のあるものを中心に選び影印刊行。各巻巻末には、各注釈書の底本及び諸本の成立・内容に関する詳しい解題を附し、研究の便宜を図った。全8巻完結。

- 第1巻『僻案抄』978-4-585-03191-8（2008年10月）　A5判・上製・340頁・10000円
- 第2巻『古今和歌集註』978-4-585-03192-5（2008年12月）　A5判・上製・320頁・10000円
- 第3巻『古今集素伝懐中抄』978-4-585-29008-7（2010年10月）　A5判・上製・424頁・10000円
- 第4巻『古訓密勘註 古今灌頂巻・和謌灌頂次第秘密抄・幽旨』978-4-585-03194-9（2009年4月）　A5判・上製・448頁・10000円
- 第5巻～第8巻『古今拾穂抄　第一冊～第八冊』978-4-585-03195-6・978-4-585-03196-3・978-4-585-03197-0・978-4-585-03198-7（2008年10月）　A5判・上製・352～410頁・10000円

中野幸一　編

九曜文庫蔵源氏物語享受資料影印叢書　全12巻

九曜文庫の所蔵する源氏物語関係の文献資料の中から、注釈や享受資料など、19点を選択し、これらを12巻にまとめて影印刊行。国語国文学の研究者や愛好家はもとより、研究室・図書室に必備の基礎資料集成。

- 第1巻『細流抄(一～四)』978-4-585-00834-7（2008年6月）　A5判・上製・560頁・15000円
- 第2巻『細流抄(五～八)』978-4-585-00835-4（2008年6月）　A5判・上製・560頁・15000円
- 第3巻『細流抄(九～十二)』978-4-585-00836-1（2008年6月）　A5判・上製・560頁・15000円
- 第4巻『細流抄(十三～十六)』978-4-585-00837-8（2008年6月）　A5判・上製・560頁・15000円
- 第5巻『細流抄(十七～二十)』978-4-585-00838-5（2008年6月）　A5判・上製・560頁・15000円
- 第6巻『源氏小鏡 慶長古活字本・源氏小鏡 明暦版本』978-4-585-00839-2（2009年5月）　A5判・上製・672頁・15000円
- 第7巻『源概抄 源氏小鏡 寛永古活字本』978-4-585-00840-8（2009年5月）　A5判・上製・602頁・15000円
- 第8巻『浅聞抄』978-4-585-00841-5（2009年5月）　A5判・上製・536頁・15000円
- 第9巻『源氏営鑑抄・雲かくれ・源氏雲隠抄』978-4-585-00842-2（2009年5月）　A5判・上製・536頁・15000円
- 第10巻『源氏薫香考・源氏雨夜立聞・雨夜滴・すみれ草』978-4-585-00843-9（2009年5月）　A5判・上製・632頁・15000円
- 第11巻『源語類聚鈔・紫史吟評』978-4-585-00844-6（2008年6月）　A5判・上製・496頁・15000円
- 第12巻『紫文蜑之囀・源氏大和絵鑑・絵本草源氏・絵本藤の縁』978-4-585-00845-3（2009年5月）　A5判・上製・560頁・15000円

森銑三　中島理壽　編　978-4-585-03189-5（2008 年 7 月）

近世人名録集成　影印編　A5判・上製・2100頁・48000円

江戸時代の代表的人名録64種を収録する。
※『近世人名録集成　姓名・別称・別姓総索引』品切

王朝物語史研究会　編　978-4-585-03208-3（2008 年 9 月）

竹取物語本文集成　四六判・上製・568頁・9800円

『竹取物語』の代表的諸本15本を翻刻・集成。諸本の差異を細部にわたって明示し、本文異同を指摘。新出資料の『竹取物語』最古写本、里村紹巴筆本も初の翻刻収録。

秋山虔　室伏信助　監修／王朝物語史研究会　編　978-4-585-03209-0（2008 年 9 月）

紹巴本竹取物語　原寸影印　変形判・上製・184頁・9800円

室町時代の連歌師で、多数の連歌作品の他、『源氏物語紹巴抄』などの注釈書を残したことで知られる里村紹巴の自筆、元亀元年の奥書をもち、伝本中最古の書写本として伝えられる『竹取物語』を原寸で影印刊行する。

後藤昭雄　監修　978-4-585-03174-1（2007 年 12 月）

金剛寺本『三宝感応要略録』の研究　菊倍判・上製・272頁・16000円

上巻のみながら、書写年代の判明している古鈔本としては現時点で最も古い時期の写本である、金剛寺所蔵『三宝感応要略録』。その古鈔本を影印・翻刻、代表的なテキスト2本との校異を附し、関係論考などと合わせて紹介する。

高島要　編　978-4-585-10431-5（2007 年 2 月）

東瀛詩選　本文と総索引　B5判・上製・3278頁・117000円

日本の近世期を中心とした漢詩を中国の学者が撰集した日本漢詩集『東瀛詩選』。その翻刻本文とともに、漢詩を漢字一字単位で検索できる総索引を提供する。近世日本漢詩研究の基礎資料。

杉本直次郎　著／神鷹徳治　序／氣賀澤保規　解題　978-4-585-03131-4（2006 年 2 月）

阿倍仲麻呂傳研究　手沢補訂本　菊判・上製・900頁・28000円

遣唐留学生として唐にわたり、玄宗皇帝に仕え、かの地で生を終えた阿倍仲麻呂。膨大な文献の精密な読み解きにより、その実像を描き出した歴史的名著の、著者自筆による補訂原本を精緻に影印！

東京都立大学中世語研究会　編／小林賢次　代表　978-4-585-03144-4（2005 年 11 月）

狂言六義総索引　A5判・上製・608頁・20000円

小社刊『狂言六義全注』(北原保雄・小林賢次 著　天理図書館蔵『狂言六義　上・下・抜書』)の本文中に用いられている全ての単語を、歴史的仮名遣い・五十音順によって検索可能。当時の口語研究、狂言言語研究の基本資料。

北原保雄　小林賢次　著　978-4-585-03003-4（1991 年 7 月）

狂言六義全注　A5判・上製・798頁・19417円

天理図書館蔵『狂言六義』は和泉流狂言の祖本であり、『大蔵虎明本』と同じ時期に対峙する形で成立した台本である。狂言の歴史や室町時代から江戸時代初期にかけての口語資料として重要な本書を読みやすく翻字、詳注を施す。

小林祥次郎　編　978-4-585-10098-0（2005 年 3 月）

初期俳諧季題総覧　A5判・上製・736頁・22500円

近世初期句集のうち発句の部が類題に編集されているものを中心に、参考として近世中後期および明治の代表的な類題句集を合わせ、その季題を五十音順に並べ換えまとめる。

須田哲夫　佐々木新太郎　編　978-4-585-03125-3（2005 年 2 月）

校訂　浜松中納言物語　A5判・上製・392頁・6800円

従来最善本とされている榊原家本と同一粗本の同一書写者の本(兄弟本)である茨城大学図書館所蔵の菅文庫本を合わせて本文を校合した、『浜松中納言物語』本文の決定版である。

高島要　編　978-4-585-10091-1（2003 年 2 月）

日本詩紀　本文と総索引　B5判・上製・1632頁・72000円

江戸期、市河寛斎編『日本詩紀』は王朝期の漢詩集より約3,800首を総集した。本書は、校訂本文と、一字単位で検索できる索引からなる、日本漢文学研究の基礎的資料である。

室城秀之　西端幸雄ほか　編　978-4-585-10084-3（2002 年 2 月）

うつほ物語の総合研究　2　古注釈編　1　A5判・上製・580頁・19000円

これまでの『うつほ物語』の研究は、江戸時代の国学者たちの研究を否定的に継承するところから進められてきた。それら江戸時代の国学者たちの古注釈を総覧し、『うつほ物語』の独自性とその意義をあらためて問い直す。

室城秀之　西端幸雄ほか　編　978-4-585-10045-4（1999 年 2 月）

うつほ物語の総合研究　1　本文編・語彙索引編　A5判・上製・3712頁・78800円

本文篇は、最善本である尊経閣文庫蔵前田家十三行本を、正確忠実に翻刻。語彙索引篇は、本文篇に基づき、その使用語彙(約255,000語)を自立語と付属語に分け、前後の用例付き(KWIC)索引として示した。

都守淳夫　編著　978-4-585-10082-9（2001 年 11 月）

売立目録の書誌と全国所在一覧　A4判・上製・682頁・40000円

明治時代から平成までの売立目録の書誌、所蔵元(請求番号付)、書き入れがあるもの等を初めてデータ化し、リストとした。古美術・美学・文学研究者にとって渇望の書。

藤澤茜　著　978-4-585-10081-2（2001 年 11 月）

改訂版　歌川派の浮世絵と江戸出版界　B5判・上製・550頁・31000円

これまでの浮世絵研究では、主にその芸術的な側面のみがクローズアップされてきたが、本書では浮世絵が情報媒体の役目を担うことに注目し、浮世絵に盛り込まれた情報を読み解くことにより、江戸文化や文学研究を行なった。

今西祐一郎　監修・解説／九州大学附属図書館研究開発室　編　978-4-585-08008-4（2000 年 11 月）

古活字版源氏物語　九州大学所蔵　全巻画像データベース　CD-ROM・10000円

川瀬一馬著『古活字版之研究』(増補版) による四種の古活字版『源氏物語』のいずれにも属さず、『国書総目録』にも未載の新出本。『源氏物語』研究ほか古活字版研究の資料としても有益。Windows版。

統計数理研究所　村上研究室　編　978-4-585-08007-7（2000 年 11 月）

CD-ROM 版　源氏物語本文研究データベース　CD-ROM・9800円

本文は『源氏物語大成　校異篇』、文法情報は同『索引篇』自立語篇に準拠し、単語検索、文字列検索が可能。選択した単語・文字列が、前後文脈つきデータ(KWIC)で表示されます。動作環境：日本語版Microsoft Windows95/98。

藤澤紫　編　978-4-585-10092-8（2000 年 2 月）

鈴木春信絵本全集　A5判・上製・1846頁・83000円

鈴木春信の絵本を、書誌などの個別の作品検討から総合的な検討まで系統的に扱った浮世絵研究史上初の論考。【研究篇】と【影印・翻刻篇】から成る。本レゾネの作成により、資料としての普及に努めることができる。

国文学研究資料館　編　978-4-585-10073-7（2000 年 2 月）

ルヴァン ラ ヌーブ大学蔵　日本書籍目録　A4判・上製・816頁・47000円

新ルヴァン大学人文学部図書館蔵の貴重な文献の全貌が初めて明らかに！　同大学や内外の研究者に開かれた資料として再生させることができように、ローマ字のコードを付す。

説話研究会　編　978-4-585-10064-5（2000 年 2 月）

冥報記の研究　第二巻　菊判・上製・250頁・18800円

唯一の現存本であり、付訓本である前田家本『冥報記』をより精密に解読・利用するために新たに校訂釈文を作成。一字漢字索引・人名・地名・寺社名・訓注・ヲコト点・声点などの各種索引も収録し、解説・研究を付した。

説話研究会　編　978-4-585-10044-7（1999 年 2 月）

冥報記の研究　第一巻

菊判・上製・484頁・27400円

仏教説話集『冥報記』は、日本文学へ甚大な影響を与えた重要かつ貴重な資料である。前田家尊経閣蔵写本全冊を初めてカラー影印し、翻刻と、その訓釈文に校異と語注・参考話等を主とする注釈を加え、解説及び研究を収載した。

石川一　著　978-4-585-10039-3（1999 年 2 月）

拾玉集本文整定稿

A5判・上製・258頁・8600円　**※在庫僅少**

慈円の和歌活動を解明するためには、『拾玉集』に依拠すべきことは自明であるが、テキストの実態は極めて錯綜の様相を呈している。諸本分析の結果、青蓮院本が最善本であると判明、忠実に校訂、復元した。

近藤政美　池村奈代美　濱千代いづみ　編　978-4-585-10043-0（1999 年 2 月）

天草版平家物語語彙用例総索引

A5判・上製・3410頁・80000円

本文篇は大英図書館蔵本の影印に漢字平がな交じりの翻字を対照として示す。索引篇では全ての語の見出しと文脈中における用例を提示し、目的の語を 検索すると用法をも直ちに知ることができるように構成している。

秋本守英　木村雅則　編　978-4-585-10037-9（1999 年 1 月）

龍谷大学本　徒然草　索引篇

A5判・上製・350頁・15000円

龍谷大学本『つれづれ草』(上下2冊)を底本とした翻刻本文に万治2年刊本・正徹本(新日本古典文学大系)・常縁本(古典文庫)の3本を対照本文として併記。索引篇は、語彙索引篇と分析・資料篇からなる。

秋本守英　木村雅則　著　978-4-585-03051-5（1997 年 9 月）

龍谷大学本　徒然草　本文篇

A5判・上製・420頁・13000円　**※在庫僅少**

龍谷大学本『つれづれ草』(上下2冊)を底本とした翻刻本文に万治2年刊本・正徹本(新日本古典文学大系)・常縁本(古典文庫)の3本を対照本文として併記。巻末に「対照本文との比較における龍谷大学本の特徴」を収載。

土井洋一　中尾真樹　編　978-4-585-10042-3（1999 年 2 月）

本朝文粋の研究　校本篇・漢字索引篇　全３冊

A5判・上製・2698頁・66600円

本文篇・解説篇・索引篇から成り、最善本である身延山久遠寺本を原本に忠実に翻刻。底本の書誌的考察、その他の古写本それぞれの書誌的考察等を行った。漢字索引篇は用例を網羅した一字漢字索引。作者別作品番号一覧付き。

マリア・V・トロピギナ　編　978-4-585-08005-3（1998 年 7 月）

サンクトペテルブルグ大学 有栖川コレクション解説目録

A4判・上製・114頁・6000円　**※在庫僅少**

サンクトペテルブルグ大学東洋学部図書館蔵有栖川コレクションには、17世紀の版本(松会版)や『一葉抄』『金城見聞録』など貴重な写本も混ざっている。これらの和書247点の版本・写本を図版と解説を付して紹介する。

佐藤高明　著　978-4-585-10021-8（1998 年 1 月）

中世未刊和歌　文学資料集成

A5判・上製・670頁・18000円

旧阿波藩主蜂須賀家のコレクション(阿波国文庫)は戦後散逸した。その旧蔵書で国書総目録に記載されていない新資料4点『六条修理大夫顕季集』『耕雲口伝』『京極殿自歌合』『三体和歌』の影印翻刻および研究解説を付す。

西端幸雄　志甫由紀恵　編　978-4-585-10017-1（1997 年 2 月）

書籍版　土井本太平記　本文及び語彙索引

A5判・上製・3406頁・92000円

翻刻文篇は仮名書きである土井本の本文と「意味本文」として漢字仮名混ざり文を並記。語彙作品篇では自立語と付属語約385,000語を収録。※書籍購入者はCD-ROM版を特別価格10,000円にて購入できます(桐 Ver. 5 用データ)。

近藤政美　武山隆昭　池村奈代美　濱千代いづみ　近藤三佐子　編　978-4-585-10026-3（1998 年 3 月）

平家物語高野本　語彙用例総索引　付属語篇

A5判・上製・2726頁・79000円

すべての用例をKWIC形式(文脈付き索引)で一覧できる総索引。自立語篇と一対のものとして完成。付録にて高野本平家物語の助動詞・助詞・懸詞について論説。

近藤政美　武山隆昭　近藤三佐子　編　978-4-585-10004-1（1996 年 2 月）

平家物語高野本　語彙用例総索引　自立語篇

A5判・上製・2840頁・89000円

新日本古典文学大系『平家物語』上下(岩波書店)を本文とした語彙索引。様々な利用を可能にするため、前後の数語も記した文脈付き索引(KWIC)とした。中世文学・国語学のみならず多方面での研究の進展に寄与するであろう。

高橋良雄　白井忠功　監修

中世日記・紀行文学全評釈集成　全７巻

日記文学では新しい読み方、深い鑑賞を大幅に取り入れ、従来の評釈レベルを格段にアップ。紀行文学では学界初の注釈・評釈を加えたものをはじめとして、確実な本文を提供する。

・第一巻『建礼門院右京大夫集』978-4-585-04048-4（2004年12月）　A5判・上製・227頁・10000円　※品切
・第二巻『たまきはる・うたたね・十六夜日記・信生法師集』978-4-585-04049-1（2004年12月）　A5判・上製・333頁・13000円
・第三巻『源家長日記・飛鳥井雅有卿日記・春のみやまぢ』978-4-585-04050-7（2004年12月）　A5判・上製・362頁・13000円　※品切
・第四巻『とはずがたり』978-4-585-04044-6（2000年10月）　A5判・上製・516頁・20000円
・第五巻『中務内侍日記・竹むきが記』978-4-585-05132-9（2004年12月）　A5判・上製・322頁・12000円　※品切
・第六巻『小島のすさみ・鹿苑院殿厳島詣記・白河紀行・住吉詣・筑紫道の記・なぐさめ草・ふぢ河の記・道ゆきぶり』978-4-585-05133-6（2004年12月）　A5判・上製・360頁・13000円
・第七巻『廻国雑記・九州下向記・九州のみちの記・さののわたり・紹巴富士見道記・楠長譜九州下向記・東路のつと・武蔵野紀行・宗長日記』978-4-585-05134-3（2004年12月）　A5判・上製・351頁・13000円

今西祐一郎　上田英代　村上征勝　編　978-4-585-10011-9（1997 年 2 月）

紫式部日記語彙用例総索引〈付録〉付表・紫式部集索引

A5判・上製・566頁・19000円

『紫式部日記』の研究は、『源氏物語』研究にとって欠くことのできない必須の分野である。本書は『紫式部日記』索引としては初めてのKWIC（文脈付き)索引である。底本には、原典に近いとされる黒川本を採用した。

上田英代　村上征勝　今西祐一郎　樺島忠夫　上田裕一　藤田真理　編　978-4-585-10003-4（1996 年 2 月）

源氏物語　語彙用例総索引　付属語篇

A5判・上製・5320頁・128000円

源氏物語の計量分析のために作成した本文データベースを用いて、前後10語程度の文脈つき索引(KWIC)として広く一般の利用に供する。底本は『源氏物語大成』(中央公論社刊)。今後の日本文化研究に不可欠の書。

幼学の会　編　978-4-585-03019-5（1993 年 10 月）

諸本集成仲文章注解

A5判・上製・438頁・14563円　**※在庫僅少**

解題、注解編(本文・校異・書き下し文・注・付載)、影印編、語彙索引からなる。本文は西野本を底本として、諸本との間に校異がある場合は注記を付した。影印は西野本をはじめ、現存する『仲文章』の諸本を影印した。

柳沢良一　編　978-4-585-08001-5（1993 年 9 月）

本朝麗藻総索引

A5判・上製・394頁・9709円

『本朝麗藻簡注』の校本に基づく漢字総索引である。部立・詩題・序・詩・注に出てくるすべての漢字の検索ができるようにした。また検索は、総画数・音読みのいずれからも引けるものとし、旧字体にも配慮した。

吉澤貞人　編著　978-4-585-10008-9（1996 年 2 月）

徒然草古注釈集成

A5判・上製・1190頁・31068円

徒然草注釈の祖と言うべき秦宗巴の『つれづれ草寿命院抄』、林羅山の『埜』、松永貞徳の『なぐさみ草』という研究上必備の古注釈書3種を、利用しやすいよう3段対照に活字翻刻。今後の徒然草研究に多大の便益をもたらす。

前田金五郎　著　978-4-585-03009-6（1992年5月）

好色五人女全注釈　A5判・上製・550頁・11650円　※在庫僅少

近世の尨大な言語資料を博捜した著者が、適切・豊富な用例を駆使して西鶴の全作品を徹底的に注釈。語彙索引も完備して利用の便を図る。今後の西鶴研究に不可欠の金字塔である。

深沢秋男　編　978-4-585-00763-0（1986年2月）

桜山本 春雨物語　A5判・上製・388頁・12000円

桜山本は墨筆と朱筆の合体されたもの。墨筆は文化5年秋成自筆本からの写しと思われ、朱筆は西荘文庫本、漆山本と同系統の本文である。文化5年本のなかで最も優れた本文と判断される桜山本を、墨朱の二色刷で複製。

池田是誰　著／島本昌一　編　978-4-585-00771-5（1985年9月）

初本結　A5判・上製・718頁・18000円　※在庫僅少

寛文2年(1662)刊。巻1から巻7は付合語彙集、巻8は「玉櫛笥」とよばれる俳論書。付合語彙集は付合語を約7400語収録し、利用価値が高い。本書は「初本結」の影印、研究、新編初本結、俳諧付合語索引から構成される。

佐々木信綱　解説　978-4-585-00764-7（1986年6月）

元暦校本　萬葉集　全４冊　B5判・上製・2000頁・80000円

万葉集の古写本は、本西本願寺本を代表とする仙覚系統本、非仙覚系統を代表する元歴校本のふたつに大別される。非仙覚系統のなかで書写年代が最も古く、最多の巻数を誇る元暦校本を影印。

尾形仂　小林祥次郎　編　978-4-585-00773-9（1981年12月）

近世前期歳時記十三種　本文集成並びに総合索引　B5判・上製・810頁・35000円　※在庫僅少

近世前期は季語が定着しようとする時期である。この百余年間の連歌俳諧の作法書のうち、代表的な13冊を選定し、季寄せの部分を抄出して鮮明な影印または厳密な翻刻を本文として、それに基づいて詳細な索引を添える。

太田次男　小林芳規　著　978-4-585-00776-0（1982年2月）

神田本白氏文集の研究　菊倍判・上製・620頁・43000円　※在庫僅少

最善の伝本である神田本を影印。研究編では、和訓、ヲコト点、角筆点をすべて臨模して、墨、朱、緑の三色刷で示した。また、全文を読み下し、訓点研究の諸問題を究明するとともに、新楽府の諸本を網羅した校勘表を備えた。

【近世文学資料類従　参考文献編】

・6『新撰用文章明鑑　萬案紙手形鑑』978-4-585-00495-0（1976年5月）　A5判・上製・358頁・11000円　※在庫僅少
・9『世話用文章　影印並びに解題・索引』978-4-585-00498-1（1976年11月）　A5判・上製・198頁・6000円　※品切
・11『元三大師百籤　観音百籤占決諺解』978-4-585-00500-1（1977年5月）　A5判・上製・348頁・7000円　※品切
・16『諸人重宝記　嫁娶重宝記』978-4-585-00505-6（1979年6月）　B5判・上製・495頁・10000円　※品切

【影印本テキスト】

・『天草版　イソポ物語』978-4-585-00003-7（1998年5月）　A5判・並製・152頁・1500円
・『上宮聖徳法王帝説』978-4-585-00085-3（1997年5月）　A5判・並製・152頁・2000円　※品切
・『倭名類聚鈔　元和三年古活字版二十巻本』978-4-585-00023-5（1996年3月）　A5判・並製・310頁・3500円　※品切
・『元禄版おくのほそ道』978-4-585-01040-1（1980年3月）　A5判変形・並製・174頁・1500円　※在庫僅少
・『徒然草　烏丸本』978-4-585-00038-9（1978年6月）　A5判・並製・370頁・3000円　※品切
・『古活字本　伊曾保物語』978-4-585-00013-6（1976年12月）　A5判・上製・254頁・2400円　※在庫僅少
・『天草版　平家物語』978-4-585-00007-5（1976年9月）　A5判・並製・424頁・2800円　※在庫僅少

【古典資料類従】

・31『義輝本　太平記』978-4-585-00612-1（1981年2月）　A5判・上製・2746頁・68000円
・36『卜部兼永筆本　古事記』978-4-585-00613-8（1981年4月）　A5判・上製・442頁・12000円

【大学古典叢書】

・7『古活字本　伊曾保物語』978-4-585-00732-6（1986年3月）　A5判・上製・176頁・1200円　※品切

【歌舞伎台帳集成】

・7『面影砥水鏡　大和国井出下紐　けいせい都富士　九州苅萱関』978-4-585-00621-3（1985年5月）　菊判・上製・578頁・13000円
・8『諸鞘奥州黒　津国十三渡　男伊達初買曽我　幼稚子敵討』978-4-585-00622-0（1985年7月）菊判・上製・516頁・12000円
・9『傾城天羽衣　傾城真葛原　恋飛脚千束文月　由良千軒蟾兎湊』978-4-585-00623-7（1986年1月）　菊判・上製・642頁・14000円
・10『一休噺　けいせい花街蛙　天竺徳兵衛聞書往来　傾城月待山』978-4-585-00624-4（1986年3月）　菊判・上製・570頁・13000円
・11『傾城里大集　傾城飯綱八文字　三拾石艘始』978-4-585-00625-1（1986年8月）　菊判・上製・594頁・13000円
・12『大坂神事揃　銀閣寺新始』978-4-585-00626-8（1986年12月）　菊判・上製・485頁・12000円　※在庫僅少
・13『仮名草紙国性爺実録　けいせい桟敷嶽』978-4-585-00627-5（1987年4月）菊判・上製・504頁・13000円　※在庫僅少
・14『傾城勝尾寺　霧太郎天狗酒醼』978-4-585-00628-2（1987年8月）　菊判・上製・488頁・13000円
・15『秋葉権現廻船語　傾城鎌倉山　竹篦太郎怪談記』978-4-585-00629-9（1987年12月）菊判・上製・670頁・15000円
・19『傾城比叡山　大和国井手下紐』978-4-585-00633-6（1989年8月）　菊判・上製・442頁・12000円
・20『惟高親王魔術冠　傾城吉岡染』978-4-585-01017-3（1990年6月）　菊判・上製・384頁・12000円　※在庫僅少
・21『けいせい睦玉川　三ケ津神事評判　大坂日記塩長次郎』978-4-585-01018-0（1991年8月）　菊判・上製・542頁・14000円　※在庫僅少
・22『傾城桃山錦　夕涼盆蚊帳　けいせい廓苧環』978-4-585-01019-7（1990年8月）　菊判・上製・556頁・13000円
・23『目出度かしく傾城始　けいせい咬嚼吧恋文』978-4-585-01020-3（1991年1月）　菊判・上製・456頁・12000円　※在庫僅少
・24『東山殿女狩　淀屋橋喧疑　近江源氏先陣館』978-4-585-01021-0（1991年10月）　菊判・上製・548頁・13000円　※在庫僅少
・25『勢相撲番組　桑名屋徳蔵入船物語』978-4-585-01022-7（1991年5月）菊判・上製・434頁・12000円　※在庫僅少
・26『清水清玄行力桜　一休ばなし　三千世界商往来』978-4-585-01023-4（1991年10月）　菊判・上製・596頁・14563円　※在庫僅少
・27『傾城桜御殿　傾城七草島　近江源氏躾講釈』978-4-585-01024-1（1992年1月）　菊判・上製・474頁・13107円
・28『猿若　新発意太鼓　傾城花絵合　日本第一和布苅神事』978-4-585-01025-8（1993年10月）　菊判・上製・438頁・13107円
・29『恋相場箕請入札　七月二八曙』978-4-585-01026-5（1993年2月）　菊判・上製・370頁・12000円　※在庫僅少
・30『松下嘉平治連歌評判　御攝勧進帳　大当百足山』978-4-585-01027-2（1993年11月）　菊判・上製・568頁・17000円
・31『藍桔梗雁金五紋　傾城鐘鳴渡　切附紋踊襟』978-4-585-01031-9（2001年12月）　菊判・上製・524頁・17000円　※在庫僅少
・32『萬恵天目山　北条五代記会説　和訓水滸伝』978-4-585-01032-6（1994年11月）　菊判・上製・638頁・18000円
・33『恋女房染分綱』978-4-585-01033-3（2000年8月）　菊判・上製・530頁・17000円
・34『伊賀越乗掛合羽　伽羅先代萩』978-4-585-01034-0（1997年5月）　菊判・上製・578頁・17000円　※在庫僅少
・35『天満宮菜種御供　鍋祀貞婦競』978-4-585-01035-7（1998年2月）　菊判・上製・548頁・17000円　※在庫僅少
・36『けいせい素襖瓊　国色和曽我　振分髪愛護梅若　金門五山桐』978-4-585-01036-4（1997年9月）　菊判・上製・660頁・17000円
・37『棹歌木津川八景　石井城女名和張』978-4-585-01037-1（1999年6月）菊判・上製・462頁・15000円　※在庫僅少
・38『傾城書外題始　袖簿播州廻』978-4-585-01043-2（2000年4月）　菊判・上製・532頁・17000円
・39『陽気風勝負帷子(高台橋諍勝負附)傾城大内の雛形』978-4-585-01044-9（2000年8月）　菊判・上製・470頁・15000円

・40『女節用衣紋考見　加賀見山廓写本』978-4-585-01045-6（2002年9月）　菊判・上製・582頁・17000円
・41『けいせい天橋立　帰命曲輪文章』978-4-585-01046-3（2003年6月）　菊判・上製・492頁・17000円　※在庫僅少
・42『泰平いろは行烈　神使嫁入小鍛治　日本花赤城塩竈』978-4-585-01047-0（2002年7月）
菊判・上製・454頁・15000円　※在庫僅少
・43『玉櫛笥粧曾我　名附頭恪気伝授　二櫛蓮紋日　競伊勢物語』978-4-585-01048-7（2003年6月）
菊判・上製・430頁・15000円　※在庫僅少
・44『仇名かしく　梅准東百宦　会稽吉慶原』978-4-585-01049-4（2002年8月）
菊判・上製・308頁・13000円　※在庫僅少
・45『契情鸚鵡石　大伴黒主百夜車』978-4-585-01050-0（2003年6月）　菊判・上製・292頁・13000円　※品切

平川祐弘　著　978-4-585-29403-0（2017 年 3 月）　平川祐弘決定版著作集3

夏目漱石　非西洋の苦闘　A5判・上製・400頁・4800円

西洋を学びつつも西洋本位の枠組にとらわれず、自己を生かそうと苦闘したロンドンの漱石。そんな漱石に触発された日本留学の魯迅。師弟関係の刺戟伝播こそ文化の伝播なのである。日英中比較文学の先駆。

平川祐弘　著　978-4-585-29406-1（2017 年 1 月）　平川祐弘決定版著作集6

平和の海と戦いの海　二・二六事件から「人間宣言」まで　A5判・上製・312頁・3800円

信頼すべき日本とは何か。日米戦争の最中、グルー大使は青年将校に殺された重臣斎藤實を I admired, respected, and loved と讃えた。日米双方の当事者の目で見た二・二六事件から「人間宣言」まで、その裏面を明らかする。

平川祐弘　著　978-4-585-29407-8（2017 年 1 月）　平川祐弘決定版著作集7

米国大統領への手紙　市丸利之助中将の生涯／高村光太郎と西洋　A5判・上製・376頁・4200円

硫黄島の日本軍の最後の突撃が終った日、アメリカ軍は日本軍の洞窟陣地にルーズベルト大統領あての遺言状を発見した。海軍航空隊の司令官として硫黄島で玉砕した市丸利之助とはいかなる人か。玉砕した軍人歌人の生涯に迫る。

平川祐弘　著　978-4-585-29405-4（2016 年 11 月）　平川祐弘決定版著作集5

西欧の衝撃と日本　A5判・上製・384頁・4800円

近代西洋の外圧に日本人はいかに苦闘し対応したか。日本史・西洋史の枠を超え「西欧の衝撃と日本」という大問題に迫り、具体的な史実と人間を取り上げて鮮やかに叙述した、碩学の古典的名著。

野田研一　山本洋平　森田系太郎　編著　978-4-585-29128-2（2017 年 4 月）

環境人文学 I　文化のなかの自然　A5判・並製・352頁・3000円

文学、哲学、音楽、社会学など多分野の学問を横断し、これからの人文学が環境をどう考えていくことができるのかを探る。石牟礼道子、伊藤比呂美ら日本を代表するネイチャーライターのインタビュー、鼎談、講演録も所収。

野田研一　山本洋平　森田系太郎　編著　978-4-585-29129-9（2017 年 4 月）

環境人文学 II　他者としての自然　A5判・並製・352頁・3000円

文学から歴史学、人類学、教育学、言語学を横断し、他者をめぐる最新の議論を提示する。「異なる種」である動物の表象、人間外存在の表象から、贈与と負債の感情など、「他者としての自然」と「人間」の関係性を再考する。

大橋毅彦　著　978-4-585-29140-4（2017 年 4 月）

昭和文学の上海体験　A5判・上製・624頁・6000円

多数の民族・言語・文化が重なり合った 1920 年代後半～ 1945 年の上海を、文学はどのように描いてきたのか。作品の舞台へと案内する詳細な上海地図、現地刊行の新聞・雑誌メディアの細目や記事情報も多数掲載。

李先胤　著　978-4-585-29115-2（2016 年 7 月）

21 世紀に安部公房を読む　水の暴力性と流動する世界　A5判・上製・320頁・4200円

『壁』『砂の女』など多くのテクストに繰り返し登場する水の表象から、固定概念をゆるがす「怪物」としての文学を考察。戦後復興とともに創作を続けた作家の思想を、9.11、3.11 を経た世界に読み直す。

金井景子　榊沢健　能地克宜　津久井隆　上田学　広岡祐　著　978-4-585-20049-9（2016 年 6 月）

浅草文芸ハンドブック　A5判・並製・304頁・2800円

数々の低迷と隆盛を経た浅草はどのように描かれてきたのか。浅草を舞台とした小説や映画、演芸、浅草にゆかりのある人物を中心に、明治から現代までの浅草、あるいは東京の文化が形成される軌跡を辿る。

真銅正宏　著　978-4-585-29116-9（2016 年 4 月）

触感の文学史　感じる読書の悦しみかた　四六判・上製・288頁・2800円

谷崎潤一郎、永井荷風、江戸川乱歩から川上弘美、金原ひとみまで、文字によって作者の感覚と読者の記憶がリンクする読書のメカニズムを探り、細部の触感表現に注目することで見えてくる、文学の持つ多彩な魅力を伝える。

中国一九三〇年代文学研究会　編　978-4-585-29113-8（2016 年 3 月）

中国現代散文傑作選　1920－1940　戦争・革命の時代と民衆の姿

四六判・並製・450頁・4200円

1920 ～ 1940 年代中国人作家の散文を集成。魯迅、巴金、周作人、郁達夫…。時代を彩った代表的作家 31 人の作品群を掲載。「革命・時代」「旅・異郷」「故郷・民衆」「家族・生命」の 4 部で動乱の時代を描き出す。

濱田麻矢　薛化元　梅家玲　唐顕芸　編　978-4-585-29112-1（2016 年 1 月）

漂泊の叙事　一九四〇年代東アジアにおける分裂と接触

A5判・上製・520頁・8000円

複数の場を往還する表現者による異郷体験＝漂泊がもたらした、小説・詩・劇・旅行記・映画・流行歌などの様々な叙事。ある場と作家との接触、作品と受容者との接触という観点から、多彩な叙事のあり方を立体的に読み解く。

辻本雄一　監修／河野龍也　編著　978-4-585-29083-4（2015 年 11 月）

佐藤春夫読本

A5判・並製・400頁・3200円

明治から昭和を生きた春夫の生涯、「門弟三千人」ともいわれた交友関係、大逆事件など歴史的事件との関わり、特装本の紹介など、100 枚超のカラー図版とともに、その魅力を伝える。初公開・芥川賞を巡る太宰治書簡も所収。

小林英美　著　978-4-585-29092-6（2015 年 9 月）

ワーズワスとその時代　『リリカル・バラッズ』と読者たち

A5判・上製・352頁・4600円

英国ロマン派を代表する詩人ワーズワスとコウルリッジの共同詩集『リリカル・バラッズ』は、読者が増大する変革期の作品である。読書施設や出版事情等の文化的考証をふまえて、詩人ワーズワスと当時の読者の相互関係を探る。

大野寿子　編　978-4-585-29093-3（2015 年 5 月）

カラー図説　グリムへの扉

A5判・並製・352頁・2400円

グリム兄弟博物館所蔵の貴重資料や古今東西の挿絵など、250 点超のカラー図版を掲載。兄弟の思想や人となり、挿絵の変遷と影響関係、日本における受容史、他民話との比較研究など、メルヒェンの多彩な学びの方法を提示。

菊池有希　著　978-4-585-29088-9（2015 年 3 月）

近代日本におけるバイロン熱

A5判・上製・624頁・12000円

西洋近代の草創期、多大な影響力を揮ったイギリス・ロマン派詩人バイロンの作品を近代日本はいかに受容したのか。文学者・思想家たちの「バイロン熱」を通して、近代日本の精神史を描く。　**第 21 回日本比較文学会賞受賞**

フェアバンクス香織　著　978-4-585-29091-9（2015 年 3 月）

ヘミングウェイの遺作　自伝への希求と〈編纂された〉テクスト

四六判・上製・352頁・3600円

老いと病と衰えに苦しみながらも、ノーベル賞後にもう一花咲かせようとしたヘミングウェイ。晩年の作品群の変更過程をオリジナル原稿の修正痕から辿り、〈彼〉が発信あるいは隠蔽しようとした多層的な自己像を明らかにする。

和田博文　黄翠娥　編　978-4-585-22097-8（2015 年 3 月）

〈異郷〉としての大連・上海・台北

A5判・上製・432頁・4200円

中国大陸を代表する港湾都市である大連と上海、台湾最大の都市・台北に焦点を当て、19 世紀後半～ 20 世紀前半の外地における日本人の都市体験を考察。政治史、経済史からは見えない新しい歴史を探る。

勝又浩　著　978-4-585-29082-7（2015 年 1 月）

私小説千年史　日記文学から近代文学まで

四六判・上製・256頁・2400円

日本語にとって「私小説」とは何か。日本語がつくり上げた日本の文学――日記文学、和歌や俳句、随筆を経て、私小説という表現手法が生まれた道筋、その生い立ちを浮かび上がらせる。　**第 28 回和辻哲郎文化賞受賞**

小谷一明　巴山岳人　結城正美　豊里真弓　喜納育江　編　978-4-585-29080-3（2014 年 11 月）

文学から環境を考える エコクリティシズムガイドブック

四六判・並製・384頁・2800円

人間と自然の営みとしての文学を再考し、現代の自然・環境の問題を考える。人間と自然のありかたを探り、環境と人間の関係を多角的にとらえるための、新しい学問〈エコクリティシズム〉の可能性を提示する。

城山拓也　著　978-4-585-29079-7（2014 年 10 月）

中国モダニズム文学の世界　一九二〇、三〇年代上海のリアリティ

A5判・上製・432頁・6500円

新しい表現の形を模索した作家たちは、上海にどんなリアリティを見たのか、どんな世界観・歴史観を抱いていたのか。小説、詩、エッセイや漫画の表現を読み解き、また出版事情を考察することで、既存の中国近代文学史をラディカルに組み替える。

真銅正宏　著　978-4-585-29077-3（2014 年 9 月）

偶然の日本文学　小説の面白さの復権

四六判・上製・256頁・2800円

偶然を、作家はどのように創り上げ、読者はどのように受け取るのか。夏目漱石、森鷗外、横光利一、谷崎潤一郎、江戸川乱歩などの作品を素材に、仕組まれた偶然を考察し、小説の面白さを再発見する！

藤澤全　著　978-4-585-29074-2（2014 年 9 月）

井上靖の小説世界　ストーリーテラーの原風景

四六判・上製・320頁・2800円

『しろばんば』、『わが母の記』、芥川賞受賞作『闘牛』、山岳社会小説『氷壁』、移民文学『わだつみ』など、井上靖の膨大な小説作品群から 12 篇を取り上げ、構想・内容・特色・素材・創作術・文芸性などを広角的に探求する。

秋山駿　勝又浩　監修／私小説研究会　編　978-4-585-20026-0（2014 年 3 月）

私小説ハンドブック

A5判・並製・320頁・2800円

109 人の作家を取り上げる他、研究者・実作者へのインタビュー、キーワードや海外の状況など、「私を探究する文学」の全貌を提示。「私小説」の 100 年の歴史を繙き、その豊穣さとこれからの可能性を示す、初めての私小説ガイドブック。

広島市文化協会文芸部会　編　978-4-585-29058-2（2013 年 10 月）

占領期の出版メディアと検閲　戦後広島の文芸活動

四六判・並製・280頁・1800円

戦後 68 年、かつて占領下・GHQ の検閲下にあった広島の文芸の様相は、全て明らかになったのだろうか。いまだに覆われた部分の少なくない当時の文芸活動を、散文・詩歌など分野ごとに分析し、文芸復興の歩みを辿る。

清田文武　編　978-4-585-29053-7（2013 年 4 月）

森鷗外『舞姫』を読む

A5判・上製・384頁・6000円

日本の近代化とのかかわり、西欧文化からの衝撃、芸術における形式の破壊と創造など幅広い問題を含む『舞姫』。執筆の動機、事実と創作の境界、文学史的位置付け、現代語訳の意義など、多角的な読みのための新視点を紹介。

鈴木貞美　李征　編　978-4-585-29049-0（2013 年 1 月）

上海一〇〇年　日中文化交流の場所（トポス）

四六判・上製・296頁・4200円

戦前・戦後にまたがり日中文化交流の場であった上海。芥川龍之介、横光利一、田村俊子、戦後の上海で生活をした堀田善衛ら作家たちの姿や、雑誌や翻訳事情などを発掘。日中双方の研究者によって、国際都市の実像に迫る。

細谷博　著　978-4-585-29051-3（2013 年 1 月）

所与と自由　近現代文学の名作を読む

A5判・上製・512頁・6000円

森鷗外の〈もどかしさ〉、夏目漱石の〈おかしみ〉、小林秀雄の〈文体〉、太宰治の〈語り〉、三島由紀夫の〈はじまり〉、村上春樹の〈神秘〉…。所与としての本文を前に、読むことの自由を模索し、読者と〈読み〉の関係に迫る。

梅澤亜由美　著　978-4-585-29048-3（2012 年 12 月）

私小説の技法　「私」語りの百年史

A5判・上製・352頁・3600円　**※在庫僅少**

田山花袋『蒲団』から小島信夫『各務原　名古屋　国立』まで、私小説の 100 年を辿り、成立と変遷、今後の可能性を提示する。私小説を「私探究」の文学として、従来とは異なる観点から考察。新しい「私小説」のためのガイドブック。

田村景子　著　978-4-585-29046-9（2012 年 11 月）

三島由紀夫と能楽　『近代能楽集』、または堕地獄者のパラダイス

四六判・上製・300頁・2800円

生きづらい現代に解き放たれる、「生の否定」のドラマ。戦後の希望（虚妄）に対峙した三島は、能楽の「生の否定」を華麗に脱構築し、『近代能楽集』を書く。ポスト・セカイ系世代の新鋭による初の三島＝能楽論。

勝呂奏　著　978-4-585-29040-7（2012 年 11 月）

評伝　小川国夫　生きられる“文士”　A5判・上製・420頁・6000円

私家版として刊行した最初の作品集『アポロンの島』が島尾敏雄に賞揚され、作家として歩み始めた小川国夫。文体の理想を追求し、自らの信じる言葉の力によって新たな芸術の創造を志した「文士」の生涯を描く。

藤野博　著　978-4-585-29033-9（2012 年 6 月）

三島由紀夫と神格天皇　四六判・上製・296頁・3500円

「すめろぎはなどて人となりたまいしか」。天皇は日本人と日本の伝統の象徴であるがゆえに超越的絶対神でなければならなかった。巨大な問題提起者・思想的刺激者である三島の天皇観を緻密に分析し、「死の真相」を解き明かす。

黒古一夫　編　978-4-585-29023-0（2011 年 12 月）

ヒロシマ・ナガサキからフクシマへ　「核」時代を考える　四六判・並製・288頁・2000円

今ここで、「核」についてどのような考えが成り立つのか。権力を持たず、直接「核」に関わることのできない私たちが、各自の想像力と感性を総動員して「核」について考え、書くことは大きな意味があるのではないか。

志村有弘　編　978-4-585-29018-6（2011 年 7 月）

大震災の記録と文学　四六判・並製・256頁・1600円

それは、いつ誰がどのように描き、記録し、後世に伝えようとしたのか。古典から近代作家まで、文学で大震災を追体験する。天災忘るべからず。

小林俊子　著　978-4-585-29016-2（2011 年 7 月）

宮沢賢治　絶唱　かなしみとさびしさ　A5判・上製・376頁・4800円

数多くある宮沢賢治の評論の中で、全作品に登場する「かなしみ」と「さびしさ」という表現に着目、賢治の思想形成の過程を考察。全短歌・詩における「かなしみ」と「さびしさ」という言葉の出現率をまとめた表を付ける。

藤尾健剛　著　978-4-585-29013-1（2011 年 3 月）

漱石の近代日本　A5判・上製・408頁・6500円

漱石は近代の日本をいかに認識し、表現したか――『吾輩は猫である』から『明暗』までの主要作品を丹念に読み解くことによって、漱石が社会学や朱子学からも大きな影響を受けていたことを明らかにする。

庄田秀志　著　978-4-585-29009-4（2011 年 2 月）

戦後派作家たちの病跡　四六判・上製・416頁・3800円

精神分析学、現象学、脳科学といった思考法により補助線を引くことで、作品という運動体の軌跡が浮き彫りになる。井上光晴、島尾敏雄、三島由紀夫、安部公房…。戦後日本の代表的作家たちの〈病める魂〉にメスを入れる。

島尾伸三　志村有弘　編　978-4-585-29003-2（2010 年 5 月）

検証　島尾敏雄の世界　四六判・上製・320頁・3500円

その文学と人生についての論考・エッセイを多数おさめ、多角的な視座から作家の知られざる人間像を浮き彫りにする。特攻隊、妻の病、奄美での生活、『死の棘』…。その時、島尾は…？

小林孝吉　著　978-4-585-05514-3（2010 年 4 月）　新鋭作家論叢書

島田雅彦　〈恋物語〉の誕生　四六判・上製・256頁・2200円

未来にあるものは、自由、死、そして恋。全共闘の時代から高度消費社会を経て 9・11 まで、常に世界と斬り結び、〈時代表象の文学〉として現代とコンタクトし続ける作家を主要作品の解説とともに徹底解明。

綾目広治　著　978-4-585-05513-6（2009 年 11 月）　新鋭作家論叢書

小川洋子　見えない世界を見つめて　四六判・上製・256頁・2200円

〈物語の力〉を信じつづける作家は閉塞した現代小説を乗り越えられるか――『博士の愛した数式』『ホテル・アイリス』『ミーナの行進』などで知られる人気作家の作品世界をわかりやすく解明し、その創作の秘密に迫る。

永岡杜人　著　978-4-585-05512-9（2009 年 10 月）　新鋭作家論叢書

柳美里　〈柳美里〉という物語　四六判・上製・256頁・2200円

「わたしの記憶は物語であり、わたしは「物語の住人」である」孤高の道を歩む柳美里を徹底的に分析・評論。読むことは考えることであり、創造することである。次世代の文芸評論に先鞭をつける「はじめての評論」シリーズ。

黒古一夫　著　978-4-585-05511-2（2009 年 7 月）　新鋭作家論叢書

村上龍　「危機」に抗する想像力　四六判・上製・304頁・2200円

この国の「危機」を描き続けた村上龍は、いつから「希望」を口にするようになったのか――　現代日本を代表する作家の全貌が、いま明らかに。

黒古一夫　著　978-4-585-05505-1（2010 年 4 月）

黒古一夫書評集　戦争・辺境・文学・人間　大江健三郎から村上春樹まで　四六判・上製・384頁・2200円

現代における小説と社会の関わりを捉える。現代文学の旗手、小田実・大江健三郎・立松和平・村上春樹を中心に、作品と作家論の関係、戦争および辺境と文学の関わりなど、社会と文学が斬り結ぶ現場を捉えた書評集成。

岩阪恵子　宇佐美斉　編　978-4-585-03185-7（2008 年 6 月）

清岡卓行論集成　A5判・上製・2冊計1144頁・10000円

清岡卓行に関する諸氏の評論・エッセイを集成。付録として「清岡卓行書誌」「同年譜」を収載。新時代の作家研究に先鞭をつける、いままでにないかたちの評論集成。全 2 冊。

森岡ゆかり　著　978-4-585-10437-7（2008 年 2 月）

近代漢詩のアジアとの邂逅　A5判・上製・416頁・11800円

鈴木虎雄と久保天随を中心に、近代日本漢詩人の漢詩詠やアジア体験を通して、日本とアジアの近代を読み解く。また、「帝国意識」「皇国史観」などにも踏み込むことにより、相互の歴史認識の溝を埋める歴史的資料を提示。

黒古一夫　著　978-4-585-05382-8（2007 年 10 月）

村上春樹　「喪失」の物語から「転換」の物語へ　四六判・上製・304頁・2400円

変貌する村上文学に正面から対峙する本格的評論、待望の刊行。処女作から最新作まで、長・短編、対談、エッセイ、翻訳書など、主要作品の全てを読み解く。実地調査に基づく貴重な論文「中国における村上春樹の受容」収載。

磯貝治良　黒古一夫　編　978-4-585-01110-1（2006 年 5 月）

〈在日〉文学全集　全 18 巻　A5判・上製・各巻約400頁・90000円

現代文学に屹立する〈在日〉文学の誇り高き達成。入手困難な作品も含め、主要〈在日〉作家 50 名以上の重要かつ貴重な作品を国内ではじめて集成。長・短編から詩歌まで、多様化する〈在日文学〉の歴史と現在がここある。

長野甞一　著　978-4-585-07083-2（2004 年 1 月）　学術選書

谷崎潤一郎と古典　明治・大正篇　A5判・上製・320頁・3800円　※在庫僅少

「誕生」「信西」「法成寺物語」「鶯姫」を取り上げ、成立の背景、古典との比較を詳細に論述。谷崎と古典との比較研究、最大の名著。

長野甞一　著　978-4-585-07081-8（2004 年 1 月）　学術選書

芥川龍之介と古典　A5判・上製・400頁・4300円　※在庫僅少

『今昔物語集』や『宇治拾遺物語』など古典に取材した、芥川の作品 17 篇を詳細に論じた不朽の名作。芥川と古典との比較研究の金字塔。

仲程昌徳　知念真理　編　978-4-585-10076-8（2001 年 2 月）

沖縄近代短歌の基礎的研究　A5判・上製・832頁・29000円

本書は、現存する明治・大正期の沖縄の新聞（『琉球新報』・『沖縄毎日新聞』）に掲載された短歌について、その基礎的な研究の一環として、資料の整備とそれらをめぐって若干の考察を行ったものである。

仲程昌徳　前城淳子　編　978-4-585-10038-6（1999 年 1 月）

近代琉歌の基礎的研究　B5判・上製・960頁・31000円

全容を知ることが困難であった琉歌の基礎資料・重要資料を整理し、研究の土台を築く。未開拓の分野である近代琉歌の研究の発展を促す論集。

金子未佳　著　978-4-585-29600-3（2013 年 9 月）　日本の作家 100 人

野口雨情　人と文学　四六判・上製・336頁・2400円

「赤い靴」「七つの子」「兎のダンス」「黄金虫」…。今なお歌い継がれる童謡の作者であり、坪内逍遥、石川啄木らとも交流のあった野口雨情の生涯を探る。近年の雨情研究で明らかになった年譜的事実を踏まえながら、新資料も紹介。

平野芳信　著　978-4-585-05200-5（2011 年 3 月）　日本の作家 100 人

村上春樹　人と文学　四六判・上製・320頁・2000円

自ら語ることの少ない生い立ちのこと、学生結婚、二度の芥川賞落選、故郷離脱（イグザイル）、原稿流出事件、そして父との関係まで。デビュー作から大ベストセラー『ノルウェイの森』を経て、最新作『1Q84』まで詳解。

針原孝之　著　978-4-585-05199-2（2011 年 2 月）　日本の作家 100 人

大伴家持　人と文学　四六判・上製・304頁・2000円

現存最古の歌集「万葉集」に 473 首が収められる大伴家持。その歌人的生涯を越中時代以前・越中時代・越中時代以後の三期に分け、作家の生涯と作品の魅力を読み解く。更には当時の政治・社会・文化を明らかにする。

野口裕子　著　978-4-585-05198-5（2010 年 10 月）　日本の作家 100 人

円地文子　人と文学　四六判・上製・280頁・2000円

戦中、戦後の不遇期を乗り越え、戦後を代表する女性作家となった円地文子の闘いを描く。『源氏物語』の現代語訳を作家活動の到達点とし、残された作品と資料から彼女の全体像を明らかにする。巻末には略年譜も所収。

渡邊澄子　スリアーノ・マヌエラ　著　978-4-585-05197-8（2009 年 5 月）　日本の作家 100 人

林京子　人と文学　四六判・上製・304頁・2000円

被爆という真に特異な経験を普遍にまで昇華する唯一無二の文学。その文学を論じるためには、作家の生涯と思想を知ることが不可欠である。林文学の価値を世界的視野で論じ、平和と人間性回復を希求する林京子論の決定版。

三木サニア　著　978-4-585-05196-1（2009 年 5 月）　日本の作家 100 人

辻邦生　人と文学　四六判・上製・256頁・2000円

『廻廊にて』『安土往還記』『背教者ユリアヌス』『西行花伝』など、西洋文学の深い造詣に裏打ちされた数々の名作を残した辻邦生。その波乱に富んだ生涯を知り、代表的な作品を解説する。気鋭の評論家による評伝の決定版。

五井信　著　978-4-585-05195-4（2008 年 10 月）　日本の作家 100 人

田山花袋　人と文学　四六判・上製・200頁・2000円

花袋＝『蒲団』＝自然主義という従来の定式では捉えきれない、「面白い」作家、田山花袋のすべて。「日露戦争」「大逆事件」「関東大震災」といった史上事件と関連させ、また、明治期の日本文学史の流れから作家像を描く。

戸松泉　著　978-4-585-05194-7（2008 年 2 月）　日本の作家 100 人

樋口一葉　人と文学　四六判・上製・226頁・2000円

わが国最初の女性職業作家であり、いまや誰もが知る顔でもある樋口一葉の評伝決定版。先人の調べ上げた年譜的事実を徹底して追求しながら、その生涯を再構築し、「書く」ことに異常なまでの情熱を傾けた作家の実像に迫る。

小林和子　著　978-4-585-05193-0（2007 年 11 月）　日本の作家 100 人

菊池寛　人と文学　四六判・上製・240頁・2000円

文藝春秋社創始者であり、『恩讐の彼方に』『藤十郎の恋』『真珠夫人』などの作家としても知られる日本文学史上の巨人、菊池寛。多彩なエピソードに満ちたその生涯と作品を丹念に読み込み、研究入門に最適な一冊とした。

岸睦子　著　978-4-585-05191-6（2007 年 10 月）　日本の作家 100 人

幸田文　人と文学　四六判・上製・284頁・2000円

女流作家、幸田文の決定的評伝。父露伴を支えながら娘青木玉を育て、「文壇の名家」幸田家をはぐくんだ幸田文。その随筆から小説までを詳細に検証し、女性であり娘、妻、母であり作家であった幸田文の生涯と文学に迫る。

高橋広満　著　978-4-585-05192-3（2007年9月）　日本の作家100人

吉行淳之介　人と文学　四六判・上製・248頁・2000円

死後10年以上たった今、吉行淳之介は再評価されつつある。透徹した文章で「性」を描き、「ダンディ」「美しい」と言われ、多くの交友関係と逸話をもつ洒脱な作家の人物と文学をあらためて辿りなおす。

眞有澄香　著　978-4-585-05189-3（2007年8月）　日本の作家100人

泉鏡花　人と文学　四六判・上製・208頁・2000円

文学のみならず、民俗学や文化人類学、演劇や絵画、社会学などさまざまな学問領域からのアプローチを受ける鏡花文学を教育学の側面から考究した「教科書からみた鏡花批評史」「教材化された鏡花作品」を中心とした。

中田雅敏　著　978-4-585-05188-6（2007年7月）　日本の作家100人

高浜虚子　人と文学　四六判・上製・264頁・2000円

反近代の精神をもって俳句文芸を死守した日本近代文学の巨人、高浜虚子の生涯をどこまでも丹念に描いた評伝の決定版。「俳句作品案内」「年譜」「主要参考文献」を付し、虚子を理解するために最もわかりやすい構成とした。

伊東玉美　著　978-4-585-05190-9（2007年7月）　日本の作家100人

小野小町　人と文学　四六判・上製・208頁・2000円

六歌仙・三十六歌仙のひとりとして日本文学史上に名を残しながら、恋多き伝説の美女として能や浄瑠璃などの題材にもなった小野小町。「時代」「歌」「位置」「物語」「旅」という五つの視点から全体像を浮き彫りにする。

田村嘉勝　著　978-4-585-05187-9（2007年6月）　日本の作家100人

井上靖　人と文学　四六判・上製・256頁・2000円

昭和を代表する作家、井上靖の人物と文学を多方面から考究した本格的評伝。その生い立ちから晩年までを丹念に調べあげ、代表作の評論とともにおくる。

渡邊澄子　著　978-4-585-05186-2（2007年2月）　日本の作家100人

野上弥生子　人と文学　四六判・上製・228頁・2000円

百歳の長寿を、その死の二日前まで現役作家として在り続け、遺作となった長編の最終章を練りに練っていて倒れた野上弥生子。その波乱に富んだ長い生涯を、代表的な文学作品との関わりを中心として描く、決定的評伝。

武田早苗　著　978-4-585-05185-5（2006年7月）　日本の作家100人

和泉式部　人と文学　四六判・上製・232頁・2000円

「第一章　雅致女から和泉式部へ」「第二章　和泉式部と二人の親王」「第三章　出仕、再婚と小式部内侍の死」「第四章　和泉式部と藤原保昌」。系図、作品案内、関係略年譜、主要参考文献目録を付した、入門に最適の一冊。

山田篤朗　著　978-4-585-05183-1（2005年11月）　日本の作家100人

山田美妙　人と文学　四六判・上製・256頁・2000円

尾崎紅葉らと硯友社を結成、言文一致体の先駆者となった人気作家・山田美妙。寂しい後半生を送ったといわれていたが、じつは、家族を愛し、歴史小説に新境地を開いた幸福の時代であったことを、曾孫にあたる著者が活写。

岡野裕行　著　978-4-585-05182-4（2005年10月）　日本の作家100人

三浦綾子　人と文学　四六判・上製・248頁・2000円

自らの作品が読者を「聖書」へと導くための伝道の手段となることが己の役割であるとの思いを、一貫して持ち続けてきた稀有な作家。その小説世界の根底に流れているキリスト教への志向を、生い立ち、作品から迫る。

下西善三郎　著　978-4-585-05180-0（2005年5月）　日本の作家100人

兼好　人と文学　四六判・上製・256頁・2000円

兼好の足跡をたどれば、〈隠者〉の風貌よりはむしろ、世塵になずむ〈市井の人〉の姿態がつよく押し出されるかもしれない。兼好もまた、「希望なき者の希望」を生きるわれらの隣人、〈我らが同時代人〉であるのではないか？

小倉真理子　著　978-4-585-05181-7（2005年4月）　日本の作家100人

斎藤茂吉　人と文学　四六判・上製・216頁・1800円

こんなにも孤独でひたむきな人生があっただろうか。艱難辛苦の人生を乗り越えながら、茂吉の心の中に生き続ける孤独と純心が歌となって結晶される美しさを私たちは忘れることができない。

細谷博　著　978-4-585-05178-7（2005年3月）　日本の作家100人

小林秀雄　人と文学　四六判・上製・248頁・1800円

小林秀雄の批評とはなにか。若き日の自意識との格闘から、様々な交友と別離を経て、多くの言葉と美との出会いによって獲得された批評精神の内奥をさぐる。

野乃宮紀子　著　978-4-585-05179-4（2005年3月）　日本の作家100人

芹沢光治良　人と文学　四六判・上製・256頁・2000円　**※在庫僅少**

日本はもとより海外で高名な作家芹沢光治良は、21世紀にはさらに世界的作家としての名声を博すであろう。その芹沢光治良の人と作品の唯一第一の解説書である。独自の価値観、世界観、宗教観を浮かび上がらせる。

竹内清己　著　978-4-585-05175-6（2004年12月）　日本の作家100人

堀辰雄　人と文学　四六判・上製・224頁・1800円

東京下町、軽井沢、信濃・大和の旅人として、モダニズムの先端から鎮魂・回帰を生き、世紀を超えて静かに燃える堀辰雄文学。「いまこそ、我々の生は、われわれの運命より以上であることが、証明されなければならない」

矢羽勝幸　著　978-4-585-05173-2（2004年9月）　日本の作家100人

小林一茶　人と文学　四六判・上製・256頁・2000円

朗笑性ある著作や作品を残し、江戸時代を代表する詩人として高く評価される一茶。しかし、その生涯は実弟との遺産相続争い、愛児の相次ぐ死亡など、晩年まで家庭的には不幸に見舞われ続けたものであった。

竹内栄美子　著　978-4-585-05174-9（2004年9月）　日本の作家100人

中野重治　人と文学　四六判・上製・224頁・1800円

マルクス主義文学運動を推進するも、権力の弾圧により転向した中野重治。しかしそれは放棄ではなく、生きて書き続けることの選択であった。国家体制の欺瞞に対して、根源的な鋭い批判をつきつけ続けた、その生涯を追う。

萩野敦子　著　978-4-585-05171-8（2004年5月）　日本の作家100人

清少納言　人と文学　四六判・上製・224頁・1800円

明朗・知的な才女としてあまりにも有名でありながらその生涯は謎の多い清少納言。古典文学初心者にも易しく楽しい現代語に訳した『枕草子』を通して、彼女の魅力に迫る。

黒古一夫　著　978-4-585-05172-5（2004年5月）　日本の作家100人

野間宏　人と文学　四六判・上製・240頁・2000円

「全体小説」の可能性にこだわり続けた方法的な作家《戦後派》として半世紀近くの旺盛な作家活動を展開した野間宏を、「肉体・性欲」の問題と「エゴイズム」との関係、あるいは文学的閲歴などをもとにその全体像を描き出す。

稲垣安伸　著　978-4-585-05170-1（2004年1月）　日本の作家100人

松尾芭蕉　人と文学　四六判・上製・224頁・1800円

緻密な調査に裏打ちされた「評伝」「作品」「門人」の三部から構成される本文に加え、系図、年譜、参考文献一覧など資料も充実させた。大阪の地で51歳の生涯を終えた俳聖芭蕉の隠れた一面を、本書は明快に発信する。

山口政幸　著　978-4-585-05169-5（2004年1月）　日本の作家100人

谷崎潤一郎　人と文学　四六判・上製・240頁・2000円

谷崎は臨終が迫ったときに、「僕は小説を書かなくてはならない」と言い残している。五十余年に及ぶ彼の尽きざる創作への執念とエネルギーを伺わせる言葉は、その人生のどのような推移のなかから、生み出されたのか。

松本武夫　著　978-4-585-05166-4（2003 年 8 月）　日本の作家 100 人

井伏鱒二　人と文学　四六判・上製・224頁・1800円

昭和というブレの大きかった時代を、庶民の日常生活という時代を超えた揺るぎないテーマのなかに溶け込ませつつ、長い生涯にわたって独自の文学を築き上げ続けた井伏鱒二。その創作への情熱と作品の秘密。

半田公平　著　978-4-585-05164-0（2003 年 8 月）　日本の作家 100 人

寂蓮　人と文学　四六判・上製・240頁・2000円

寂蓮は出家前の定長といった官人時代の活躍、旅の歌人として知られる西行と同様に各所に旅をしている。その経験を踏まえた和歌、書跡の面での評価等、その生涯の作品を現代語訳を付し、平明に解説した。

後藤幸良　著　978-4-585-05168-8（2003 年 8 月）　日本の作家 100 人

紫式部　人と文学　四六判・上製・240頁・2000円

父為時の栄光と挫折をつぶさに見つつ成長した紫式部は、鋭敏に日本・中国の文学を吸収し、平安王朝の男女関係に思いをめぐらす。その文学世界は、様々な喪失体験から立ち上がり、虚構に転移する。

海老井英次　著　978-4-585-05161-9（2003 年 8 月）　日本の作家 100 人

芥川龍之介　人と文学　四六判・上製・224頁・1800円　**※在庫僅少**

芥川龍之介という〈天才〉作家は、もとよりその天賦の才能の結実したものではあるが、それとともに大正文壇という特殊な状況が造り出したものでもある。芥川龍之介という作家の形成の実態に迫る。

岩崎文人　著　978-4-585-05162-6（2003 年 8 月）　日本の作家 100 人

原民喜　人と文学　四六判・上製・224頁・1800円

原民喜が遭遇した 8 月 6 日はどのように描かれ、その後の文学をどう変えたのか。本書は、評伝を基軸として、妻への鎮魂の歌、原爆の前後を描いた『夏の花』等に代表される原民喜文学の相貌を明らかにする。

石黒吉次郎　著　978-4-585-05165-7（2003 年 8 月）　日本の作家 100 人

世阿弥　人と文学　四六判・上製・224頁・1800円

従来の資料や研究成果を十分に活用しながら、新たに独自に世阿弥を本質論的に、そして多角的に捉えようと試みるものである。さらには世阿弥論を通して、彼の生きた室町時代前期の文化状況の把握をも目指している。

石内徹　著　978-4-585-05163-3（2003 年 8 月）　日本の作家 100 人

折口信夫　人と文学　四六判・上製・256頁・2000円

折口の作品の多くは、同性愛の恋人への秘した思いを伝えるラブレターだった。いままで見落とされていた同性愛の作品を飛び石のように配置して、折口の生涯とその文学の内実の追尋を試みた本邦初の評伝である。

松井優子　著　978-4-585-07167-9（2007 年 11 月）　世界の作家

スコット　人と文学　四六判・上製・304頁・2800円

『アイヴァンホー』『湖上の美人』などで知られるスコットランドの国民的詩人・作家、ウォルター・スコットを読み解く決定的評伝。創作だけにとどまらない近代的作家イメージの源泉となった多角的人間像に迫る。

倉田雅美　著　978-4-585-07168-6（2007 年 11 月）　世界の作家

ロレンス　人と文学　四六判・上製・224頁・2500円

『チャタレイ夫人の恋人』で知られるロレンスには、性の作家というイメージがつきまとい、文明批評家、詩人としての側面はあまり知られていない。本書では彼の人物像に焦点をあて、その文学の本質をあらためて問い直した。

島村法夫　著　978-4-585-07164-8（2005 年 10 月）　世界の作家

ヘミングウェイ　人と文学　四六判・上製・240頁・2400円　**※在庫僅少**

原風景ともいうべき「死」を媒介にした内的世界を強烈に意識しつつ、スペインの内戦を挟み、二つの大戦に魅せられて激動の時代を生き抜いた作家の特異な精神の軌跡を捉える。

有泉学宙　著　978-4-585-07161-7（2005 年 9 月）　世界の作家

アーサー・ミラー　人と文学　四六判・上製・216頁・2300円

人間の社会的責任を問い、現代人の運命を描ききった劇作家アーサー・ミラー。誠実な人柄とリベラルな思想をもって現代の不正を告発する姿勢はまさに「時代の良心」と言われるにふさわしい。

富田光明　著　978-4-585-07166-2（2005 年 8 月）　世界の作家

キーツ　人と文学　四六判・上製・192頁・2200円

スペイン広場（ローマ）の片隅で、吐血しながら恋人ブローン嬢との永遠の愛を願いつつ、彗星のごとく 25 歳の若さでこの世を去った英国のロマン派詩人ジョン・キーツ。その短くも輝く生涯を綴った書。

姜英淑　著　978-4-585-28031-6（2017 年 3 月）

韓国語慶尚道諸方言のアクセント研究　A5判・上製・256頁・6000円

アクセント核と語声調という、二つの要素が組み合わさって見せる多様なアクセント体系の様相を方言ごとに解明し、慶尚道方言全体を見渡す新解釈を提示。筆者の長年にわたる現地調査に基づく画期的な記述研究。

若井勲夫　著　978-4-585-28027-9（2017 年 2 月）

唱歌・童歌・寮歌　近代日本の国語研究　A5判・上製・528頁・10000円

唱歌、童歌（童謡・わらべうた）や寮歌を中心にし、時に応じて一般の歌謡も含めて、国語学国文学研究の立場から言語と言語表現の諸相を究めた。合わせて言語の芸術として、言葉との関連に基づいて考察する。

中里理子　著　978-4-585-28030-9（2017 年 2 月）

オノマトペの語義変化研究　A5判・上製・272頁・7000円

和語と漢語が深く関わり合った明治期、言文一致体の発展が日本語そのものを変化させていった。その過程は、オノマトペにも影響を与えている。明治・大正の小説作品に見られる用例を丹念に分析し、日本語意味変化の源を探る。

藤本灯　田中草大　北﨑勇帆　編　978-4-585-28032-3（2017 年 2 月）

山田孝雄著『日本文体の変遷』本文と解説　A5判・上製・384頁・4500円

文献時代の初めから明治時代に至る諸資料を博捜・引用し、時代別・文体別に詳述。日本文化・社会の根幹をなす文章・文体の展開を歴史的に位置づける意欲作。著者の学問の現代的意義を示す充実の解説も収載。

張海燕　著　978-4-585-29138-1（2017 年 2 月）

『古今奇談 英草紙』と白話語彙　A5判・上製・360頁・10000円

翻案小説集『古今奇談　英草紙』に関し、翻訳語であり新たな日本語語彙となって表現された小説中の白話をその構造と性質とを総合的に深く分析し、その本質に迫ろうとした最新の試み。日本語史・中国語史の双方に資する研究。

石塚晴通　監修／高田智和　馬場基　横山詔一　編　978-4-585-28029-3（2016 年 11 月）

漢字字体史研究　二　字体と漢字情報　A5判・上製・440頁・8000円

有史以来、人間の生活とともに文字はあった。日本語学・文献学・歴史学・考古学・仏教学・心理学・情報学・日本語教育学等、諸分野を横断した字体と漢字情報に関する最先端の議論から、これからの文字研究を考える。

木下鉄矢　著／池田秀三　序／川原秀城　後記　978-4-585-21035-1（2016 年 5 月）

清代学術と言語学　古音学の思想と系譜　A5判・上製・280頁・7000円

古典を実証的に解明するためには、記された文字とそれが示す言葉との関係性を明らかにせねばならない。古代における音韻体系の把握から経書テクストの読みの刷新を目指した、戴震らによる「古音学」の歴史と方法を論じる。

藤本灯　著　978-4-585-28023-1（2016 年 3 月）

『色葉字類抄』の研究　A5判・上製・816頁・15000円

古人の言語社会思想空間をあらわす鏡、古辞書。本書では、後世に多大な影響を与えた、平安時代後期のイロハ引き国語辞書『色葉字類抄』を対象とし、徹底的に収録語彙を調査、同時代の諸文献を渉猟し、対応関係を検討する。

西原一幸　著　978-4-585-28017-0（2015 年 4 月）

字様の研究　唐代楷書字体規範の成立と展開　A5判・上製・496頁・9800円

「字様」とは字形、字音などの類似によって錯誤に至る可能性のある楷書を広く弁別するために撰述された典籍である。隋・唐代における文字への意識の体系を、実証的研究により明らかにしていく刺激的な一冊。

高村めぐみ　著　978-4-585-28016-3（2015 年 3 月）

日本語の談話におけるポーズの研究　A5判・上製・208頁・6800円

聞きやすい日本語を話すには、どこでポーズ（間）を入れるかが重要である。しかし、これまで言語学、音声学の分野では、談話のポーズに注目した研究は少ない。ポーズに焦点をあて、談話ごとに異なる「ポーズの規範」を提示。

藤本幸夫　編　978-4-585-28015-6（2014 年 10 月）

日韓漢文訓読研究　A5判・上製・584頁・10000円

朝鮮半島における漢文訓読のあり方やその日本への伝播、漢字・漢文受容により各国の言語文化が受けた言語的・思想的影響について、日韓の最先端の研究者を集め論究、東アジアにおける漢字・漢文理解の方法と思想を探る。

湯沢質幸　著　978-4-585-28012-5（2014 年 3 月）

近世儒学韻学と唐音　訓読の中の唐音直読の軌跡　A5判・上製・440頁・9800円

儒学が幕府の学問となった近世にスポットを当て、近世と当時の中国音＝「唐音」との歴史的な関係を把握する。日本独特の漢文の読み方＝「訓読」を背景として、儒学がどのように「唐音」を取り扱い消化していったのかを追究する。

小林賢次　小林千草　編　978-4-585-28011-8（2014 年 3 月）

日本語史の新視点と現代日本語　A5判・上製・640頁・13000円

古代日本語から近代日本語への史的展開、近・現代日本語の形成、現代日本語文法の機能と表現、そして現代日本語の動態分析と対照研究という四つの視角より、日本語をめぐる諸問題を立体的かつ総合的に捉え、日本語学の新たな地平を示す。

舩城俊太郎　著　978-4-585-28010-1（2013 年 11 月）

かかりむすび考　A5判・上製・344頁・9800円

〈かかりむすび〉について、多面的に考察し、従来の説を再検討する。「第一部　本居宣長の〈かかりむすび〉研究とその関係資料」「第二部　宣長の〈かかりむすび〉説の受容と誤解」「第三部　〈かかりむすび〉の再生」の三部構成。

宇都木昭　著　978-4-585-28009-5（2013 年 3 月）

朝鮮語ソウル方言の韻律構造とイントネーション　A5判・上製・232頁・6800円

無アクセント言語の韻律に対する実験とモデル化。「無アクセント」である朝鮮語（韓国語）ソウル方言の韻律に対し、文レベルのイントネーションから接近。音響分析の実験結果にもとづき韻律パターンの理論的モデルを検討。

石塚晴通　編　978-4-585-28008-8（2012 年 10 月）

漢字字体史研究　A5判・上製・416頁・8000円

漢字文献の記述に字体への意識はどう働いたか、規範は如何なるかたちで作り出され、作用したか。字体規範の歴史的・地域的変遷、諸文献中の字体異同に着目することにより、対象文献の時代比定や作成背景を探る画期的資料論。

城生佰太郎　著　978-4-585-28007-1（2012 年 3 月）

日本語教育の音声　A5判・並製・176頁・1800円

「国語教育」が日本人を対象とする日本語の教育であるのに対し、「日本語教育」は外国人を対象とする日本語の教育である。国語教育とは異なる切り口から日本語の音声を捉え、わかりやすく開かれた音声教育のありかたを問う。

城生佰太郎　著　978-4-585-28006-4（2012 年 3 月）

日本語教育の語彙　A5判・並製・176頁・1800円

国語辞典というものは、日本語を知っている人が使うためのものであり、日本語を知らない外国人が使うためのものではない。このような主張から、日本語教育において有益な語の意味の提示の仕方を追求する。

萩原義雄　著　978-4-585-22014-5（2011 年 4 月）

日本庭園学の源流『作庭記』における日本語研究　影印対照翻刻・現代語訳・語の注解　B5判・上製・250頁・12000円

本書は、谷村家所蔵『作庭記』上巻・下巻二軸の本文を影印し、それに見合う翻刻と詳細な現代語訳・注釈を付したものである。本文の表記・仮名遣い・語彙の詳細な分析を行った論考も収録。

舩城俊太郎　著　978-4-585-10450-6（2011 年 3 月）

院政時代文章様式史論考　A5判・上製・544頁・15700円

語彙・語法に焦点をあて、『今昔物語集』の文章の特異性や『色葉字類抄』の白話語の用例を用いつつ、漢字仮名まじり文の成立および変体漢文の特殊性、さらには『色葉字類抄』の辞書としての性格を論じる。

北原保雄　著　978-4-585-28502-1（2012 年 1 月）

岐点の軌跡　わが歩み来し道　四六判・上製・496頁・3600円

文法研究の第一人者にして日本語ブームの火付け役、多くの辞典を手がけ、日本語研究・国語教育に生涯を捧げてきた一方で、大学における教育・管理・運営等に全力を注いできた著者が、二足の草鞋の人生をふり返る。

北原保雄　著　978-4-585-28500-7（2011 年 7 月）

北原保雄トークアンソロジー　日本語とともに　四六判・上製・288頁・2200円

言葉は一日にしてならず。好印象をあたえる話し方、敬語の効用から、国語辞書の作り方まで。日本語研究 50 年の達人が、ことばの奥義をすべて伝授。「日本語とあなた」の関係は、もっと面白く、大事になる。

北原保雄　著　978-4-585-28501-4（2011 年 7 月）

北原保雄トークアンソロジー　ことばの教育　四六判・上製・336頁・2400円

幼児のことばから中学高校の国語教育、そして大人の学習まで。『走れメロス』など名作を詳細に分析し、辞書の活用術を教え、人生への向き合い方を説く。正しく美しい日本語をはぐくむために、「教育者」「学習者」必読のメッセージ。

齋藤文俊　著　978-4-585-10451-3（2011 年 2 月）

漢文訓読と近代日本語の形成　A5判・上製・320頁・7500円

古来受け継がれてきた訓読語法は近世において大きく変遷し、近代日本語形成の過程にも影響を与えてきた。漢文資料ほか、蘭学・英学資料、さらには近代の日本語資料を渉猟し、漢文訓読という型のもたらした史的影響を明らかにする。

湯沢質幸　著　978-4-585-28002-6（2010 年 11 月）

増補改訂　古代日本人と外国語　東アジア異文化交流の言語世界　四六判・上製・296頁・2800円　※在庫僅少

漢字・漢語との出会い、中国語をめぐる日本の学問のあり方、新羅・渤海など周辺諸国との交流、円仁ら入唐僧の語学力など古代日本における異国言語との格闘の歴史を明らかにする。『言語』から考える東アジア文化交流史。

中村春作　市來津由彦　田尻祐一郎　前田勉　編　978-4-585-03184-0（2008 年 9 月）

「訓読」論　東アジア漢文世界と日本語　A5判・上製・348頁・4800円

東アジアから「訓読」を読み直す。「訓読」という異文化理解の方法を再考し、日本伝統文化の形成、さらには東アジアの漢字・漢字文化圏の文化形成のあり方を論じる。

宮澤俊雅　著　978-4-585-03259-5（2010 年 4 月）

倭名類聚抄諸本の研究　A5判・上製・560頁・12000円

日本最古の百科事典といわれ、後世の辞書に多大な影響を与えた『倭名類聚抄』。その諸本がどのように成立し、伝えられたのか。成立過程・書承関係の検証・成立に関わる諸問題を考究し、『倭名類聚抄』研究の始原点を築く。

暉峻康隆　著　978-4-585-05446-7（2010 年 2 月）

新版 すらんぐ（卑語）　庶民の感性と知恵のコトバ　四六判・並製・216頁・1500円

「コトバのいわれ、聞かせやしょう」。文献渉猟はもとより、ネオン街から屋台までを練り歩いた軽妙洒脱な江戸文学研究者による一味違った日本語論。著者手沢補訂本を新版刊行。

文字研究会　編　978-4-585-03227-4（2009 年 12 月）

新常用漢字表の文字論　A5判・上製・136頁・3500円

そもそも文字とは何なのか？　この根源的な問いかけから、常用漢字表改訂の意味と、それがコンピュータにおける文字コードにどのような影響をあたえるのかについて論考する。

吉田金彦　著　978-4-585-03217-5（2008 年 12 月）

誤解された万葉語　A5判・上製・372頁・5000円

国語学者による万葉集の検証。万葉集の中の地名・地勢語を復元調査し、従来の解釈をただす。アイヌ語による意味を発見するなど、万葉語研究の新展開をもたらす画期的な書。緻密な現地踏査から、新しい歌の意味がよみがえる！

小川栄一　著　978-4-585-10438-4（2008 年 2 月）

延慶本平家物語の日本語史的研究　A5判・上製・576頁・16500円

『延慶本平家物語』の言語をシステムとして機能的に捉え、「和漢融合」という観点から考察。正確なデータベースにもとづいて日本語の変化の実態を実証的に提示するとともに、その変化の原因を理論的に解明。

城生佰太郎　チメッツェレン・アマルゾル　著　978-4-585-05384-2（2007 年 11 月）

旅のお供に　今すぐ使えるモンゴル語入門　A5判・並製・208頁・2400円　※在庫僅少

モンゴル語日常会話集と基本文法を踏まえた実用的入門書。会話練習では日常的なストーリー性を持たせた内容を順に読むことで自然に習得でき、基本文法を押さえて重点的かつ効率的な学習が可能。

鈴木一　著　978-4-585-03141-3（2006 年 5 月）

松下文法論の新研究　A5判・上製・384頁・13000円

難解とされてきた松下文法の体系・内容について具体的に詳述した基本的研究書。松下晩年の自筆資料・研究メモの影印資料も掲載。

松下大三郎　著／徳田政信　編　978-4-585-00810-1（1977 年 4 月）　松下文法シリーズ

増補　校訂　標準日本口語法　A5判・上製・710頁・12000円

助動詞および助詞を中心に、興味深い用例を豊富にあげて記述。昭和 5 年刊本に原著者による「正誤表」を付し、松下文法を図式化した注目すべき論文「文章の解剖」など数編を増補。解説では、科学的研究法の基本を示す。

野澤勝夫　著　978-4-585-03150-5（2006 年 3 月）

『仮名書き法華経』研究序説　A5判・上製・408頁・13000円

仮名書き法華経に関する論考と新資料の紹介。「瑞光寺本」「月ガ瀬本」という、妙一本群とは系統を異にする 2 種の伝本を初めて紹介。その翻字および妙一本との異同を比較した新資料を収録。

城生佰太郎　著　978-4-585-10096-6（2005 年 3 月）

モンゴル語母音調和の研究　実験音声学的接近　A5判・上製・352頁・14000円

モンゴル語学で長らく積み残されていた「舌の調和」と「唇の調和」との差異に対応する音声学的事象を模索し、暫定的ではあるにせよ、これに対する回答を見出したとする内容である。

福盛貴弘　著　978-4-585-03109-3（2004 年 4 月）

トルコ語の母音調和に関する実験音声学的研究　A5判・上製・327頁・10000円

音響音声学による母音のフォルマント解析、音響音声学的音響音声学による母音のフォルマント解析、音響音声学的アクセント解析、事象関連電位を用いた脳波実験による聴覚音声学的実験研究を柱とする。

小林千草　著　978-4-585-03098-0（2003 年 3 月）

清原宣賢講『日本書紀抄』の本文と研究　A5判・上製・352頁・10000円

初翻刻の両足院蔵『神代上下抄』本文が描き出す、豊かな室町時代語と、体系的で詳細な解説・研究篇がいざなう、広範な中世日本紀の世界。

テニハ秘伝研究会　編　978-4-585-10090-4（2003 年 2 月）

テニハ秘伝の研究　A5判・上製・410頁・12000円

中世から近世にかけ、和歌、連歌、俳諧における助詞「てにをは」用法の秘伝書が多数著された。本書では今後の研究に資す為、現存資料の目録化と、研究課題の提起を行う。

林忠鵬　著　978-4-585-03088-1（2002 年 4 月）

和名類聚抄の文献学的研究　A5判・上製・680頁・25000円

本書は、なるべく多くの文献に基づいて『和名類聚抄』の研究における諸問題を、十巻本諸本の校合・分析によって見出し、考察したものである。

小林賢次　著　978-4-585-10074-4（2000 年 7 月）

狂言台本を主資料とする中世語彙語法の研究　A5判・上製・470頁・16000円

本書は狂言台本を主資料とし、その他中世から近世にかけての口語文献を資料として、特に語彙・語法（文表現・敬語などを含む）の各方面から、近代語成立過程期における史的変遷の様相を考究しようとするものである。

木部暢子　著　978-4-585-10065-2（2000 年 2 月）

西南部九州二型アクセントの研究　A5判・上製・456頁・16800円

本書では西南部九州二型の特徴を明らかにし、その成立過程を解明、また、18 世紀薩摩の漂流民ゴンザが作成した資料が、当時の薩摩アクセントを反映する資料として十分価値があることを紹介する。

北原保雄　古田東朔　編

日本語文法研究書大成　14 巻

・1『草野氏　日本文法　全』草野清民　著／北原保雄　解説　978-4-585-08031-2（1995 年 11 月）
A5判・上製・354頁・4400円　※在庫僅少

・2『語法指南』大槻文彦　著／北原保雄　解説　978-4-585-08032-9（1996 年 4 月）　A5判・上製・198頁・2500円　※品切

・3『新訂　日本俗語文典　〈付〉遠江文典』松下大三郎　著／徳田政信　解説 978-4-585-08033-6（1997 年 2 月）
A5判・上製・386頁・4800円　※品切

・4『日本語の構造』堀重彰　著／小野正弘　解説　978-4-585-08034-3（1997 年 4 月）A5判・上製・610頁・6000円　※在庫僅少

・5『口語法　全』国語調査委員会　編纂／島田康行　解説　978-4-585-08035-0（2000 年 2 月）
A5判・上製・240頁・5000円　※品切

・6『現行普通文法改定案調査報告之一』国語調査委員会　編纂／島田康行　解説　978-4-585-08036-7（2000 年 2 月）
A5判・上製・90頁・2200円　※在庫僅少

・7『日本俗語文典』金井保三　著／諸星美智雄　解説　978-4-585-08037-4（2000 年 5 月）
A5判・上製・230頁・5000円　※在庫僅少

・8『日本文法文章大要』岡田正美　著　978-4-585-08038-1（2001 年 6 月）　A5判・上製・142頁・4400円　※品切

・9『日本語典』前波仲尾　著　978-4-585-08039-8（2001 年 6 月）　A5判・上製・256頁・5500円

・10『日本口語法』保科孝一　著　978-4-585-08040-4（2001 年 6 月）　A5判・上製・326頁・7000円

・11『文語口語対照語法』吉岡郷甫　著　978-4-585-08041-1（2001 年 6 月）　A5判・上製・384頁・7500円　※品切

・12『言語学的日本文典』岡沢鉦治　著　978-4-585-08042-8（2001 年 6 月）　A5判・上製・432頁・8500円　※品切

・13『国語法査説』徳田浄　著　978-4-585-08043-5（2001 年 6 月）　A5判・上製・284頁・5900円

・14『漢訳　日本口語文典』徳田政信　編集・解説　978-4-585-08044-2（2004 年 3 月）　A5判・上製・480頁・9500円

柏谷嘉弘　靏岡昭夫　編　978-4-585-28022-4（2015 年 11 月）

日本古典漢語語彙集成　A5判・上製・2400頁・75000円

平安時代より日本の多くの教養人が目を通した、漢文および仮名文学に代表的にみえる漢語を精査・抽出。漢語研究・国語国文学研究に必備の基礎資料。「第一冊　索引篇」「第二冊　研究篇　正」「第三冊　研究篇　續」の全三巻。

萩原義雄　編　978-4-585-28019-4（2015 年 4 月）

西來寺蔵仮名書き法華経対照索引並びに研究　B5判・上製・888頁・35300円

西來寺本の自立語を全抽出し、五十音順に排列した。西來寺本と妙一記念館本の語彙及び語註記における記述内容を対比して読み取りができるように工夫した。国語研究のみならず、日本文学・日本文化研究にも有益である。

京都国立博物館　編／石塚晴通　赤尾栄慶　解題　978-4-585-22073-2（2014 年 4 月）

京都国立博物館所蔵　国宝　浄名玄論　A3判変形・上製・320頁・100000円

写本・八巻で構成。中国の六朝末から初唐にかけて三論宗の教学を大成した嘉祥大師吉蔵による『維摩経』の綱要書。書写年代が明らかな本邦現存最古の仏典・書跡をフルカラー原寸で影印。

京都国立博物館　編／石塚晴通　羽田聡　解題　978-4-585-22072-5（2014 年 2 月）

京都国立博物館所蔵　国宝　吉田本　日本書紀　A3判変形・上製・396頁・100000円

諸国の神社に仕えて卜占を家業とした卜部家に伝来した『日本書紀』の古写本をフルカラー全編公開。全巻、兼方の自筆によるもので、本文には、朱の訓点が施され、欄外に細字の注記が、紙背には兼方によって諸説が書き込まれている。

京都国立博物館　編／石塚晴通　赤尾栄慶　解題　978-4-585-22071-8（2014 年 1 月）

京都国立博物館所蔵　国宝　岩崎本　日本書紀　A3判変形・上製・120頁・35000円

日本文化史上、特に大きな意義を持つ『岩崎本 日本書紀』を全編原寸・原色で影印。冠位十二階や十七条憲法の制定など聖徳太子の記事を収載する「推古天皇紀」および蘇我親子の台頭や乙巳の変の記事のある「皇極天皇紀」の二巻。

総本山西大寺　編／佐伯俊源　月本雅幸　野尻忠　解題　978-4-585-28505-2（2013 年 9 月）

国宝西大寺本　金光明最勝王経　天平宝字六年 百済豊虫願経　A3判変形・上製・372頁・100000円

天平写経の最優品を原寸・原色で影印。日本史・国語史・仏教史・文化史等に絶大な資料的価値を有する本経巻のフルカラー全編公開は史上初。高精細な製版・印刷により、流麗な筆致、詳密に付された白点・朱点を忠実に再現。

オックスフォード大学ボードレイアン図書館　所蔵／月本雅幸　解題　978-4-585-20014-7（2013 年 1 月）

キリシタン版　日葡辞書　カラー影印版　四六倍判・上製・860頁・100000円

日本語の口語を中心に文書語・歌語・仏教語・女房詞・方言・卑語などを収録。日本語と西洋言語の交渉の基礎として文化交流史上も極めて大きな意味を持ち、室町時代語研究に不可欠の資料をフルカラーで影印し、詳細な解説を付す。

三澤薫生　編著　978-4-585-03215-1（2008 年 12 月）

谷川士清自筆本『倭訓栞』　影印・研究・索引　A5判・上製・1200頁・28000円

『俚言集覧』『言海』『大日本国語辞典』など後世に多大な影響を与えた『倭訓栞』。このたび影印刊行する書籍は、この『倭訓栞』の原点を明らめることのできる極めて貴重な資料である。

中田祝夫　著　978-4-585-03237-3（2009 年 5 月）

改訂新版　古本節用集六種　研究並びに総合索引　菊倍判・上製・1074頁・43000円

室町期に書写された節用集、6 種を影印。収録全巻の語句検索ができる総合索引を付す。資料の再撮影を行い、影印箇所の視認性を向上させた。日本文化研究の必携資料、待望の復刊。

岡墻裕剛　編著　978-4-585-03219-9（2008 年 12 月）

B. H. チェンバレン『文字のしるべ』　影印・研究　B5判・上製・640頁・28000円

1899 年刊行の初版に基づく影印編と、編者による研究編からなる。研究編では、従来の先行研究と資料そのものの調査・分析により、日本語教育書としての価値を再認識し、多数残存する当時の使用形跡から実用度の高さを証明した。

馬渕和夫　著　978-4-585-03176-5（2008 年 7 月）

古写本和名類聚抄集成　菊倍判・上製・1184頁・65000円

これまで注目されてこなかった和名抄の声点の研究により、国語アクセント史究明に重要な資料を提供する。また各古写本の書誌、他本との比較検討を通じて、十巻本・二十巻本成立の経緯、および源順著の原本の様相に示唆を与える。

中田祝夫　小林祥次郎　著　978-4-585-03153-6（2006 年 5 月）

改訂新版　書言字考節用集 研究並びに索引　菊倍判・上製・676頁・30000円

槙島昭武著、享保二年間の『書言字考節用集』は、二万数千項の語を登載する大冊の辞書である。今回の改訂版では、写真版を鮮明にし、索引の誤りを訂正し、解説に新資料や自筆稿本を精査した成果を取り入れた。

中田祝夫　著　978-4-585-03152-9（2006 年 5 月）

改訂新版　文明本節用集 研究並びに索引　菊倍判・上製・1038頁・41000円

『文明本節用集』は室町中期の書写で、最古の節用集の一つ。語彙数でも他本を圧倒。朱・墨によって漢音と呉音を区別。濁点・不濁点も詳細で、漢文章句には細密な和訓附記がある。新たに全文再撮影の上、影印篇に収録。

築島裕　解説／橋本不美男　宮澤俊雅　酒井憲二　索引　978-4-585-03139-0（2005 年 5 月）

図書寮本類聚名義抄　B5判・上製・620頁・20000円

宮内庁書陵部蔵。院政時代古写本。類聚名義抄の「法」部の前半の零本。記紀のほか、源為憲口遊・藤原公任卿音義などの国書・漢籍・仏典の引用約 130 種。訓多数、アクセント符号を付したもの。名義抄の原撰本の姿を遺す。

金沢大学法文学部国文学研究室　編　978-4-585-03137-6（2005 年 5 月）

ラホ日辞典の日本語　A5判・上製・1662頁・40000円

本文編 7 冊は、翻刻としてラテン語の大見出しの順に従いローマ字表記日本語のすべてと、その判読結果を示した。索引編 4 冊では、ローマ字綴り日本語とその判読を示し、同一日本語の所在一覧を示して検索を可能にしている。

大矢透　著／中田祝夫　峰岸明　解説索引　978-4-585-03138-3（2005 年 5 月）

仮名遣及仮名字体沿革史料　A4判・上製・200頁・18000円

国語音韻の変遷と仮名遣の変遷する状態、片仮名が仏典漢籍の訓点記入のために発生発達した状態を、平安初期より室町末期に至る訓点本資料によりて実証図表化。古訓点の傍訓多数。成実論、十輪経、四分律の 3 冊をも完備。

城生佰太郎　著　978-4-585-10097-3（2005 年 3 月）

日本音声学研究　実験音声学方法論考　A5判・上製・504頁・20000円

日本語を中核とした実験音声学的研究をまとめた集大成。【目次】 序論／音声研究の方法／日本語ニャ行子音の国際音声記号表記／韻律節の提唱／日本語アクセントの認知的側面に見られる一特徴

岡田希雄　著　978-4-585-03122-2（2004 年 10 月）

類聚名義抄の研究　手沢訂正本　菊判・上製・560頁・15000円

本書は著者の没後、昭和 19 年に刊行された『類聚名義抄の研究』の、その基となった雑誌発表論文をそのままの形で写真印刷して示したものである。その論文の頁の多くには相当数の加筆修正等の書き込みがある。

蔵中進　林忠鵬　川口憲二　編　978-4-585-08006-0（1999 年 5 月）

倭名類聚抄十巻本・廿巻本　所引書名索引　A5判・上製・194頁・3800円　※在庫僅少

本索引は、検索の便を配慮して書名（人名）を五十音順に配列。小学書・本草類などの雑多な書からの多数の引用が目立つ点でも各方面からの利用が期待される。所引書名頻度一覧及び『箋注倭名類聚抄』書目解題一覧を付録。

山崎誠　編　978-4-585-10031-7（1998 年 2 月）

印融自筆本重要文化財　塵袋とその研究　全２冊　A5判・上製・1800頁・37000円

鎌倉中期成立の問答体類別辞書。当時の語源・意識・有職故実・風俗など、文化を探る百科事典として著名。印融自筆本全巻を訓点や付訓も読めるよう精密に影印し全文を翻刻。自立語総索引、書名・人名・年号索引を完備。

伊藤瑞叡　村上征勝　塚田貫康　五十嵐信彦　編　978-4-585-08002-2（1993 年 11 月）

梵文法華経萩原・土田本総索引　B5判・上製・454頁・18000円

法華経梵本のなかでもローマ字本で比較的研究の容易な荻原・土田本の総索引。テキストに出るすべての単語を採録し、複合語としての用例も豊富、見出し語の典拠もすべて示す。梵語理解・仏教研究に必須の大冊。

【影印注解悉曇學書選集】 馬淵和夫　編

・1『平安前期』978-4-585-00568-1（1985 年 6 月）　B5判・上製・768頁・58252円
・6『室町後期・補遺・全巻索引』978-4-585-01039-5（1992 年 1 月）　B5判・上製・634頁・58000円

【古辞書大系】

・6『印度本節用集　古本四種研究並びに総合索引』978-4-585-00573-5（1974 年 3 月）A4判・上製・1062頁・30000円
・8『倭玉篇　慶長十五年版　研究並びに索引』978-4-585-00575-9（1981 年 1 月）　B5判・上製・598頁・25000円
・9『倭玉編　夢梅本研究並びに篇目次第総合索引』978-4-585-00576-6（1976 年 3 月）B5判・上製・1370頁・34000円
・10『多識編　自筆稿本　刊本三種　研究並びに総合索引』978-4-585-00577-3（1977 年 3 月）
B5判・上製・888頁・32000円
・12『字鏡集　白河本寛元本　研究並びに総合索引』全 3 巻
　第 1 冊『字鏡集　白河本影印篇』978-4-585-00579-7（1977年7月）　A4判・上製・540頁・22000円　※品切
　第 2 冊『字鏡集　寛元本影印篇』978-4-585-00580-3（1978年10月）　A4判・上製・540頁・22000円
　第 3 冊『字鏡集　白河本・寛元本研究並びに総合索引　総合索引篇』（未刊）
・14『印度本節用集和漢通用集他三種　研究並びに総合索引　影印篇』978-4-585-00582-7（1980 年 10 月）
B5判・上製・496頁・22000円
・14『印度本節用集和漢通用集他三種　研究並びに総合索引　総合索引篇』978-4-585-00583-4（1982 年 11 月）
B5判・上製・346頁・16000円
・15『字鏡鈔 天文本研究並びに総合索引 影印篇』978-4-585-00584-1（1982 年 11 月）　B5判・上製・694頁・30000円

【キリシタン資料集成】

・5『ローマ字本　コンテムツス・ムンヂ総索引』近藤政美　編　978-4-585-00706-7（1980 年 5 月）
A5判・上製・643頁・10000円
・8『ぎや・ど・ぺかどる』福嶋邦道　解説　978-4-585-00709-8（1981 年 7 月）　A5判・上製・434頁・12000円

公益財団法人　東洋文庫　監修／平野健一郎　解題　978-4-585-28223-5（2017年1月）　東洋文庫善本叢書　第二期3

重要文化財　ジョン・セーリス『日本渡航記』　菊倍判・上製・160頁・40000円

英国ケント州ダウンズ港を出帆してよりプリマスに帰帆するまでの航海および日本滞留日記。上記の道中においてセーリスの目に映じた当時の日本の姿を克明に伝える、日英国交開始に関する重要史料である。

公益財団法人　東洋文庫　監修／斯波義信　解題　978-4-585-28222-8（2016年12月）　東洋文庫善本叢書　第二期2

『東方見聞録（世界の記述）』　1485[?]年刊ラテン語版　菊判・上製・176頁・25000円

この書は1298年、マルコが作家のルスティッケロに東方大旅行の見聞をヴェネチア方言で口述し、後者がそれをフランコ・イタリアン方言でまとめて成った。モリソンの旧蔵をへて東洋文庫に伝わった、朱墨印刷の美麗な稀本。

公益財団法人　東洋文庫　監修／平川祐弘　解題　978-4-585-28221-1（2016年11月）　東洋文庫善本叢書　第二期1

ラフカディオ ハーン、B.H. チェンバレン往復書簡　菊倍判・上製・884頁・140000円

本書には1890～1896年にわたって八雲がチェンバレン（ほか西田千太郎、メーソン W. S. Mason との交信数通）と交わした自筆の手紙128通を収録。対象典籍の全編フルカラー影印は史上初。今後の研究の基礎図書となる。

公益財団法人　東洋文庫　監修／石塚晴通　小助川貞次　解題　978-4-585-28211-2（2015年12月）　東洋文庫善本叢書11

重要文化財　論語集解　正和四年写　変形判・上製・384頁・98000円

わが国に伝わる『論語』の完本としては最古のもの。唐代以来『論語』注釈の名残をうかがうことが出来るのみでなく、明経博士清原家の加点を伝え、その家学研究にも資するものとして特に珍重すべきものである。

公益財団法人　東洋文庫　監修／石塚晴通　小助川貞次　解題　978-4-585-28212-9（2015年10月）　東洋文庫善本叢書12

国宝　文選集注　巻第四十八・第五十九・第六十八・第八十八・第百十三　変形判・上製・444頁・98000円

本書は平安朝の書写にかかるもので、中国ではすでに失われた「陸善経注」「音決」「鈔」などを含む『文選』の諸注を集成している。李善注等集注本の古態や、佚書のテキストを垣間見ることの出来る、大変貴重な逸品である。

公益財団法人　東洋文庫　監修／豊島正之　解題　978-4-585-28210-5（2015年9月）　東洋文庫善本叢書10

天正十八年本　節用集　A4判・上製・216頁・38000円

節用集「伊勢本」類に属する一本で、「堺本」とも。版本節用集としては最古の天正18年（1590）の年紀を持ち、しかも版の一部は天正を更に遡ると見るのが通説。（震災などで他本が滅び）現存は本書のみの孤本。二冊。

公益財団法人　東洋文庫　監修／石塚晴通　小助川貞次　解題　978-4-585-28209-9（2015年7月）　東洋文庫善本叢書9

国宝　春秋経伝集解　巻第十／重要文化財　論語集解　文永五年写　巻第八　変形判・上製・112頁・29000円

『春秋左氏伝』に西晋の学者杜預がさらに注解を加えたものが『春秋経伝集解』である。『論語集解』は、魏の何晏が漢・魏の諸家の注釈を集めたもので、完全な形で伝わる『論語』の注釈書としては、現存最古。

公益財団法人　東洋文庫　監修／石塚晴通　小助川貞次　解題　978-4-585-28207-5（2015年6月）　東洋文庫善本叢書7

国宝　古文尚書　巻第三・巻第五・巻第十二／重要文化財　古文尚書　巻第六　変形判・上製・168頁・40000円

「国宝 古文尚書」はわが国最古の伝本であり、唐代中期に玄宗皇帝により文字が改められる以前の、漢代の隷書体文字による古態を有した極めて貴重なもの。紙背には室町期の書写にかかる『元秘抄』が記されている。

公益財団法人　東洋文庫　監修／豊島正之　解説　978-4-585-28208-2（2015年6月）　東洋文庫善本叢書8

聖教精華　FLOSCVLI　四六倍判・上製・424頁・52000円

聖書と教父・先哲の書から、amicitia（友情）、matrimonium spirituale（霊的結婚）、vinum（ワイン）など300弱の語に就て、それを含むラテン語約8300句を摘記した、聖書索引を兼ねる抜書集。

公益財団法人　東洋文庫　監修／石塚晴通　小助川貞次　會谷佳光　解題　978-4-585-28205-1（2015年2月）　東洋文庫善本叢書5

国宝　毛詩／重要文化財　礼記正義　巻第五残巻　変形判・上製・120頁・26000円

『毛詩』は儒教の基本経典のひとつで、紀元前6世紀ごろ成立とされる中国最古の詩集。東洋文庫本は唐の初頭に書写されたと考えられる貴重な一本。その伸びやかかつ柔らかな楷書の筆致は書法史上特筆すべきものである。

公益財団法人　東洋文庫　監修／石塚晴通　小助川貞次　解題　978-4-585-28206-8（2015年1月）　東洋文庫善本叢書6

梵語千字文／胎蔵界真言　変形判・上製・86頁・25000円

『梵語千字文』は、『千字文』にならって著された梵語辞典。東洋文庫本は九世紀に唐で書写された現存最古写本で、遣唐使により将来されたものと考えられる。平安中期の片仮名・ヲコト点が附され、古訓点資料として大変貴重。

公益財団法人　東洋文庫　監修／豊島正之　解説　978-4-585-28204-4（2014年10月）　東洋文庫善本叢書4

サクラメンタ提要　長崎版　四六倍判・上製・464頁・57000円

第三代日本司教セルケイラが編んだ洗礼・告解・聖餐・婚姻・終油の秘跡の執行手引き書。台本としての卜書きと台詞を朱墨で記し分けた本邦初の二色刷り。また聖歌にネウマ譜を並記した本邦初の五線紙楽譜を原寸高精細カラー影印。

公益財団法人　東洋文庫　監修／會谷佳光　解題　978-4-585-28203-7（2014年10月）　東洋文庫善本叢書3

重要文化財　楽善録　宋版・円爾旧蔵　A4判・上製・400頁・70000円

南宋・四川眉山の人李昌齢が著した「善書」の一つで、古今の典籍や伝聞から勧善懲悪・因果応報を説いた逸話を収録。『続古逸叢書』本の原本で、影印時に削除されてしまった書き入れなど、本来の姿を知ることができる。

公益財団法人　東洋文庫　監修／豊島正之　解説　978-4-585-28202-0（2014年9月）　東洋文庫善本叢書2

重要文化財　ドチリーナ・キリシタン　天草版　四六判・上製・160頁・14000円

イエズス会が刊行した日本語の問答体教義書として現存するもののうち、前期版ローマ字本の孤本。天正少年使節が将来したローマン活字を天草で組版した八折本。エボラ大司教への献呈本を初の原寸高精細カラー影印。

公益財団法人　東洋文庫　監修／石塚晴通　小助川貞次　解題　978-4-585-28201-3（2014年9月）　東洋文庫善本叢書1

国宝　史記　夏本紀　秦本紀　変形判・上製・108頁・25000円

宋版以前の本文を伝え、巻首には高山寺朱印、本文には墨書の古訓、朱ヲコト点を有する院政期書写の『史記集解』。日本文化史上、非常に貴重な逸品を原寸高精細カラー影印。

元政庵瑞光寺　川口智康　編　978-4-585-21040-5（2017年3月）

深草元政『草山集』を読む　近世初期学僧のことばと心　A5判・並製・496頁・4800円

当時の人びとに愛され数多くの著作が版行された元政の文学の精髄を集めた詩文集『草山集』。その全編を読み下し文にして収載し、元政の魅力を伝える解説を附した。350年を経て褪せることのないそのことばの力を味読する。

浦野聡　編　978-4-585-22167-8（2017年3月）

古代地中海の聖域と社会　四六判・上製・448頁・3500円

キリスト教など世界宗教が成立する以前、古代人はどのような場所でいかなる宗教行為を営んでいたのか。神像や神殿などの場から祭儀や儀式などの象徴行為まで、様々なかたちの「聖域」に注目し、古代人の精神性と社会性に迫る。

松本典昭　著　978-4-585-22169-2（2017年3月）

フルカラー　メディチ家の至宝　驚異の工芸コレクション　A5判・並製・320頁・3200円

メダル、聖遺物容器、象牙細工、フィレンツェ・モザイクからペルシア、アステカの工芸品や日本の武器・磁器に至るまで。華麗なる一族の珠玉のコレクションを豊富なエピソードとともに紹介。250超のフルカラー図版を掲載。

川戸貴史　著　978-4-585-22170-8（2017年3月）

中近世日本の貨幣流通秩序　A5判・上製・336頁・7000円

社会経済を展開させる装置、貨幣。中世から近世への社会変容の中で、その使用の具体像はいかなる様相を呈していったのか。海域アジア世界との連環と地域社会における展開を複合的に捉え、貨幣流通秩序の形成過程を照射する。

志村真幸　著　978-4-585-22172-2（2017年3月）

日本犬の誕生　純血と選別の日本近代史　四六判・上製・256頁・2400円

近代化、国民国家形成、動物保護、戦争…。博物学者・南方熊楠と平岩との対話を起点に、時代に翻弄され、淵源と純血を求められ続けた犬たちをめぐる言説をたどり、日本近代史の裏側を照らし出す。

坂口明　豊田浩志　編　978-4-585-22174-6（2017年3月）

古代ローマの港町　オスティア・アンティカ研究の最前線　A5判・上製・512頁・12000円

ネットワークの結束点でありながら、いまだその全貌が明らかになっていない港湾都市を、建築、経済、社会、宗教といった様々な観点から調査。3Dレーザー測量や、考古学的調査を駆使し、都市構造や人々の生活を明らかにする。

氣賀澤保規　編　978-4-585-22178-4（2017年3月）

雲南の歴史と文化とその風土　A5判・上製・288頁・7000円

雲南は古来、多くの民族を受け入れ、多彩な文化を生み出し、中国本土とは異なる独自の世界を培ってきた。雲南に身を寄せ、生態や歴史や文化、民族や民俗、そこに暮らす人々の目線から地域の本質に迫った初めての総合研究。

天理大学考古学・民俗学研究室　編　978-4-585-23054-0（2017年3月）　天理大学考古学・民俗学シリーズ3

モノと図像から探る怪異・妖怪の東西　A5判・並製・172頁・1600円

考古学と民俗学を駆使すると、妖怪図像や怪獣、民間信仰や伝承、そして東西の多様性と共通性が鮮やかに浮かび上がってくる。東の龍、西のドラゴン。モノと図像から怪異・妖怪を解明していく研究の三部作・完結編！

下野玲子　著　978-4-585-21038-2（2017年2月）

敦煌仏頂尊勝陀羅尼経変相図の研究　A5判・上製・380頁・14000円

東西交通の要衝・敦煌。唐代における敦煌の石窟壁画に焦点をあて、その中で漢訳された経典「仏頂尊勝陀羅尼経」の内容がどのように伝わり、変遷を経たのかについて、敦煌石窟壁画から取り出した170の画像を丹念に読み解く。

後藤昭雄　監修／（第一巻）後藤昭雄　仁木夏実　中川真弓　編／（第二巻）荒木浩　近本謙介　編　978-4-585-21211-9（2017年2月）

天野山金剛寺善本叢刊　第一期　第一巻 漢学・第二巻 因縁・教化　A5判・上製・1360頁・32000円

古代・中世における寺院の営みをいまに伝える一大資料群より天下の孤本を含む平安時代以来の貴重善本を選定し収載。精緻な影印と厳密な翻刻、充実の解題により、その資料性と文化史的・文学史的価値を明らかにする。

大須賀瑞夫　著／倉重篤郎　編集　978-4-585-22168-5（2017年2月）

評伝田中清玄　昭和を陰で動かした男　四六判・上製・400頁・3200円

影のフィクサーと呼ばれた男は、いかにして育ったのか。反共主義者としての戦い、昭和天皇との邂逅、スハルトら国際石油人脈の形成、鄧小平との親交。壮大なスケールの生き様を、関係者の膨大な証言から丁寧に再構成する。

及川祥平　著　978-4-585-23051-9（2017年2月）

偉人崇拝の民俗学　A5判・上製・480頁・6200円

歴史上の人物は、共同体の記憶の中で変容し伝説化していく。地元の英雄として、そして神として立ち現れる過程において、人々は彼らに何を託すのか。武田信玄、徳川家康、楠木正成らを祀る神社や史蹟、祭礼を丹念に検証する。

総本山醍醐寺 仲田順和　編　978-4-585-21037-5（2017年1月）

後七日御修法再興記　影印・翻刻・解題　A5判・上製・184頁・10000円

「国宝 醍醐寺文書聖教」の一冊として伝わる本書は、後七日御修法の再興の折に自ら大阿闍梨を務めた義演が、後七日御修法に関する先例や要件等を詳細に記録した貴重資料である。全編をフルカラー影印し、翻刻・解説を付す。

溝井裕一　細川裕史　齊藤公輔　編　978-4-585-22155-5（2017年1月）

想起する帝国　ナチス・ドイツ「記憶」の文化史　四六判・上製・320頁・3200円

ナチス・ドイツは、建築や言説、シンボル、音楽など、様々な西洋文化を無節操に利用し、自らの正統性を人びとに訴え大衆操作を試みた。過去と現在、二つの視点から、ナチス・ドイツの文化政策と受容のあり方を探る。

鹿毛敏夫　編　978-4-585-22156-2（2017年1月）

描かれたザビエルと戦国日本　西欧画家のアジア認識　B5判・並製・160頁・2800円

ザビエルのアジア宣教活動と戦国日本の様相を如実に語る貴重史料、サン・ロケ教会所蔵「ザビエルの生涯」連作油彩画全20点をフルカラーで公開し、詳細に解説。日本における布教活動の実態を考察した論考を収める。

所京子　著　978-4-585-22163-0（2017年1月）

斎王研究の史的展開　伊勢斎宮と賀茂斎院の世界　A5判・上製・272頁・3600円

天照大御神・賀茂皇大神に仕えるため、伊勢の斎宮・賀茂の斎院に赴いた未婚の内親王・女王は「斎王」と呼ばれる。数百年にわたる歴代の斎王たちの数奇な生涯を辿り、そこで花開いた文雅の世界を記録と和歌・物語から解き明かす。

伊藤好英　著　978-4-585-23047-2（2017年1月）

折口信夫　民俗学の場所　A5判・上製・408頁・6500円

愛弟子・池田彌三郎から薫陶を受けた著者が、巨人の学問の全領域を整理し直し、さらに新たな展望を開く。「まれびと」「ほかびと」の先に見えたのは、韓国・台湾そしてアジアに拡がる広大な「民俗」のつながりだった。

荒木浩　編　978-4-585-29137-4（2017年1月）

夢と表象　眠りとこころの比較文化史　A5判・上製・592頁・8000円

「夢」をめぐる議論は洋の東西、時代を問わず、人びとの心を悩ませてきた。多様に存する「夢」は、いかなるかたちで今日へと歴史を刻んできたのか。日本そして世界の「夢」に関することばや解釈の歴史を包括的に分析する。

威光山法明寺　近江正典　編　978-4-585-21036-8（2016年11月）

雑司ヶ谷鬼子母神堂開堂三百五十年・重要文化財指定記念　雑司ヶ谷鬼子母神堂　菊倍判・上製・328頁・15000円

2016年、国の重要文化財に指定された鬼子母神堂は、いかなる文化と歴史を育んできたのか。建築・彫刻・絵画・絵馬など200点を超えるカラー図版と解説、15本の斯界からの論文を収載し、その全てを明らかにする。

鈴木靖民　著　978-4-585-22160-9（2016年11月）

古代日本の東アジア交流史　A5判・上製・456頁・8000円

学問分野を超えて諸資料を博捜することで、1世紀の弥生時代後期から中世成立期に及ぶ異文化交流の実態を浮かび上がらせ、東アジアとそれを取り巻く地域へと重層的につながりあう国家・社会の様相をダイナミックに捉える。

渡辺尚志　編　978-4-585-22166-1（2016 年 11 月）

移行期の東海地域史　中世・近世・近代を架橋する　A5判・上製・384頁・8500円

日本列島の中心に位置し、東日本と西日本をつなぐ要衝、東海地域。中世から近世、近世から近代というふたつの移行期を同一地域において通時的に捉え、多様な角度から読み解くことで、時代の枠組みを越える研究の視角を提示。

野田研一　奥野克巳　編著　978-4-585-23049-6（2016 年 11 月）

鳥と人間をめぐる思考　環境文学と人類学の対話　A5判・上製・416頁・3400円

文学作品に描かれた自然を対象とする環境文学、民族誌として記録されてきた自然を対象とする人類学。その双方の視点から、人間が鳥をどのように捉え、語り、描いてきたのかを探る。人間中心主義からの脱却の可能性を提示。

若木太一　高橋昌彦　川平敏文　編　978-4-585-29136-7（2016 年 11 月）

長崎先民伝 注解　近世長崎の文苑と学芸　B5判・上製・300頁・10000円

儒学・天文暦学・医学・通訳などさまざまな分野にわたり活躍した、当地に所縁のある人々総勢 147 人の来歴を紹介する、近世文化史研究における基礎的かつ最重要の資料である。書き下し本文に詳細な注解、影印、校異を付す。

水島司　編　978-4-585-22149-4（2016 年 10 月）

環境に挑む歴史学　A5判・上製・416頁・4200円

人間社会を揺さぶる〈環境〉。環境とその人類史にもたらした影響を歴史学はどのようにとらえうるのか。環境史への歴史学の取り組みとその成果を、日本から、アジア、アフリカ、ヨーロッパ地域にまで視点を広げて示す。

藤田昌志　著　978-4-585-23046-5（2016 年 10 月）

明治・大正の日本論・中国論　比較文化学的研究　A5判・上製・296頁・3500円

明治・大正の日本論・中国論をワンセットにして、今一度、近代日本の一級知識人（総勢 11 人）の日本論・中国論・対外論を比較文化学的に再考察し、これから進むべき日本論・中国論を創出する。

渡辺尚志　編　978-4-585-22153-1（2016 年 9 月）

生産・流通・消費の近世史　A5判・上製・584頁・8000円

食料と肥料、水産物、衣服・酒・煙草等の嗜好品、書物や文房具など、具体的な「モノ」の移動に着目し、その生産・流通・消費のありようを一貫して把握。技術や生業の複合性にも着目し、近世の人びとの生活を描き出す。

三谷博　監修／クロード・アモン　廣瀬緑　編　978-4-585-22157-9（2016 年 9 月）

近代日本とアジア　地政学的アプローチから　A5判・上製・224頁・3800円

19 世紀中盤以降、複雑化する国際環境のなかで、アジアの一角に位置した日本は、この地域をどのように捉え、なにを企図していったのか。戦前期の日本におけるアジア認識を探り、日本とアジアの歴史理解への基盤を提示する。

石田勇治　福永美和子　編　978-4-585-22512-6（2016 年 8 月）　現代ドイツへの視座―歴史学的アプローチ1

想起の文化とグローバル市民社会　A5判・上製・400頁・5200円

ナチ時代の国家的メガ犯罪を忘れず、その反省の上に民主的社会を築こうという姿勢は、統一後のドイツの公的規範をなしている。現代ドイツの政治文化の核心をなす「想起の文化」と和解にむけた多様な取り組みを検討する。

田中英道　著　978-4-585-27032-4（2016 年 8 月）

鎌倉文化の思想と芸術　武士・宗教・文学・美術　四六判・上製・400頁・3500円

政治、宗教、美術、文学など分野ごとに論じられてきた歴史を統合し、人々の生き生きとした創造性を中心に歴史を再編成する。運慶の無著像は西行の姿、世親像は文覚上人であるという新発見の論証など鎌倉文化を再評価する。

片桐一男　著　978-4-585-22147-0（2016 年 6 月）

勝海舟の蘭学と海軍伝習　A5判・上製・240頁・4200円

勝海舟が学んだ蘭学、海軍伝習とはいかなるものであったのか。新潟県糸魚川市に伝わる新出資料を読み解き、海舟が蘭書やオランダ人教官との親交から海外知識を体得していった足跡を辿り、新国家の構想へ向けた眼差しを探る。

井上泰至　編　978-4-585-22152-4（2016 年 6 月）

近世日本の歴史叙述と対外意識　A5判・上製・512頁・8000円

「武」の記憶、書物の連環、藩による修史事業、ナショナリズム的想像力、「近代国家」を志向する語りの諸相。五つの視点から、自己と他者をめぐる言説が語られていく諸相を捉え、近世・近代日本の世界観を照らし出す。

北村紗衣　編　978-4-585-21033-7（2016 年 5 月）

共感覚から見えるもの　アートと科学を彩る五感の世界　A5判・並製・424頁・4200円

ある感覚が発生すると、同時に別の感覚が呼び覚まされる共感覚。認知科学の対象として注目を集め、文学・芸術にも多くの「共感覚」が見出されている。科学と文学・芸術からのアプローチを交差させ、その感覚世界に迫る。

アメデ・テータールト・ドゥ・ゼデルヘム　著／関根浩子　訳　978-4-585-21034-4（2016 年 5 月）

キリストの受難　十字架の道行き　心的巡礼による信仰の展開　A5判・上製・160頁・3200円

十字架を背負い、処刑場までの道のりを辿ったイエスの受けた苦しみを巡り、主の苦しみを黙想し祈る信心形態は、キリスト教圏全域に広まった。十字架の道行き信仰の発生と展開を探った、ベルギー人神父の論考を初邦訳。

前田雅之　青山英正　上原麻有子　編　978-4-585-29125-1（2016 年 5 月）

幕末明治　移行期の思想と文化　A5判・上製・512頁・8000円

明治はそれ以前の日本をどう背負い、切り捨て、読み換えていったのか。忠臣・皇国のイメージ、出版文化とメディア、国家形成と言語・思想。3 つの柱より接続と断絶の諸相を明らかにし、従来の歴史観にゆさぶりをかける。

川邉雄大　編　978-4-585-21032-0（2016 年 4 月）

浄土真宗と近代日本　東アジア・布教・漢学　A5判・上製・560頁・8000円

幕末明治期の九州北部は、キリスト教徒の存在や薩摩・琉球における禁教政策のため、浄土真宗にとって布教の「最前線」だった。九州・沖縄における浄土真宗の対外活動と内部革新から、日本近代化の過程を探る。

荒川正晴　柴田幹夫　編　978-4-585-22125-8（2016 年 4 月）

シルクロードと近代日本の邂逅　西域古代資料と日本近代仏教　A5判・上製・814頁・8500円

古来、多くの文物が往来した西域は、近代においては日本を含めた列強各国の熾烈な情報戦の舞台ともなった。外交・宗教・文学から税制・農業まで、シルクロードに残された古今の資料を読み解き、東西文化の伝播の諸相を追究。

須田牧子　編　978-4-585-22139-5（2016 年 4 月）

「倭寇図巻」「抗倭図巻」をよむ　A5判・上製・528頁・7000円

赤外線撮影による隠された文字の解読、隣接する各種絵画資料・文献資料の分析、「蘇州片」「戦勲図」というフレームワークの提示などの多角的視点から、倭寇図巻の成立と倭寇イメージの歴史的展開に迫る画期的成果。

水井万里子　伏見岳志　太田淳　松井洋子　杉浦未樹　編　978-4-585-22142-5（2016 年 4 月）

女性から描く世界史　17 ～ 20 世紀への新しいアプローチ　A5判・並製・312頁・3200円

①中心をずらし、女性から描く新しい世界史叙述、②世界各地の女性のライフイベント比較史、③異文化接触地域における女性たちの可視化、3 つのアプローチから、世界史の中に女性を見出すための新たな方法を探る。

上川通夫　川畑博昭　編　978-4-585-22145-6（2016 年 4 月）

日出づる国と日沈まぬ国　日本・スペイン交流の 400 年　A5判・上製・384頁・7500円

異文化交流により言語・思想・知識など多方面にもたらされた影響を隠れキリシタン資料をはじめとする諸資料に見出し、また、天皇制と君主制の歴史的推移を比較することで、越境する人類史展望の可能性を探る。

竹本忠雄　監修　978-4-585-21030-6（2016 年 3 月）

霊性と東西文明　日本とフランス「ルーツとルーツ」対話　A5判・上製・508頁・7500円

「ヨーロッパとアジアの対話はルーツとルーツの対話である」とのマルロー提言（1974 年）に基づき、日仏霊性文化の根源から、超広角的に謎の解明に迫る。伊勢遷宮を機に実現した日仏最高のエスプリ 24 氏の討議の全容。

李暁辰　著　978-4-585-21031-3（2016 年 3 月）

京城帝国大学の韓国儒教研究　「近代知」の形成と展開　A5判・上製・362頁・7500円

伝統的な儒教研究が近代的学問としての姿を形成していく段階で、当時韓国の最高学府であった京城帝国大学での研究内容を明示。また、京城帝国大学という場の特徴と制限が韓国儒教研究にどのように現われているかを究明する。

上代文献を読む会　編　978-4-585-22138-8（2016 年 3 月）

上代写経識語注釈　A5判・上製・704頁・13000円

千二百年以上の時を越えて飛鳥・奈良時代に書き写された日本古写経の識語をほぼ網羅する 71 編を翻刻・訓読・現代語訳し、詳細厳密な注釈を加え、さらに写経識語のもつ多面的な意義を捉えた 4 本の論考と詳細な索引を収載。

徳田武　著　978-4-585-22141-8（2016 年 3 月）

清河八郎伝　漢詩にみる幕末維新史　A5判・上製・384頁・4800円

幕末維新史に異彩を放つ志士、清河八郎。天狗党との関わり、全国各地への周遊と各地での交友、寺田屋騒動と新撰組の前身たる浪士組の結成など、明治維新の火付け役ともいえる人物の残した漢文と漢詩から、その全体像を追う。

東京大学史料編纂所　編　978-4-585-22144-9（2016 年 3 月）

イェール大学所蔵　日本関連資料　研究と目録　A5判・上製・664頁・15000円

在外の資料群として特筆すべき質と規模を誇るイェール大学所蔵日本関連資料。同学教授・同図書館東アジア部長を務めた朝河貫一による収集の近代学問史的意義や所蔵資料の歴史的・文化史的位置づけを明らかにする論考を収載。

豊田浩志　編　978-4-585-22148-7（2016 年 3 月）

モノとヒトの新史料学　古代地中海世界と前近代メディア　A5判・並製・272頁・2700円

文字と社会をつなぐ様々な書写材から、文献史料からはこぼれ落ちる、前近代の人々の生活を探る。コイン、粘土板、パピルス、羊皮紙、ガラス、モザイク、建築物など、言葉や図像を刻まれたメディアから地中海史を考察。

窪田順平　編　978-4-585-23040-3（2016 年 3 月）

水を分かつ　地域の未来可能性の共創　A5判・上製・250頁・4200円

水の流れが人の集団を形成し、人の集団の中で水の分配が決められる。バリ島の伝統的水利組織スバックの水管理を学びつつ、スラウェシ、トルコ、そして日本へ。コミュニティと共に望ましい水管理のあり方を探る。

天理大学考古学・民俗学研究室　編　978-4-585-23041-0（2016 年 3 月）　天理大学考古学・民俗学シリーズ2

モノと図像から探る妖怪・怪獣の誕生　A5判・並製・188頁・1600円

妖怪や怪獣を生み出してきた人々の創造力と想像力を、ササン朝ペルシャの装飾太刀や正倉院の人面鳥、一つ目小僧やゴジラなどから明らかにする。日本の妖怪文化の根源を、広くユーラシアにも求めて探究した。

小林亮　著　978-4-585-22137-1（2016 年 2 月）

二・二六　弱者救済という「叛乱」　四六判・並製・400頁・2800円

平成 5 年に公開された裁判記録には彼らの肉声が収められていた。記録を丹念に読み取ることで、処刑された青年たちの行動と思いを、事件前から裁判・処刑まで丹念に追う。これまで見えていなかった二・二六事件の全貌と真相。

佐川英治　著　978-4-585-22143-2（2016 年 2 月）

中国古代都城の設計と思想　円丘祭祀の歴史的展開　B5判・上製・320頁・11000円

平城京や渤海上京の模範となった唐の長安城のプランは、中国の伝統的な都城のイメージとは一線を画すものであった。漢から唐にかけて、都城の設計思想を検証し、長安城の基本設計が北魏・洛陽城に始まることを明らかにする。

河添房江　皆川雅樹　編　978-4-585-22140-1（2016 年 2 月）

新装版　唐物と東アジア　舶載品をめぐる文化交流史　A5判・並製・208頁・2000円

唐物交易の時代的変遷とその実態からみた異国との交流史、唐物を結節点とする漢と和の関係性への分析、人物とその権力の表象としての唐物の関係性について美術品や歴史資料のみならず、文学資料も用いて明らかにする。

菊池紳一　著　978-4-585-22117-3（2015 年 12 月）

加賀前田家と尊経閣文庫　文化財を守り、伝えた人々　A5判・上製・464頁・4800円

長年にわたり尊経閣文庫の運営、文化財の管理に携わってきた経験から、文庫の伝統事業の成立過程、前田家の文化活動、文庫伝来の古文書を解説。日本文化の根幹を過去から未来へと伝えていく前田家と文庫の営みに光を当てる。

名古屋大学文学研究科人類文化遺産テクスト学研究センター　編　978-4-585-23221-6（2015 年 12 月）

HERITEX　Vol.1　特集 1　東アジアの宗教儀礼／特集 2　バルテュスとその境界　B5判・並製・264頁・1800円

アーカイブス・物質文化・視角文化の 3 つの視角を軸に、統合テクスト学の知見より人文学研究の新たなステージを示す。東アジアの宗教や信仰について、「宗教儀礼におけるジェンダー」と「民俗」という観点から捉え直す。

醍醐寺文化財研究所　編　978-4-585-21301-7（2015 年 11 月）

醍醐寺文化財研究所研究紀要　第 23 号　B5判・並製・128頁・2315円

醍醐寺第 14 世座主・勝覚僧正により永久 3 年 (1115) に創建された三宝院。醍醐寺の本坊的な存在であり、歴代座主が居住する坊として重要な同院の創建 900 年を記念して、多角的な視点から論究。

宮間純一　著　978-4-585-22130-2（2015 年 11 月）

国葬の成立　明治国家と「功臣」の死　四六判・上製・296頁・3200円

発足当初から国家要人の死に積極的に関与していった明治新政府。権力は「功臣」の死にどのような意味を付与し、いかに装飾していったのか。個人の死が「公」の儀式へと変わっていく様相を検証し「国葬」の歴史的展開を提示。

渡辺浩一　ヴァネッサ・ハーディング　編　978-4-585-22131-9（2015 年 11 月）

自己語りと記憶の比較都市史　A5判・上製・272頁・4500円

自らを語る行為、そこから個と社会の関係性への認識を読み取る「エゴ・ドキュメント」研究。自己語りと記憶が幾重にも往復・交差する近世都市という「場」を、複合的な視角から捉え返し、新たな歴史研究の扉をひらく。

白川哲夫　著　978-4-585-22132-6（2015 年 11 月）

「戦没者慰霊」と近代日本　殉難者と護国神社の成立史　A5判・上製・350頁・4200円

近代日本が創り上げた戦没者をたたえるシステム。それは明治維新、日清・日露戦争を経て、太平洋戦争で大きく展開した。靖国神社を中心に形成された「慰霊」の歴史を辿りながら、戦没者を祀ることの意味を知る。

蓑島栄紀　著　978-4-585-22133-3（2015 年 11 月）

「もの」と交易の古代北方史　奈良・平安日本と北海道・アイヌ　A5判・上製・400頁・7000円

古代の北海道と日本列島、大陸を往還した多彩な「北の財」。その実態と歴史的・文化的意義を最新の古代史・考古学研究の成果から実証的に検討する。対外交易をめぐって揺れ動くアイヌの社会と精神文化の形成・変容を捉える。

村井章介　編集代表／橋本雄　伊藤幸司　須田牧子　関周一　編　978-4-585-22126-5（2015 年 10 月）

日明関係史研究入門　アジアのなかの遣明船　菊判・並製・568頁・3800円

近年、その歴史的重要性が注目されるアジアにおける国際関係。日中のみならずアジア諸地域にまたがり、外交、貿易、宗教、文化交流など様々な視角へと波及する「遣明船」を鍵に、14 ～ 16 世紀の歴史の実態を炙り出す。

康熙奉　著　978-4-585-22128-9（2015 年 10 月）

宿命の日韓二千年史　交流と攻防のドラマ　四六判・並製・256頁・1700円

古代から現代まで、2000 年の日韓の交流の歴史をわかりやすく、かつ劇的なトピックを取り上げてまとめる。これまでにない、読み物としての日韓通史。時代の流れがわかる、歴史スペクタクル！

石原比伊呂　著　978-4-585-22129-6（2015 年 10 月）

室町時代の将軍家と天皇家　A5判・上製・416頁・9000円

室町期の公武関係はいかにして成立、展開したのか。尊氏から義政までの足利家歴代将軍の朝廷儀礼における行動を分析。武家の長（足利将軍家家長）と公家の長（北朝天皇家）との関係の展開と基本構造を検討する。

白石典之　編　978-4-585-22127-2（2015年9月）

チンギス・カンとその時代　A5判・上製・400頁・3800円

これまで史料的制約のもとに見過ごされてきた国際状況や交通・交易、自然環境、日常生活や技術の展開などを、考古学・自然科学・文献史学を駆使することで明らかにし、チンギス・カンをめぐる歴史の実像を立体的に描き出す。

貴志俊彦　川島真　孫安石　編　978-4-585-22119-7（2015年7月）

増補改訂　戦争・ラジオ・記憶　A5判・上製・632頁・6800円

日中戦争〜冷戦間に繰り広げられた電波戦争が、20世紀の国際関係・政治・社会・文化に与えた影響を解明。ラジオの時代を知るための基本書籍と基礎資料も紹介。入門者から研究者まで、メディア研究の必携書！

伊藤幸司　永島広紀　日比野利信　編　978-4-585-22121-0（2015年7月）

寺内正毅と帝国日本　桜圃寺内文庫が語る新たな歴史像　B5判・上製・296頁・8500円

寺内家そして寺内正毅の個人文庫であった桜圃寺内文庫からの新出資料や、当時の元勲・軍人・文化人らとの書簡を読み解き、寺内正毅の歴史的位置を照射する。乃木希典書簡全点を含む新出資料を写真・活字で初公開。

小林英夫　著　978-4-585-22123-4（2015年7月）

甘粕正彦と李香蘭　満映という舞台　四六判・上製・224頁・2800円

五族協和の理想を文化面から実現しようとした国策会社、満洲映画協会（満映）を舞台として、理事長と看板女優という役割を演じきった甘粕と李香蘭。満洲という幻の舞台で、希代の名優・怪優たちの見た夢の軌跡を追う。

舘野和己　編　978-4-585-22122-7（2015年6月）

日本古代のみやこを探る　A5判・上製・640頁・10000円

遷宮・遷都の背景にはいかなる歴史的・思想的背景があったのか。その内部で展開する諸活動はどのように営まれたのか。古代国家の政治・文化の発信点であった「みやこ」を、歴史・考古・歴史地理の知見より立体的に描き出す。

嚴錫仁　著　978-4-585-21028-3（2015年5月）

東アジアにおける日本朱子学の位相　崎門学派の理気心性論　A5判・上製・368頁・8000円

東アジアの朱子継承者たちのなかでも、日本的な朱子学、あるいは朱子学の日本化を成し遂げた山崎闇斎。彼の創始した崎門学派の思想を、とくに朝鮮の李退渓との比較において東アジア近世思想史のなかに再定位する。

松尾公就　著　978-4-585-22077-0（2015年5月）

二宮尊徳の仕法と藩政改革　A5判・上製・448頁・8000円

江戸時代後期に二宮尊徳が小田原藩領で実施した農村復興・財政再建政策＝「報徳仕法」。その着手から撤廃に至る過程と政策の実態を、各地に伝わる古文書や尊徳自筆の日記・手紙などの一次史料から明らかにする。

中林史朗　著　978-4-585-22118-0（2015年5月）

中国中世四川地方史論集　A5判・上製・568頁・10000円

古代〜中世の巴蜀地方の歴史を専門とする著者の過去の論文をまとめた一冊。巴蜀とその周辺地域を中心とする氏族・豪族集団政権の興亡、経済の浮沈、文化の盛衰等の歴史を時代順に、数多くの文献を駆使して研究した論文集。

菊池紳一　北爪寛之　編　978-4-585-22120-3（2015年5月）

吾妻鏡地名寺社名等総覧　A5判・並製・496頁・3800円

鎌倉時代史研究における根本かつ重要史料である『吾妻鏡』。そこに記載される地名や寺社名、御所、幕府、御家人宅などを網羅的に抽出し、記事本文とともに分類・配列。現在比定地を併記した至便な総索引も収録。

永冨青地　編訳　978-4-585-29097-1（2015年5月）

中国書籍史のパースペクティブ　出版・流通への新しいアプローチ　A5判・上製・376頁・6000円

出版・流通・蒐書など、書物をめぐるコミュニケーションを担う人びとの営みを描き出した、研究の第一線を示す本邦初公開の必読論文を収載。これからの中国書籍史研究の羅針盤として、その可能性と展開を示す画期的論集。

金志虎　著　978-4-585-21029-0（2015年4月）

當麻寺の歴史と信仰　A5判・上製・234頁・8000円

従来、当麻寺が浄土信仰の代表的な寺院として発展していく過程をとらえる研究はなかった。創建期の研究と信仰に関する研究という二本柱をたて、創建期の問題から、浄土信仰の寺院として成立する全容を明らかにする。

東洋文庫　編　978-4-585-22098-5（2015年4月）

東インド会社とアジアの海賊　四六判・上製・340頁・2800円

17世紀初頭にヨーロッパで誕生した東インド会社とその海上覇権の確立にあたって大きな障壁となった現地の海賊たち。両者は善と悪という単純な図式では表せない関係にあった。彼らの攻防と、活動の実態を明らかにする。

片桐一男　著　978-4-585-22113-5（2015年4月）

伝播する蘭学　江戸・長崎から東北へ　A5判・上製・368頁・6000円

鎖国政策の例外としてオランダ貿易船が入港していた長崎。文化・知識の集積地であった江戸。西洋医学が振興した米沢・亀田・庄内の東北各藩。当時の最先端知識であった蘭学を軸に、近世における新文化の伝播の諸相を考察。

新川登亀男　編　978-4-585-21025-2（2015年3月）

仏教文明の転回と表現　文字・言語・造形と思想　A5判・上製・672頁・9800円

仏教という異文明は、造形や言語・文字表現、思想にいかなる変容・転回をうながしたのか。人類の歴史が経験してきた「仏教」という参照軸から、世界の形成と構築のメカニズムを考えるための百科全書的論集。

新川登亀男　編　978-4-585-21026-9（2015年3月）

仏教文明と世俗秩序　国家・社会・聖地の形成　A5判・上製・616頁・9800円

前近代の日本、そしてアジアにもたらされた最大のグローバリゼーションを惹起したのは「仏教」であった。文字・言語、造形・技術、思想・宗教、世俗秩序等、あらゆる文明の展開と関わってきた「仏教」を総合的に捉える。

佐藤愛弓　著　978-4-585-21027-6（2015年3月）

中世真言僧の言説と歴史認識　A5判・上製・720頁・12000円

鎌倉時代末期から南北朝期という変革の時代に、天皇・武家などの世俗権力と積極的に関わり、自らの法流を護持し、後世へと伝授した真言僧栄海。その活動と著述・編纂という営為を総体として捉え、当時の歴史認識を明示する。

大井健輔　著　978-4-585-22111-1（2015年3月）

津田左右吉、大日本帝国との対決　天皇の軍服を脱がせた男　四六判・上製・384頁・3200円

明治末年、津田は日本近代の破局を予言した。天皇を軍事指導者に祀り上げる帝国に真っ向から対決し、その本来の姿を説いた「津田裁判」。法廷対決に秘められた歴史の叡智とは？　全く新しい「格闘する」評伝津田左右吉。

大谷明史　著　978-4-585-22112-8（2015年3月）

渋沢敬三と竜門社　「伝記資料編纂所」と「博物館準備室」の日々　四六判・上製・250頁・2800円

『渋沢栄一伝記資料』と実業史博物館。敬三が構想したこれらの事業は、竜門社を通じて行われた。当事者の日記や竜門社の諸資料を精査、実業史研究、アーカイブ構築の知見に満ちた渋沢敬三の生涯を明らかにする。

鄭淳一　著　978-4-585-22115-9（2015年3月）

九世紀の来航新羅人と日本列島　A5判・上製・392頁・10000円

対新羅政策における対外意識の変化を支配層のみならず、諸階層の人々から考察。また、中心と周縁・境界意識といった概念に対する問題提起を行い、排外思想・危機意識等に代表される対外認識に関する新解釈を提示する。

天理大学考古学・民俗学研究室　編　978-4-585-23033-5（2015年3月）　天理大学考古学・民俗学シリーズ1

モノと図像から探る怪異・妖怪の世界　A5判・並製・156頁・1600円

弥生土器に描かれた線刻画、鏡の文様にみる想像上の動物たち、瓦に造形された鬼や幾何学模様。考古学・民俗学が研究対象とする遺物や遺跡、儀礼や祭礼の世界には、怪異・妖怪現象を探る素材があふれている。

井ノ口哲也　著　978-4-585-21023-8（2015 年 2 月）

後漢経学研究序説　A5判・上製・432頁・10000円

中国思想に関する古典が概ね出揃い、それらを解釈していく時期となった後漢時代。この時代の知識人の活動情況をつぶさに把握し、その経学に関する学術的営為の位置づけを考察、後漢経学の史的展開を明らかにする。

奥田勲　平野多恵　前川健一　編　978-4-585-21024-5（2015 年 2 月）

明恵上人夢記　訳注　菊判・上製・562頁・8000円

高山寺以外の各所に分散され全体を見渡しての研究が困難であった明恵上人の山外本「夢記」をはじめて網羅的に収集。それらの影印・解題・目録及び夢記一点ごとの翻刻・訓読・現代語訳・考察を収載した画期的な基礎文献。

中村聡　著　978-4-585-22105-0（2015 年 2 月）

宣教師たちの東アジア　日本と中国の近代化とプロテスタント伝道書　A5判・上製・320頁・4800円

清朝末期の中国と、幕末動乱期の日本。近代国家樹立を志向する人々に対して、宣教師たちのもたらした西洋的世界観はどのような影響を及ぼしたのか。伝道書、漢訳西洋科学書を題材として、その交渉と摩擦の歴史を考究する。

北条氏研究会　編　978-4-585-22100-5（2015 年 1 月）

武蔵武士を歩く　重忠・直実のふるさと　埼玉の史跡　菊判・並製・400頁・2700円

鎌倉幕府成立の要として、中世史の中枢に足跡を残した「武蔵武士」。かれらが武蔵の各地に残した様々な史跡を膨大な写真・図版資料とともに詳細に解説。武蔵武士の息づかいを体感するためのガイドブック。

川道麟太郎　著　978-4-585-22104-3（2015 年 1 月）

「征韓論政変」の真相　歴史家の史料批判を問う　四六判・上製・320頁・2200円

西郷隆盛らは征韓論争に敗れて下野したのではない。歴史家が語る「征韓論政変」の虚構性と、その原因が史料の勝手な解釈や使い方、史料批判の欠如にあることを明らかにし、政変の真相を究明する。

森貴史　編　978-4-585-22106-7（2015 年 1 月）

ドイツ王侯コレクションの文化史　禁断の知とモノの世界　四六判・上製・368頁・3400円

ヴンダーカンマー・巨大地球儀・木の百科文庫・奇想庭園・驚異の都市……。ドイツの諸侯が創りだした奇想天外で華やかなコレクションの数々。100 枚超の写真を掲載し、中世的世界観が近代知を生みだす胎動期に触れる。

片桐一男　著　978-4-585-22109-8（2015 年 1 月）

知の開拓者　杉田玄白　『蘭学事始』とその時代　四六判・並製・312頁・2400円

玄白はなぜ蘭学という新しい学問を創始したか。いかにして近代西洋医学の道を切り拓いたか。その成果は後世にどのような影響を与えたか。また、『蘭学事始』執筆の動機とは何か。玄白自身の言葉を手がかりにその謎を解く。

井田太郎　藤巻和宏　編　978-4-585-22099-2（2014 年 11 月）

近代学問の起源と編成　A5判・上製・456頁・6000円

近代学問の歴史的変遷を起源・基底から捉えなおすことによって、「近代」以降という時間の中で形成された学問のフィルター／バイアスを顕在化させ、われわれをめぐる「知」の環境を明らかにする。

村井章介　編　978-4-585-22101-2（2014 年 11 月）

東アジアのなかの建長寺　宗教・政治・文化が交叉する禅の聖地　A5判・上製・512頁・3500円

日中の僧が集う道場として、北条得宗家による宗教政策の中枢として、幕府と禅僧の関係の基盤を築いた建長寺。ヒト・モノ・文化の結節点としての「場」に着目し、東アジアを結ぶ「禅」という紐帯の意義を明らかにする。

北岡伸一　歩平　編　978-4-585-22034-3（第 1 巻）／978-4-585-22035-0（第 2 巻）（2014 年 10 月）

「日中歴史共同研究」報告書　第 1 巻 古代・中近世史篇 ／ 第 2 巻 近現代史篇

A5判・上製：624頁・6000円（第1巻）／464頁・4500円（第2巻）
日本と中国による、初めての歴史共同研究。歴史認識の違いを乗り越えるために今こそ歴史を学ばなければならない。

渡辺浩一　著　978-4-585-22094-7（2014 年 9 月）

日本近世都市の文書と記憶　A5判・上製・400頁・9000円

情報の伝達・蓄積媒体である文書。特にヒト・モノの結節点である都市においては、膨大な量の文書を作成・授受・保管してきた。文書の保管と記憶の創生という観点より、近世都市の歴史叙述のありかたを考察する。

楊海英　著　978-4-585-22095-4（2014 年 9 月）

ジェノサイドと文化大革命　内モンゴルの民族問題　A5判・上製・496頁・6000円

著者自身が収集した、約 6000 頁にのぼる中国政府の公文書と被害者報告書、加害者の反省文など、ほとんどが中国では未公開の資料に依拠。被害者と加害者の双方の資料をもちいた、モンゴル人ジェノサイドの文献的研究。

白須淨眞　編　978-4-585-22096-1（2014 年 9 月）

大谷光瑞とスヴェン・ヘディン　内陸アジア探検と国際政治社会　菊判・上製・432頁・6500円

大谷光瑞は、英露協商下のチベットで苦闘するヘディンを支援し、その返礼に、ヘディンは必ずや楼蘭に到達できる方法とその正確な位置を教えた…。極めて複雑な国際情勢のなか、ふたりの探検家が作りだした歴史の「秘境」に迫る。

竹岡俊樹　著　978-4-585-22091-6（2014 年 9 月）

考古学崩壊　前期旧石器捏造事件の深層　A5判・上製・296頁・3200円

「神の手」藤村新一による旧石器捏造事件から 14 年、発覚に重要な役割を果たした「告発者」が当時の体験と膨大な資料から、事件の全貌を明らかにする。世紀の大失態とその日本的解決。そして考古学の現在。

田中史生　編　978-4-585-22093-0（2014 年 9 月）

入唐僧恵蕚と東アジア　附　恵蕚関連史料集　A5判・上製・280頁・5000円

日中に分散し全貌のつかみづらかった恵蕚に関する史料三十六種を集成、また、恵蕚と恵蕚を取り巻く唐・新羅の人々から多元的な歴史世界を描き出す論考三本を収載。東アジア研究における新たな研究素材と視点を提供する。

福原敏男　笹原亮二　編　978-4-585-23028-1（2014 年 9 月）

造り物の文化史　歴史・民俗・多様性　A5判・上製・480頁・8000円

陶器や金物、野菜など日用品を素材とした一式造り物、物語や芝居の一場面を再現する人形造り物など、近世中期から現代までの多種多様な事例を紹介。自然の模倣として、都市空間の娯楽として造られる、その場限りの民衆芸術の諸相を探る。

齋藤忠和　著　978-4-585-22081-7（2014 年 7 月）

宋代募兵制の研究　近世職業兵士の実相　A5判・上製・500頁・6000円

宋は軍事大国であり、軍隊は大きな社会集団・階層であった。常に兵士を権力の側に置き、戦時には有力な軍事力を発揮するために、王朝は軍隊を一元的に管理しなければならなかった。兵士を雇い集めるシステムの全貌に迫る。

海老澤衷　高橋敏子　編　978-4-585-22090-9（2014 年 5 月）

中世荘園の環境・構造と地域社会　備中国新見荘をひらく　A5判・上製・376頁・8000円

文献資料の分析を軸に政治史・経済史・環境論・古文書学等にまたがる多面的な検証により、生産・流通、自然環境、地域社会、支配構造など、中世荘園をめぐる歴史的状況を立体的に描き出す。

佐藤文子　原田正俊　堀裕　編　978-4-585-21021-4（2014 年 5 月）

仏教がつなぐアジア　王権・信仰・美術　四六判・上製・336頁・3600円

民族・国境を超えて伝播し、言語・思想等に大きな影響を与え、王権とも密接に結びつき、アジア世界をつなぐ紐帯としてあった仏教。仏教を媒介とした交流・交渉のありようを照射、アジア史の文脈のなかに日本を位置づける。

秋山哲雄　田中大喜　野口華世　編　978-4-585-22079-4（2014 年 5 月）

日本中世史入門　論文を書こう　A5判・並製・384頁・2700円

われわれはどのように歴史と対話すべきなのか。歴史学の基本である論文執筆のためのメソッドと観点を日本中世史研究の最新の知見とともにわかりやすく紹介、歴史を学び、考えることの醍醐味を伝授する。

柴田幹夫　著　978-4-585-22080-0（2014 年 5 月）

大谷光瑞の研究　アジア広域における諸活動

A5判・上製・320頁・4500円

宗祖・親鸞の法灯と血統を継承した第 22 世法主・光瑞は、仏教徒のリーダーたることを自負し、アジアを中心としたネットワークの構築を目指した。光瑞がアジア各地、とりわけ中国をどのように認識していたかを明らかにする。

鈴木靖民　金子修一　編　978-4-585-22060-2（2014 年 5 月）

梁職貢図と東部ユーラシア世界

A5判・上製・562頁・8500円

「梁職貢図」の新出題記、そして従来の諸本の多角的検証により、その史料的位置付けを明らかにし、中心・周縁・辺縁の諸関係より構成される東部ユーラシアの世界構造を立体的に描き出す。

川道麟太郎　著　978-4-585-22089-3（2014 年 5 月）

西郷「征韓論」の真相　歴史家の虚構をただす

四六判・上製・320頁・2200円

西郷が主張した朝鮮遣使論の目的については不可解なことが多く、征韓か平和交渉か、日本近代史上のひとつの謎ともされている。西郷隆盛は朝鮮の征服者でもなく、平和の希求者でもなかった。彼の真意はどこにあったのか？

溝井裕一　著　978-4-585-22082-4（2014 年 4 月）

動物園の文化史　ひとと動物の 5000 年

四六判・上製・320頁・2600円

「動物園」は、メソポタミアの古代文明から現在まで、さまざまな形に変化してきた。生活スタイル、環境、宗教、植民地支配などに影響されながら変遷する、ひとと動物のかかわりを探るとともに、自然観をあらわす鏡としての動物園の魅力に迫る。

所功　著　978-4-585-21018-4（2014 年 4 月）

伊勢神宮と日本文化　式年遷宮“常若”の英知

四六判・並製・224頁・1800円

なぜいま、伊勢神宮の「常若」の精神が讃えられるのか。20 年に一度の式年遷宮には、日本人の願いと叡智を読みとることができる。遷宮の多くの神事に奉仕した著者が、伊勢神宮が象徴する日本の精神性を解き明かす。

ジョージ・H・カー　著／山口栄鉄　訳　978-4-585-22088-6（2014 年 4 月）

沖縄　島人の歴史

A5判・上製・630頁・7000円

国際的な沖縄史研究の古典的名著「OKINAWA:The History of an Island People」を、初めて日本語訳。戦後、沖縄が外国人の視点からどう見えていたのかを示す貴重な研究書。

唐澤太輔　著　978-4-585-22076-3（2014 年 4 月）

南方熊楠の見た夢　パサージュに立つ者

A5判・上製・352頁・4200円

「常識」に疑問符を投げつける「極端人」熊楠の思想を探る！　日常の二項対立を越えて、熊楠は何を考え続けたのか。膨大に残された記録の中から「夢」を巡る断片をつなぎ合わせ、いまなお驚きと斬新さを持ち続けるその哲学像を浮かび上がらせる。

山田仁史　永山ゆかり　藤原潤子　編　978-4-585-22083-1（2014 年 3 月）

水・雪・氷のフォークロア　北の人々の伝承世界

A5判・並製・360頁・3500円

地球温暖化の影響が最も顕著に現れると予測される極北地域、そこで暮らす人々の自然観・世界観をフィールドワークや文献資料を通して垣間見ることで、自然環境との共存のあり方を考える。未紹介の伝説・伝承を多数収録。

三宮千佳　著　978-4-585-21019-1（2014 年 3 月）

法華寺阿弥陀浄土院と平等院鳳凰堂

A5判・上製・272頁・8500円

不比等の庭園施設を利用し、巨大な池の中に建てられていた阿弥陀浄土院。中国の皇帝専用の庭園施設である「苑」の景観との関係、平等院鳳凰堂への影響にも言及し、天平時代の代表的な阿弥陀堂の特質を解明する。

所功　監修／坂田桂一　著　978-4-585-22074-9（2014 年 3 月）

公卿補任図解総覧　大宝元年（701）～明治元年（1868）

A4判・上製・224頁・9800円

大宝元年（701）～明治元年（1868）の 1168 年間における『公卿補任』掲載の全現任公卿 2,321 人の人事記録を図解、位階・年齢・日付とともに一覧できる基礎資料の決定版。日本の歴史・文学・思想などを読み解くための基礎資料。

金廣植　著　978-4-585-23023-6（2014 年 3 月）

植民地期における日本語朝鮮説話集の研究　帝国日本の「学知」と朝鮮民俗学

A5判・上製・480頁・12000円

日本人学者＝支配のための植民地主義、朝鮮人学者＝抵抗のための民族主義といった二項対立を乗り越え、両者の相互関連性、人脈を実証的に浮き彫りにする。ナショナリズムに基づいた研究を見直し、朝鮮民俗学がいかに形成されたのかを解明する。

竹本忠雄　著　978-4-585-21020-7（2014 年 3 月）

大和心の鏡像　日本と西洋　二つの空が溶け合うとき

四六判・上製・368頁・3600円

アインシュタイン、小泉八雲、クローデル、マルロー、レヴィ＝ストロース…。知の巨匠たちは、いかに魂の次元で日本文明に傾斜し、霊性時代の再来を予感したか。身をもって東西間に生きた著者渾身の畢生作。

徳田武　編　978-4-585-29060-5（2014 年 2 月）

鳳岡林先生全集

A4判・上製・1392頁・84000円

林羅山の孫・林鵞峰の次男として幕府文教の総元締めである林家を継承、湯島の学問所（聖堂）の祭主となり、大学頭と称された、江戸前期の漢学界を代表する林鳳岡。その文章を集成した全集を影印刊行。巻末に解題を付す。4 冊揃。

佐藤洋一郎　著　978-4-585-23021-2（2014 年 2 月）

食の多様性

四六判・並製・224頁・1800円

いま、安さの追求と大量生産の結果、その多様性が危機に瀕している。食材はもとより、調理法、生産地、季節感などなど、その多彩な世界は護られなければならない。なによりも私たちの安全と健康、そして地球の生態系のために。

島村幸一　編　978-4-585-22078-7（2014 年 1 月）

琉球　交叉する歴史と文化

A5判・上製・456頁・8000円

中国と日本の境界領域に広がり、東南アジアや朝鮮との通交もあった琉球。異文化と歴史意識が交叉する場において、如何なる選択が行われ、「琉球」なるものが創られていったのか。人文学の諸分野からその形成と展開を探る。

磯部彰　編　978-4-585-29065-0（2014 年 1 月）

清朝宮廷演劇文化の研究

B5判・上製・672頁・18000円

東方において覇権を握った大清グルンの国家政策によって、先行する漢族や諸民族の伝統文化は清朝によって再処理が施された。演劇テキストの詳細な比較検討によって、清朝宮廷演劇の歴史上における位置を明示する。

若木太一　編　978-4-585-22058-9（2013 年 9 月）

長崎・東西文化交渉史の舞台　ポルトガル時代／オランダ時代

A5判・上製・392頁・4000円

江戸を遠く離れた地に徳川幕府が設けた東西交流の舞台。本冊では、ポルトガル・オランダとの交流にスポットを当て、日本文化に大きな影響を与えたキリスト教や科学・医学など西欧の技術や思想の浸透・影響度を多角的に論じる。

若木太一　編　978-4-585-22064-0（2013 年 9 月）

長崎・東西文化交渉史の舞台　明・清時代の長崎／支配の構図と文化の諸相

A5判・上製・520頁・6000円

東シナ海における当時の国際交流の中心地＝人・モノ・文化の結節点で紡がれた歴史・文化の諸相を描き出す。本冊では、明清時代の中国との交流、幕府による長崎という場の支配、その中で培われた異文化交流の諸相を取り上げる。

鹿毛敏夫　編　978-4-585-22055-8（2013 年 6 月）

大内と大友　中世西日本の二大大名

A5判・上製・568頁・9500円

12 世紀から 16 世紀の激動の時代を生き抜き、滅びていった 2 つの地域政権は、日本史の史的展開の文脈やアジア社会の空間的広がりのなかでいかなる意義を有するのか。文献史学・考古学・分析化学・対外交流史等の観点から比較する。

山田智　黒川みどり　編　978-4-585-22056-5（2013 年 6 月）

内藤湖南とアジア認識　日本近代思想史からみる

A5判・上製・320頁・4200円

内藤湖南をいかに受容・継承していくか。日本近代史と中国古代史の視点を交差させることで、内藤の思想形成過程を思想史的・史学史的に検討。アジア世界が混迷するいま、「東洋史の大家」の文明観の可能性と限界を再定位する。

湯浅常山　原著／大津雄一　田口寛　訳注　978-4-585-05443-6（2013 年 9 月）

続々　戦国武将逸話集　訳注『常山紀談』巻十六〜二十五　四六判・並製・336頁・1800円

儒学者であり、「節義の士」と評される湯浅常山が記した『常山紀談』を、読みやすい現代語に訳して紹介。逸話のあらすじや歴史的背景など概要を加え、黒田如水、前田慶次、真田昌幸、熊沢蕃山などの多彩な逸話を収録する。

湯浅常山　原著／大津雄一　田口寛　訳注　978-4-585-05442-9（2011 年 10 月）

続　戦国武将逸話集　訳注『常山紀談』巻八〜十五　四六判・並製・296頁・1800円

立花道雪、渡辺惣左右衛門、細川ガラシャ、島津義弘…。名だたる武将の逸話を集めた名著『常山紀談』より、九州平定から関ヶ原合戦前後に至る 170 話余りを読みやすい現代語で紹介。

徳田武　著　978-4-585-22053-4（2013 年 5 月）

小原鉄心と大垣維新史　A5判・上製・364頁・4800円

佐幕か勤王か。藩主・戸田氏正とともに、西洋文明の導入や大砲の鋳造など大垣藩の藩政改革に努め、梁川星巌、佐久間象山らとも交流のあった小原鉄心と、詩人菱田海鵬、野村藤陰らの生涯と詩文から、維新史の知られざる側面に光を当てる。

箱石大　編　978-4-585-22019-0（2013 年 3 月）

戊辰戦争の史料学　A5判・上製・440頁・3500円

明治政府が編纂した史料集「復古記」やその編纂材料を精査すると、これまでとは違った戊辰戦争像が浮かび上がる。諷刺文芸・新聞・絵図・写真などの様々な史料にも着目し、戊辰戦争を多角的に解明するための方法を模索する。

酒井憲二　編著　978-4-585-22006-0（2013 年 1 月）

甲陽軍鑑校注　序冊　A5判・上製・304頁・4800円

武田信玄・勝頼の言動・合戦記事・思想を記し、のち、甲州流軍学の聖典として親しまれた『甲陽軍鑑』。その最善本「三井家旧蔵土井忠生本」に校訂、註を付した。歴史・語学・文学研究者必携の「校註　甲陽軍鑑」、刊行開始！

クォン・ボドゥレ　著／鄭大成　訳　978-4-585-22036-7（2013 年 1 月）

恋愛の時代　大正期（1920 年代前半）朝鮮における文化と流行　A5判・上製・448頁・6000円

社会・文化の様々な分野で改造論が朝鮮をおおった 1920 年代前半。それは「恋愛」や「結婚」に対する人びとの意識にも影響を及ぼした。新聞や雑誌の挿絵や漫画、広告などの資料を盛り込み、1920 年代前半の朝鮮文化を読み解く。

竹岡俊樹　著　978-4-585-22068-8（2013 年 12 月）

旧石器時代文化研究法　A5判・上製・456頁・7000円

遺跡に残された石器を資料として、日本列島で生起した旧石器時代人の歴史と、300 万年間の人類史を明らかにする。「前期旧石器」捏造事件によって崩壊した旧石器時代研究を再生するための、実践的かつ科学的な基盤を提供する。

小原仁　編　978-4-585-22047-3（2013 年 4 月）

『玉葉』を読む　九条兼実とその時代　A5判・上製・432頁・8000円

九条兼実の残した日記『玉葉』はさまざまな事実や事件に関わる第一級の史料として高い評価を得てきた。その記述を詳細に検討し、そこに描かれた歴史叙述を諸史料と対照、九条兼実と同時代の公家社会の営みを立体的に描き出す。

田村航　著　978-4-585-22048-0（2013 年 3 月）

一条兼良の学問と室町文化　A5判・上製・336頁・9500円

「日本無双の才人」と評された一条兼良。古典学・有職学をもって権門と結びついた兼良の学問のあり方をその著述から探り、室町期の政治と文化の潮流のなかに捉え直すとともに、史学史上における「室町」の位置づけを再検討する。

神奈川県立金沢文庫　編　978-4-585-22070-1（2013 年 10 月）

称名寺聖教尊勝院弁暁説草　翻刻と解題　A5判・上製・416頁・12000円

金沢称名寺に残る中世の写本の中から、弁暁の説法の台本が見出された。それらの説草（説教の台本）を翻刻し、卓越した弁舌の才をもって東大寺再興に大きく寄与した学僧弁暁の法会・唱導の実体を伝える根本資料を提供する。

ルチア・ドルチェ　三橋正　編　978-4-585-21017-7（2013 年 9 月）

「神仏習合」再考　A5判・上製・400頁・9800円

多面性を持つ「神仏習合」という現象はいかなる論理的枠組みで説明することが出来るのか。神仏関係を中心に、古代から現代まで、様々な場面で交錯し合う諸宗教のあり方を捉えなおし、新たな日本宗教史の構築を目指す。

大角修　著　978-4-585-21016-0（2013 年 7 月）

阿弥陀仏と極楽浄土の物語　全訳・浄土三部経　四六判・上製・288頁・2800円

浄土信仰の根本教典、浄土三部経（無量寿経・観無量寿経・阿弥陀経）を現代語に完訳。さらにコラム「日本の浄土教と文化」を経典の区切りに挿入し、浄土庭園や阿弥陀三尊、古典文学で語られる極楽などを紹介した。

新堀歓乃　著　978-4-585-21015-3（2013 年 6 月）

近代仏教教団とご詠歌　A5判・上製・272頁・6000円

綿密な資料調査とフィールドワークに基づく最新の知見から、ご詠歌が仏教教団と信者の双方にとって宗教的・音楽的価値をあわせ持つ有効なメディアとして機能してきたことを明らかにし、宗教音楽の持つ力の可能性に光を当てる。

水口幹記　著　978-4-585-22054-1（2013 年 6 月）

渡航僧成尋、雨を祈る　『僧伝』が語る異文化の交錯　四六判・上製・376頁・3500円

成尋の書き残した渡航日記『参天台五臺山記』、そして中国側史料を精査することで見えてきたものとはいったい何か。語り、語られることで交錯する異文化の諸相を立体的に捉え、文化・歴史とは何かを再考する新たな歴史学。

大正大学綜合佛教研究所　仏教における生（いのち）研究会　編　978-4-585-21014-6（2013 年 6 月）

時空を超える生命　〈いのち〉の意味を問いなおす　A5判・上製・432頁・9500円

〈いのち〉の根源的な在り方を、〈個々の「生」そのもの〉と〈個々の生死を包摂したより大なる流れ〉との出会い、すなわち時空を超える生命として捉え、インド・中国・日本の仏教や西洋哲学など、様ざまな生命観に迫る。

伊藤幸司　編　978-4-585-20020-8（2013 年 3 月）

寺内正毅ゆかりの図書館　桜圃寺内文庫の研究　文庫解題・資料目録・朝鮮古文書解題　A5判・上製・556頁・15000円

文庫設立の背景や変遷、蔵書の伝来・体系について、各種資料を基に解説、各資料目録を附し、利用に供するとともに、「桜圃寺内文庫」の歴史的位置づけを明らかにする。古文書学・朝鮮時代後期の研究の基礎資料として有用。

氣賀澤保規　編　978-4-585-21012-2（2013 年 4 月）

中国中世仏教石刻の研究　A5判・上製・344頁・9500円

6 世紀半ば以降の「末法到来」を起点とする時代に、仏教はどのように変容し、社会・文化に影響を与えていったのか。仏教信仰の痕跡を伝え続けてきた諸種の仏教石刻に着目し、当時の仏教信仰の社会的・歴史的展開を照らし出す。

中野聰　著　978-4-585-22050-3（2013 年 3 月）

奈良時代の阿弥陀如来像と浄土信仰　A5判・上製・480頁・12000円

政界・仏教界双方に影響力を有した光明皇后の阿弥陀信仰を中心に考察し、奈良時代における阿弥陀如来像の機能や特質をその形態の比較から位置づける。また、旧説を再検討し、阿弥陀信仰の実相とその歴史的意義を明らかにする。

榊原史子　著　978-4-585-22051-0（2013 年 3 月）

『四天王寺縁起』の研究　聖徳太子の縁起とその周辺　A5判・上製・332頁・8000円

『四天王寺縁起』は、だれがなぜ作成し、いかにして伝えられたのか。多数の写本をもつ『四天王寺縁起』を史料として扱い、諸本の本文を丁寧に吟味する手続きから、成立時期や伝受内容、縁起が後世に与えた影響を明らかにする。

榎本渉　著　978-4-585-21013-9（2013 年 3 月）

南宋・元代日中渡航僧伝記集成　附　江戸時代における僧伝集積過程の研究　B5判・上製・560頁・17000円

南宋・元代に日中間を渡航した僧（107 人）の伝記を一覧とし、重要記事を翻刻集成。東アジア海域交流史研究の基礎資料集。僧伝伝来・集積の過程を精緻な調査研究より明らかにした、史料論・書誌学研究における画期的成果。

水門の会　編　978-4-585-22441-9（2016 年 11 月）　水門27

水門　第二十七号　言葉と歴史　A5判・並製・256頁・2800円

歴史学・文学・言語学・民俗学など諸学の粋を集め、新たな学問世界への扉を開く。本号は小特集として「「東アジアの異界・冥界とその表象―澤田瑞穂の再評価」を設けた。ほか、歴史学・文学・言語学の研究成果 9 本を収載。

水門の会　編　978-4-585-01140-8（2015 年 10 月）　水門26

水門　第二十六号　言葉と歴史　A5判・並製・312頁・3000円

歴史文化研究の交流拠点、開港。歴史学・文学・言語学・民俗学など諸学の粋を集め、ジャンルを越えた新たな学問世界への扉を開く。本号の小特集は「仏教東流と東西世界」と「玄奘三蔵とシルクロード・敦煌・日本」。

水門の会　編

水門　言葉と歴史

歴史学・文学・言語学・民俗学など諸学の粋を集め、ジャンルを越えた新たな学問世界への扉を開く。

- 『第二十一号　追悼　藏中進先生』978-4-585-01135-4（2009 年 6 月）　A5判・並製・336頁・3000円
- 『第二十二号』978-4-585-01136-1（2010 年 6 月）　A5判・並製・436頁・3500円
- 『第二十三号　追悼　長田夏樹先生　小特集　上代における文化圏とは何か』978-4-585-01137-8（2011 年 8 月）　A5判・並製・490頁・4000円
- 『第二十四号　渡辺信和先生に捧ぐ――仏教文学研究の軌跡』978-4-585-01138-5（2012 年 9 月）　A5判・並製・392頁・3200円
- 『第二十五号　小特集――満洲語・漢語研究の多様性』978-4-585-01139-2（2013 年 11 月）　A5判・並製・388頁・3200円

安本美典　著　978-4-585-22558-4（2017 年 1 月）

卑弥呼の墓は、すでに発掘されている !!　福岡県平原王墓に注目せよ　A5判・上製・320頁・2800円

考古学者・原田大六は、平原王墓を天照大神の墓であるとする。奥野正男（元宮崎公正大学教授）は、同墓を卑弥呼の墓とする。双方の説を合わせると、平原王墓は卑弥呼＝天照大神の墓である。福岡県平原王墓の謎に迫る。

安本美典　著　978-4-585-22557-7（2016 年 4 月）

邪馬台国は、銅鐸王国へ東遷した　大和朝廷の成立前夜　A5判・上製・324頁・2800円

銅鐸が、「歴史」のなかによみがえる。大国主の命によって象徴される出雲系勢力。饒速日の命によって象徴される北九州勢力。神武天皇によって象徴される南九州勢力。三つの勢力が織りなす古代日本三国史。

安本美典　著　978-4-585-22556-0（2015 年 9 月）

真贋論争「金印」「多賀城碑」　揺れる古代史像、動かぬ真実は？　A5判・上製・368頁・2800円

福岡県志賀島出土とされる「漢委奴国王」の金印は本物か偽物か。そして、「多賀城碑」は、江戸時代初期の偽造物である。国宝や重要文化財への真贋の疑惑。真実をどこまで追いつめることができるか。

安本美典　著　978-4-585-22555-3（2015 年 1 月）

邪馬台国は 99.9%福岡県にあった　ベイズの新統計学による確率計算の衝撃　A5判・上製・344頁・2800円

鏡、鉄の鏃、勾玉、絹の 4 つのデータを用いて、ベイズ統計学により、もっとも説得力のある確率を計算。「統計学者が『鉄の鏃』の各県別出土データを見ると、もう邪馬台国についての結論はでています」

安本美典　著　978-4-585-22554-6（2013 年 11 月）

古代年代論が解く邪馬台国の謎　科学が照らす神話の時代　A5判・上製・336頁・2800円

日本古代史混迷の元凶は年代論にある。旧来の諸説を丁寧に紹介し、徹底的に批判検討。その上で、天皇一代平均在位年数に基づき、古代世界をあらたに再構成する。古代を照らす入門の書であり、論争の書であり、新世界提示の書。

安本美典　著　978-4-585-22553-9（2013 年 10 月）

日本民族の誕生　環日本海古民族と長江流域文化の融合　A5判・上製・336頁・2800円

縄文中期、西日本は火山の大爆発で壊滅した。その後、極東アジアの古文化と長江流域の文化が融合し、日本民族が生まれた。稲作、日本語、武具、建築、鵜飼や竹馬などの習俗を総合的に検証し、日本民族のルーツに迫る。

安本美典　著　978-4-585-22552-2（2013 年 3 月）

大炎上「三角縁神獣鏡＝魏鏡説」　これはメイド・イン・ジャパン鏡だ　A5判・上製・306頁・2800円

奈良県を中心に出土する三角縁神獣鏡は、卑弥呼が魏から贈られたものとされ、邪馬台国畿内説の根拠とされてきた。しかし、それは魏と敵対する呉系の鏡であり、4 世紀ごろ、崇神天皇の時代前後にわが国で作られたものである。

安本美典　著　978-4-585-22551-5（2012 年 12 月）

大崩壊「邪馬台国畿内説」　土器と鏡の編年・不都合な真実　A5判・上製・344頁・2800円

卑弥呼が魏からおくられたとされるホケノ山古墳出土の「画文帯神獣鏡」は、中国北方の魏系の鏡ではない。土器には、西暦年数に換算できるような確実な年代的指標はない。科学的・歴史的データを駆使し、「畿内説」の論拠を検証。

安本美典　著　978-4-585-22550-8（2011 年 7 月）

卑弥呼の墓・宮殿を捏造するな！　誤りと偽りの「邪馬台国＝畿内説」　A5判・上製・368頁・2800円

箸墓古墳は、卑弥呼の墓ではない。大きな建物跡が出土すると、なぜ、たちまちそれが卑弥呼の宮殿になるのか？　炭素 14 年代測定法を利用した研究・報道の虚偽を暴き、科学的根拠に基づいた事実から、あるべき方向性を指し示す。

安本美典　著　978-4-585-05413-9（2009 年 7 月）

研究史　日本語の起源　「日本語＝タミル語起源説」批判　A5判・上製・312頁・2800円

日本語の起源はどこにあるのか？　『万葉集』の歌が朝鮮語、タミル語、レプチャ語で説明できる…。数多ある俗流起源説を総覧、その誤謬を鋭く指摘し、日本語の起源問題を読み解くための方法論を提示する。

安本美典　著　978-4-585-05392-7（2008 年 3 月）

「邪馬台国畿内説」徹底批判　A5判・上製・312頁・2800円

邪馬台国畿内説は誤りである！　「邪馬台国畿内説」は科学的方法によっているであろうか。あまりにも事実を無視し、推論が恣意的である。事実を冷厳に直視すれば、邪馬台国時代の畿内は、なお「扁平鈕式銅鐸」の時代である。

安本美典　著　978-4-585-05156-5（2006 年 10 月）

日本神話 120 の謎　A5判・上製・350頁・3200円

朝鮮半島出土の金冠を飾る多くのみどりの勾玉は、朝鮮製か日本製か？　草薙の剣は、韓国で出土している鉄剣の類か？　八咫の鏡、草薙の剣、八尺の勾玉。三種の神器が語る古代世界の謎を徹底解明 !!

安本美典　著　978-4-585-05324-8（2005 年 7 月）

大和朝廷の起源　A5判・上製・344頁・3200円

『古事記』『日本書紀』の伝える神武東征伝承こそ、邪馬台国勢力東遷の記憶である。南遷した勢力のなかから、神武天皇の名で伝えられる人物があらわれる。神武天皇は、西暦 3 世紀の末に東征し、大和朝廷をひらいた。

安本美典　著　978-4-585-05131-2（2004 年 11 月）

邪馬台国と出雲神話　A5判・上製・335頁・3200円

邪馬台国と日本神話の謎　加茂岩倉遺跡・神庭荒神谷遺跡に出現した大量の遺物は、神話を裏付けている！　好評・安本美典著作の第 5 弾！

安本美典　著　978-4-585-05125-1（2004 年 2 月）

邪馬台国と高天の原伝承　A5判・上製・300頁・3200円

「邪馬台国＝高天の原」史実は国内で神話化した。日本神話に見える数々の地名が、この近辺に実在している。そして 1992 年、巨大環濠集落「平塚川遺跡」が、この地に出現した。「吉野ヶ里遺跡」にならぶといわれる遺跡である。

安本美典　著　978-4-585-05122-0（2003 年 6 月）

「倭人語」の解読　A5判・上製・380頁・3200円

「倭人語」解読の鍵は、当時の中国音と「万葉仮名の読み方」にあった！「日御子」説（新井白石）、「姫児」説（本居宣長）、「姫命の略」説（松下見林）などがあるなか、「卑弥呼」の意味は、どの説が正しいか？

安本美典　著　978-4-585-05124-4（2003 年 6 月）

古代物部氏と『先代旧事本紀』の謎　A5判・上製・316頁・2800円

『先代旧事本紀』の真実。はじめて明らかにされた編纂者と成立年代！　編纂者は明法博士の興原敏久、成立年代は西暦 827 ～ 829 年前後だ！

安本美典　著　978-4-585-05123-7（2003 年 6 月）

倭王卑弥呼と天照大御神伝承　A5判・上製・304頁・3200円

卑弥呼と天照大神の年代とは重なり合う！　卑弥呼は天照大神だ !!「天の岩屋」の話は、日食神話だ！　卑弥呼の死んだころ、福岡市上空で、皆既日食が 2 年つづけて起きていた！

醍醐寺文化財研究所　編　978-4-585-22504-1（2013 年 8 月）

醍醐寺文化財調査百年誌　「醍醐寺文書聖教」国宝指定への歩み　A5判・上製・320頁・3800円

文化財はどのように守られ、伝えられてきたのか。醍醐寺に伝わる「醍醐寺文書聖教」は、仏教のみならず、政治・経済・芸能等の分野にわたって、日本の歴史・文化を伝える一級の史料である。百年に及ぶ調査・研究の営みを振り返る。

永村眞　編　978-4-585-22501-0（2011 年 6 月）

醍醐寺の歴史と文化財　四六判・上製・344頁・3600円

平安時代の創建より、いまに至るまで仏法を伝え、その文化財の伝承・保存に力を注ぐ醍醐寺。その信仰と歴史に焦点をあて、これからの文化財との共存のあり方を再考する。

佐藤進一　笠松宏至　永村眞　編　978-4-585-03132-1（2006 年 2 月）　大乗院寺社雑事記紙背文書 2

大乗院寺社雑事記紙背文書　第二巻　A5判・上製・400頁・10600円

国立公文書館内閣文庫所蔵の重要文化財、南都興福寺大乗院門跡尋尊の日記『大乗院寺社雑事記』。その紙背文書約 6,000 点全点を翻刻する。第 26 冊（寛正 5 年）紙背文書から、第 50 冊（文明 4 年）紙背文書までを収める。

佐藤進一　笠松宏至　永村眞　編　978-4-585-10088-1（2002 年 11 月）　大乗院寺社雑事記紙背文書 1

大乗院寺社雑事記紙背文書　第一巻　A5判・上製・368頁・9800円

国立公文書館内閣文庫所蔵の重要文化財、南都興福寺大乗院門跡尋尊の日記『大乗院寺社雑事記』。その紙背文書約 6,000 点全点を翻刻し刊行。第 1 冊から第 25 冊までを収める。

総本山醍醐寺　編　978-4-585-22500-3（2010 年 6 月）

醍醐寺叢書 史料篇 枝葉抄　影印・翻刻・註解　A4判・上製・480頁・20000円

醍醐寺報恩院門主・隆源の雑録『枝葉抄』の自筆原本（総本山醍醐寺蔵）を影印・翻刻。伝本、作者に関する詳細な論考と各記事の注解を付した。さらに、原本にふくまれない現存諸本中の記事を集成し、翻刻。

総本山醍醐寺　編　978-4-585-22502-7（2012 年 11 月）

醍醐寺叢書 史料篇 建築指図集　図版篇 解説篇　第 1 巻　A4判・上製・320頁・22000円

寺院史・建築史研究における重要史料集。「指図」とは、建築の造営や建物の形態などを描いた史料である。800 函にのぼる醍醐寺所蔵の文書・聖教類より、指図類を抽出し集成。フルカラーの図録篇と詳細な解説を附した。

近藤有宜　著　978-4-585-22049-7（2013 年 3 月）

西大寺の創建と称徳天皇　A5判・上製・272頁・8000円

『西大寺資財流記帳』や『続日本紀』などの諸史料を手掛かりに、称徳天皇の発願による西大寺の造営事業のあり方、伽藍配置や仏像の問題などを明らかにし、創建時の西大寺を当時の文化・社会・宗教のなかに浮かび上がらせる。

綱本逸雄　著　978-4-585-22066-4（2013 年 8 月）

京都盆地の災害地名　A5判・上製・344頁・3800円

地名に刻まれた被災地の記憶。東日本大震災で、あらためて日本人は災害の恐ろしさを知り、先祖の遺訓に目を向けるようになった。文献を丹念に調査し、言葉の源流を辿りながら、京都盆地の地名から災害の記憶を読み解く。

総本山醍醐寺　編

醍醐寺叢書 目録篇

重要文化財「醍醐寺文書」それぞれの史料名・年月日・員数・成立時代・内容・書出・書止など必要な情報を抽出。

・1『醍醐寺文書聖教目録　第一巻　第一函～第二〇函』978-4-585-03067-6（2000 年 3 月）　A4判・上製・728頁・20000円

・2『醍醐寺文書聖教目録　第二巻　第二一函～第四〇函』978-4-585-03142-0（2005 年 11 月）　A4判・上製・600頁・20000円

・3『醍醐寺文書聖教目録　第三巻　第四一函～第六〇函』978-4-585-03199-4（2008 年 12 月）　A4判・上製・904頁・30000円

・4『醍醐寺文書聖教目録　第四巻　第六一函～第八〇函』978-4-585-21039-9（2017 年 4 月）　A4判・上製・936頁・30000円

・6『醍醐寺文書聖教目録　第六巻　第一〇一函～第一三〇函』978-4-585-03096-6（2003 年 3 月）　A4判・上製・700頁・20000円

京都地名研究会　編

京都の地名　検証　風土・歴史・文化をよむ　全 3 巻

京都の地名に隠された魅力を探る。いま、消えゆこうとしている多彩で豊かな地名の数々。それらを収集、検証し、無形文化として後世に伝える。京都旅行のお供に、日本文化理解に、新たな発見に満ちた地名探求の書。

・1　978-4-585-05138-1（2005 年 4 月）　四六判・上製・440頁・3000円　※品切

・2　978-4-585-05139-8（2007 年 1 月）　四六判・上製・400頁・3000円

・3　978-4-585-22000-8（2010 年 6 月）　四六判・上製・416頁・3000円

知恵の会　編／糸井通浩　代表　978-4-585-22005-3（2010 年 7 月）

京都学を楽しむ　古都をめぐる 33 の講座　四六判・上製・448頁・3400円

京野菜、祭り、仏像、観光学、京気質、酒、京菓子…。京都は伝統的な文化都市でありながら、たえず革新でありつづける。そこに、京都学の大きな魅力がある。とっておき、ほんまもんの京都を楽しく知的に案内。

渡邊明義　編　978-4-585-22503-4（2013 年 3 月）

地域と文化財　ボランティア活動と文化財保護　四六判・上製・352頁・3400円

文化財を守り、伝えていくために我々は地域の文化財に対し、どのようなアプローチが可能なのか。文京区民による文化財への取り組み〈文の京地域文化インタープリター〉を学び、地域住民や行政による文化財保護・活用のこれからを考える。

湯山賢一　編　978-4-585-03232-8（2009 年 4 月）

文化財と古文書学　筆跡論　四六判・上製・320頁・3600円

書流・書法にとらわれた従来の一面的な視点を再考し、書誌学はもとより、伝来・様式・形態・機能・料紙など、古文書学の視座との連携のなかから、総合的な「筆跡」論への新たな道標を示す。

水嶋英治　著　978-4-585-05359-0（2006 年 2 月）

文化財教育学ことはじめ　A5判・上製・360頁・3500円

文化財に対する倫理を初歩から教え説き「礼・節・技」を知る。新たな学問「文化財教育学」の提唱博物館に関わり、歴史遺産を愛するすべての人がとりくむべき問題をわかりやすく考察する。

木部暢子　小松和彦　佐藤洋一郎　編　978-4-585-22065-7（2013 年 11 月）

アジアの人びとの自然観をたどる　四六判・上製・352頁・3800円

自然認識は思想・言語表現の多様性と普遍性にいかに影響しているか。森林・河川・沿岸域など、共有資源（コモンズ）をめぐる社会経済史とガバナンスなど、民俗学、言語学、環境学の視座から、自然と文化の重層的関係を解明する。

大野寿子　編　978-4-585-29050-6（2013 年 2 月）

超域する異界　A5判・上製・400頁・6500円

国境を超え時間的制約を逃れ、人間の日常および精神生活の彼方に想像される「異界」。その諸相を、グリム童話から日本の民話、各国の文学・音楽・絵画表象、言語学からコミュニケーション研究に至るまで、超域的に考察する。

飯倉照平　著　978-4-585-22067-1（2013 年 10 月）

南方熊楠の説話学　A5判・上製・376頁・4500円

南方熊楠が生涯をかけて凝視しつづけたのは、森羅万象の生命力のもつ不可思議さであった。英米での十数年の放浪と西洋の学問への研鑽をへながらも、漢字世界の書物に没頭し続けた南方熊楠。その説話学の広野に足を踏み入れる。

武内善信　著　978-4-585-22045-9（2012 年 11 月）

闘う南方熊楠　「エコロジー」の先駆者　四六判・上製・424頁・3000円

様々な伝説を持つ熊楠の虚実を明らかにし、歴史的人物としての姿を浮き彫りにする。先駆的な「地域主義」や「エコロジー」の思想を生み出すに至った背景を、膨大に遺された史料の実証と、交友のあった同時代人の視点から探る。

白須淨眞　著　978-4-585-22040-4（2012 年 8 月）

大谷探検隊研究の新たな地平　アジア広域調査活動と外務省外交記録　菊判・上製・416頁・8000円

仏跡調査を目ざす大谷探検隊を、英・露・清国、そしてチベットのダライ・ラマ 13 世は、どのように見たのか。また小村寿太郎ら外務大臣は、各国の抗議にどのように対処したのか。新資料・外務省外交記録が、その知られざる真相を浮き彫りにする。

柴田幹夫　編　978-4-585-22004-6（2010 年 8 月）

大谷光瑞とアジア　知られざるアジア主義者の軌跡　A5判・上製・608頁・6500円

大谷光瑞の魅力と意義をアジアという地域性のなかに追求。ロシア、朝鮮、中国、チベット、トルコ、南洋など各地域との関わりを詳述するほか、建築、香、薬物、外務省外交記録など多角的な観点からの論考を多数収録。

伊原弘　編　978-4-585-27005-8（2011 年 12 月）

「清明上河図」と徽宗の時代　そして輝きの残照　A5判・上製・450頁・4500円

中国美術の至宝「清明上河図」とその時代を多角的観点から徹底検証。「清明上河図」が後世の画巻美術に与えた影響を考察するとともに、皇帝徽宗の評価を再検討する。好評を得た『「清明上河図」をよむ』、待望の続編、遂に刊行！

野嶋剛　著　978-4-585-27011-9（2011 年 12 月）

謎の名画・清明上河図　北京故宮の至宝、その真実　四六判・並製・208頁・1300円

北宋、開封の都を描いたとされる中国屈指の名画「清明上河図」。その作品のすべては深遠な謎と波乱に満ちたストーリーに満ちている。鑑賞の方法から作品成立の裏側まで、知られざる名画を味わい、愉しむ。

伊原弘　編　978-4-585-04056-9（2003 年 10 月）

『清明上河図』をよむ　A5判・上製・394頁・4500円

12 世紀。風流天子徽宗の御世の『清明上河図』。精緻な画法で、北宋時代の都市がカレイド・スコープのようにまわる。『水滸伝』のなかにもかきこまれる開封。16 名の読み手による謎解き。

ソランジュ・ブラン　撮影／下澤和義　土屋昌明　編著　978-4-585-22046-6（2012 年 11 月）

北京 1966　フランス女性が見た文化大革命　B5判・上製・160頁・3200円

1966 年の北京。大使館勤務のフランス人女性が撮影した写真には、文化大革命前後の中国が撮されていた。プロパガンダ写真とは一線を画する貴重 な写真の数々をカラーで掲載。中国史と表象文化の専門家による詳細な解説を付す。

大橋健二　著　978-4-585-21011-5（2012 年 10 月）

新生の気学　団藤重光「主体性理論」の探求　A5判・上製・344頁・5000円

近代文明の見直しという大きな問題を突きつけた 3・11 とフクシマに直面する現代世界に対し、団藤「主体性理論」の真義を、気学を軸として多角的な視座から明らかにする。

大角修　著　978-4-585-21010-8（2012 年 10 月）

ブッダと神々の物語　釈迦の生涯と経典の言葉　四六判・並製・256頁・1800円

降誕、四門出遊、スジャーターの乳粥、悟りから入滅まで。釈迦の生涯とエピソードのかずかずを、原始経典のかたちのままわかりやすく紹介。近代の仏教研究のなかで失われた、神々と「目覚めた人」の壮大な物語をとりもどす。

池田末則　著　978-4-585-22043-5（2012 年 10 月）

地名の考古学　奈良地名伝承論　A5判・上製・400頁・12000円

地名という学問は、全国地名の収集・整理・比較・編年・正書法などの研究を積み重ね、体系化、理論化することから新しい視野が広がるという地道な学問である。

鈴木英之　著　978-4-585-21009-2（2012 年 8 月）

中世学僧と神道　了誉聖冏の学問と思想　A5判・上製・384頁・9800円

中世の主要な思想・信仰・文学を包括的に修め、浄土宗義・地位の確立に生涯を捧げた了誉聖冏。のちに浄土宗第七祖として尊崇された高僧による「兼学」の様相をその神道関係著作に探り、中世日本の学問のかたちを明らかにする。

谷山俊英　著　978-4-585-21008-5（2012 年 6 月）

中世往生伝の形成と法然浄土教団　A5判・上製・296頁・9000円

宗教思想の一大変転期であった中世に成立した「中世往生伝」の存在意義を思想史上に明確に位置づけ、中世の人々が認識していた往生伝の実像に迫る。

王静　著／池上正治　訳　978-4-585-22039-8（2012 年 6 月）

中国慈城の餅文化　菊判・並製・224頁・3800円

見てよし、食べてよし、慈城名物の種類豊かな餅は、中国の誰もが知っている地方特産品。色、形、味、種類、豊かな意匠 etc…。祝祭・儀礼・日常に不可欠の餅文化を、詳細精緻に記述した総合餅文化の学。

金子拓　編　978-4-585-22041-1（2012 年 7 月）

『信長記』と信長・秀吉の時代　四六判・上製・344頁・3800円

織豊期を語るうえでの根本史料として知られる『信長記』。その自筆本や新出写本、秀吉の事跡を記した『大かうさまくんきのうち』など牛一著作の詳細な調査・比較検討を通じて、あらたな信長研究の方法を示す。

金子拓　著　978-4-585-05420-7（2009 年 10 月）

織田信長という歴史　『信長記』の彼方へ　四六判・上製・450頁・3800円

信長の家臣太田牛一が著した『信長記』。複数残る自筆本や写本の系統分類と比較検討をとおして、成立・伝来に関わった中世末から近世にかけての人びとの歴史に対する向きあいかたに迫る。

埼玉県立嵐山史跡の博物館　葛飾区郷土と天文の博物館　編　978-4-585-22038-1（2012 年 5 月）

秩父平氏の盛衰　畠山重忠と葛西清重　A5判・上製・348頁・3800円

二つの相異なる鎌倉武士のあり方を、最新の中世史研究の成果、中世考古学資料、各地域にのこる伝承など多角的な視点から論じ、秩父平氏の実像を明らかにする。

大橋一章　新川登亀男　編　978-4-585-22037-4（2012 年 5 月）

「仏教」文明の受容と君主権の構築　東アジアのなかの日本　A5判・上製・392頁・9500円

「仏教」の異文明との遭遇は、東アジア世界においてどのように作用したのか。日本列島に焦点をあて、「仏教」文明の東漸と君主権の構築の関わりを探る。

鈴木靖民　著　978-4-585-22031-2（2012 年 4 月）

比較史学への旅　ガリア・ローマから古代日本へ　四六判・並製・192頁・1700円

国家とは何か、都市とは何か。交流のもたらす歴史的意義とはいかなるものか。周縁への視座から世界史の命題を解き明かし、世界史上における古代日本の位置を模索する比較史学へのアプローチ。

小林英夫　著　978-4-585-22032-9（2012 年 4 月）

日本人のアジア観の変遷　満鉄調査部から海外進出企業まで　A5判・上製・216頁・2800円

日清・日露戦争以来の「伝統的アジア学」と太平洋戦争期の「新アジア学」の相克と変遷をたどり、戦後の企業の海外展開と国際化のなかで変化していった日本人の対アジア意識を探る。

伊藤徳也　著　978-4-585-29028-5（2012 年 4 月）

「生活の芸術」と周作人　中国のデカダンス＝モダニティ　A5判・上製・312頁・4200円

旺盛な活動を行なった文人にして、魯迅の実弟。ナショナリストにして、祖国を裏切った〈漢奸〉。「生を求める意志」を持ち悩み苦しむ現世的な人間＝頽廃派をキーワードに、近現代の日中文化をつなぐ要注意人物、周作人の思想に迫る。

丸山顕徳　著　978-4-585-22027-5（2012 年 3 月）

口承神話伝説の諸相　A5判・上製・408頁・9800円

口承神話研究から、日本文化を解明する手掛かりを提出し、その深さに迫る。沖縄地方の口承神話、未開拓研究分野といえる大和地方を中心とした民話の調査報告、神話・説話の視点から日本文化の問題にも言及。

徳田武　著　978-4-585-22030-5（2012 年 3 月）

会津藩儒将　秋月韋軒伝　四六判・上製・240頁・2500円

藩主松平容保や朝彦親王に忠節を尽くした漢学者秋月悌次郎、号は韋軒。その壮絶な生涯から維新の実像が浮かび上がる。「刀史」などの漢詩・漢文資料を縦横に用いた評伝の白眉。

徳田武　著　978-4-585-22025-1（2011 年 12 月）

朝彦親王伝　維新史を動かした皇魁　A5判・上製・344頁・4800円

朝彦親王は、幕末期において、孝明天皇、徳川慶喜を陰で支えるなど大きな影響力を持ちながら、「史実」に記されることが少ない人物である。幕末維新の重要史料を仔細に読み解き、その知られざる生涯を描きだす。

柴山守　著　978-4-585-20013-0（2012 年 3 月）

地域情報マッピングからよむ東南アジア　陸域・海域アジアを越えて地域全体像を解明する研究モデル　A5判・上製・336頁・5000円

情報学の「眼」から地域情報のマッピング（写像）を介して、〈見えるうごき〉と〈見えないうごき〉をよみ、その全体像を理解する研究モデルを紹介する。

HGIS 研究協議会　編　（川口洋（代表）　石崎研二　後藤真　関野樹　原正一郎）　978-4-585-22022-0（2012 年 3 月）

歴史 GIS の地平　景観・環境・地域構造の復原に向けて　B5判・並製・288頁・4000円

古文書、古地図、遺物・遺構など多様な史資料の集約・可視化・時空間計量分析を図る情報学と、過去に生きた人々の日常生活の復原をめざす歴史地理学とのコラボレーション。

木村純子　著　978-4-585-22900-1（2012 年 2 月）

室町時代の陰陽道と寺院社会　A5判・上製・696頁・12000円

これまで看過されてきた寺院史料や新出史料・未刊史料など、多角的な資料を積極的に活用することで、室町時代の基礎的史料を広く提供し、総合的な分析から陰陽道研究における新たな視座を提示した。

菅野恵美　著　978-4-585-22028-2（2012 年 2 月）

中国漢代墓葬装飾の地域的研究　A5判・上製・306頁・9000円

歴史地理学および考古学的手法を利用して「モノ」の側面にアプローチし、図像学および歴史学的方法から「文化」を考察し、歴史的視野から地域的まとまりの形成と画像の受容について切り込む。

加来耕三　著　978-4-585-22026-8（2012 年 1 月）

世界史のなかの平清盛　四六判・並製・288頁・1600円

戦乱の時代に、ただひとり海外貿易の重要性に着目し、アジアに冠たる海洋国家の建設を目指した清盛。現代に通じる国際感覚と経済観念をもち、壮大な構想のもとに日本を変えようとしたその生き様とは？

梅棹忠夫　著／小長谷有紀　編　978-4-585-23013-7（2011 年 12 月）

梅棹忠夫の「人類の未来」　暗黒のかなたの光明　A5判・並製・200頁・1800円

梅棹忠夫が構想し、ついに完成させられなかった書物がある。そこには、文明学者・梅棹が想定する〈人類の未来〉が描かれるはずであった――　残された当時の資料、対談記録を現代の目で読みとき、幻の著作の全貌に迫る。

梅棹忠夫　著／小長谷有紀　佐藤吉文　編　978-4-585-23007-6（2011 年 5 月）

ひらめきをのがさない！ 梅棹忠夫、世界のあるきかた　A5判・並製・176頁・2200円

元祖「知的生産の技術」者による、発想法の極意。「あるきながら、かんがえる」という梅棹忠夫の思想のプロセスを追体験しながら、その極意をつかむ。稀代の探求者・観察者は世界をどのように見ていたのか。

白承鍾　著／松本真輔　訳　978-4-585-23011-3（2011 年 10 月）

『鄭鑑録』　朝鮮王朝を揺るがす予言の書　四六判・上製・384頁・4800円

18 世紀半ば、突如として朝鮮半島に現れた予言書『鄭鑑録（ていかんろく）』。弾圧の対象となった同書が、密かに民間に流布し、現実の王朝転覆事件をもたらすにまでいたったその背景、古代から近現代に至るまでの予言書の系譜を照射する。

新川登亀男　早川万年　編　978-4-585-22021-3（2011 年 10 月）

史料としての『日本書紀』　津田左右吉を読みなおす　A5判・上製・576頁・9800円

記紀批判、国民思想、中国思想、歴史教育等、多岐にわたる知の地平を切り開いてきた津田左右吉。「史料」と「歴史」、「事実史」と「思想史」、そのあわいをいち早く捉え、人間を論じようとした津田左右吉を、あらためて読みなおす。

高山龍三　著　978-4-585-22018-3（2011 年 9 月）

河口慧海への旅　釈迦生誕地に巡礼した人びと　A5判・上製・320頁・4200円

日本とネパール、120 年の文化交流史。河口慧海をはじめ、インド・ネパールに旅した人々の足跡を辿る旅と研究の軌跡。

藤巻和宏　編　978-4-585-21007-8（2011 年 8 月）

聖地と聖人の東西　起源はいかに語られるか　A5判・上製・520頁・9800円

「聖地」「聖人」にまつわる言説は、なぜ世界各地に遍在するのか。〈語りえないもの〉を物語り、更新していくその心性とは何か。宗教的起源をめぐる根源的な問いに対する「比較縁起学」からのアプローチ。

竹田和夫　編　978-4-585-22011-4（2011 年 6 月）

古代・中世の境界意識と文化交流　A5判・上製・368頁・4800円

古代中世において日本列島の四至は、東は陸奥・蝦夷が島、西は九州・鬼界島、南は土佐・熊野、そして北辺は佐渡と認識されていた。本書では、その境界意識の歴史を探る。

鈴木靖民　荒井秀規　編　978-4-585-22016-9（2011 年 6 月）

古代東アジアの道路と交通　A5判・上製・416頁・6000円

ヒト・モノ・情報などの移動・交流・伝達を司り、国家経営の要諦をなす道路・交通制度。大型計画道路の画期として知られ、近年実相が明らかになりつつある秦の直道を中心に、道路構造や道路網、交通制度などを多角的に分析。

志村有弘　編　978-4-585-21006-1（2011 年 6 月）

わが心の妙好人　市井に生きた善人たち　四六判・上製・320頁・2400円

妙好人とは、浄土真宗の信者で、ひたすら念仏の世界に生きる人のことをいう。彼等は概して無学で貧しい。しかし、彼等の物語が伝える、世俗の欲を離れた美しい人柄は、まさに白蓮華にたとえられるにふさわしい。

倉西裕子　著　978-4-585-22015-2（2011 年 6 月）

源氏物語が語る古代史　交差する日本書紀と源氏物語　A5判・上製・256頁・3600円

「いずれの御時…」は、いつの時代？『源氏物語』の歴史的舞台を特定するに留まらず、「倭の五王」の問題など未解明な研究課題が山積する謎多き古代史の実像を明らかにする。

石田勇治　武内進一　編　978-4-585-22511-9（2011 年 4 月）

ジェノサイドと現代世界　A5判・上製・496頁・4500円

人類史上の汚点「ジェノサイド」は、過ぎ去った物言わぬ歴史ではなく、来るべき悲しい可能性である。夥しい事例を真摯に究明し、固有の原理と共通のメカニズムを析出し、予防システムの構築を目指す。

橋本雄　著　978-4-585-22013-8（2011 年 4 月）

中華幻想　唐物と外交の室町時代史　四六判・上製・332頁・2800円

「日本国王」に冊封された歴代の室町将軍たちは素直に中国の華夷秩序を受け入れたのか？　伝統的な日本の《中華意識》は消え失せたのか？　言説・伝説の世界を逍遙し、文化史や美術史の成果とも切り結ぶ、新しい対外関係史。

中尾正義　編　978-4-585-23006-9（2011 年 3 月）

オアシス地域の歴史と環境　黒河が語るヒトと自然の 2000 年　A5判・上製・296頁・3200円

東西の交流路であるシルクロードと、南北異文化の交易路とが交差する「文化の十字路」＝中国・黒河流域。人類の歴史において極めて重要なこの地で、史料と自然科学のデータが融合し、人と自然の歴史が明らかになる。

笠原十九司　編　978-4-585-22007-7（2011 年 1 月）

戦争を知らない国民のための 日中歴史認識　『日中歴史共同研究〈近現代史〉』を読む　A5判・上製・288頁・2500円

隣国理解の鍵はすべて「歴史」のなかにあり、対話を求める「未来」のなかにある。4 年をかけて成立した「日中歴史共同研究」の意味を問う。日中両国の歴史教育・報道・研究姿勢の問題を検討する。

新編森克己著作集編集委員会　編（伊原弘　榎本渉　小島毅　手島崇裕）

新編森克己著作集　全５巻

日宋文化交流史の泰斗、待望の全集。日本の宋・高麗との交渉を中心に、東アジア海域交流の諸相を明らかにする。

- 1『新訂日宋貿易の研究』978-4-585-03200-7（2008 年 12 月）　A5判・上製・400頁・10000円
- 2『続日宋貿易の研究』978-4-585-03201-4（2009 年 4 月）　A5判・上製・450頁・10000円
- 3『続々日宋貿易の研究』978-4-585-03202-1（2009 年 10 月）　A5判・上製・450頁・10000円
- 4『増補日宋文化交流の諸問題』978-4-585-03203-8（2011 年 1 月）　A5判・上製・450頁・10000円
- 5『古代〜近代日本の対外交流』978-4-585-03204-5（2015 年 9 月）　A5判・上製・450頁・10000円

深沢克己　編　978-4-585-21004-7（2010 年 11 月）

ユーラシア諸宗教の関係史論　他者の受容、他者の排除　A5判・上製・312頁・6000円

日本・中国から地中海・ヨーロッパにいたるユーラシア地域の諸宗教間の受容と排除の問題を歴史学、人類学、宗教学など多角的視点から探る。

中野玄三　加須屋誠　上川通夫　編　978-4-585-21003-0（2010 年 11 月）

方法としての仏教文化史　ヒト・モノ・イメージの歴史学　A5判・上製・544頁・12000円

日本文化の地下鉱脈として古文書・古記録・絵画・彫刻・聖教など多様な史資料のなかにその影響を色濃く残す仏教文化を再構築し、立体的な歴史像を描き出す。

石川千恵子　著　978-4-585-22008-4（2010 年 11 月）

律令制国家と古代宮都の形成　A5判・上製・408頁・9800円

考古学資料・文献史料の総合的な読み解きから、宮都造営における理念や契機、展開の独自性、さらには東アジア国際情勢との関係性を追求、日本古代国家成立の歴史的特質を明らかにする。

高橋恵美子　著　978-4-585-03171-0（2010 年 9 月）

中世結城氏の家伝と軍記　A5判・上製・312頁・9500円

家の栄誉や当主の事績を後世に記し残す「家伝」の検討を通して、中世東国の武士団結城氏と、結城氏をとりまく周辺諸氏との相互関係の時代的推移を考察し、「家伝」の共有、拡散などの実態を解明する。

長野一雄　著　978-4-585-21002-3（2010 年 8 月）

仏典説話を現代語で読む　四六判・上製・384頁・3800円

生々しい古代の物語から原始仏教の躍動感を感じる天界・地界・人界・地獄界のドラマチックな物語 158 話。仏教理解に重要な説話を読みやすく解りやすい現代語で読む決定版。

諏訪春雄　著　978-4-585-23002-1（2010 年 8 月）

霊魂の文化誌　神・妖怪・幽霊・鬼の日中比較研究　A5判・上製・368頁・8000円

神・妖怪・幽霊・鬼は霊魂の働きによる怪異現象である。人間と自然の霊魂が相互に交流しながら怪異を生む。日本と中国の古代から現代までを大観した霊魂の文化誌。索引完備で事典を兼ねる。

サムエル・C・モース　根本誠二　編　978-4-585-21001-6（2010 年 5 月）

奈良・南都仏教の伝統と革新　A5判・上製・360頁・8000円

平安仏教は奈良仏教に対抗・凌駕するものとして成立したのか？　これまで消極的な評価がなされてきた奈良仏教を、日本文化の形成における画期として位置付け、その形成と継承のあり方を再考する。

高津孝　編訳　978-4-585-03252-6（2010 年 4 月）

中国学（シノロジー）のパースペクティブ　科挙・出版史・ジェンダー　A5判・上製・336頁・4500円

今日の中国史研究において、英語圏との交流は欠かすことができない。日本語圏と英語圏の学術交流が極めて乏しい現状を打破し、アメリカ、ヨーロッパにおける中国学の最新・最先端の研究成果を紹介する。

倉西裕子　著　978-4-585-22001-5（2010 年 4 月）

仏教伝来の源流　百済観音と救世観音がむすぶ東洋と西洋　四六判・上製・336頁・2800円

仏教伝来の源流は、天竺と日本を結ぶ二つの宗教・政治思想の大きな流れに行き着く。探求の道は、仏教発祥の地である天竺に留まらず、さらに遠く古代メソポタミア文明やヨーロッパの深層文化にまで続いてゆくのである。

高山京子　著　978-4-585-10443-8（2010 年 3 月）

中世興福寺の門跡　A5判・上製・400頁・9800円

古代より藤原氏の氏寺として発展し、また法相宗寺院として南都寺院社会の中心に位置してきた興福寺。寺内の頂点に立つ「門跡」のあり方、寺院社会内での位置付けを各種資料から精緻に読み解き、中世寺院社会の実態を明らかにする。

鈴木靖民　編　978-4-585-10444-5（2010 年 3 月）

古代東アジアの仏教と王権　王興寺から飛鳥寺へ　A5判・上製・408頁・8000円

考古学・文献史学・仏教史・金工史・美術史など諸学の視点から、舎利信仰と王権の関わりや造寺、造仏の技術・文化伝習など、東アジア世界において仏教の果たした文化的・政治的重大性を明らかにする。

工藤隆　著　978-4-585-21000-9（2010 年 3 月）

21 世紀 日本像の哲学　アニミズム系文化と近代文明の融合　四六判・上製・272頁・1800円

「日本の本質はなにか」という日本人のアイデンティティに正面から迫る。日本の活路を開くために、アニミズム文化と近代リアリズム精神を高度に調和させた、新たな文化国家日本像を確立し共有しなければならないと提言。

宇野隆夫　編著　978-4-585-22002-2（2010 年 3 月）

ユーラシア古代都市・集落の歴史空間を読む　A5判・上製・224頁・3800円

なぜユーラシアに華やかな古代文明が繁栄したのか？　GPS や GIS を用いて、歴史情報を統一的に時空間分析。情報学の手法を使い「歴史空間を読む」ことによって、ユーラシア社会の発展の原動力がみえてくる！

林博史　著　978-4-585-03254-0（2009 年 12 月）

戦犯裁判の研究　戦犯裁判政策の形成から東京裁判・ＢＣ級裁判まで　A5判・上製・320頁・4000円

戦後日本の出発点「戦犯裁判」を解明、A 級と BC 級をあわせ、そもそもの戦犯裁判のあり方を問い直す。大戦中の連合国の議論から詳細に検討し、なぜあのような裁判が行われたのか、東京裁判の見直しとＢＣ級戦犯裁判の実態解明を行う。

柴田光彦　著　978-4-585-03248-9（2009 年 11 月）

江戸女人の碑文　A5判・上製・320頁・8000円

墓碑銘から浮かび上がる、女性たちの近世――　大名家の女性、女流文人、節婦・孝女から遊女・芸妓に至るまで、近世期の女性の墓碑銘から当時の女性の立場、ひいては社会背景・家の成り立ちを考究した異色の研究。

孫晋泰　著／増尾伸一郎　解題　978-4-585-05425-2（2009 年 10 月）

朝鮮民譚集　四六判・上製・448頁・5200円

民俗学、歴史学を中心に文化人類学や考古学、古文芸、神謡など極めて多岐にわたる業績を残した孫晋泰。口承文芸の採訪と諸文献の博捜により朝鮮の昔話と説話を集成し、中国・日本・西欧との比較研究の基礎を築いた先駆的名著を復刊！

下定雅弘　著　978-4-585-05424-5（2009 年 10 月）

柳宗元　逆境を生きぬいた美しき魂　四六判・上製・298頁・3200円

山水と花木を友とし、けなげに 自己を励まし慰め、数百篇の名文と百数十首の珠玉の詩を遺した柳宗元。 孤独を乗り越え、見事に志を貫いた詩人の魂、清冽無比の心を、作品を 味わいながら読み解く。

蘭信三　編　978-4-585-03236-6（2009 年 9 月）

中国残留日本人という経験　「満洲」と日本を問い続けて　A5判・上製・720頁・8000円

中国残留日本人から現代日本の姿を問う。戦後日本社会は戦前をどう捉えてきたのか？　グローバル化とナショナリズムはいかに交錯しているのか？　中国残留日本人の多様な経験を将来にどう生かすのか？　いま、「満洲」を総括する。

ダード・ハンター　著／久米康生　訳　978-4-585-03247-2（2009 年 8 月）

和紙のすばらしさ　日本・韓国・中国への製紙行脚　A5判・上製・160頁・2800円

「現代日本の手漉き紙は、全世界の紙工業を通じてまさに技術上の奇跡である」と絶賛。和紙こそ世界最高の紙である、という評価を世界に定着させた一冊。

ダード・ハンター　著／久米康生　訳　978-4-585-03246-5（2009 年 8 月）

古代製紙の歴史と技術　A5判・上製・350頁・5000円

長年にわたる周到なフィールドワークをもとに、東洋・西洋の製紙事情を比較しながらその歴史と技術を豊富な図版をまじえて詳述。世界の製紙技術と歴史研究の基本文献として知られる名著。

松倉文比古　編　978-4-585-03242-7（2009 年 8 月）

日本古代の宗教と伝承　A5判・上製・400頁・9800円

東アジア文化交流のなかで儒教・道教・仏教などを重層的に受容し、独自の展開をなした古代日本の宗教・信仰を考古学資料、文献史料、朝鮮・中国史料を博捜し、考究。古代社会の社会構造の特質を明らかにする。

崎谷満　著　978-4-585-05394-1（2009 年 8 月）

DNA・考古・言語の学際研究が示す新・日本列島史　日本人集団・日本語の成立史　B5判・上製・368頁・7000円

分子生物学、考古学、言語学の学際研究により明かされる、日本人と日本語の成立の真相。日本列島の多様なヒト集団のルーツとルートを解明し、従来の定説を覆す！

崎谷満　著　978-4-585-05393-4（2008 年 3 月）

DNA・考古・言語の学際研究が示す新・北海道史　アイヌ民族・アイヌ語の成立史　B5判・上製・328頁・7000円

日本列島ヒト集団全体のミトコンドリアＤＮＡとＹ染色体の最新の分析を達成し、北海道地域の蓄積された考古学資料および言語学の最新研究成果を合わせて総合的に検討・駆使して、まったく新しいアイヌ民族史とアイヌ語成立史を樹立。

伊原弘　編　978-4-585-03210-6（2009 年 8 月）

宋銭の世界　A5判・上製・350頁・4500円

宋銭の流通から、東アジア海域世界を考察。アジア域の経済史に多大な影響を及ぼした国際通貨に着目し、10 ～ 13 世紀のアジア交流史を研究。 また、宋銭を軸に宋代社会や、日本の中世期を考察。

杉崎仁　編注　978-4-585-03245-8（2009 年 7 月）

保建大記打聞編注　B5判・上製・216頁・8000円

国学の流れの中で欠かせない谷秦山の著作を精確に翻刻、詳細な注釈を付した。平泉澄による解説と「谷秦山先生略伝」を付す。

島田裕巳　著　978-4-585-05417-7（2009 年 7 月）

※在庫僅少

最新・新宗教事情　カルト、スピリチュアル、おひとりさま　四六判・上製・256頁・1600円

村上春樹『1Q84』の作品世界に影を落とすヤマギシ会、オウム真理教、エホバの証人から、イエスの方舟、真如苑、創価学会、そして勝間和代の仏教まで、宗教をめぐる最新の動きを詳細に分析する。

伊原弘　著　978-4-585-03243-4（2009 年 7 月）

中国都市の形象　宋代都市の景観をよむ　四六判・上製・288頁・3200円

地図と絵図から、宋代都市を読み解く。『宋平江図』『清明上河図』『宝慶四明志』『乾隆京城全図』…。詳細な検証から、中国都市の繁栄が、そのなかで生きたひとびとの営みが、いきいきとよみがえる。

関口真規子　著　978-4-585-03207-6（2009 年 6 月）

修験道教団成立史　当山派を通して　A5判・上製・320頁・9500円

山岳信仰と仏教などが融合した修験道は、今もなお日本人の精神や信仰、生活に密接に関わり続けている。醍醐寺が伝持する膨大な史料のなかでも修験道関連史料に基づいて、新たな視点から当山派の形成を考察する。

水上和則　著　978-4-585-03235-9（2009 年 5 月）

茶文化史にそった中国茶碗の考古学　A5判・並製・280頁・3500円

中国茶が日本人の生活に浸透して久しい。だが、これまでは茶葉について語られることが多く、茶碗に関する言及はなかった。陸羽が記した『茶経』にみられる茶碗を例に、茶と茶碗の歴史と変遷を明らかにする。

齋藤幸雄　著　978-4-585-05415-3（2009 年 4 月）

宇治川歴史散歩　四六判・上製・312頁・2800円

『源氏物語』の〈静〉から『平家物語』の〈動〉まで、宇治川は歴史の舞台として、文学の題材として、多くのドラマを生み出してきた。歌物語、姫物語、説話物語、戦物語の四つの視点から、宇治川の文学世界に漕ぎ出す。

過偉　著／君島久子　監訳　978-4-585-03225-0（2009 年 4 月）

中国女神の宇宙　A5判・上製・560頁・8600円

考古遺跡や古文献に現われる女神たち、今なお伝わる民間信仰の女神たち、すべて千余人の中国女神に関する膨大な資料を、歴史的・地理的に網羅。理論づけや取捨選択をせず、生のままの資料を引用紹介する一大女神資料集。

横山伊徳　石川徹也　編著　978-4-585-00306-9（2009 年 3 月）

歴史知識学ことはじめ　四六判・並製・212頁・1700円

歴史学・史料学・情報学を融合し、歴史知識の共有と活用をはかる。科学的な方法と手段によるニューフロンティア研究！

熊田淳美　著　978-4-585-03221-2（2009 年 2 月）

三大編纂物 群書類従・古事類苑・国書総目録の出版文化史　四六判・上製・320頁・3200円

日本文化研究を牽引した江戸・明治・昭和を代表する大出版物、群書類従・古事類苑・国書総目録。本来、国家的事業として行われるべきこの事業が、民間資本により行われた、その歴史的背景を探る。

吉原浩人　王勇　編　978-4-585-03222-9（2009 年 1 月）

海を渡る天台文化　A5判・上製・448頁・6000円

東アジアの文化交流史を多角的に論及。信仰・典籍・思想・文章表現など、日本における天台文化の「受容」と「展開」の様相を考察する。

西弥生　著　978-4-585-03206-9（2008 年 11 月）

中世密教寺院と修法　A5判・上製・368頁・9800円

真言密教を伝持する醍醐寺に伝わる聖教を主に活用し、修法勤修と相承の仕組みについて「修法論」「法流論」「史料論」という三つの柱に基づき考察。社会史的な観点で真正面から修法をとらえた研究である。

知恵の会　編／糸井通浩　代表　978-4-585-05160-2（2008 年 8 月）

京の歴史・文学を歩く　四六判・上製・300頁・2300円

〈歴史〉〈文学〉というふたつの切り口から、知らなかった京都が見えてくる。源氏物語はもちろん、方丈記、徒然草、枕草子から松尾芭蕉、紫式部の墓から源平ゆかりの地まで。京都をより深く知り、広く楽しむための一冊。

金永晃　編　978-4-585-03180-2（2008 年 4 月）　大正大学綜合仏教研究所叢書 21

仏教の死生観と基層信仰　A5判・上製・344頁・8000円

宗教学や民俗学、歴史学などの多角的な視点から、インド、中国、韓国、日本における仏教が、それぞれの地域で基層信仰と習合・変容しながら独自の特質を形成した過程を探る。

工藤隆　著　978-4-585-05386-6（2007 年 12 月）

日本・起源の古代からよむ　四六判・上製・320頁・2000円

『古事記の起源』（中公新書）の著者が、中国少数民族の豊富な調査データをもとに、日本の「古代の古代」を推測し、現代日本をよみとく。

松本真輔　著　978-4-585-03168-0（2007 年 10 月）

聖徳太子伝と合戦譚　A5判・上製・304頁・10000円

聖徳太子伝には蝦夷合戦・守屋合戦・新羅侵攻という合戦記事が大きな話題として登場する。太子信仰は、荒々しい一面も持っていたのである。古代から中世の太子伝の分析を通して、太子信仰と「武」の側面に迫る。

エドワード・H・シェーファー　著／伊原弘　監修／吉田真弓　訳　978-4-585-02082-0（2007 年 8 月）　アシアーナ叢書 2

サマルカンドの金の桃　唐代の異国文物の研究　A5判・上製・400頁・4800円

華麗なる隋唐文化の真髄。シルクロード百科事典的名著、待望の翻訳 !!　唐詩の中に現れる異国の文物に注目し、シルクロードを越えて運ばれてきた珍しい品々が文人たちに与えた影響を探る。

篠田知和基　著　978-4-585-05372-9（2007 年 3 月）

日本文化の基本形○△□　四六判・上製・270頁・2800円

万物の基本形 ○△□――　衣食住のなかに、技術史のなかに、信仰と世界観のなかに、埋めこまれた○△□の形と意味を読み解く日本文化論。

細谷勘資遺稿集刊行会　編　978-4-585-03158-1（2007 年 2 月）

中世宮廷儀式書成立史の研究　A5判・上製・500頁・12000円

中世の宮廷儀式の確立及びその伝承書の編纂に焦点を合わせた研究書。京都産業大学教授・所功による詳細な解説を付す。

小島毅　著　978-4-585-05366-8（2006 年 11 月）

海からみた歴史と伝統　遣唐使・倭寇・儒教　四六判・並製・182頁・1200円

日本古来の〈伝統〉文化は、いつどのように〈伝統〉になったのか？　〈近代〉の殻を破り、より長い時間、より開かれた視野を知覚するとき、そこには先人たちの思慮と智恵とが見えてくる…。

知恵の会　編／糸井通浩　代表　978-4-585-05140-4（2006 年 5 月）

京都学の企て　四六判・上製・304頁・2400円

京（みやこ）の自然、歴史、信仰、文学、文化から京野菜まで。京都を愛し、京都を学ぶ楽しさ、今昔の知恵があふれる、新しい切り口から京を掘り起こした一冊。

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫　編　978-4-585-03128-4（2005 年 5 月）

中世聖徳太子伝集成　全５巻　B5判・上製・2500頁・98000円

中世の太子像生成と太子信仰の根本資料。歴史学・文学・宗教学のみならず日本文化を考える上で必携の書。悉皆調査を経て校勘作業に至るまでの礎として、資料性に留意しつつ精密な影印を行い学界に提供する。

吉元昭治　著　978-4-585-05137-4（2005 年 3 月）

日本神話伝説伝承地紀行　菊判・上製・680頁・7800円　※在庫僅少

日本文化の根源を探る。日本全国津々浦々、神々の時代から今なお伝わる民間信仰、東アジア世界との関わりまで、足掛け 15 年にわたり日本の原風景を追い求めた旅の集大成！

篠田知和基　丸山顯徳　編　978-4-585-05135-0（2004 年 12 月）

世界の洪水神話　海に浮かぶ文明　A5判・上製・360頁・4500円

国際的な研究者による「比較神話学研究組織」の成果であり、フレイザーの『洪水伝説』以降に発掘された新資料と新見解を網羅した、日本初の論文集。地域、民族を越える文化の交流と人類文化の古層に迫る。

樊秀麗　著　978-4-585-10095-9（2004 年 2 月）

大凉山彝族における葬送儀礼と霊魂観を通してみた帰属集団意識の形成　A5判・上製・308頁・15000円

【目次】第 1 章　彝族研究の歴史／第 2 章　彝族／第 3 章　大凉山彝族／第 4 章　大凉山彝族の社会制度／第 5 章　大凉山彝族の宗教文化／第 6 章　大凉山彝族の葬送儀礼と霊魂観／第 7 章　指路経言説の二重の意味／結章

増尾伸一郎　工藤健一　北條勝貴　編　978-4-585-00166-9 ／ 978-4-585-00167-6（2003 年 11 月）

環境と心性の文化史　上・下　A5判・上製・437頁／415頁・各6000円

人の心が生んだ、豊かな自然の宇宙。人間は自然環境をどのように捉え、どのように働きかけ、どのように作りかえてきたか。それぞれの時代・社会に特有な“心性”を明らかにし、“環境問題”への思考基底を示す。

神社と神道研究会　編　978-4-585-05128-2（2003 年 9 月）

八幡神社　歴史と伝説　菊判・上製・624頁・9800円

八幡神社・八幡信仰研究の決定版！　八幡の神を視座とする研究は、古代史解明の鍵である。日本の歴史の中に多くの足跡を残し、伝承世界にあまたの伝説・説話を伝え、日本人の精神に深く根付く八幡信仰をさまざまな角度から解明。

竹岡俊樹　著　978-4-585-05121-3（2002 年 5 月）

図説　日本列島旧石器時代史　A4判・上製・600頁・25000円

日本列島における新たな旧石器時代研究の方法を構築するための試み。遺跡をそのあるべき文化的文脈の中に位置付けるという作業の積み重ねにより、遺物の具体的な分析からより抽象的な論理に至るという過程をとる。

守屋正彦　著　978-4-585-10083-6（2002 年 2 月）

近世武家肖像画の研究　菊判・上製・448頁・19000円

近世武家肖像画に関する研究はいまだ体系的な論考を見ない。近世の武家肖像画が中世からどのように変化し、新たな展開をなしたのか。美術史学の観点から、浮世絵、武者絵へと展開するプロセスを考察した。

門脇むつみ　著　978-4-585-10085-0（2002 年 2 月）

寛永文化の肖像画　菊判・上製・318頁・11000円

江戸時代初期の大徳寺僧・江月宗玩（1574 ～ 1643）と、その周辺の人々が像主、賛者、画家、注文主となって制作された肖像画を主題に、この時代の文化を考察する。

略縁起研究会　編　978-4-585-03042-3（1996 年 6 月）

略縁起　資料と研究 1　A5判・上製・322頁・10000円

研究会会員の所蔵する原本を中心に、多武峯・御嶽神社・若狭大明神・女化稲荷・久米寺・寝覚・五智如来縁起など、26 点の略縁起を影印・翻刻。各縁起に詳細な解説を加える。※ 2～3 は品切

中野猛　編

略縁起集成　全６巻

片々たる略縁起も多量に集めれば貴重な資料となることは近世においても認識されていた。近世の蒐集は合綴して保存され、現在3,000点に上る略縁起が全国の図書館に所蔵されていることを発見。それらを順次正確な翻刻で紹介する。

- 第一巻　978-4-585-03032-4（1995年2月）　A5判・上製・500頁・19000円　※品切
- 第二巻　978-4-585-10009-6（1996年3月）　A5判・上製・500頁・20971円
- 第三巻　978-4-585-10018-8（1997年3月）　A5判・上製・500頁・20971円
- 第四巻　978-4-585-10030-0（1998年2月）　A5判・上製・500頁・21000円　※品切
- 第五巻　978-4-585-10068-3（2000年2月）　A5判・上製・500頁・20000円
- 第六巻　978-4-585-10079-9（2001年2月）　A5判・上製・500頁・22000円

星野紘　T・モルダノフ　著　978-4-585-10078-2（2001年2月）

シベリア・ハンティ族の熊送りと芸能　B5判・上製・302頁・15000円

著者が足かけ4年の歳月を費やし、やっとめぐりあえたハンティ族の熊送りの実地調査の記録書である。ハンティ族の熊送りの実地組織者であり、研究者でもあるモルダノフ夫妻の多大なる協力のもとに、この書は刊行された。

阿部泰郎　山崎誠　福島金治　編　978-4-585-10075-1（2000年10月）

改訂版 守覚法親王と仁和寺御流の文献学的研究　金沢文庫蔵御流聖教　菊判・上製・600頁・17600円

仁和寺において守覚法親王がその生涯を費やして創り上げた“御流”の一大体系が鎌倉時代末期には関東に移転している様相が知られた。当時の朝廷と幕府の間の政治的な緊張関係がこれと密接に絡んでいる消息も窺われる。

阿部泰郎　山崎誠　編　978-4-585-10027-0（1998年2月）

守覚法親王と仁和寺御流の文献学的研究　仁和寺蔵御流聖教 全2冊　A5判・上製・1524頁・42000円

後白河皇子守覚は密教法流「御流」を大成、当代の文芸にも関心を抱き、多面的な活動を行い膨大な著作を残した。カラー図版付載。※『守覚法親王の儀礼世界』は品切

葉漢鰲　著　978-4-585-10062-1（2000年2月）

能楽と中国の古芸能・信仰　A5判・上製・320頁・13300円

能楽は日本中世の代表的な芸能であるが、その成立については明らかでない点も多い。従来の能楽研究の視点に加えて、中国の古道教思想、民間信仰及び祭祀儀礼との比較を取り入れて、能楽の成立と中国文化との不可分の関係を論じる。

矢野環　著　978-4-585-10053-9（1999年2月）

君台観左右帳記の総合研究　茶華香の原点・江戸初期柳営御物の決定　A5判・上製・832頁・51000円

多種多様な芸道伝書の成立と展開過程を数量化理論を応用して解明。座敷飾の聖典であり、花伝書の母胎であった『君台観左右帳記』現存本は、150件あまりにのぼり、それらを整理・分類し解題する。

佐野賢治　編　978-4-585-10052-2（1999年2月）

西南中国納西族・彝族の民俗文化　A4判・上製・650頁・32000円

従来の比較文化は物質文化論がその主流を占め、民俗信仰方面の比較研究は体系的になされていなかったが、その基礎資料として納西族・彝族の民俗信仰をモノグラフで提示した。

築瀬一雄　著　978-4-585-10022-5（1998年10月）

社寺縁起の研究　A5判・上製・1170頁・41000円

略縁起は単に各社寺の歴史資料であるばかりでなく、神話・伝説を含んでいるので、宗教史・社会史・文学史の面からも比較検討資料として重要である。

高山有紀　著　978-4-585-10014-0（1997年3月）

中世興福寺維摩会の研究　A5判・上製・394頁・11000円

本書は先行研究の乏しかった興福寺維摩会を直接扱う初めての研究書である。「総論」では中世寺院社会の構造と教学を論じ、さらに興福寺維摩会の成立と構成について概観する。

九州大学国語学国文学研究室　編／岩松博史　翻字・解説　978-4-585-00310-6（1997年2月）

松涛文庫本　熊野の本地　菊倍判・上製・152頁・15000円

松涛文庫本『熊野の本地』は縦31.6糎、横23.2糎の大型本で江戸時代初期に製作された、いわゆる奈良絵本の一本である。『熊野の本地』本文研究はもとよりお伽草子・奈良絵本研究の上で重要な資料である。

野村純一　劉守華　編　978-4-585-10005-8（1996年2月）

日中昔話伝承の現在　A5判・上製・384頁・9000円

日中合同による昔話伝承の動態的研究調査に基づく論文集。口承文芸の拡散と変容のあり方を考察するとともに、語りの現場への取材、「語り」の現代的様相に迫る。

金関恕　置田雅昭　編　978-4-585-03028-7（1995年3月）

古墳文化とその伝統　A5判・上製・858頁・20000円　※在庫僅少

古墳文化・葬制をテーマに論じた珠玉の論考34編を収載。古墳時代とその前後の生活、交易、工芸、墓制、地域的特色について、考古学のほか、歴史学、民俗学、美術史学の分野からもアプローチした。

日本情報考古学会　編

情報考古学

考古学と情報科学の融合による研究成果。

・第 1 巻 1 号　978-4-585-00229-1（1996 年 3 月）　A4判・並製・88頁・4000円　※品切
・第 2 巻 1 号　978-4-585-00230-7（1997 年 3 月）　A4判・並製・88頁・4000円　※品切
・第 3 巻 1 号　978-4-585-00231-4（1998 年 1 月）　A4判・並製・64頁・4000円　※品切
・第 3 巻 2 号　978-4-585-00232-1（1998 年 3 月）　A4判・並製・72頁・4000円　※品切
・第 4 巻 1 号　978-4-585-00233-8（1998 年 9 月）　A4判・並製・72頁・4000円　※品切
・第 4 巻 2 号　978-4-585-00234-5（1999 年 3 月）　A4判・並製・62頁・4000円　※品切
・第 5 巻 1 号　978-4-585-00235-2（1999 年 9 月）　A4判・並製・62頁・4000円　※品切
・第 5 巻 2 号　978-4-585-00236-9（2000 年 3 月）　A4判・並製・62頁・4000円　※品切
・第 6 巻 1 号　978-4-585-00237-6（2000 年 9 月）　A4判・並製・66頁・4000円　※品切
・第 6 巻 2 号　978-4-585-00238-3（2001 年 3 月）　A4判・並製・64頁・4000円　※品切
・第 7 巻 1 号　978-4-585-00239-0（2001 年 9 月）　A4判・並製・48頁・4000円　※品切
・第 7 巻 2 号　978-4-585-00240-6（2002 年 3 月）　A4判・並製・64頁・4000円　※品切
・第 8 巻 1 号　978-4-585-00241-3（2002 年 9 月）　A4判・並製・48頁・4000円　※品切
・第 8 巻 2 号　978-4-585-00242-0（2003 年 3 月）　A4判・並製・64頁・4000円　※品切
・第 9 巻 1 号　978-4-585-00243-7（2003 年 9 月）　A4判・並製・48頁・4000円　※品切
・第 9 巻 2 号　978-4-585-00244-4（2004 年 3 月）　A4判・並製・48頁・4000円　※品切
・第 10 巻 1 号　978-4-585-00245-1（2004 年 9 月）　A4判・並製・64頁・4000円　※品切
・第 10 巻 2 号　978-4-585-00246-8（2005 年 3 月）　A4判・並製・56頁・4000円　※品切
・第 11 巻 1 号　978-4-585-00247-5（2005 年 9 月）　A4判・並製・48頁・4000円　※品切
・第 11 巻 2 号　978-4-585-00248-2（2006 年 3 月）　A4判・並製・70頁・4000円　※品切
・第 12 巻 1 号　978-4-585-00249-9（2006 年 10 月）　A4判・並製・48頁・4000円　※品切
・第 12 巻 2 号　978-4-585-00250-5（2007 年 3 月）　A4判・並製・44頁・4000円　※品切
・第 13 巻 1 号　978-4-585-00251-2（2007 年 10 月）　A4判・並製・44頁・4000円　※品切
・第 13 巻 2 号　978-4-585-00252-9（2008 年 3 月）　A4判・並製・44頁・4000円　※品切
・第 14 巻 1・2 合併号　978-4-585-00253-6（2008 年 10 月）　A4判・並製・52頁・4000円　※品切
・第 15 巻 1・2 合併号　978-4-585-00254-3（2009 年 6 月）　A4判・並製・48頁・4000円　※品切
・第 16 巻 1 号　978-4-585-00255-0（2010 年 11 月）　A4判・並製・56頁・4000円　※品切
・第 16 巻 2 号　978-4-585-00256-7（2011 年 3 月）　A4判・並製・60頁・4000円　※品切
・第 17 巻 1・2 合併号　978-4-585-00257-4（2012 年 1 月）　A4判・並製・64頁・8000円　※品切
・第 18 巻 1・2 合併号　978-4-585-00257-4（2013 年 1 月）　A4判・並製・64頁・8000円　※品切
・第 19 巻 1・2 合併号　978-4-585-00257-4（2014 年 1 月）　A4判・並製・64頁・8000円

関流和算書大成――関算四伝書――　全三期

東アジア数学史研究会　編

代表　岡本和夫（東京大学名誉教授／元日本数学会理事長／大学評価学位授与機構理事）
川原秀城（東京大学大学院人文社会系研究科教授）
渡辺純成（東京学芸大学教育学部助教授）
佐藤賢一（電気通信大学准教授）
安大玉　（高麗大学校民族文化研究院研究教授）

世界最高水準にあったとされる関孝和の数学。「関流」和算書の集大成である『関算四伝書』（全 511 冊）の全貌を影印初公開。数理化学史研究、東アジア文化史研究に必備の基礎資料。
全三期ついに完結！　現存する 507 冊の全頁を完全影印。【2011 年度日本数学会賞出版賞受賞】

『関算四伝書』は、関孝和に始まる関流の和算を体系的に整理編纂し、4 つの伝書の形をとった叢書。
編纂者である戸板保佑（1708 年生）は、仙台藩士で若年より算術と暦学を学び、宝暦年間に江戸から派遣された関流和算書家・山路主住に会うことで「関流」に入門し免許皆伝を得る。その後、江戸の山路から情報提供を受け、晩年にかけて『関算四伝書』の編集に専念し、完成後、藩主にこれを献上した。原本は、この仙台藩の叢書を受け継ぎ、現在では宮城県図書館伊達文庫に所蔵されている。
中国本土では既に失伝した『数学通軌』、西洋数学を摂取した中国の知識人が編纂した『数度衍』など、世界規模の文化交流を示す史料を数多く含む内容で、東アジア数学史、日本数学史の貴重な史料であり、今後の研究が待望される。

東アジア数学史研究会　編／岡本和夫　代表（川原秀城　渡辺純成　佐藤賢一　安大玉）　978-4-585-10446-9（2011 年 2 月）

関流和算書大成　第三期　――関算四伝書――　A4判・上製・2292頁・90000円

第三期には「第九巻　完伝（首巻～第四十三巻）」「第十巻　完伝（第四十四巻～第七十八巻）」「第十一巻　完伝（第七十九巻～第百一巻）・補遺　要伝（第八十巻～第八十三巻）」所収。

東アジア数学史研究会　編／岡本和夫　代表（川原秀城　渡辺純成　佐藤賢一　安大玉）　978-4-585-10445-2（2010 年 3 月）

関流和算書大成　第二期　――関算四伝書――　A4判・上製・3650頁・170000円

第二期には「第四巻　後伝（第三十五巻～第六十七巻）」「第五巻　後伝（第六十八巻～第百九巻）」「第六巻　要伝（首巻～第四十三巻）」「第七巻　要伝（第四十四巻～第七十九巻）」「第八巻　要伝（第八十四巻～第百四巻）」を所収。

東アジア数学史研究会　編／岡本和夫　代表（川原秀城　渡辺純成　佐藤賢一　安大玉）　978-4-585-10440-7（2008 年 2 月）

関流和算書大成　第一期　――関算四伝書――　A4判・上製・2292頁・103000円

第一期には「第一巻　前伝（首巻～第九十四巻）」「第二巻　前伝（第九十五巻～第百八十四巻）」「第三巻　後伝（首巻～第三十四巻）」を所収。また巻頭には、解説「東アジアの数学と日本」「近世日本数学史と『関算四伝書』」も収める。

藤原松三郎　著／川原秀城　解説　978-4-585-03166-6（2007 年 5 月）

日本数学史要　A5判・並製・344頁・3500円

日本伝統数学の全貌を綴った歴史的名著、待望の復刻！　近代日本の純粋数学研究の基礎を築いた藤原松三郎による、日本数学史の概要書。日本数学の発生から明治期に至る、「和算」の全貌を俯瞰する名著。

内海健　著　978-4-585-24005-1（2013 年 7 月）

双極Ⅱ型障害という病　改訂版うつ病新時代

四六判・上製・264頁・1800円

ポストメランコリー型時代の気分障害の本質。若年事例や治療抵抗性事例の増加、過量服薬、リストカット、病名依存など、さまざまな困難を抱え込んでいる現代の気分障害。双極Ⅱ型障害に焦点を合わせ、回復への里程標とする。

日沼頼夫　著　978-4-585-24000-6（2011 年 8 月）

ヒト癌ウイルス探究

A5判・上製・232頁・2800円

ウイルスの研究に生涯をささげた碩学による、50 年の探求人生の回想と、将来への展望。「病原体狩猟は医学研究の修羅場のひとつである。ここに強い気力・脳力のある若い研究者たちの参加を期待している」

崎谷満　著　978-4-585-24001-3（2011 年 8 月）

ヒト癌ウイルスと日本人の DNA

HTLV-1 研究と分子腫瘍学・
分子人類学が解明する「日本人」　B5判・上製・264頁・7500円

Y 染色体、ミトコンドリア、レトロウイルスのＤＮＡを駆使、考古学と言語学との連携により、日本人のルーツが明らかになる！　最先端領域で研究をリードしてきた HTLV-1（成人 T 細胞白血病ウイルス）の真の学術的貢献を明確にする。

崎谷満　著　978-4-585-24003-7（2011 年 8 月）

癒しのシンフォニー　ある在宅ホスピスの記録

四六判・並製・128頁・1000円

絶望の淵にある人々へ、一筋の希望と温かい愛情を、心優しい訪問看護の天使達が毎日届ける心のケア。それを涙と共に受け取る、かつて見捨てられた人々。そこには心温まる、しかし壮絶な真実のドラマがある。

崎谷満　著　978-4-585-24002-0（2011 年 8 月）

在宅緩和ケアと分子標的治療ハンドブック　その現在と未来

A5判・並製・320頁・4500円

明日の命の不安におびえる癌患者のために、今後どのような分子標的治療が希望をつなぐかを明示し、癌患者に救いの手を差し伸べる緩和ケアを包括的に取り扱う。

江口重幸　著　978-4-585-05279-1（2007 年 11 月）　精神科医からのメッセージ

シャルコー　力動精神医学と神経病学の歴史を遡る

四六判・上製・232頁・2000円

「大ヒステリー＝大催眠論」理論をはじめとする視点は、今日の「シャルコー的問題」、すなわち心身問題、動物磁気、催眠と精神療法、言語と記憶、遺伝変質論、宗教的治療論などを考える際に不可欠の枠組みである。

山田和夫　著　978-4-585-05274-6（2008 年 7 月）　精神科医からのメッセージ

不安・うつは必ず治る

四六判・上製・200頁・1800円

専門医が語る、不安とうつの最前線と治療法。不安・うつは同じ治療で完治することができる。不安障害とは何か、薬が何故有効か、どうしたら完治するのかを説く。

平山正美　著　978-4-585-05275-3（2007 年 9 月）　精神科医からのメッセージ

見捨てられ体験者のケアと倫理　真実と愛を求めて

四六判・上製・350頁・2000円

「見捨てられ」、精神医学で言う「対象喪失」は、一見人生の敗北者という負のイメージで捉えられがちだが、一転して攻撃的になり、凶悪事件になるケースも多い。具体例を挙げながら、わかりやすく解説。

田島治　著　978-4-585-05277-7（2006 年 7 月）　精神科医からのメッセージ

精神医療の静かな革命　向精神薬の光と影

四六判・上製・224頁・1800円

非定型抗精神病薬と新規向精神薬は精神医療に静かな革命を起こしている。しかしこれらの薬剤は、効果の面で従来の薬剤を超えるものではなく、その急増は精神医療に負の影響も与えつつある。これからの精神医療の方向を探る。

鈴木國文　著　978-4-585-05272-2（2005 年 4 月）　精神科医からのメッセージ

トラウマと未来　精神医学における心的因果性

四六判・上製・188頁・1800円

フロイトは、「心的外傷」の問題を、人間共通の「心の構造」を解く鍵として提示した。ここでは、この視点を足がかりに、最近の脳科学の知見を踏まえ、人間精神におけるトラウマの真の機能に迫る。

作田明　著　978-4-585-05273-9（2005 年 4 月）　精神科医からのメッセージ

複合犯罪

四六判・上製・200頁・1800円

近年、増加している新しいタイプの凶悪事件。犯罪精神医学の立場から、著者が直接担当した五つの事件について、具体的に、犯人との直接対話をも取り入れながら、事件の発生から結末までを要約して分析する。

酒井明夫　著　978-4-585-05271-5（2005 年 4 月）　精神科医からのメッセージ

魔術と狂気

四六判・上製・248頁・2000円

超自然的モデルと、精神医学的モデルの双方から、古代における魔術的治療者の役割と意味、ルネッサンスの魔術師・自然哲学者の足跡、変身と憑依の系譜、魔術と狂気の類縁性などを検討。「歴史から見た狂気とは何か」に迫る。

原田正俊　編　978-4-585-22672-7（2017年3月）　アジア遊学206

宗教と儀礼の東アジア　交錯する儒教・仏教・道教

A5判・並製・256頁・2400円

祖先祭祀、葬送や鎮魂、そして王権の正統化・補強…。諸宗教の交渉がもたらす儀礼の諸相を、思想史・歴史学・文学・美術史などの視点から多面的に論じ、東アジアにおける宗教と儀礼の関係性を歴史的に位置づける画期的成果。

堀井弘一郎　木田隆文　編　978-4-585-22671-0（2017年2月）　アジア遊学205

戦時上海グレーゾーン　溶融する「抵抗」と「協力」

A5判・並製・240頁・2400円

日本占領期から終戦まで、日本人は、中国人は、世界各国から上海にたどり着いた人びとは、どのような政治的・文化的な空間にいたのか。敵／見方、支配／被支配、抵抗／協力といった二項対立を越えた複雑な関係を考察する。

陳來幸　北波道子　岡野翔太　編　978-4-585-22670-3（2017年1月）　アジア遊学204

交錯する台湾認識　見え隠れする「国家」と「人びと」

A5判・並製・288頁・2800円

複雑な歴史と民主化・本土化に起因するナショナルアイデンティティのゆらぎ、エスニックグループや出生地などによって変化する価値観、新しい民主主義国家としての変化など、台湾の過去と現在、そして今後の可能性を提示する。

土屋昌明　「中国六〇年代と世界」研究会　編　978-4-585-22669-7（2016年11月）　アジア遊学203

文化大革命を問い直す

A5判・並製・240頁・2400円

発動から50年がたったいま、文革の歴史的背景、思想を様々な角度から検討し、その全貌を探る。文献資料だけでなく、胡傑のドキュメンタリー映画『星火』『紅色美術』なども交え、「文革という経験」を浮かび上がらせる。

浅田徹　編　978-4-585-22668-0（2016年10月）　アジア遊学202

日本化する法華経

A5判・並製・224頁・2000円

インドで撰述され、日本には漢訳された文献として伝来した『法華経』。芸能や儀礼、説話や和歌のなかに融け込み、絵画や一石経、絵経などに姿を変えながら浸透していった日本古典としての「法華経」の諸相を多角的に論じる。

川原秀城　編　978-4-585-22667-3（2016年9月）　アジア遊学201

中国の音楽文化　三千年の歴史と理論

A5判・並製・192頁・2000円

考古時代以来、音楽理論が制度的に安定をみた漢代、西洋音楽を受容し咀嚼した明清代を経て、近現代に至る、政治や思想とともに展開していった中国3000年の音楽文化の軌跡を、最新の知見より明らかにする。

千葉俊二　銭暁波　編　978-4-585-22666-6（2016年8月）　アジア遊学200

谷崎潤一郎　中国体験と物語の力

A5判・並製・208頁・2000円

中国を旅した谷崎潤一郎は、そこで何を見、どんな影響を受け、そしてそれをどのような物語として表現したのか。体験と表象の両面から、中国、上海と創作の関わりを考察。日本、中国、欧米の研究者による論考を掲載する。

河野貴美子　王勇　編　978-4-585-22665-9（2016年8月）　アジア遊学199

衝突と融合の東アジア文化史

A5判・並製・208頁・2000円

人びとの往来が、物語やイメージの伝播が、歴史的な経験や思考が、東アジアにいかなる文化を生み出したのか。古代から近現代に至る中で引き起こされたさまざまな「事件」にスポットをあて、文化形成の過程を問い直す。

金時徳　濱野靖一郎　編　978-4-585-22664-2（2016年6月）　アジア遊学198

海を渡る史書　東アジアの「通鑑」

A5判・並製・224頁・2000円

中国宋代、司馬光により編まれた編年体の史書『資治通鑑』。それは新たな史書の典型として、一群の「通鑑」を冠する書籍を生み出した。2014年に韓国で再発見された『新刊東国通鑑』の板木を起点に「通鑑」の展開を探る。

李銘敬　小峯和明　編　978-4-585-22663-5（2016年6月）　アジア遊学197

日本文学のなかの〈中国〉

A5判・並製・304頁・2800円

日本の様々な物語・説話を読み解いていくと〈中国〉という水脈に行き当たる。従来の和漢比較研究にとどまらず、宗教儀礼や絵画など多面的なメディアや言語認識の研究から、漢字文化が文化形成に果たした役割を明らかにする。

大澤広嗣　編　978-4-585-22662-8（2016年4月）　アジア遊学196

仏教をめぐる日本と東南アジア地域

A5判・並製・248頁・2200円

東南アジアには、タイ、ミャンマー、ラオス、カンボジアに上座仏教、ベトナムや各地の華人社会には大乗仏教が伝播する。過去150年間に同地域に関わった日本人仏教者の動向を軸に、仏教をめぐる地域間の動態をとらえる。

国文学研究資料館　編　978-4-585-22661-1（2016年3月）　アジア遊学195

もう一つの日本文学史　室町・性愛・時間

A5判・並製・288頁・2800円

室町一長らく「文化不毛」と評されてきたこの時代は、研究の飛躍的な進展により、豊饒な広がりをもつことが明らかになってきた。女・語り・占いというキーワードから、皮膜に覆われていた室町の庶民文化像を炙り出す。

アンジェラ・ユー　小林幸夫　長尾直茂　上智大学研究機構　編　978-4-585-22660-4（2016年2月）　アジア遊学194

世界から読む漱石『こころ』

A5判・並製・224頁・2000円

夏目漱石『こころ』は、1914年の連載開始以来、日本近代文学を代表する作品として、国内外で読まれ、研究される作品となっている。百年を経た過去の作品としてではなく、世界文学としての魅力と読みの可能性を提示。

石井知章　緒形康　編　978-4-585-22659-8（2015年12月）　アジア遊学193

中国リベラリズムの政治空間

A5判・並製・352頁・2800円

いかにして自由や民主主義といった社会的規範性のともなう「普遍的価値」を創造し、それを中国独自の土壌に根付かせることができるのか。日中の論者が結集し、自由で平等な市民のための政治共同体を築けるかどうかを問う。

白須淨眞　編　978-4-585-22658-1（2015年11月）　アジア遊学192

シルクロードの来世観

A5判・並製・224頁・2000円

「来世」にという観念的世界は、独自の固有性を保ちながらも、世界各域に数多く見出すことができる。ユーラシアを媒体とする巨大な交流総体「シルクロード」の文化交流の蓄積のなかに浮かび上がる、ひとびとの来世観。

小浜正子　編　978-4-585-22657-4（2015年11月）　アジア遊学191

ジェンダーの中国史

A5判・並製・296頁・2800円

中国社会におけるジェンダーのあり方を理解することは、中国の文化そのものを理解する上で欠かせない視点である。中国とその「周縁」社会におけるジェンダーの理念と表象、規範と現実の多様で流動的な情況を論じる。

鈴木彰　林匡　編　978-4-585-22656-7（2015年10月）　アジア遊学190

島津重豪と薩摩の学問・文化　近世後期博物大名の視野と実践

A5判・並製・224頁・2400円

藩の開化政策を積極的に推進し、内外に大きな影響を及ぼした島津重豪の治世の背景には、基盤としての学問・文化があった。対外交流や文化政策を多角的に捉えることで、日本そしてアジア・西欧を結ぶ歴史像を描き出す。

山田仁史　丸山顕誠　編　978-4-585-22655-0（2015年9月）　アジア遊学189

喧嘩から戦争へ　戦いの人類誌

A5判・並製・240頁・2400円

小規模な喧嘩から大規模な戦争まで、人類における〈暴力〉の多様な側面を、いかに捉えることができるのか。戦争のもつ暴力的側面とともに、それが人類史で果たしてきた「駆動力」としての一面を探る。

北山円正　新間一美　滝川幸司　三木雅博　山本登朗　編　978-4-585-22654-3（2015年9月）　アジア遊学188

日本古代の「漢」と「和」　嵯峨朝の文学から考える

A5判・並製・232頁・2400円

平安時代初頭は「国風暗黒時代」と評されている。しかし、「漢風」と「和風」は、はたして互いに対立し否定しあうものとしてあったのであろうか。通説を捉え返し、嵯峨朝の文化的・社会的特質と諸相を再検証する。

東アジア恠異学会　編　978-4-585-22653-6（2015年8月）　アジア遊学187

怪異を媒介するもの

A5判・並製・296頁・2800円

「怪異」現象は、それを読み解く発信者と受容者のコミュニケーションによって成立する。卜占や託宣を操る宗教者、知識で解釈する儒者や国学者、娯楽に昇華させる作家や芸能者等の「媒介者」に着目し、その諸相を検討する。

水井万里子　杉浦未樹　伏見岳志　松井洋子　編　978-4-585-22652-9（2015 年 7 月）　アジア遊学186

世界史のなかの女性たち　A5判・並製・264頁・2500円

女性たちのあり方は、世界の歴史変動に影響される一方で、その歴史潮流もまた彼女たちの「東」から作用を受けてきた。歴史のなかの女性たちの生き方を見直し、彼女たちと歴史的文脈のインタラクティブな関係性を描き出す。

清水光明　編　978-4-585-22651-2（2015 年 6 月）　アジア遊学185

「近世化」論と日本　「東アジア」の捉え方をめぐって　A5判・並製・312頁・2800円

東アジア、そして、日本における「近世」とは何か？　諸学問領域から「日本」そして「近世化」を論究することで、従来の世界史の枠組みや歴史叙述のあり方を捉えなおし、東アジア世界の様態や変容をトータルに描き出す。

大高洋司　陳捷　編　978-4-585-22650-5（2015 年 5 月）　アジア遊学184

日韓の書誌学と古典籍　A5判・並製・208頁・2000円

朝鮮半島からの書物は、記された内容はもとより、装幀や活字印刷の方法など、様々な側面で日本の書籍文化に影響を与えてきた。東アジア書籍文化の重要な結節点である韓国古典籍を学び、日韓の相互交流の諸相を明らかにする。

大橋毅彦　関根真保　藤田拓之　編　978-4-585-22649-9（2015 年 4 月）　アジア遊学183

上海租界の劇場文化　混淆・雑居する多言語空間　A5判・並製・228頁・2400円

中国の伝統演劇から、コンサート、ロシアバレエ、オペレッタの上演、映画やアニメの上映など、ライシャムシアターをはじめとした劇場文化の動向から、20 世紀前半の上海における人と文化の諸相を探る。

王成　小峯和明　編　978-4-585-22648-2（2015 年 4 月）　アジア遊学182

東アジアにおける旅の表象　異文化交流の文学史　A5判・並製・224頁・2400円

旅は非日常的な移動であり、時空間の差異と同時に精神意識に大きな変化をもたらす。古典から近現代の文学、メディア、宗教、芸術など、様々な領域にみられる旅の表象について横断的に検証、東アジア交流史の一端を描き出す。

伊原弘　静永健　編　978-4-585-22647-5（2015 年 4 月）　アジア遊学181

南宋の隠れたベストセラー『夷堅志』の世界　A5判・並製・240頁・2400円

巷間の軼事や伝説、うわさ話などを集めた『夷堅志』。そこからは南宋時代の人々の信仰や深層心理、細かな社会習慣など、様々なものが見えてくる。中世アジア研究の宝庫、八百年前の都市伝説の世界に皆さんをご招待。

内山精也　編　978-4-585-22646-8（2015 年 3 月）　アジア遊学180

南宋江湖の詩人たち　中国近世文学の夜明け　A5判・並製・280頁・2800円

中国文学史上、最初に顕著な文学活動をした市民階層の詩人群である江湖詩人。彼らを売り出したのは都大路に店を構えた書肆。一商人が出版という営為を通じて、元明清三代の魁となった。江湖詩人たちの価値と内実を紹介する。

川原秀城　編　978-4-585-22645-1（2015 年 2 月）　アジア遊学179

朝鮮朝後期の社会と思想　A5判・並製・208頁・2000円

1592 年の豊臣秀吉による朝鮮出兵、1627 年、1636 年の後金（清）軍の朝鮮侵攻。この倭乱・胡乱の戦禍は大きく、朝鮮社会に変容を迫るものであった。朝鮮史・東アジア史の画期たる朝鮮朝後期を多角的に検証する。

海老澤衷　酒井紀美　清水克行　編　978-4-585-22644-4（2014 年 12 月）　アジア遊学178

中世の荘園空間と現代　備中国新見荘の水利・地名・たたら　A5判・並製・232頁・2000円

下地中分の分析から荘園領主や百姓の活動の実態を明らかにするとともに、文献史料とフィールドワークによる複合的な現地調査を通して 中世期の灌漑や地名を復原し、地域的特質を明らかにする。

佐伯弘次　編　978-4-585-22643-7（2014 年 12 月）　アジア遊学177

中世の対馬　ヒト・モノ・文化の描き出す日朝交流史　A5判・並製・332頁・2800円

朝鮮との交流、島主宗氏の外交・貿易、朝鮮半島からの経典請来、伝来の高麗仏や貿易陶磁などに焦点をあて、中世に朝鮮と日本の間を活発に往来した対馬の人々の活動や文物の往来を文献史料のほか遺跡・出土文物から探る。

小島康敬　編　978-4-585-22642-0（2014 年 8 月）　アジア遊学176

東アジア世界の「知」と学問　伝統の継承と未来への展望　A5判・並製・208頁・2000円　※在庫僅少

東アジア世界において「知」の営みがどのように展開されてきたのか、それを将来に向けてどのように発展させてゆくかを検証。日中韓の共同研究により、近代以降の西洋的な学問知から抜け落ちた、東洋の「知」の伝統を問い直す。

森部豊　編　978-4-585-22641-3（2014 年 8 月）　アジア遊学175

ソグド人と東ユーラシアの文化交渉　A5判・並製・280頁・2800円

四世紀から十一世紀にかけてユーラシア地域で交易活動を行ったソグド人。その言語・文化・信仰を、編纂史料・新出の石刻史料・出土文書等を用いて明らかにし、新たな東ユーラシア世界史を構築する。

大橋直義　藤巻和宏　高橋悠介　編　978-4-585-22640-6（2014 年 6 月）　アジア遊学174

中世寺社の空間・テクスト・技芸　「寺社圏」のパースペクティヴ　A5判・並製・272頁・2800円

院政期以後、宗教組織から拡大し、「初期的都市」として寺社機構が成り立っていた場である「寺社圏」。寺社の内外にわたる、あらゆる「もの／ごと」を全方位的に明らかにするための方法論的試み。

井上泰至　長尾直茂　鄭炳説　編　978-4-585-22639-0（2014 年 5 月）　アジア遊学173

日中韓の武将伝　A5判・並製・192頁・2000円

戦争の人間学は、人文科学の重要な資源である。漢字文化圏であると同時に、個別に花開いていった日・中・韓の武将伝の「偏差」を浮かび上がらせ、三者を比較することにより、文化伝播の様相を総体的かつ相互交流的に捉える。

阿部泰郎　伊藤信博　編　978-4-585-22638-3（2014 年 3 月）　アジア遊学172

『酒飯論絵巻』の世界　日仏共同研究　A5判・並製・190頁・2000円

十六世紀前半、狩野元信とその工房により制作されたこの絵巻は、江戸における新たな表象文化誕生を導いた重要な資料でもある。文学史のみならず、美術史・歴史学・食文化史など、様々な分野から『酒飯論絵巻』を読み解く。

瀧本弘之　大塚秀高　編　978-4-585-22637-6（2014 年 2 月）　アジア遊学171

中国古典文学と挿画文化　A5判・並製・224頁・2400円

明末清初、各地の書肆は競って挿絵本を刊行し、名工も多数輩出した。こうした書籍はわが国にも多数招来され、江戸文学・美術・工藝の多方面に影響を及ぼした。文学と美術の交差点・挿絵に注目し、研究のもたらす可能性を探る。

原豊二　劉暁峰　編　978-4-585-22636-9（2014 年 2 月）　アジア遊学170

東アジアの音楽文化　物語と交流と　A5判・並製・264頁・2500円

中国音楽が日本文学にもたらした文化的、歴史的、制度的なプロセスや、音楽家・文学者双方の意図から生ずる「再創造」の営みを検討するとともに、当時の人々の交流や信仰とも関わり合う、東アジアの音楽文化の様相を考察する。

袴田光康　許敬震　編　978-4-585-22635-2（2013 年 12 月）　アジア遊学 169

『三国遺事』の新たな地平　韓国古代文学の現在　A5判・並製・244頁・2400円

高麗の普覚国尊一然が編んだ『三国遺事』は、13 世紀末の朝鮮半島に流布していた神話や説話の宝庫である。その構成や特性、神仏習合としての視点、日本の神話や琉球の伝承との比較など様々な面から『三国遺事』を捉え直す。

瀧本弘之　戦暁梅　編　978-4-585-22634-5（2013 年 11 月）　アジア遊学 168

近代中国美術の胎動　A5判・並製・248頁・2400円

伝統画壇は新時代へどう対応したか。日本美術界との協調的関係はどう変化したか。木刻運動や前衛絵画などの新興藝術はどう発展したか。「伝統」「新興」「国際化」の三つの視座から中華民国期の美術家・芸術運動を解明。

石田仁志　掛野剛史　渋谷香織　田口律男　中沢弥　松村良　編　978-4-585-22633-8（2013 年 8 月）アジア遊学 167

戦間期東アジアの日本語文学　A5判・並製・272頁・2800円

勢力を増した日本の東アジアにおけるプレゼンスは、「日本語文学」に転換をもたらした。メディアやツーリズムの発達、雑誌・出版・映画の興隆、植民地支配による異文化接触などを視野にいれ、一国主義的な文学概念を相対化する。

竹田和夫　編　978-4-585-22059-6（2013 年 7 月）　アジア遊学 166

歴史のなかの金・銀・銅　鉱山文化の所産

A5判・並製・208頁・2000円

従来、日本の金・銀・銅は、鉱山の歴史という視点から研究されてきた。本企画では、広域社会システムや文化的景観などの観点を導入し、金・銀・銅とその鉱山を、技術・社会・経済をも包含した「鉱山文化」の視点で捉え直す。

渡辺昭一　編　978-4-585-22631-4（2013 年 6 月）　アジア遊学 165

ヨーロピアン・グローバリゼーションの歴史的位相　「自己」と「他者」の関係史

A5判・並製・240頁・2400円

ヨーロッパ文化のグローバル化という視点から、今日に至るまでの歴史的過程を描く。ヨーロッパが、他者である非ヨーロッパ世界と接触し、自己を自覚しながら、他者との共生を図り、数多くの社会を内包していたことを読み取る。

伊藤徳也　編　978-4-585-22630-7（2013 年 5 月）　アジア遊学 164

周作人と日中文化史

A5判・並製・240頁・2400円

周作人抜きに中国の近代文学史を語ることは難しい。近代中国の文学的事象を検証すれば、いかにその影響が多方面にまで及んでいたかがわかる。日本との関係を中心に、鋭い国際感覚をもった愛国者、周作人の思想と美学に迫る。

染谷智幸　崔官　編　978-4-585-22629-1（2013 年 5 月）　アジア遊学 163

日本近世文学と朝鮮

A5判・並製・228頁・2400円

従来の日本近世文学研究では、中国との関係については盛んに議論されてきたが、朝鮮についてはほぼ等閑視されてきた。中国ではなく朝鮮から見ることによって、近世文学に新視界を開き、日本と朝鮮の間の問題を明らかにする。

河野貴美子　Wiebke DENECKE　編　978-4-585-22628-4（2013 年 3 月）　アジア遊学 162

日本における「文」と「ブンガク」

A5判・並製・256頁・2500円

東アジアに特有の意義をもって形成、継承されてきた伝統的な「文」概念への問題意識なくしては、日本文化の本質に迫ることは不可能であろう。近代以降隠蔽されてしまった「文」の概念を発掘し、現代に続く意味と意義を捉え直す。

千本英史　編　978-4-585-22627-7（2013 年 3 月）アジア遊学 161

「偽」なるものの「射程」　漢字文化圏の神仏とその周辺

A5判・並製・272頁・2500円

偽書や偽文書などに見られる歴史像・世界像には、その時代を組み替え、再定立するダイナミズムを見出すことが出来る。日本・中国・韓国・ヴェトナムなど漢字文化圏における神仏に関わる文言に着目し、「偽」の可能性を論じる。

荒川慎太郎　澤本光弘　高井康典行　渡辺健哉　編　978-4-585-22626-0（2013 年 1 月）　アジア遊学 160

契丹［遼］と10〜12 世紀の東部ユーラシア

A5判・並製・288頁・2800円　※品切

10 世紀初頭、唐滅亡の混乱のなかで建国された草原の王朝「契丹」。その実態はいかなるものであったのか。近年の石刻資料・出土資料の整備、文字資料解読の進歩により、飛躍的に進展しつつある契丹［遼］研究の到達点を示す。

小峯和明　編　978-4-585-22625-3（2012 年 11 月）　アジア遊学 159

〈予言文学〉の世界　過去と未来を繋ぐ言説

A5判・並製・264頁・2500円

〈予言文学〉を権威化された古典（カノン）の読みかえの契機や媒介とし、新しい文学史を記述する可能性を見出す。予言的な言説をひろいあげることで、物語や詩歌をはじめ既知の文芸もあらたな読みの射程をも拓く。

丸山顕徳　編　978-4-585-22624-6（2012 年 10 月）　アジア遊学 158

古事記　環太平洋の日本神話

A5判・並製・208頁・2000円

国際的な視点から『古事記』の本質に迫る。『古事記』を中心に日本神話の全体を見直し、環太平洋神話の一つとして捉え直すことで、その普遍性と独自性を浮き彫りにする。

仁平道明　編　978-4-585-22623-9（2012 年 9 月）　アジア遊学157

東アジアの結婚と女性　文学・歴史・宗教

A5判・並製・248頁・2400円

女性が置かれた現実が典型的なかたちで現れる場である結婚について、東アジア（日本、韓国、中国、台湾）の女性の結婚を語る文学、背景にある歴史と思想・宗教、そして現在から展望する。

柴田幹夫　編　978-4-585-22622-2（2012 年 8 月）　アジア遊学156

大谷光瑞　「国家の前途」を考える

A5判・並製・224頁・2000円

中国を中心として、ロシア極東地域、朝鮮半島、台湾、チベットなどアジア諸地域への光瑞の認識を概観し、今から 100 年ほども前に、国家の前途を世界との関わりのなかで考えようとしていたその軌跡をたどる。

前田雅之　編　978-4-585-22621-5（2012 年 7 月）　アジア遊学155

もう一つの古典知　前近代日本の知の可能性

A5判・並製・256頁・2400円

新たな文化圏を形成する知の蠢動が、中世・近世社会をどれだけ豊穣にしていったのか、多面的な「知」の諸相やダイナミックに変容する「知」のありようを照射することで、豊穣なる日本の知の動態を捉える。

阿部泰郎　編　978-4-585-22620-8（2012 年 6 月）　アジア遊学154

文化創造の図像学　日本の宗教空間と身体

A5判・並製・240頁・2400円

仏教をはじめとする宗教や、病や死など身体にまつわる根本的な課題などに着目し、図像解釈の連環の中で、文化の創造と“知”の発信が如何になされていったのかを考究する。

海老澤衷　服部英雄　飯沼賢司　編　978-4-585-22619-2（2012 年 6 月）　アジア遊学153

重要文化的景観への道　エコ・サイトミュージアム田染荘

A5判・並製・208頁・2000円

大分県豊後高田市の田染荘小崎は環境（エコロジー）と史跡（サイト）を兼ね備えた野外博物館「エコ・サイトミュージアム」である。その歴史的・文化的意義を、文献史学・考古学・民俗学・生態学など多分野の視点から考察。

静永健　川平敏文　編　978-4-585-22618-5（2012 年 5 月）　アジア遊学152

東アジアの短詩形文学　俳句・時調・漢詩

A5判・並製・256頁・2400円

日中韓そして古代から現代へと、空間・時間を超えて共有される、研ぎ澄まされた言葉が織りなす短詩形文学の小宇宙を垣間見る。

小島毅　編　978-4-585-22617-8（2012 年 3 月）　アジア遊学151

東アジアの王権と宗教

A5判・並製・224頁・2000円

王権は歴史的に宗教とどう関わってきたのか？　権力が宗教と結びついた時に国家とその文化・芸術が受ける影響関係について、文学・歴史学・思想史学など多分野の視角から検証する。

編集部　編　978-4-585-22616-1（2012 年 5 月）　アジア遊学150

アジアの〈教養〉を考える　学問のためのブックガイド

A5判・並製・224頁・2000円

〈教養〉が「より興味深い人生を、より良く生きる」ために先人の知的蓄積を利用することであるなら、それは常に魅力的で興味深いものでなくてはならない。150 号を記念し、諸氏推薦の名著を一堂に集めた智のブックガイド！

千野拓政　編　978-4-585-22615-4（2012 年 2 月）　アジア遊学149

東アジアのサブカルチャーと若者のこころ

A5判・並製・208頁・2000円

1980 年代から 90 年代にかけて、中国をはじめアジアの都市を席巻したのは日本のアニメやマンガ、ゲームだった。北京、上海、香港、台北、シンガポールでフィールド調査し、東アジアにおけるサブカルチャー受容の現在を報告する。

楊海英　編　978-4-585-22614-7（2011 年 12 月）　アジア遊学148

王朝から「国民国家」へ　清朝崩壊 100 年

A5判・並製・192頁・2000円

辛亥革命から 100 年。日本、モンゴル、満洲といった周辺の国々の視点に立ち、「革命」の歴史的意義とそれがもたらした功罪を再検討する。

河添房江　皆川雅樹　編　978-4-585-22613-0（2011 年 11 月）　アジア遊学147

唐物と東アジア　舶載品をめぐる文化交流史

A5判・並製・208頁・2000円　※品切

唐物とよばれる舶載品が、奈良から平安、そして中世や近世まで、どのように受容され日本文化史に息づいているか。美術品や歴史資料のみならず、文学資料も用いて明らかにする。

瀧本弘之　編　978-4-585-22612-3（2011 年 10 月）　アジア遊学146

民国期美術へのまなざし　辛亥革命百年の眺望

A5判・並製・240頁・2400円

日本美術の影響下に覚醒し、ソ連美術の影響下のもとに成長した中華民国期の美術。新中国の体制下で見失われていたその豊穣を新たな目で検証する。

蘭信三　編　978-4-585-22611-6（2011 年 9 月）　アジア遊学145

帝国崩壊とひとの再移動　引揚げ、送還、そして残留

A5判・並製・248頁・2400円　**※品切**

終戦直後の膨大なひとびとの移動は、勢力圏に中国残留孤児をはじめとする「日本人残留者」を生み出した。移動したひとびとが戦後の当該社会にどのように包摂され、あるいは排除されていったのか、社会問題との深い関連を考察する。

田村義也　松居竜五　編　978-4-585-22610-9（2011 年 8 月）　アジア遊学144

南方熊楠とアジア

A5判・並製・256頁・2400円

西洋および東アジアのみならず、東南アジア、インド、中近東など広範囲にわたる熊楠の学問の射程のなかでも、特に熊楠のアジアに対する視線を再検証し、近代日本の一知識人のアジア観に関する新たな視角を示す。

渡辺憲司　野田研一　小峯和明　ハルオ・シラネ　編　978-4-585-22609-3（2011 年 7 月）　アジア遊学143

環境という視座　日本文学とエコクリティシズム

A5判・並製・240頁・2400円

四季と風景として分節され、高度に記号化された二次的自然表象の世界。それを脱構築する野生と他者性のまなざし。自然環境へのまなざしの根底にある心性を歴史的に再照射し、日本における新たな環境文化論の定立をめざす試み。

西山美香　編　978-4-585-22608-6（2011 年 6 月）　アジア遊学142

古代中世日本の内なる「禅」

A5判・並製・288頁・2800円

国際的・多義的・重層的な社会・文化状況において、「禅」は、いかなる影響・衝撃をもたらしたのか。史学・美術史・文学・書誌学・仏教学の先端研究から、東アジア文化接触の多面性を明らかにする。

嶋田義仁　編　978-4-585-22607-9（2011 年 5 月）　アジア遊学141

シャーマニズムの諸相

A5判・並製・224頁・2000円

アジアは内モンゴル、中国、韓国、沖縄、バリ島、アフリカはスワヒリ海岸、ジンバブウェー、カラハリのブッシュマン、そしてヨーロッパに至る、世界各地の事例を紹介。聖なる体験に光を当てて、人間とは何かを再考する。

神鷹徳治　静永健　編　978-4-585-22606-2（2011 年 4 月）　アジア遊学140

旧鈔本の世界　漢籍受容のタイムカプセル

A5判・並製・192頁・2000円

数百年の時間を超え、日本各地に秘蔵されてきた古写本たち。そこには中国ではすでに忘れ失われてしまった意外な本文が手付かずのまま残されていた。新たな中国古典学の可能性を、これらタイムカプセルの発掘から拓く。

蓑島栄紀　編　978-4-585-22605-5（2011 年 3 月）　アジア遊学139

アイヌ史を問いなおす　生態・交流・文化継承

A5判・並製・224頁・2000円　**※品切**

北方先住民の歴史・文化を対象として、ヒトと環境・生態系との関わり、多方面のダイナミックな交流、そして文化の継承を主要なキーワードに、既成の「日本史」の附属物ではない、「アイヌを主体とする」新たな歴史像を模索する。

徐禎完　増尾伸一郎　編　978-4-585-22604-8（2011 年 2 月）　アジア遊学138

植民地朝鮮と帝国日本　民族・都市・文化

A5判・並製・224頁・2000円　**※品切**

韓国における最先端の研究成果により、「帝国日本」による植民地統治のあり方を空間・メディア・学知・芸能などの多様な側面から照射し、併合以後 100 年の歴史を問い直す。

井本英一　編　978-4-585-22603-1（2011 年 1 月）　アジア遊学137

東西交渉とイラン文化

A5判・並製・216頁・2000円　**※品切**

東洋と西洋の結節点に位置し、古代より宗教・文化・文物の発信地であったイラン。宗教・思想・伝承、そしてヒト・モノといった観点からその文化交渉における諸相を多角的に論じ、世界史に与えたイラン文化の影響を考察する。

水島司　編　978-4-585-22602-4（2010 年 9 月）　アジア遊学136

環境と歴史学　歴史研究の新地平

A5判・並製・240頁・2400円　**※品切**

歴史研究の中に環境変動という視点を取り込み、日本から、アジア、アフリカ、ヨーロッパ地域にまで視点を広げ、歴史学、考古学、地理学、環境史、民俗学など異分野の研究者が最新の研究成果を問う。

芦田耕一　原豊二　編　978-4-585-22601-7（2010 年 8 月）　アジア遊学135

出雲文化圏と東アジア

A5判・並製・216頁・2000円　**※品切**

『古事記』『日本書紀』に描かれ、神の国といわれる出雲。その強い宗教性を特徴とする地域全体を「出雲文化圏」と設定し、時代・地域横断的にとらえなおす。「神話」の世界にとどまらない、知られざる文化の諸相を明らかにする。

久保智康　編　978-4-585-22600-0（2010 年 7 月）　アジア遊学134

東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点

A5判・並製・288頁・2800円　**※品切**

金工品等の比較研究に加え、各種工芸・絵画作品、文献史料の読み解きから、造形・意匠の伝播や展開、「モノ」としての意味や機能を明らかにすることで、東アジアにおける相互文化交流の諸相を立体的に浮かび上がらせる。

齋藤龍一　鈴木健郎　土屋昌明　編　978-4-585-10430-8（2010 年 6 月）　アジア遊学133

道教美術の可能性

A5判・並製・258頁・2500円　**※品切**

美術作品や実物資料からのアプローチにより、道教が、文化要素としてどのように展開し、変容していったのかを考察。文献や儀礼研究のみでは描き出すことの出来ない、立体的な道教史を再構築する。

西山美香　編　978-4-585-10429-2（2010 年 5 月）　アジア遊学132

東アジアを結ぶモノ・場

A5判・並製・248頁・2000円　**※品切**

東アジアを行き交う「モノ」、モノが受容、使用され、再文脈化される「場」。その諸相を、史学・文学・美術史・宗教史など、多角的な見地から検証、前近代の東アジア海域における多義的・重層的な文化・社会のありようを描き出す。

稲田篤信　編　978-4-585-10428-5（2010 年 4 月）　アジア遊学131

水滸伝の衝撃　東アジアにおける言語接触と文化受容

A5判・並製・226頁・2000円　**※品切**

中国のみならず、日本、そして朝鮮半島においても広く愛読されてきた『水滸伝』。同書を、東アジアの言語文化圏のなかに捉え返すことにより、文学・言語・思想など、多岐に亙るその文化史的意義、衝撃度を明らかにする。

相田満　編　978-4-585-10427-8（2010 年 2 月）　アジア遊学130

古典化するキャラクター

A5判・並製・226頁・2000円

長い伝統の中に練り込まれた文物の中に潜む類型と画一化の中に新たな魅力を見いだす。「キャラクター」というポップカルチャーの権化のようなタームと、「古典研究」の概念をすりあわせ、ダイナミックな視野の転換を試みる。

堀池信夫　編　978-4-585-10426-1（2009 年 12 月）　アジア遊学129

中国のイスラーム思想と文化

A5判・並製・224頁・2000円　**※品切**

唐代以来の東西交流の中に伝播し、独自の展開を遂げた中国イスラーム思想。文化的に特筆すべき影響をもたらしながらも、これまで省みられることのなかった文化交渉史の一側面を明らかにする。

加藤隆浩　編　978-4-585-10425-4（2009 年 12 月）　アジア遊学128

古代世界の霊魂観

A5判・並製・208頁・2000円

霊魂とは何か？　諸文化における「霊魂」を文化人類学・考古学・宗教学・文学・神話学など多様な視角から論述。「霊魂」を 社会・文化的コンテキストの中で捉え返し、時代、地域を越えた総合的な比較研究の試み。

小峯和明　編　978-4-585-10424-7（2009 年 11 月）　アジア遊学127

キリシタン文化と日欧交流

A5判・並製・240頁・2000円　**※品切**

キリシタンは、日本をはじめ東アジアが「西洋」と出会った鮮烈な文化衝撃にほかならない。今日にいたる近代文化の起点に当たる文化総体としてのキリシタン文学・文化の意義を多角的な視点から再考する。

上原作和　企画／編集部　編　978-4-585-10423-0（2009 年 9 月）　アジア遊学126

〈琴〉の文化史　東アジアの音風景　A5判・並製・224頁・2000円　※品切

〈七絃琴〉は遣唐使によって中国大陸から日本にもたらされ、『源氏物語』や先行する『うつほ物語』、下っては江戸時代の漢詩・文人画に多大な影響を与えた。琴文化受容の諸相を文学、歴史学、音楽史学などの多角的視点から考察する。

志村有弘　編　978-4-585-10422-3（2009 年 8 月）　アジア遊学125

アジアの怪奇譚　A5判・並製・226頁・2000円　※品切

日本、中国、韓国、インドなどアジア地域に伝わる怪奇譚、妖怪譚を総覧。古典史料・文芸作品はもとより、絵画、謡曲までも俎上に乗せ、妖怪、怨霊、鬼、怪異を一網打尽にする！

諏訪春雄　編　978-4-585-10421-6（2009 年 7 月）　アジア遊学124

東アジアの死者の行方と葬儀　A5判・並製・224頁・2000円　※在庫僅少

日本人の死者はどこへゆくのか。中国や韓国の弔い方とどこが違うのか。日中韓の葬儀方式や死生観を比較検討した最先端の論考 18 本を収録。伝統習俗の継承と変化、新しい伝統の形成過程を明らかにする。

柴田幹夫　郭俊海　編　978-4-585-10420-9（2009 年 6 月）　アジア遊学123

シンガポール都市論　A5判・並製・226頁・2000円　※品切

言語政策、華人のナショナルアイデンティティ問題、アジアドル市場におけるシンガポールの位置、教育の問題などから、多文化社会のモデルとしてシンガポールを考え、さらに日本とシンガポールの関係を歴史的に考察。

西山美香　編　978-4-585-10419-3（2009 年 5 月）　アジア遊学122

日本と《宋元》の邂逅　中世に押し寄せた新潮流　A5判・並製・240頁・2000円　※品切

中世の日本人は〈宋元〉文化を、どのように眺め・感じ・摂取・再生していたのか――　史学・建築史・美術史・宗教史・文学・書誌学など、諸分野の研究の最先端から、国際的・多義的・重層的な当該期の社会・文化状況を明らかにする。

編集部　編　978-4-585-10418-6（2009 年 4 月）　アジア遊学121

天空の神話学　A5判・並製・224頁・2000円　※品切

インド・ヨーロッパ、東アジア、アメリカ大陸の神話・伝承において、「天」と「空」がどのように捉えられていたのか。比較神話学の視点から、世界の天空神の表象を考察し、各地域における世界観・文化観を解読する。

編集部　編　978-4-585-10417-9（2009 年 3 月）　アジア遊学120

朝鮮王朝の絵画　東アジアの視点から　A5判・並製・224頁・2000円　※品切

朝鮮王朝時代に描かれた文人画や仏画、花鳥画、山水画、人物画などの絵画を美術史・歴史的視点から再評価するとともに、日本・中国絵画との影響関係や文化交流の様相を探る。

編集部　編　978-4-585-10416-2（2009 年 2 月）　アジア遊学119

アジアの出産　リプロダクションからみる文化と社会　A5判・並製・224頁・2000円　※品切

不妊、生殖医療の発展と倫理、出産とビジネス、伝統的儀礼など、多角的視点からアジア各国の出産の現状を捉え、それぞれの社会、文化のあり方、その共通性や多様性を考察する。

編集部　編　978-4-585-10415-5（2009 年 1 月）　アジア遊学118

古典キャラクターの展開　A5判・並製・224頁・2000円

従来の人物論を中心とした文学研究からの脱却を目指し、「キャラクター」性に注目して日中の古典文学をひもとく。130 号「古典化するキャラクター」との併読をおすすめしたい。

編集部　編　978-4-585-10414-8（2008 年 12 月）　アジア遊学117

日本で暮らす外国人　地方都市の日系人・アジア人　A5判・並製・224頁・2000円

日本で生活する外国人、日系人をとりあげ、政策や企業との関係、教育・労働の実態、コミュニティの現状などを詳解する。

編集部　編　978-4-585-10413-1（2008 年 11 月）　アジア遊学116

漢籍と日本人 II　A5判・並製・224頁・2000円

飛鳥時代～昭和に至る間に、日本人は多様な中国古典文学に何を求め、どのように接してきたのか、それぞれの時代において考察する。

編集部　編　978-4-585-10412-4（2008 年 10 月）　アジア遊学115

縁起の東西　聖人・奇跡・巡礼　A5判・並製・224頁・2000円　※品切

寺社の創立にあたってその起源を語る「縁起」について、南アジア・欧州の寺院、教会・修道院にまでその視野を広げ、従来の歴史学に文字、図像、宗教といった多彩な視点を加えて、比較文化論の新しい境地を拓く。

編集部　編　978-4-585-10364-6（2008 年 9 月）　アジア遊学114

東アジアの文学圏　比較から共有へ　A5判・並製・224頁・2000円

漢字漢文文化を基盤とする東アジアの文学を探る。東アジアにおける文学を多面的に考察し、比較文学から共有文学へ、あらたな学的方位を提示する。研究領域や方法論を相互に検証した、国際学術交流の達成点。

編集部　編　978-4-585-10411-7（2008 年 8 月）　アジア遊学113

地域情報学の創出　A5判・並製・224頁・2000円　※在庫僅少

膨大な研究資料を収集・整理・発信することで、ある時代、ある地域における、〈見えない動き〉を可視化する試み。情報処理のメソッドによって、全く新しい研究成果が明らかとなる。

編集部　編　978-4-585-10363-9（2008 年 8 月）　アジア遊学112

アジアの孝子物語　A5判・並製・224頁・2000円

『二十四孝』をはじめ、『平家物語』や戦前の修身経に記された「孝子物語」。親孝行と忠節心を美徳とするそれらの物語を比較、考察することで、儒教思想の影響と、親子の絆のありかたの規範を探る。

編集部　編　978-4-585-10362-2（2008 年 7 月）　アジア遊学111

戦争とメディアそして生活　A5判・並製・224頁・2000円　※品切

戦時の人びとの生活に密着したモノを取り扱う新しいメディア研究。従来のメディア研究で採り上げられなかったビラ・絵葉書、生活に密着した玩具・着物をとりあげ、戦争とメディアやモノが人びとの生活にどう影響したか検証する。

編集部　編　978-4-585-10361-5（2008 年 6 月）　アジア遊学110

アジアの心と身体　A5判・並製・224頁・2000円

「身体論」とは、外界と具体的に関わる肉体が、「心」とどのように結びついているのかを考察する試みである。アジアにおける「心と身体」をめぐる思想の諸相を取り上げ、その多用な可能性を提示する。

編集部　編　978-4-585-10360-8（2008 年 4 月）　アジア遊学109

絵を読む文字を見る　日本文学とその媒体　A5判・並製・224頁・2000円　※品切

奈良絵本、江戸時代の版本の挿絵 や画譜、扇、活字、和紙など、日本の文字文化・出版文化史について種々な側面から考え、広い意味での日本文学、テキストの媒体について日仏の研究者を中心に再考。

編集部　編　978-4-585-10359-2（2008 年 3 月）　アジア遊学108

古典キャラクターの可能性　A5判・並製・224頁・2000円

古典の登場人物をキャラクターとして捉えるという、文学解読の新たな切り口を提示。118 号「古典キャラクターの展開」、130 号「古典化するキャラクター」と続くキャラクター論の試み。

編集部　編　978-4-585-10358-5（2008 年 2 月）　アジア遊学107

北東アジアの中世考古学　A5判・並製・224頁・2000円

中華思想に由来する旧来の北東アジア史観から離れ、文献史研究のみでは見えない遺跡・遺物の精査から、陶磁器・繊維・金属などの生産拠点や、これら製品が広域かつ活発に流通する基盤として成り立つ社会が存在したことを示す。

編集部　編　978-4-585-10357-8（2008 年 1 月）　アジア遊学106

カレンダー文化　A5判・並製・224頁・2000円

アジア諸地域を中心に、カレンダー文化と暦に関わる生活を考察し、自然の中の人々の営みを文化人類学的に捉え解説する。日本の旧暦や沖縄の暦から、海外のエスニックな暦まで採り上げる。

編集部　編　978-4-585-10356-1（2007 年 12 月）　アジア遊学105

日本庶民文芸と中国　A5判・並製・224頁・2000円　※在庫僅少

『三国志』『水滸伝』『金瓶梅』『紅楼夢』のほか元雑劇・伝奇小説まで、受容する日本の側も古典から近代小説、能など芸能まで広く扱う。

編集部　編　978-4-585-10355-4（2007 年 11 月）　アジア遊学104

現代日本をめぐる国際移動　A5判・並製・224頁・2000円

観光、移住、長期滞在、労働など、日本と海外の間をめぐる人の移動形態が様々ある状況を踏まえ、問題の分析、将来への予測を立て、多面的に論じる。

編集部　編　978-4-585-10354-7（2007 年 9 月）　アジア遊学103

『良友』画報とその時代　A5判・並製・224頁・2000円　※品切

中国・上海で発行された総合グラビア雑誌『良友』画報を精読。『良友』画報が取り上げる関連記事は当時の中国の社会、文化、映画、美術、漫画、言語などあらゆる分野を網羅していた。戦前期上海の社会をうかがう。

編集部　編　978-4-585-10353-0（2007 年 9 月）　アジア遊学102

東アジアの平泉　A5判・並製・224頁・2000円　※品切

日本史のなかでも独自の文化を築き、特異な役割を果たした奥州平泉。本書ではより巨視的な観点を設定し、東アジアの交流史・海域史のなかで、その位置付けを探り直し、世界遺産候補として注目される平泉像を再構築する。

編集部　編　978-4-585-10352-3（2007 年 8 月）　アジア遊学101

日中韓の霊魂観の違い　A5判・並製・224頁・2000円　※品切

日中韓において、生者が死者の魂をどのように捉え日常の生活のなかで扱うか、様々な事例、事件との関係をあげ、様々な角度から検討する。

編集部　編　978-4-585-10351-6（2007 年 8 月）　アジア遊学100

アジア遊学 100 号の提案　これからの研究構想を語る　A5判・並製・224頁・2000円

アジア遊学創刊から 100 号を記念し、これまでの特集を担当した執筆者を中心に、それぞれの研究分野が新しい時代のアジア研究と今後のアジア遊学とに果たす役割と展望を語る。

編集部　編　978-4-585-10350-9（2007 年 7 月）　アジア遊学99

地球環境を黒河に探る　A5判・並製・224頁・1800円

気候変化による河川流量の変化について、中国祁連山脈北方の黒河流域を調査したプロジェクトのまとめ。氷河や流域を調査するにあたり、気象・気候・地理・水分のみならず、歴史・考古にわたる幅広い分野の研究者が集う。

編集部　編　978-4-585-10349-3（2007 年 6 月）　アジア遊学98

フランスにおける日本学の現在　A5判・並製・224頁・1800円

伝統あるフランス日本学の歴史を振り返り、日仏交流史の重要な一側面を考察すると共に、現代フランスにおける「日本文化ブーム」についても考察する。日本文学・歴史・文化の研究、日本語教育など盛んなフランスの現状。

関根謙　編　978-4-585-10348-6（2007 年 3 月）　アジア遊学97

現代中国のポピュラーカルチャー　A5判・並製・224頁・1800円　※品切

「1　現代中国映画、その展開と挑戦」「2　現代中国演劇の世界」「3　躍動する現代アート・サブカルチャー・伝統文化」の 3 部構成で、現代中国の最先端の映画・演劇・現代アート・サブカルチャーを紹介。

氣賀澤保規　編　978-4-585-10347-9（2007 円 2 月）　アジア遊学96

資料にみる最新中国史　A5判・並製・192頁・1800円

幻の王朝「夏」から明の時代まで、中国史研究の「いま」を伝える。次々と発見される資料・史料を元に、中国史の新たな一面と、その奥行きの深さを伝える論考を所収する。

編集部　編　978-4-585-10346-2（2007 年 1 月）　アジア遊学95

和漢聯句の世界　A5判・並製・224頁・1800円

日本では連歌から俳諧へと至る「座の文学」の隆盛が起こったのに対し、中国ではあくまで「個」の作品に終始したのは何故か。中国の聯句、日本の連歌、連句、そして和漢聯句について、それぞれの立場からの見解を述べる。

編集部　編　978-4-585-10345-5（2006 年 12 月）　アジア遊学94

中国現代文学の越境　A5判・並製・224頁・1800円　※品切

中国および世界で活躍する中国人作家をとりあげ、市場経済が発展し続け、大きなうねりの中で変貌を遂げつつある現代中国の文学の状況を、リアルタイムに捉え、専門内外の研究者にも参考になるよう解説する。

編集部　編　978-4-585-10344-8（2006 年 11 月）　アジア遊学93

漢籍と日本人　A5判・並製・224頁・1800円　※品切

奈良・平安〜明治に至る間に、日本の文人たちは「中国古典文学」にどのように接し、何を求めてきたのかを、日本史の時間軸において、各各列伝風にそれぞれ考察する。

編集部　編　978-4-585-10343-1（2006 年 10 月）　アジア遊学92

世界のコリアン　A5判・並製・224頁・1800円

半島以外のコリアン文化の歴史と現在。世界各地のコリアンコミュニティの成立経過と現在的問題について、半島以外の事例を中心に扱い、韓流・嫌韓流といった卑近な捉え方から解放された、自由かつ公正な視点でコリアンを考察する。

編集部　編　978-4-585-10342-4（2006 年 9 月）　アジア遊学91

碑石は語る　A5判・並製・190頁・1800円

人々は何を伝えようとして、石に文字を刻んだのか。アジア碑石文化の特色を、比較史の視点からも検討を加えて見つめ直す。

編集部　編　978-4-585-10341-7（2006 年 8 月）　アジア遊学90

ジャカルタのいまを読む　A5判・並製・224頁・1800円　※品切

経済発展の象徴であるグローバル化都市ジャカルタの現在を、裏路地の庶民生活や、現代ジャカルタを代表する音楽・文学などを参考にして明らかにする。都市論の最先端を行く研究成果。

編集部　編　978-4-585-10340-0（2006 年 7 月）　アジア遊学89

宗教を生きる東南アジア　A5判・並製・208頁・1800円

不安定な政治と社会基盤のもとで胎動する宗教の新たな動き。逞しく生きる人々の日常生活に焦点をあて、東南アジア全域にわたり、若手のフィールドワーカーたちによる詳細なデータをもとに綴る、最新の研究成果。

編集部　編　978-4-585-10339-4（2006 年 6 月）　アジア遊学88

アジアの茶文化研究　A5判・並製・224頁・1800円　※品切

欧米における受容と、アジアの各地で受け継がれてきた多用な伝統文化としての「茶」を比較考察。それぞれの受容史を仔細に読み解くことで、「茶」を基軸とした生活文化の諸相を明らかにする。

編集部　編　978-4-585-10338-7（2006 年 6 月）　アジア遊学87

古今東西のおさな神　A5判・並製・204頁・1800円

西洋における「幼子イエス」、仏教における「童子」など、神話・昔話・文学、それぞれの領域から、「おさな神」の表象を考察する。北欧神話から、金太郎・桃太郎などの昔話、ランボー神話まで、幅広い論考を所収。

編集部　編　978-4-585-10337-0（2006年4月）　アジア遊学86

アラブの都市と知識人　A5判・並製・213頁・1800円

アラブ地方の多様な都市の政治・文化とその変動は、知識人たちにどのような影響を与えたのか。異文化・異宗教の接触と交流の場から、文化を担った人びとの姿を提示することで、アラブ世界・中東の知られざる姿を明らかにする。

編集部　編　978-4-585-10336-3（2006年3月）　アジア遊学85

中国残留孤児の叫び　終わらない戦後　A5判・並製・224頁・1800円　※品切

日本社会の成長、中国社会の劇的な変化、さらには東西冷戦の終結後の世界の激変という状況下で、残留孤児・残留婦人たちはどのように生きてきたのか。ライフ・ヒストリーの視点から、語りによる歴史を提示する。

編集部　編　978-4-585-10335-6（2006年2月）　アジア遊学84

アジアのスピリチュアリティ　精神的基層を求めて　A5判・並製・256頁・1800円　※品切

「自分の中や他者との間で働いていると感じられる、自分を超えた何ものかとつながっている感覚」であるスピリチュアリティの文化は、アジアにおいてどのように形成されたのか。アジア的霊性から、東アジア共同体の可能性を探る。

編集部　編　978-4-585-10334-9（2006年1月）　アジア遊学83

中国社会構造の変容　A5判・並製・224頁・1800円　※在庫僅少

社会主義国家としての中国に、いまなにが起こっているのか。市場経済と外資の導入によって発展する国家の思惑と混乱、企業の狙い、そして、農村と都市の変化を考察する。中国の「いま」が明らかとなる。

編集部　編　978-4-585-10333-2（2005年12月）　アジア遊学82

楽園　東と西　A5判・並製・176頁・1800円

人は何故、ここではないどこか＝「ユートピア」という楽園を求めるのか。世界の神話・伝説・文学に描かれる「楽園」表象を比較・考察し、その普遍性と多様性を探る。

編集部　編　978-4-585-10332-5（2005年11月）　アジア遊学81

東アジアのグローバル化　A5判・並製・256頁・1800円　※品切

ナショナリズムとエスニシティの視点から、アジア文化・社会の構造の全体像を明らかにする。中国・台湾・韓国・日本、そして欧米に住むアジア系移民が置かれている現状を取り上げ、東アジアのこれからを考える。

編集部　編　978-4-585-10331-8（2005年10月）　アジア遊学80

アジアの都市住宅　A5判・並製・256頁・1800円　※品切

近代の「国」という区切りによって見えにくくなったアジア諸国の空間的繋がりを再構築し、地域と地域のネットワークの上に成立する都市と建築の新たな歴史像を創出する。

編集部　編　978-4-585-10330-1（2005年9月）　アジア遊学79

共生する神・人・仏　日本とフランスの学術交流　A5判・並製・264頁・1800円

フランスと日本の研究者が、アジアの古代・中世における、神仏の信仰、儀礼、伝承をめぐる諸問題を縦横に論じる。人が生きて死ぬことを深く捉えようとする営みを、内と外からの視点から問う。

編集部　編　978-4-585-10329-5（2005年8月）　アジア遊学78

中国都市の時空世界　A5判・並製・224頁・1800円

秦漢時代から民国期まで、中国の歴史の中で都市はどのような性格を備え、どのような変貌を遂げたのか。都市のネットワーク、地域社会における位置づけ、都市化と環境、文化創造に果たす役割など、様々な問題を取り上げる。

編集部　編　978-4-585-10328-8（2005年7月）　アジア遊学77

世界の中華料理　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

料理は文化としてゆっくり変化する一面、世界や社会の変化の節目を敏感に反映し、驚くほど急速に姿を変える。世界中に広がった「中華料理」の諸相を文化現象として捉え、食から世界の文化を読み解く。

編集部　編　978-4-585-10327-1（2005年6月）　アジア遊学76

アジア〈日本・日系〉ラテンアメリカ　日系社会の経験から学ぶ　A5判・並製・232頁・1800円

東アジア諸国における相互関係の「深化」・相互依存が進む一方で、国家間の対立も浮き彫りとなる。ラテンアメリカへのアジア移民を取り上げることで、国家の枠組みを超える「移民史」を描きだし、その共生の経験を考える。

編集部　編　978-4-585-10326-4（2005年5月）　アジア遊学75

黄河は流れず　アジアの水問題　A5判・並製・174頁・1800円

地球上にまばらに分布された「水」をめぐる諸問題は、水自体の問題ではなく、人間社会と水の関係の問題であり、そこには人類の抱える問題が反映されている。中国の黄河を中心に、水にまつわる人類の営みを考察する。

編集部　編　978-4-585-10325-7（2005年4月）　アジア遊学74

アジアの家社会　A5判・並製・208頁・1800円

社会学・法学・日本史・民俗学など様々な視点から、モノとしての家屋、そこに住まう人びとと社会の関わりを問い直す。アジアの多様な事例を、「家」という概念によって結びつけ、人びとの住まいと暮らしに光を当てる。

編集部　編　978-4-585-10324-0（2005年3月）　アジア遊学73

日本文化にみる道教的要素　A5判・並製・200頁・1800円　※品切

仏教や儒教とともに、古代日本を彩った道教を考察し、文化の発展変遷と日中文化交流の実態を究明する。歴史・文学・音楽・絵画・風俗・書物など、様々な角度から、日本文化における道教の受容と影響を明らかにする。

編集部　編　978-4-585-10323-3（2005年2月）　アジア遊学72

日中相互認識のずれ　A5判・並製・210頁・1800円

歴史からの視点だけではなく、文化表象にも見ることができる日中間のズレの深層を鋭く分析。相互のズレを認識し、異なったものが異なったまま共存する、日中共生の可能性を探る。

志村有弘　編　978-4-585-10322-6（2005年1月）　アジア遊学71

アジアの怪　A5判・並製・218頁・1800円　※在庫僅少

動物、植物、人間などの現実の形態・生態をもつさまざまな事物が、観念として現出する「妖怪」。アジアにおける妖怪を考察することで、アジアの大地・山川・ジャングル・海といった自然とそこに生きる人びとの姿を浮き彫りにする。

編集部　編　978-4-585-10321-9（2004年12月）　アジア遊学70

波騒ぐ東アジア　A5判・並製・278頁・1800円

海や大陸をはさんで相互に共鳴しあう事象を把握し、中国文化の受容・影響の歴史に新たな側面を提示。宋代を中心としたアジア、感応しあうアジアの姿を読み解き、「海」を通じた交流史を創出する。

編集部　編　978-4-585-10320-2（2004年11月）　アジア遊学69

台湾からみる日本　進化する国際コラボレーション　A5判・並製・256頁・1800円

日本研究の国際化のために、その一つのモデルとして台湾の状況を提示する。日本古典文学研究の現状と可能性、台湾にある古典籍資料の現状と意義、現代の日本文化受容、日本語教育の歴史と現状など、幅広く考察する。

編集部　編　978-4-585-10319-6（2004年10月）　アジア遊学68

英雄を支えた賢者たち　A5判・並製・216頁・1800円

どこの神話にも、若い英雄の影には賢者という老神がいる。幼い神を支える老神たちは、神話・伝説・物語においてどのように描かれているのか、世界の事例を収集し、考察する。

編集部　編　978-4-585-10318-9（2004年9月）　アジア遊学67

族譜　家系と伝説　A5判・並製・216頁・1800円

「いま」に連なる、一族の歴史と伝説は何故作られるのか。中国を中心に、朝鮮半島、日本、沖縄、東南アジアにおける家系の記録＝族譜から、アジア伝統文化に共通の伝統と、諸民族・諸地域の独自性を探る。

編集部　編　978-4-585-10317-2（2004年8月）　アジア遊学66

島唄の魅力　A5判・並製・208頁・1800円

生活の中に息づく音楽、自分たちのための音楽がなぜ求められ、作られ、継承されていくのか。沖縄・奄美の生活の中に息づく音楽の魅力を伝えるともに、民俗と文化のあり方を考える。

編集部　編　978-4-585-10316-5（2004年7月）　アジア遊学65

文化大革命再検討　A5判・並製・224頁・1800円

文革は偶発的な「異常な時代」ではなく、中国にとって必然の過程であった。毛沢東型社会主義と伝統的独裁体制の癒着に、文革ダイナミズムの根底を見る。いまなお謎に包まれた文革研究から、中国のいまを照射する。

編集部　編　978-4-585-10315-8（2004年6月）　アジア遊学64

徽宗とその時代　A5判・並製・226頁・1800円　**※在庫僅少**

北宋末期の皇帝・徽宗は、芸術への強烈な傾倒によって名前を知られる。文化的繁栄をもたらす一方で、自分の趣味におぼれた結果として帝国の崩壊を招いたと伝えられる。パターン化された徽宗像を再検討し、その実像に迫る。

編集部　編　978-4-585-10314-1（2004年5月）　アジア遊学63

少数民族とことば表現世界　A5判・並製・208頁・1800円

グローバル化、国際化の流れによって、少数民族の文化やことばが変質、消滅しつつある。生きている神話や歌垣の姿を後世に残すために、フィールド調査の具体例と報告、今後の研究方法のあり方を提示する。

編集部　編　978-4-585-10313-4（2004年4月）　アジア遊学62

上海モダン　A5判・並製・240頁・1800円

アジアにおける現代性〈モダニティ〉の原形を造り出した、都市文化＝「上海モダン」の諸相を探る。30年代のオールド上海の繁栄と享楽が、現代の上海に、日本にどのような影響を与えているのかを明らかにする。

渡邊欣雄　編　978-4-585-10312-7（2004年3月）　アジア遊学61

世界の宴会　A5判・並製・256頁・1800円

宴会、宴（うたげ）、饗宴、共食、会食、接待などなど、特別な機会に、特別な目的をもって人びとが集い、同じ特別な食物を飲食することを通じて、互いに交歓しあう。世界各地・各国の「宴会」の諸相を通じて、その社会を知る。

編集部　編　978-4-585-10311-0（2004年2月）　アジア遊学60

長安の都市空間と詩人たち　A5判・並製・160頁・1800円

杜甫や李白、王維ら唐の詩人たちは、どのような都市空間の中で生活し、影響を受けたのか。詩人たちの目に入り、耳に聞こえ、体に感じられたものは何なのか。地理学、歴史学、宗教学を取り込み、詩人たちの空間認識を理解する。

編集部　編　978-4-585-10310-3（2004年1月）　アジア遊学59

鬼とデーモン　A5判・並製・176頁・1800円

鬼はサタンなのか、デーモンなのか。「鬼」を翻訳する際の困難の背景にある、アジアとヨーロッパの概念の差異を比較考察する。世界の神と善悪の相克の問題をみすえ、「鬼」と「悪魔」の源流を探る。

編集部　編　978-4-585-10309-7（2003年12月）　アジア遊学58

路地裏の宗教　A5判・並製・224頁・1800円

中国政府によって「公認」された、儒教・仏教・道教、さらにキリスト教、イスラム教の5つの宗教とは異なる、「民俗宗教」の諸相を探る。卑近な生活に密着した精神世界が表現された裏の宗教から、中国の実像に迫る。

編集部　編　978-4-585-10308-0（2003年11月）　アジア遊学57

バンコク　国際化の中の劇場都市　A5判・並製・200頁・1800円

かつてバンコクは、国王を興行主とし、僧侶・バラモン・宮廷貴族を配役、都市市民や農民を観客とする「劇場国家」（C・ギアツ）の中心であった。タイ首都圏の過去と現在を考察し、その多様な側面を浮き彫りにする。

編集部　編　978-4-585-10307-3（2003年10月）　アジア遊学56

中国の虚像と実像　A5判・並製・192頁・1800円

中国理解のためには、当為〈ゾルレン〉と実在〈ザイン〉の識別が必要となる。状況の変化によって、歴史・事実の捉え方が大きく左右される。政治的意図、時代の要請によって造られる虚像を見極め、中国の実像を描きだす。

編集部　編　978-4-585-10306-6（2003年9月）　アジア遊学55

メコン　風土と野生イネ　A5判・並製・184頁・1800円

インドシナを中心とする東南アジアに生える「野生イネ」をキーワードに、風土とそこに住む人びとの生活を描きだす。人間の手によって管理されるのではなく、自生するイネを求めた研究者たちの「旅」の記録。

編集部　編　978-4-585-10305-9（2003年8月）　アジア遊学54

メディアとプロパガンダ　A5判・並製・208頁・1800円　**※品切**

ラジオ、印刷物、映画といったメディアが、政治・戦争にどのような影響を与え、また利用されてきたのか。ラジオの傍受記録、ビラ・絵はがきなどのエファメラ・メディア、映画やテレビなどの映像を資料に、歴史を考察する。

編集部　編　978-4-585-10304-2（2003年7月）　アジア遊学53

沖縄文化の創造　A5判・並製・192頁・1800円　**※品切**

沖縄人は日本人の一集団なのか、日本人とは違うエスニック集団なのか。多様化する沖縄の文化とアイデンティティと、本土によって造られる虚構としての「沖縄」像のズレを提示することで、変化の過程にあるトポスを捉え直す。

編集部　編　978-4-585-10303-5（2003年6月）　アジア遊学52

徐福　アジア二〇〇〇年の青い鳥　A5判・並製・184頁・1800円　**※品切**

始皇帝の命により、不老不死の霊薬を求めたという謎の方士、徐福。海を越えて広範な地域に伝説・伝承が残り、韓国を経由し、日本にも漂着したというこの伝奇的人物の正体とは？　多数の執筆者でその足跡を辿る。

編集部　編　978-4-585-10302-8（2003年5月）　アジア遊学51

観光の都市空間　A5判・並製・168頁・1800円

「アジアの具体的な観光地に即した観光論」「観光をめぐる理論的考察」「日本の観光地に対するアジアからの表象」という3つの視座から、観光という力学によって巨大化していくアジアの都市空間が浮かび上がる。

編集部　編　978-4-585-10301-1（2003年4月）　アジア遊学50

朝鮮社会と儒教　A5判・並製・184頁・1800円　**※品切**

古代から近代にいたる過程で儒教はいかに受容され、在来の文化や信仰といかなる葛藤があったのか。国家はいかにして体制教学としての儒教を支え、浸透させたのか。これらを検討することで「儒教社会」朝鮮を再考する。

編集部　編　978-4-585-10300-4（2003年3月）　アジア遊学49

イスタンブル　宗教と民族が交錯する国際都市　A5判・並製・176頁・1800円　**※品切**

ビザンツ帝国、オスマン帝国、そして現在のトルコ共和国において常に最大の都市であったイスタンブル。国という枠を超えて周辺の広域的な世界の中心でありつづけてきた「世界都市」の汲めども尽きない魅力。

編集部　編　978-4-585-10299-1（2003年2月）　アジア遊学48

台湾　模索の中の躍動　A5判・並製・208頁・1800円　**※品切**

私たちは台湾のことを知っているといえるのか？　台湾の政治・外交・法律・経済・文学・社会について、若手研究者が執筆。台湾に興味をもった人、これから台湾を研究する人のためのエッセンシャルなガイドブック。

編集部　編　978-4-585-10298-4（2003年1月）　アジア遊学47

風水の歴史と現代　A5判・並製・192頁・1800円　**※品切**

風水は迷信や伝統儀礼ではなく、じつはアジア各国において時代とともに発展していく文化創造の重要な手段であった。風水地理説のなかには、西欧化・近代化の過程でわれわれが失ってしまったアジア的叡智が含まれている。

編集部　編　978-4-585-10297-7（2002 年 12 月）　アジア遊学46

アジアの正月　A5判・並製・168頁・1800円　※品切

世界中いたるところでひとしく暦の一年の単位が太陽によって決められ、正月行事がその一年のはじめにすえられたのは、食物の獲得方法と太陽光線のリズムが深くむすびついていたからだった。アジア各国の正月を訪ねる。

編集部　編　978-4-585-10296-0（2002 年 11 月）　アジア遊学45

山西省　黄色い大地の世界　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

黄河文明発祥の地として悠久の歴史をもつ山西省。同時に、仏教聖地である五台山、雲岡石窟、世界遺産に登録された千年古城の平遙は、中国の名勝として名高い。知られざるその魅力を、日中の専門家が縦横に論じる。

編集部　編　978-4-585-10295-3（2002 年 10 月）　アジア遊学44

日中から見る「旧満洲」　A5判・並製・168頁・1800円

「日本の生命線」と称された満洲国は、多分に政治的な意図をもって建国された。しかしそこには大陸への憧憬があり、独自に花開いた文化があった。「楽土」幻想とノスタルジーの激しい振幅のなかに「満洲」を捉え直す。

編集部　編　978-4-585-10294-6（2002 年 9 月）　アジア遊学43

変容するジェンダー　中国の女性たち　A5判・並製・176頁・1800円

改革開放後の大きな社会変革のなかで、中国女性のジェンダーはどのように変化し、新たな男女の関係性の構築に向けて、彼女たちはいま、何を求めているのか。多様化する中国女性の姿をジェンダーの視点でよみとく。

編集部　編　978-4-585-10293-9（2002 年 8 月）　アジア遊学42

ラサ　天空の世界遺産都市　A5判・並製・176頁・1800円　※品切

ダライ・ラマの宮殿ポタラ宮がそびえるラサは「聖なるもの」が凝縮された都市である。世界遺産都市・ラサについて、文化・民族芸能・美術・映像記録・歴史の多彩な専門家が貴重な考察を寄せる。

編集部　編　978-4-585-10292-2（2002 年 7 月）　アジア遊学41

60 年代の青年運動　A5判・並製・160頁・1800円

1960 年代後半、中国では文化大革命が起こり、日本では全共闘運動が起こった。今日の世界情勢にどう対処するかを考えるためにも、このときの種々の現象を振り返り、それが何であり、何をもたらしたのかを考える必要がある。

編集部　編　978-4-585-10291-5（2002 年 6 月）　アジア遊学40

北京　変わりゆく古都　A5判・並製・176頁・1800円

中国の首都でありながら、遼・金・元・清という異民族王朝のもとで栄え、清末までは西洋・外国人にはあまり知られていなかった北京。変貌する古都の思い出を、北京に旅した、あるいは在住した著者たちが綴る。

編集部　編　978-4-585-10290-8（2002 年 5 月）　アジア遊学39

移民のエスニシティと活力　A5判・並製・192頁・1800円

アジア各地からアメリカ合衆国および日本へ移住した人びとが表出するエスニシティに着目。ダイナミックな諸局面をもつ「人の移動と交流」にともなう民族・文化的背景の混交と相克、後続世代の問題を総括する。

編集部　編　978-4-585-10289-2（2002 年 4 月）　アジア遊学38

死をめぐる習俗　A5判・並製・152頁・1800円

アジアにおける死に関する諸々の習俗、観念を民俗学的視点でとりあげながら、習俗と宗教との相互作用あるいは相互依存関係を想定し、同時にいわゆる正統的宗教の文献も活用することで、人類史における「死」の観念を捉える。

編集部　編　978-4-585-10288-5（2002 年 3 月）　アジア遊学37

マルコ・ポーロの仲間たち　A5判・並製・168頁・1800円

文物の交流、技術の伝播、文化の混交、その根源的な条件は人の移動である。近世アジアにおける旅と記録の先達マルコ・ポーロを念頭に、その仲間たちの旅の記録と習俗の伝達をさまざまな角度から考える。

編集部　編　978-4-585-10287-8（2002 年 2 月）　アジア遊学36

香港　現在進行形　A5判・並製・152頁・1800円

イギリスと中国が出あった香港という場所は、お互いに過去の記憶を消しあうのではなく、それらが融合して新しい記憶をつくり、独特のエネルギーをもった未来への可能性をも秘めた街なのだ。現在進行形の街を知り尽くす。

編集部　編　978-4-585-10286-1（2002 年 1 月）　アジア遊学35

天駆ける馬　A5判・並製・144頁・1800円

人間の歴史、文化にきわめて深い関係をもつ動物、馬。東アジアからシルクロードを経てヨーロッパに至るまで、農耕、移動、騎馬競技、馬術、造形美術などさまざまな観点から馬と人の交流をつむぐ、異色の一冊。

編集部　編　978-4-585-10285-4（2001 年 12 月）　アジア遊学34

ソウル　六百年の歴史と未来の共存　A5判・並製・152頁・1800円

ソウルは 600 年を超える歴史の都であると同時に、急激な変貌をとげる現代韓国の象徴でもあり、矛盾の堆積地でもある。観光ガイドや概説書では知ることのできないソウルのさまざまな表情を多面的にとりあげる。

編集部　編　978-4-585-10284-7（2001 年 12 月）　アジア遊学33

上海　未来と過去の交錯する都市　A5判・並製・160頁・1800円

中国を代表する「近代都市」であるとともに、アジアを代表する「国際都市」でもある上海。700 年の歴史をもち、近代において租界が設置されたことにより東西文明の接点として独自な社会を形成した「クレオール上海」の諸相。

編集部　編　978-4-585-10283-0（2001 年 10 月）　アジア遊学32

旅行記を読む　A5判・並製・144頁・1800円

古来、海外に赴いた人びとは数多くの旅行記を遺してきた。海外への渡航が再開された近代を中心に、従来あまり取り上げられることのなかった旅行記を具体的に読み解くことを通じて、アジアのなかの日本について再考する。

編集部　編　978-4-585-10282-3（2001 年 9 月）　アジア遊学31

風景としての中国　A5判・並製・160頁・1800円　※品切

地図や絵、詩や文学…さまざまな手段を通じて、風景は表現され、思想化されてきた。中国の広大な大地は、決して単調な風景ではない。その多様な風景を、ときに接写のように、ときに鳥瞰するように、多様な切り口で解明する。

編集部　編　978-4-585-10281-6（2001 年 8 月）　アジア遊学30

イスラムとの出会い　A5判・並製・176頁・1800円　※品切

イスラムとはアラビア語で、平和、従順、純粋、服従などの意味をもち、宗教的には「唯一神アッラーへの帰依」を表す。日本人にはなじみのうすいイスラム教とその文化を、歴史・建築・文学などの観点から紹介する。

編集部　編　978-4-585-10280-9（2001 年 7 月）　アジア遊学29

予言の力　A5判・並製・160頁・1800円　※品切

一定の文化圏で生みだされた予言は、その文化圏における社会や意識の深層に根ざしていて、その文化圏の未来志向の歴史的な表出である。東アジア文化圏における予言の軌跡を追い、その力と働きを解明する。

編集部　編　978-4-585-10279-3（2001 年 6 月）　アジア遊学28

ドラゴン・ナーガ・龍　A5判・並製・160頁・1800円　※品切

キリスト教・ヨーロッパ世界のドラゴン、南アジアから東南アジアにかけてのナーガ、そして東アジアの龍。神話・宗教から文学・祭事・環境学まで、世界の文明史に共通するドラゴン・龍のイメージを通覧する。

編集部　編　978-4-585-10278-6（2001 年 5 月）　アジア遊学27

遣唐使をめぐる人と文学　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

遣唐使とそれにかかわる古代における国際間の人・物・書物の交流は、日本の文化、文学にはかりしれない影響を与えた。中国・朝鮮半島その他の国々との関係から、その実態をダイナミックにとらえる。

編集部　編　978-4-585-10277-9（2001 年 4 月）　アジア遊学26

九世紀の東アジアと交流　A5判・並製・184頁・1800円

日本では古代国家の変革期とされる 9 世紀は、中国、朝鮮、渤海など東アジア諸国においてはどのような時期だったのか。一国史の枠組みを超え、人・モノ・情報・技術の交流の視点から、アジア認識の可能性を探る。

編集部　編　978-4-585-10276-2（2001 年 3 月）　アジア遊学25

東アジアが読む魯迅　A5判・並製・192頁・1800円

近代東アジアが共有する文学体験としての魯迅を、各国地域の研究者が論じる。魯迅受容の比較研究は東アジアの多様性と共同性とを明らかにし、東アジア共通の歴史的文化的認識の基礎となりうるであろう。

編集部　編　978-4-585-10275-5（2001 年 2 月）　アジア遊学24

華人宗教のネットワーク　A5判・並製・184頁・1800円

仏教、道教、キリスト教、民俗宗教…。華人の宗教ネットワークはどのような特徴を持ち、どのように形成されるのか。国境、イデオロギーを超えて拡大していく華人宗教の実態を生き生きと伝え、現代アジアの潮流を読み解く。

編集部　編　978-4-585-10274-8（2001 年 1 月）　アジア遊学23

チベット族の美術と芸能　A5判・並製・184頁・1800円

宗教、祭祀、仏教美術、民族音楽、歴史、美術工芸など多彩な領域から、チベット族の芸能文化が多面的にとらえられる。「聖なるもの」への信仰を中心として独自の展開をみせるチベット族芸能の世界を紹介する。

編集部　編　978-4-585-10273-1（2000 年 12 月）　アジア遊学22

道賢銘経筒の真贋　天神伝説の新展開　A5判・並製・184頁・1800円

2000 年 7 月、中国歴史博物館で行われた道賢銘経筒をめぐる学術会議を中心に論考をまとめた。日蔵（道賢）の調査研究に資する一冊。巻頭に道賢法師銘経筒、北野天満宮蔵『道賢上人冥途記』などのカラー口絵を収録。

編集部　編　978-4-585-10272-4（2000 年 10 月）　アジア遊学21

食の風景　宴の演出と造形　A5判・並製・184頁・1800円

中華料理の特質は、食材がきわめて豊富であること、シンプルな調理器具から多彩な調理法が駆使されること、医食同源の思想が広く行き渡っていることにある。宮廷料理から庶民の食まで、中華料理の文化史。

編集部　編　978-4-585-10271-7（2000 年 9 月）　アジア遊学20

黄土高原の自然環境と漢唐長安城　A5判・並製・184頁・1800円　※品切

長安城遺跡調査、関中水利施設調査、黄土高原西部調査、関中王陵調査の調査記録（97 ～ 99 年）を収録。自然景観や生態環境と歴史学の融合に先鞭を付けた特集。巻頭には現地調査で撮影された写真をカラー掲載。

編集部　編　978-4-585-10270-0（2000 年 8 月）　アジア遊学19

数のシンボリズム　A5判・並製・184頁・1800円　※品切

数のシンボリズムとは、複雑な対象を数に置き換え、世界を秩序化して認識しようとする企てである。天文学からひとの寿命、自然環境まで、森羅万象を手中におさめるために編み出された「数」のコスモロジー。

編集部　編　978-4-585-10269-4（2000 年 7 月）　アジア遊学18

宋銭の世界　東アジアの国際通貨　A5判・並製・176頁・1800円　※品切

宋銭は庶民のあいだで長く使用されたのみならず、東アジアを越えて流通し、一種の国際通貨的な役割をも果たした。研究者ならびにコレクターが協力して、宋代の貨幣システムを考察。単行本『宋銭の世界』の前身。

編集部　編　978-4-585-10268-7（2000 年 6 月）　アジア遊学17

北方諸民族文化のなかのアイヌ文化　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

考古学、文化人類学、歴史史料研究、言語学など様々な観点からの論考を収録、アイヌと北方文化の研究成果を一望する。多様な文化諸相をめぐって北方諸民族文化とアイヌ文化を比較検討しようとする試み。

編集部　編　978-4-585-10267-0（2000 年 5 月）　アジア遊学16

東アジアの道教と民間信仰　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

道教は中国思想を母胎として生まれた宗教であったが、中国人の拡散に伴う他地域への伝播と、宗教としての生成の過程で、東アジア諸民族の思想と融合しつつ、今日あるのではないか。各国の道教思想の現在を読み解く。

編集部　編　978-4-585-10265-6（2000 年 4 月）　アジア遊学15

アジアの美術　A5判・並製・160頁・1800円　※品切

政治的・経済的視点から戦略的に論じたもの、各々の美術館活動のなかで論じたもの、各国ごとの美術状況の報告など、端緒についたばかりの「アジアの現代美術」研究の現在をさまざまな観点から紹介する。

編集部　編　978-4-585-10264-9（2000 年 3 月）　アジア遊学14

天女　そして天空を舞うものたち　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

鳥のごとく天空を飛翔することは、人間にとって長い間の夢であった。羽衣をまとって飛ぶ仏教の天人、翼を有するキリスト教の天使…。「天空を舞うものたち」をめぐり、地域・時代を超えた議論が縦横に展開される。

編集部　編　978-4-585-10263-2（2000 年 2 月）　アジア遊学13

中国人作家の帝都東京体験　A5判・並製・168頁・1800円　※在庫僅少

20 世紀初頭の東京は、多くの中国文学者の揺籃でありモデルであると同時に、中国知識人が敵情視察にやってきた「帝都」であった。魯迅、周作人、郁達夫、巴金、梁啓超らの異郷体験を通じて、「帝都」のありようを分析する。

編集部　編　978-4-585-10262-5（2000 年 1 月）　アジア遊学12

アジア文化圏の中国文字　A5判・並製・144頁・1800円　※品切

東アジアの文化は、中華帝国を中心にして形成された。「漢字文化圏」はその象徴的な一例であるが、同じ漢字文化圏に属するとはいえ、たとえば朝鮮と日本では地政学条件が異なる。アジア各国における中国文学の影響を探る。

編集部　編　978-4-585-04030-9（1999 年 12 月）　アジア遊学11

「清明上河図」をよむ　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

北宋末・張択端が描いたとされる中国美術の至宝『清明上河図』。宋代庶民の生活を細密に描いた傑作を徹底的によみとく。本書を展開させた『「清明上河図」をよむ』『「清明上河図」と徽宗の時代』も好評既刊。

編集部　編　978-4-585-04029-3（1999 年 11 月）　アジア遊学10

地獄と極楽　A5判・並製・160頁・1800円　※品切

地獄や極楽に対する認識には、個人・民族・地域・時代・宗教の間でさまざなま相違が見られる。歴史・考古学・芸術などの視点から、芸術・芸能にみる地獄や極楽のイメージについて、東アジア地域のなかで考察する。

クリスチャン・ダニエルス　編　978-4-585-04028-6（1999 年 10 月）　アジア遊学9

少数民族の謎の歴史　A5判・並製・184頁・1800円　※品切

西南中国・シャン文化圏は中国長江以南、ミャンマーのシャン州、タイ王国北部、ラオス北部、ベトナム北部の空間を占める。この広大な地域に居住する少数民族の歴史と文化に光をあて、人類の歴史の一部として紹介する。

編集部　編　978-4-585-04027-9（1999 年 9 月）　アジア遊学8

交響するエロス　A5判・並製・128頁・1800円　※品切

性の現場においては、誰がどのような位置で語っているのか、その政治的な権力関係が絶えず問われていることを踏まえることが重要である。「性の民俗」を探る中から、セクシュアリティの生成の仕組みを考察する。

小島毅　編　978-4-585-04026-2（1999 年 8 月）　アジア遊学7

宋代知識人の諸相　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

宋代は、科挙官僚制度のもと、エリート層や知識人、読書人を創出した時代であった。中国研究の重要テーマである官僚制度に、各方面の専門家が挑む。本書を原型とする単行本『知識人の諸相』も好評既刊。

鈴木靖民　編　978-4-585-04025-5（1999 年 7 月）　アジア遊学6

渤海と古代東アジア　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

渤海は複数の国家にまたがる研究テーマとして存在し、各国の研究者の歴史像の対話が求められている。この研究は、東アジアや人類の将来を構想するうえでもふさわしい、きわめて現代的、先鋭的な課題である。

工藤元男　編　978-4-585-04024-8（1999 年 6 月）　アジア遊学5

四川民族走廊　A5判・並製・160頁・1800円　※品切

民族走廊地区の調査は、四川古代文化、中国西北地区と西南地区の文化交流、チベット族文化の東方への発展拡大などの諸問題を探求するために不可欠である。四川省チベット族自治区での調査の成果を紹介する。

田中隆昭　王勇　編　978-4-585-04023-1（1999 年 5 月）　アジア遊学4

日本の遣唐使　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

日本にとって遣唐使は、遣新羅使や遣渤海使などとは本質的に異なり、世界に向かう晴れ舞台であり、それにふさわしい使命感と歴史的意義を背負っていた。他国の遣唐使とは異なる特質を見出し、その功績を客観的に評価する。

王勇　田中隆昭　編　978-4-585-04022-4（1999 年 4 月）　アジア遊学3

東アジアの遣唐使　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

遣唐使は日唐の二国間だけにあったのではなく、当時の近隣 50 以上にのぼる朝貢国はきそって遣唐使を派遣していた。東アジア世界のなかで遣唐使の果たした役割を検証する。続編「日本の遣唐使」と併読をお勧めしたい。

編集部　編　978-4-585-04021-7（1999 年 3 月）　アジア遊学2

不老不死という欲望　A5判・並製・168頁・1800円　※品切

世界中、すべての宗教・神話・伝承で繰り返し語られ伝えられる「不老不死」の思想。神仙説、始皇帝と徐福、イスラムの死生観などなど、人間の欲望と諦念が織りなす「見果てぬ夢」の本質を解き明かす。

新免康　編　978-4-585-04020-0（1999 年 2 月）　アジア遊学1

越境する新疆・ウイグル　A5判・並製・192頁・1800円　※品切

中国最大の省区であり、カザフスタン、パキスタンなどと国境を接する新疆ウイグル自治区。地理的には中央アジア、言語・文化的にはイスラム文化諸民族が多く、政治的には中国の一部である特異な領域を特集する。

小島毅　編　978-4-585-10403-2（2006 年 1 月）　アジア遊学特別企画

義経から一豊へ　大河ドラマを海域にひらく　A5判・並製・144頁・1400円

2006 年 NHK 大河ドラマ「功名が辻」。主役の千代の夫は山内一豊である。彼の時代や生活空間を源義経の時代や生活空間と並べて比較することによって、この二人の間に横たわる四百年の日本の歴史をあらためて読み解く！

早稲田大学古代文学比較研究所　編　978-4-585-10404-9（2006 年 4 月）　アジア遊学別冊3

日本・中国交流の諸相　A5判・並製・189頁・2400円　※品切

国際学術会議「世界的視野における日中文化」の成果を書籍化。6 ～ 7 世紀から近現代まで、源氏物語から郭沫若まで、18 編の論文が扱う時代・分野 の多様性は、そのまま日中交流の軌跡の多様性を反映している。

田中隆昭　監修　978-4-585-10402-5（2003 年 10 月）　アジア遊学別冊2

渤海使と日本古代文学　A5判・並製・151頁・2000円　※品切

200 年という短い期間であったが、渤海使の来日は平安貴族にとって得難い経験であった。特に唐の詩人と出会う機会のなかった文人たちにとり、唐文化にふれる重要な窓口であった。その記憶が日本古典に及ぼした影響を探る。

静岡大学「アジア学の構築」プロジェクト　編　978-4-585-10401-8（2003 年 6 月）　アジア遊学別冊1

アジアの進路と地球の運命　A5判・並製・144頁・1400円

多方面の学問を統合し、新たな研究領域「アジア学」を構築する。静岡大学のプロジェクトチームが行ったシンポジウムと討論に特別寄稿を併せ、研究の成果をまとめた。

（日本）大林太良　君島久子　諏訪春雄　田中謙二　福永光司　編
（中国）王利器　周一良　季羨林　梅益　劉輝　編

日中文化研究

- 1『創刊号』978-4-585-04001-9（1991 年 4 月）　B5判・並製・272頁・2913円　※品切
- 2『江南の文化と日本』978-4-585-04002-6（1991 年 10 月）　B5判・並製・248頁・2913円　※品切
- 3『神話と祭祀』978-4-585-04003-3（1992 年 7 月）　B5判・並製・188頁・2913円　※品切
- 4『海と山の文化』978-4-585-04004-0（1993 年 4 月）　B5判・並製・204頁・2913円　※品切
- 5『アジアの中の沖縄文化』978-4-585-04005-7（1993 年 8 月）　B5判・並製・212頁・2913円　※品切
- 6『古代伝承と考古学』978-4-585-04006-4（1994 年 3 月）　B5判・並製・240頁・3495円　※品切
- 7『長江文明』978-4-585-04007-1（1995 年 7 月）　B5判・並製・200頁・3495円　※品切
- 8『東アジアの祭りと芸能』978-4-585-04008-8（1995 年 12 月）　B5判・並製・168頁・2913円　※品切
- 9『環東シナ海の比較文化』978-4-585-04009-5（1996 年 5 月）　B5判・並製・168頁・2913円　※品切
- 10『長江文明　II』978-4-585-04010-1（1996 年 8 月）　B5判・並製・176頁・2913円　※品切
- 11『良渚文化』978-4-585-04016-3（1996 年 11 月）　B5判・並製・192頁・2913円　※品切
- 12『民俗学再生の道』978-4-585-04017-0（1998 年 3 月）　B5判・並製・160頁・3000円　※品切
- 13『年中行事と祭祀』978-4-585-04018-7（1998 年 8 月）　B5判・並製・128頁・2800円　※品切
- 14『環境から考える東アジア農業』978-4-585-04019-4（1999 年 1 月）　B5判・並製・144頁・2800円　※品切

- 別冊 1『中国東海の文化と日本』978-4-585-04051-4（1993 年 10 月）　菊判・並製・160頁・1748円　※品切
- 別冊 2『中国長江文明と日本・ベトナム』978-4-585-04052-1（1995 年 10 月）　菊判・並製・128頁・1500円　※品切
- 別冊 3『黄土高原とオルドス』978-4-585-04053-8（1997 年 10 月）　菊判・並製・208頁・2000円　※品切

木下直子　著　978-4-585-23055-7（2017 年 3 月）

「慰安婦」問題の言説空間　日本人「慰安婦」の不可視化と現前　A5判・上製・304頁・4200円

従軍慰安婦問題が日韓の政治的な問題として表面化した一方で、日本人「慰安婦」は「加害国の被害者」という立場ゆえこれまで可視化されていなかった。「慰安婦」問題がいかに構築されていったのか、その過程を明らかにする。

松岡悦子　編　978-4-585-23044-1（2017 年 2 月）

子どもを産む・家族をつくる人類学　オールターナティブへの誘い　A5判・上製・328頁・3200円

グローバル化した現代社会において、子どもを産むこと、家族をつくることは、世界的な視野で考えねばならないテーマになっている。多彩なリプロダクションの現象を盛り込み、国家、文化、医療の関係を探る。

加瀬英明　著　978-4-585-23162-2（2016 年 12 月）　加瀬英明著作選集2

日本人の精神性を論じる　A5判・上製・504頁・3200円

和を尊び、自然と一体化する日本人の考え方の淵源を探る。江戸時代に養われた「徳の精神」から現代の「個性」まで、日本人のルーツをたどる『個性の時代』『徳の国富論』『ジョン・レノンはなぜ神道に惹かれたのか』の 3 作品。

杉浦重剛　著／所功　解説　978-4-585-22159-3（2016 年 11 月）

昭和天皇の学ばれた「倫理」　倫理御進講草案抄　A5判・並製・288頁・2400円

少年皇太子が学んだ帝王学のなかでも最も重要な科目であった「倫理」。昭和天皇の人格・道徳観・世界観に多大な影響を及ぼした最良の教科書を復刻。良子女王殿下への特別御進講草案を追加収録。

藤井厳喜　著　978-4-585-23050-2（2016 年 11 月）

トランプ革命で復活するアメリカ　日本はどう対応すべきか　四六判・並製・352頁・1800円

MSM（メインストリーム・メディア）の情報操作に抵抗・勝利し、世界の再編成へと舵を切った暴君トランプ。その核心は何か。トランプ勝利を予想したアメリカ・ウォッチャーが、2016 年のアメリカ大統領選挙を振り返る。

古畑康雄　著　978-4-585-23045-8（2016 年 10 月）

習近平時代のネット社会　「壁」と「微」の中国　四六判・並製・288頁・2400円

言論空間の主導権を奪われることに脅威を抱いた習近平政権は強い言論統制という「壁」を築く一方、利便性の高いネット環境を提供し、網民を囲い込もうとしている。「壁」と「微」の空間で何が起きているかを考察する。

小浜正子　秋山洋子　編　978-4-585-23048-9（2016 年 10 月）

現代中国のジェンダー・ポリティクス　格差・性売買・「慰安婦」　A5判・並製・256頁・2400円

現代中国のジェンダー構造は、伝統中国や社会主義中国から如何に変化したのか。特に 1995 年の北京国連女性会議以降の 20 年間に焦点を当て、中国のジェンダー研究の第一線で活躍する研究者による最新成果を紹介する。

植木武　著　978-4-585-28026-2（2016 年 7 月）

コスモポリタン国家への道　バイリンガルのすすめ　四六判・上製・336頁・3500円

コスモポリタンとは、国籍・民族・宗教・人種などにとらわれず世界的視野と行動力とをもつ人。「語学の障壁」をこえて国際社会で活躍できる日本人バイリンガルを育てれば、日本はコスモポリタン国家へと進化する。

東京文化資源会議　編　978-4-585-20042-0（2016 年 4 月）

TOKYO1／4 が提案する東京文化資源区の歩き方　江戸文化からポップカルチャーまで　A5判・並製・296頁・2700円

上野に美術、本郷に大学、湯島に神社・聖堂、神保町に書店、秋葉原にポップカルチャー、谷根千にリノベ。それぞれの街を結びつけて、江戸からポップカルチャーまで、日本が誇る文化の発信地を作り出す。

東京文化資源会議　編　978-4-585-20043-7（2016 年 4 月）

TOKYO1 ／ 4 と考える オリンピック文化プログラム　2016 から未来へ　A5判・並製・264頁・2500円

オリンピックはスポーツの祭典であり、文化の祭典である。これから 4 年間の「文化プログラム」（文化活動や発信）に向けて、すでに各地域のフロントランナーたちが走り出している。全国の先行事例が一目でわかる！

玄武岩　著　978-4-585-23038-0（2016 年 4 月）

「反日」と「嫌韓」の同時代史　ナショナリズムの境界を越えて　四六判・上製・432頁・4200円

国交正常化 50 周年を迎えた日韓関係は、「反日」「嫌韓」という現象をともなって展開している。「65 年体制」の構造のねじれとゆがみを凝視し、歴史認識の溝によるもろい日韓関係を根底から組み立て直す方法を探る。

藤井厳喜　著　978-4-585-23042-7（2016 年 4 月）

若い有権者のための政治入門　18 歳から考える日本の未来　四六判・並製・160頁・900円

18 歳から選挙権が与えられます。私たちの未来を豊かにしていくためには、的確な知識と判断力が必要です。日本国民として、国際社会の一員と して、これだけは身につけておきたい政治的教養を一冊に凝縮。

小谷一明　黒田俊郎　水上則子　編　978-4-585-23043-4（2016 年 4 月）

国際地域学入門　A5判・並製・336頁・2800円

グローバルな視点から、「国家」や「地域」といった固有の価値を捉えなおす新しい学問領域へいざなう。ひと・もの・情報や、環境・気候変動などが、国境を越えて交差するダイナミックな時代を生き抜くための思考のレッスン。

加瀬英明　著　978-4-585-23161-5（2015 年 12 月）　加瀬英明著作選集1

アメリカ・中国・中東は、どうなってゆくのか　A5判・上製・500頁・3200円

外交の第一線に立った豊かな国際経験と幅広い知識により、混迷をきわめる世界の現在を読み解く。『加瀬英明のイスラム・ノート』『中国人韓国人にはなぜ「心」がないのか』『アメリカはいつまで超大国でいられるか』を収録。

室井昌也　著　978-4-585-23037-3（2015 年 10 月）

ラジオのお仕事　四六判・並製・240頁・1800円

ニュース・音楽番組からスポーツ中継まで、パーソナリティー・お天気・交通キャスターから広報・営業・養成学校まで、ラジオに関わる職業・職場を紹介。聴いているだけでは見えてこないラジオの仕事に迫る。

澤井充生　奈良雅史　編　978-4-585-23035-9（2015 年 7 月）

「周縁」を生きる少数民族　現代中国の国民統合をめぐるポリティクス　A5判・上製・320頁・6000円

「周縁」にくらす「少数民族」は中国共産党の国民統合に対してどのような眼差しを投げかけているのか。現在進行形の社会主義建設をどのように受けとめ、共存共栄を図っているのか。少数民族と中国共産党の関係を読み解く。

白鳥庫吉　著／所功　解説　978-4-585-22114-2（2015 年 4 月）

昭和天皇の教科書　国史　原本五巻縮写合冊　四六判・並製・800頁・2400円

皇太子時代の昭和天皇が学んだ「帝王学の教科書」。皇位継承の次第を簡潔に記述し、多くの天皇が天下万民の平安を祈念してこられた「聖徳」を丹念に例示。おのずから教訓を学びとることもできるように工夫されている。

玄武岩　編　978-4-585-23034-2（2015 年 3 月）

越境するメディアと東アジア　リージョナル放送の構築に向けて　A5判・上製・440頁・4500円

アニメやドラマなど越境するコンテンツの生産・消費・表象・規制が織り成すダイナミックなメディア空間の諸相から、東アジアの平和と相互理解を醸成するためのリージョナル・メディア（地域統合型メディア）を構想する。

木下厚　著　978-4-585-22103-6（2015 年 1 月）

政治家失言・放言大全　問題発言の戦後史　四六判・並製・784頁・3500円

終戦直後から原発・歴史認識問題まで、政治を揺るがし、国民の議論を呼んだ約 500 の失言・放言を徹底して集成。発言の背景・その後の経緯まで詳細に解説する。議論と顰蹙を巻き起こした〈問題発言〉から読む日本現代史。

加藤隆則　著　978-4-585-23032-8（2015 年 1 月）

習近平の政治思想　「紅」と「黄」の正統　四六判・上製・296頁・2400円

習仲勲と毛沢東という〈ふたりの父親〉から、革命の赤い血と広大な黄色い大地を受け継いだ習近平の、紅二代（抗日から建国までの苦難を体験した世代の子どもたち）というアイデンティティーは、中国をどこに導くのか？

NPO 法人子ども大学かわごえ（代表　遠藤克弥）　編　978-4-585-23027-4（2014 年 9 月）

子どものための大学　日本初の子ども大学　四六判・並製・224頁・2000円

「子ども大学」とは、現役の大学教授や各界の知識人が教壇に立ち、小学校 4 ～ 6 年生に向けて開講される「大学」である。子どもの教育が問われるいま、学校でも家庭でもない、新しい教育現場としての「子ども大学」を紹介する。

石舒清　著／王征　写真／徳間佳信　訳　978-4-585-23030-4（2014 年 9 月）

西海固の人々　中国最貧地区に住む回族の暮らし　四六判・上製・384頁・3200円

中国政府に「国家級貧国地区」と認定された不毛の地に生きる、中国最大のムスリム民族集団・「回族」。中国の抱える貧困問題や民族間の軋轢にさらされながら、感情豊かに、たくましく生きる人々の姿を、70 枚の写真とエッセイで紡ぐ。

稲葉清毅　著　978-4-585-23029-8（2014 年 8 月）

クランがゆがめる行政　日本病の根源　四六判・並製・256頁・1800円

霞ヶ関、特殊法人、大学、地方自治体――。タテ社会を「ナナメ」に歩いた著者が見た、日本という「クラン社会」の醜い構造。

安井眞奈美　編　978-4-585-23026-7（2014 年 5 月）

出産の民俗学・文化人類学　A5判・上製・368頁・3500円

医療の近代化を経て、複雑な様相を示すようになってきた現代の出産。子どもを産み育てるという行為は、この先、どのような方向へと進んでいくのだろうか。フィールドワークの成果に基づき、現代日本の出産を相対化する。

小浜正子　松岡悦子　編　978-4-585-23025-0（2014 年 5 月）

アジアの出産と家族計画　「産む・産まない・産めない」身体をめぐる政治　A5判・上製・288頁・3200円

人が子供を産み育て世代をつなぐ営みは、古来繰り返されてきが、そのあり方は、地域や時代により異なる。アジア各国・各地域の 20 世紀後半から現在までのリプロダクション―生殖の変化を跡づけ、その意味を多元的に考察する。

山本浄邦　編　978-4-585-22086-2（2014 年 4 月）

韓流・日流　東アジア文化交流の時代　A5判・上製・352頁・5500円

摩擦と葛藤が絶えない今、日韓両国の研究者が互いの文化交流の過去・現在を見つめ直し、新たな未来を志向する。前近代から、現代の「韓流ブーム」「K-pop」まで、越境する文化の「ハイブリッド化」を追う。

艾未未　著／牧陽一　編著　978-4-585-27018-8（2014 年 2 月）

アイ・ウェイウェイ スタイル　現代中国の不良　四六判・並製・256頁・1800円

現代中国のポップ・アイコンであり、つねに真摯かつ奇抜なアイデアで世界をあっと言わせるこの男は、中国当局の要注意人物であり、若者たちのヒーローである。最も困難な国で、最も勇敢なアーティストの実態に迫る。

蘭信三　編著　978-4-585-22061-9（2013 年 12 月）

帝国以後の人の移動　ポストコロニアリズムとグローバリズムの交錯点　A5判・上製・1000頁・12000円

中国、朝鮮、満洲、樺太、台湾、沖縄、南洋、東南アジア…。個々のライフヒストリー・引揚体験を東アジアの歴史の文脈に位置づけ、帝国の形成～崩壊期だけでなく、冷戦を経てグローバル化が進む現在までをも通して考察する。

福間良明　野上元　蘭信三　石原俊　編　978-4-585-23020-5（2013 年 7 月）

戦争社会学の構想　制度・体験・メディア　A5判・上製・450頁・6000円

総力戦から〈新しい戦争〉まで、歴史学、軍事学、政治学、メディア研究などさまざまな分野の知見をとりこみ、新たな研究のフィールドを拓く。「戦争と社会との関わり」および「戦争を駆動する力学」を問う戦争社会学の挑戦。

黒田悦子　著　978-4-585-23019-9（2013 年 8 月）

メキシコのゆくえ　国家を超える先住民たち　四六判・上製・256頁・3200円

先住民、移民、メキシコ系アメリカ人など周縁的人びとが創り出すトランスナショナルな文化空間。宗教対立、民族自治運動、移動を視座の中心に据え、ローカル、ナショナル、グローバルな状況がせめぎあうメキシコの姿を描く。

楊海英　著　978-4-585-22057-2（2013 年 6 月）

植民地としてのモンゴル　中国の官制ナショナリズムと革命思想　四六判・上製・256頁・2600円

内モンゴル自治区は、中国に支配されている。外敵を作り出し、庶民レベルで民族主義を発揚させること。それが中国型支配の本質である。日本在住のモンゴル人である著者が、中国独特のナショナリズムの構造を鋭く分析する。

緒形康　編　978-4-585-22052-7（2013 年 4 月）

アジア・ディアスポラと植民地近代　歴史・文学・思想を架橋する　A5判・上製・336頁・4200円

アジアの諸地域において、移住や亡命を強いられた人々。自らのアイデンティティーの危機に直面しながら、その再構築を模索する地理的・思想的・歴史的な故国喪失者たちの姿を、1930 年代の「転向」現象を中心にして描く。

嘉指信雄　森瀧春子　豊田直巳　編　978-4-585-23018-2（2013 年 3 月）

終わらないイラク戦争　フクシマから問い直す　四六判・上製・232頁・1800円

「核の平和利用」という嘘が招いたフクシマの放射能禍。そしてイラクでは、劣化ウラン弾の影響と思われる病気・先天的障害に苦しむ子どもたちが急増している。双方に通底する「正当化の物語」を問う。

久能靖　著　978-4-585-23022-9（2013 年 7 月）

カラー図説　天皇の祈りと宮中祭祀　菊判・並製・160頁・2000円

皇室ジャーナリストが明かす宮中祭祀の全て。報道によって国民の目に見える祈りとは別に、国民の目に触れることがほとんどないもう一つの天皇の祈りがある。それは天皇が公務とともに大切にされてきた宮中祭祀である。

原尻英樹　著　978-4-585-27014-0（2012 年 10 月）

しなやかな子どもの心身を求めて　義務教育化された武道教育　四六判・並製・256頁・2000円

武道義務教育化の実施により、経験のない教師が指導を行わざるをえない危険な現状について、取材を通して警鐘を鳴らす。具体的な指導方法とカリキュラム案を提示し、子どもの「身体と心」を育むための的確な手段を講じる。

大畠章宏　編　978-4-585-23017-5（2012 年 10 月）

東日本大震災　緊急対応 88 の知恵　国交省初動の記録　A4判・並製・264頁・2800円

備えることと、伝えること。未曾有の大震災直後から、国交大臣と現場はなにをいかにおこなったか。官邸と大臣と対策本部、大臣と局長、首長、民間などの必死の対応を記録し、現場で浮上した「88 の災害対策ノウハウ」を公開。

古畑康雄　著　978-4-585-23016-8（2012 年 10 月）

「網民」の反乱　ネットは中国を変えるか？　四六判・並製・256頁・1500円

急成長を続ける中国のネット社会。そこで生まれているさまざまな新語には中国民衆の本心が表されている。中国に出現したネット流行語の意味と背景を探ることで、今後の中国社会がどう変わるのかを考察する。

王泰平　著／福岡愛子　監訳　978-4-585-22044-2（2012 年 10 月）

「日中国交回復」日記　外交部の「特派員」が見た日本　四六判・上製・680頁・5000円

まだ日中に国交のなかった 1969 年、記者として来日したひとりの中国人がいた。国交回復交渉の糸口をさぐるため、中国外交部の特殊使命を受けた外交官／記者、王泰平。彼が残した 70 ～ 73 年の東京滞在日記を本邦初公開。

所功　著　978-4-585-23015-1（2012 年 6 月）

皇室典範と女性宮家　なぜ皇族女子の宮家が必要か　四六判・並製・256頁・1500円

皇室が永続するには、皇位の男系男子による継承を維持しながら、皇族女子も結婚により宮家を創立できるような「皇室典範」の改正を急ぐ必要がある。

稲葉清毅　著　978-4-585-23014-4（2012 年 6 月）

ふしぎな社会　おかしな行政　四六判・並製・272頁・1800円

世間に広く信じられ、断定的に報じられている常識や社会通念にひそむ、誤りや偏りを正す。長年、霞が関で行政改革や行政管理に携わった著者だから書ける日本の盲点！

王敏　著　978-4-585-23010-6（2011 年 10 月）

鏡の国としての日本　互いの〈参照枠〉となる日中関係

四六判・上製・320頁・2600円

愛国心、留学生、漢字、色彩感覚などさまざまな文化事象の比較分析から立ち上がる、鏡像関係にある日中両文化の共通点と相違点。東日本大震災で証明された、日本の不易な文化風土を読み解く。

大下英治　著　978-4-585-23009-0（2011 年 7 月）

権力奪取と PR 戦争　政治家という役者たち

四六判・並製・336頁・1600円

小沢が殴られ、谷垣が人さし指を立て、石原が頭を下げる。さまざまな思惑が入り乱れ、「世論」を奪い合って死闘を繰り広げる。徹底した取材でその裏側を描き、精緻を極める広告戦略のノウハウを解明する。

松岡悦子　小浜正子　編　978-4-585-23005-2（2011 年 3 月）

世界の出産　儀礼から先端医療まで

A5判・並製・336頁・3200円

日本、中国、インドネシアなどアジアや欧米など諸国の出産事情を、文化人類学や民俗学、社会学、歴史学、看護学などの幅広い視点から報告。医療現場従事者の最新の知見をふまえ、出産を根源から見つめなおす。

諏訪春雄　編　978-4-585-23008-3（2011 年 3 月）

アジアのなかの日本官僚　歴史と現在

A5判・上製・304頁・4500円

日本をどう直すのか、官僚モデルをどう修正するのか。東アジア、日本歴史という二つの視点から日本の官僚を論じ、現在の官僚の、的確な病理診断と処方箋を提示する。

川越淑江　著　978-4-585-23504-0（2011 年 9 月）　家庭教育叢書

よりよい親子関係を築くために

成長の発達段階に応じた対応

四六判・並製・216頁・2000円

親が変われば、子どもが変わる。子どもを変えようと思ったならば、先ず親が変わらなければならない。子どもが変わらないということは、親が変わらない証拠である。

福田博子　著　978-4-585-23501-9（2010 年 10 月）　家庭教育叢書

なるほど幼児教育　育児のために知っておきたいこと

四六判・並製・176頁・1800円

幼児は単に大人を縮小したものではなく、大人とは本質的に異なったものである。子どもは将来大人になるのであり、大人もかつては子どもであったのである。子どもは人格を持った存在であり、尊重されなくてはならない。

斎藤嘉孝　著　978-4-585-23502-6（2010 年 10 月）　家庭教育叢書

子どもを伸ばす世代間交流

子どもをあらゆる世代とすごさせよう

四六判・並製・184頁・1800円

子どもたちは、いろいろな人との関係のなかで、人づきあいのしかたを身につけていく。さまざまな世代と交流することは、親の負担を減らすことにもつながるだけでなく、子どもの成長と自立にきわめて有益である。

小長谷有紀　川口幸大　長沼さやか　編　978-4-585-23004-5（2010 年 12 月）

中国における社会主義的近代化

宗教・消費・エスニシティ

A5判・上製・326頁・4000円

隣国理解のための最大の鍵である「社会主義」という多面体を、宗教・信仰、消費システム、少数民族問題というアプローチから、民衆の暮らしのなかに読み解く。

廉思　編／関根謙　監訳　978-4-585-23003-8（2010 年 9 月）

蟻族　高学歴ワーキングプアたちの群れ

四六判・上製・288頁・2400円

高学歴、弱小、群居…。中国で社会現象となっている高学歴ワーキングプア集団＝蟻族。高度成長の裏側で深刻化する、就職できない若者たちの実態に迫る。中国でベストセラーとなった注目の書、待望の翻訳！

鈴木涼太郎　著　978-4-585-23001-4（2010 年 4 月）

観光という〈商品〉の生産

日本〜ベトナム　旅行会社のエスノグラフィ

A5判・上製・320頁・4800円

年間約 500 万人が利用するパッケージツアー。非日常空間への「夢」がつまった「商品」は、いかにして創られているのか。パッケージツアー企画の過程を、日本とベトナムの旅行会社におけるフィールドワークから描き出す。

何清漣　著／小島麗逸　解説／辻康吾　翻訳　978-4-585-23000-7（2010 年 4 月）

中国高度成長の構造分析　中国モデルの効用と限界

四六判・上製・256頁・2400円

豊富な資料・情報の分析から、現代中国の情況に実証的に迫る。世界が目を見張る「中国式発展モデル」のもとでなぜ「社会的安定」というようなことが問題となるのか。中国政府の施策の矛盾を分析し、将来像を考える。

秋道智彌　小松和彦　中村康夫　編　978-4-585-03255-7（2010 年 2 月）　人と水 1

水と環境

四六判・上製・368頁・3000円

いま、最も大切な自然環境について考える。水は単なる H_2O ではなく、歴史的、文化的、地域的な文脈に深く埋め込まれた存在である。各分野の叡知が結集した画期的論集。

秋道智彌　小松和彦　中村康夫　編　978-4-585-03256-4（2010 年 2 月）　人と水 2

水と生活

四六判・上製・360頁・3000円

水がもつ様々な意味を多角的に追求する。水の持つ様々な意味を日本の叡知を結集して追求する。日本人が歴史の中で育んできた水の文化と技術は、貴重な世界共有の財産となり、世界の水問題解決に貢献していく。

秋道智彌　小松和彦　中村康夫　編　978-4-585-03257-1（2010 年 2 月）　人と水 3

水と文化

四六判・上製・368頁・3000円

多彩な領域を統合する「統合的な知」の構築。「水」と人の関わりをテーマに、自然のみならず、文化、社会、思想、文学、美術にまで視野を広げ、学際的な達成を世に問う。

原尻英樹　著　978-4-585-05401-6（2008 年 10 月）

心身一如の身体づくり

武道、そして和する“合気”、その原理・歴史・教育

四六判・上製・224頁・2200円

負けない身体、しなやかな心身を会得する。武道の極意“合気”。達人・望月稔をとおしてその歴史を知り、具体的な実践理論を学ぶ。さらに、完全義務教育化される武道教育のあるべきかたちについても考察する。

鄭躍軍　著　978-4-585-00294-9（2008 年 6 月）

統計的社会調査　心を測る理論と方法

A5判・並製・300頁・3000円

データを適切な方法で収集・解析し、今まで気づかなかった新しい事実を浮かびあがらせる――「データサイエンス」の視点から、社会調査法の基本理論と実践的な方法を示す。

吉野諒三　編　978-4-585-03167-3（2007 年 12 月）

東アジア国民性比較　データの科学

A4判・上製・392頁・12800円

価値観、健康感、宗教心、信頼感、自然観・環境観、日本語観…。最新の「東アジア価値観国際比較」調査を中心に、科学的に収集された統計的調査データによって、東アジア地域の各国民の意識構造を比較する。

杉浦重剛　著／所功　解説　978-4-585-05360-6（2006 年 3 月）

昭和天皇の学ばれた教育勅語

新書判・並製・216頁・1000円

いつまでも心の糧としたい日本人に「たいせつなこと」近代日本の目覚しい発展は、明治天皇の御聖徳によるところが、きわめて大きい。「教育勅語」を満 13 歳の少年皇太子のために杉浦重剛翁がわかりやすく説いた御進講の記録全文。

林知己夫著作集編集委員会　編

林知己夫著作集　全 15 巻

柔軟な発想と透徹した科学的思考、データ処理の総合システム「データの科学（Data Science)」の提唱、あいまい事象の分析へのあくなき挑戦――　多岐ジャンルにわたる 1500 編超の全著作から 550 編余を厳選収録！　第一線の科学者、人文科学者、文化人、教育者、政治・行政関係者ほか、一般読書人の必読書。各種調査機関、社会調査士、専門社会調査士必携書！

・1『科学を考える　科学基礎論』978-4-585-05141-1（2004 年 12 月）　A5判・上製・328頁・6000円　※品切
・2『部分から全体を　サンプリング・調査法』978-4-585-05142-8（2004 年 12 月）A5判・上製・312頁・6000円　※品切
・3『質を測る　数量化理論』978-4-585-05143-5（2004 年 12 月）　A5判・上製・316頁・6000円　※在庫僅少
・4『現象をさぐる　データの科学』978-4-585-05144-2（2004 年 12 月）　A5判・上製・288頁・6000円　※品切
・5『心を測る　日本人の国民性』978-4-585-05145-9（2004 年 12 月）　A5判・上製・288頁・6000円　※品切
・6『心を比べる　意識の国際比較』978-4-585-05146-6（2004 年 12 月）　A5判・上製・412頁・6000円　※在庫僅少
・7『政治を測る　政治意識・選挙予測』978-4-585-05147-3（2004 年 12 月）A5判・上製・296頁・6000円　※在庫僅少
・8『世論を測る』978-4-585-05148-0（2004 年 12 月）　A5判・上製・264頁・6000円　※品切
・9『社会を測る』978-4-585-05149-7（2004 年 12 月）　A5判・上製・288頁・6000円　※品切
・10『市場を測る』978-4-585-05150-3（2004 年 12 月）　A5判・上製・308頁・6000円　※在庫僅少
・11『野うさぎを数える　森林・動物・自然』978-4-585-05151-0（2004 年 12 月）　A5判・上製・380頁・6000円　※品切
・12『健康を測る』978-4-585-05152-7（2004 年 12 月）　A5判・上製・312頁・6000円　※品切
・13『教育を考える』978-4-585-05153-4（2004 年 12 月）　A5判・上製・292頁・6000円　※品切
・14『人との出会い』978-4-585-05154-1（2004 年 12 月）　A5判・上製・364頁・6000円　※在庫僅少
・15『未来を祭れ』978-4-585-05155-8（2004 年 12 月）　A5判・上製・392頁・6000円　※在庫僅少

大高洋司　大久保純一　小島道裕　編　978-4-585-27038-6（2017 年 2 月）

鍬形蕙斎画　近世職人尽絵詞　江戸の職人と風俗を読み解く

菊倍判・上製・224頁・15000円

北斎と並び称される浮世絵師が描き、詞書は大田南畝・山東京伝が担当、江戸の多種多様な職人たち総勢 103 種を活写した肉筆絵巻の傑作。松平定信旧蔵にかかる名品全篇をフルカラーで掲載し、詳細な絵解・注釈・論考を収載。

小林宏光　著　978-4-585-27039-3（2017 年 2 月）

中国版画史論

B5判・上製・808頁・25000円

唐代より清代末期にいたる間に制作された様々な分野の書籍の挿絵版画と一枚刷り版画の代表作例に焦点をあて、版画の様式的変遷、出版事情をはじめ、画家、刻工、版元の活躍等を考究する。図版約 900 点収録。

藤井浩基　著　978-4-585-27040-9（2017 年 2 月）

日韓音楽教育関係史研究　日本人の韓国・朝鮮表象と音楽

A5判・上製・336頁・7500円

日本人は音楽を通していかなる韓国・朝鮮表象を形成してきたのか。〈表象〉は音楽教育・文化政策にどのような影響を与えたのか。人物、メディア、学校など多角的視点から日韓関係を探る。徳丸吉彦による巻頭言を付す。

奥江晴紀　著　978-4-585-27034-8（2017 年 1 月）

本格の書　小倉百人一首　麗しの仮名作例集

A4判変形・並製・240頁・2800円

約 300 点の作例をフルカラーで掲載。豪華で美しい料紙に書かれた作品を楽しむと同時に、書の手本としても最適な一冊。全作品に変体仮名・ワンポイントアドバイスを付す。短冊、扇面など様々な料紙へ書く楽しみも紹介。

小長谷有紀　鈴木紀　旦匡子　編　978-4-585-27030-0（2016 年 11 月）

ワールドシネマ・スタディーズ　世界の「いま」を映画から考えよう

四六判・並製・304頁・2200円

世界各地で制作された映画から、国境問題、移民、家族間のコミュニケーション、ジェンダー・ギャップなど、現代社会の抱える問題を考察。文化や立場の違いを越えて、さまざまな人間同士が共生できる社会のあり方を考える。

三浦永年　編　978-4-585-20051-2（2016 年 8 月）

世界の巨匠　ティニ・ミウラの手造り豪華本　1990-2015 [特装限定本]

B4判変形・上製・226頁・150000円

洋書装幀アーティストの第一人者であるティニ・ミウラ女史が製作した、最新の作品群約 140 点をフルカラーで網羅。限定 50 部、ミウラによる特別な装幀を施した限定特装版。表紙は総革装、24 金の箔押しによるデザイン。

三浦永年　編　978-4-585-20050-5（2016 年 6 月）

世界の巨匠　ティニ・ミウラの手造り豪華本　1990-2015

B4判変形・上製・226頁・18000円

洋書装幀アーティストの第一人者であるティニ・ミウラ女史が製作した、最新の作品群約 140 点をフルカラーで網羅掲載。また、創作に裏舞台に迫る独自のツールを初めて公開。イマジネーションと技術の粋を堪能する。

髙山寺　監修／京都国立博物館　編　978-4-585-27025-6（2016 年 9 月）

鳥獣戯画　修理から見えてきた世界　国宝　鳥獣人物戯画修理報告書

B5判・上製・256頁・10000円

日本屈指の国宝『鳥獣人物戯画』。近時完了した足掛け四年にわたる大修理では、同絵巻に関する新知見がさまざまに見出されることとなった。『鳥獣人物戯画』の謎を修理の足跡をたどることで明らかにする。

東京大空襲・戦災資料センター　監修／山辺昌彦　井上祐子　編　978-4-585-27028-7（2016 年 7 月）

東京復興写真集 1945〜46　文化社がみた焼跡からの再起

A4判・上製・424頁・10000円

敗戦直後から活動を開始した幻の出版社「文化社」。戦時中の『FRONT』でつちかった高度な写真技術を駆使して撮影された大量の写真から、復興する東京を活写した 800 枚超を集成。充実した解説・地図を収録する。

田島奈都子　編著　978-4-585-27031-7（2016 年 7 月）

プロパガンダ・ポスターにみる日本の戦争　135 枚が映し出す真実

B5判・並製・160頁・2800円

戦時期に政府とその外郭団体が製作したポスターは戦時体制の強化継続に絶大な効力を発揮した。長野県阿智村に現存する、日中戦争開戦から終戦までの間に製作された 135 枚のポスターをフルカラーで初公開し、詳細に解説。

野嶋剛　著　978-4-585-22146-3（2016 年 5 月）

故宮物語　政治の縮図、文化の象徴を語る 90 話　A5判・並製・408頁・2700円

中国と台湾に存在する二つの故宮は、日中戦争と国共内戦の産物であり、日本まで含めたアジア近現代史の縮図である。アジア随一の美の殿堂・故宮を、歴史・政治・文化のあらゆる面から精緻に解読する一冊。

神戸女子大学古典芸能研究センター　編　978-4-585-27027-0（2016 年 3 月）

能面を科学する　世界の仮面と演劇　A5判・上製・344頁・4200円

これまで美的、芸能的観点から見つめられてきた能面。そこに科学的にアプローチすることで、その「表情」の由来がさらに解明される。材質研究、放射光X線 CT などの技術を駆使して、能面の内側まで「見つめる」。

山本陽子　著　978-4-585-27026-3（2015 年 11 月）

図像学入門　疑問符で読む日本美術　四六判・並製・240頁・1800円

観音にはひげがある？　なぜ絵巻は右から左へみるの？　写生画が写実ではない？　絵画や仏像などのさまざまな疑問・謎を図像解釈学（イコノロジー）から探り、日本美術の新しい楽しみ方を提案する。

「反核・写真運動」　監修／小松健一　新藤健一　編　978-4-585-27023-2（2015 年 8 月）

決定版　広島原爆写真集　The Collection of Hiroshima Atomic bomb Photographs　B5判・上製・256頁・2500円

未公開写真も含めた 398 点が、人類史上かつてない惨劇を克明に語り伝える。配列順は、撮影された年月日順を原則とし、時間の経過とともにその後の推移をたどることができる。キャプションは日英併記。

「反核・写真運動」　監修／小松健一　新藤健一　編　978-4-585-27024-9（2015 年 8 月）

決定版　長崎原爆写真集　The Collection of Nagasaki Atomic bomb Photographs　B5判・上製・256頁・2500円

初公開となる写真をはじめ 343 点が蘇らせる、当時の衝撃と阿鼻叫喚の惨状。永遠に伝えていかなければならない惨禍の記録。配列順は撮影された年月日順を原則とし、キャプションは日英併記。詳細な解説を付す。

早乙女勝元　監修／東京大空襲・戦災資料センター　編　978-4-585-27019-5（2015 年 1 月）

決定版　東京空襲写真集　アメリカ軍の無差別爆撃による被害記録　A4判・上製・536頁・12000円

1400 枚を超える写真を集成。戦争の惨禍を知り、平和への願いを新たにする。これまで紹介されていなかった写真もふくめ、東方社、日本写真公社、石川光陽などの写真を日付ごとに網羅。詳細な解説と豊富な関連資料を付す。

田口和夫　編　978-4-585-27017-1（2014 年 11 月）

カラー百科　写真と古図で見る 狂言七十番　菊判・並製・300頁・3200円

厳選狂言七十番、フルカラーで一曲一曲丁寧に解説。甦る日本古来の笑い。鮮やかな古図と現代の演出を見比べ、時代の変遷を辿る。戦後の狂言に新風を巻き起こした野村萬・野村万作、人間国宝 2 人の、貴重な時代の証言を聞く。

森下隆　編著　978-4-585-27020-1（2014 年 10 月）

写真集 土方巽 肉体の舞踏誌　四六判・並製・336頁・3500円

禁色、バラ色ダンス、肉体の叛乱、病める舞姫……。三島由紀夫を、渋沢龍彦を、瀧口修造を、種村季弘を、時代の先達を惑乱した、土方巽の捩れる肉体。未発表を含む 350 点以上の写真で網羅する、完全なる土方巽。その舞踏の全てがここに。

国文学研究資料館　編／小林健二　解説　978-4-585-29068-1（2014 年 5 月）　国文学研究資料館影印叢書6

狂言絵　彩色やまと絵　A4判・上製・140頁・13000円

江戸前期における狂言の実態を視覚化した貴重資料。濃彩色のやまと絵で描かれた六〇図よりなり、他に類例のない演目や稀曲が含まれ、現行と異なった演出の図柄も見られる。全編をフルカラーで影印、各曲解説を附す。

財団法人前田育徳会尊経閣文庫　編　978-4-585-22075-6（2014 年 3 月）

前田育徳会尊経閣文庫所蔵　七十一番職人歌合　菊倍判・上製・328頁・25000円

諸種多様な職人の風俗を絵画と和歌により描き出した「職人歌合」。中世日本のひとびとの営みを伝える最善本を全編フルカラーで紹介。当該期の歴史・文化・技術・風俗研究における貴重資料。

三山陵　編著　978-4-585-27016-4（2013 年 6 月）

フルカラーで楽しむ 中国年画の小宇宙 庶民の伝統藝術　菊判・並製・232頁・2800円

年画は部屋に貼り、新年を祝い楽しむ印刷物。幸福や豊かさを求める庶民の夢や願望が描かれている。大衆の文化・娯楽として見過ごされてきた周縁の藝術、中国木版年画の魅力を、約 150 点のフルカラー図版と絵解きで伝える。

小林保治　石黒吉次郎　編著　978-4-585-27015-7（2013 年 2 月）

カラー百科 見る・知る・読む 能五十番　菊判・並製・320頁・3200円　※在庫僅少

厳選された能五十番を取り上げ、それぞれの舞台の名場面を多彩なフルカラー図版で紹介。能の種類や構成、装束や舞台の名称、全国能舞台一覧など、能を楽しむための基礎知識をふんだんに盛り込んだ能楽鑑賞に最適な入門書。

田中健次　徳丸吉彦　富山清琴　野川美穂子　編著　978-4-585-27013-3（2012 年 4 月）

地歌・箏曲の世界　いま甦る初代富山清琴の芸談　A5判・並製・300頁・2800円

人間国宝・初代富山清琴は、盲目の地歌・箏曲演奏者として圧倒的な存在感を示し、多くの名曲を残した。その生涯は日本の伝統芸能「地歌・箏曲」の価値、失われつつある「芸」の保存と伝承のあり方を体現するものであった。

初代 山川園松　著　978-4-585-27012-6（2012 年 4 月）

箏曲要集　A5判・上製・848頁・15000円

山田流箏曲家初代山川園松（1909 ～ 1984）が箏曲の重要な楽曲約 100 曲に対し、その音楽的特性と詞章を、専門の山田流のみならず地歌や生田流箏曲にも目配りしながら詳細な解説を行う。

中野幸一　編　978-4-585-00336-6（2010 年 12 月）

伴大納言絵巻　冷泉為恭　復元模写　菊倍判・上製・112頁・8000円

国宝の絵巻の剝落欠損の部分をすべて復元している点、非常に珍らしく、当初の姿を伝えるものとして、資料的価値のきわめて高い絵巻を、美しいカラー版で公刊。

恋田知子　釈文・解説　978-4-585-27000-3（2010 年 4 月）

薄雲御所　慈受院門跡所蔵　大織冠絵巻　菊倍判・上製・112頁・10000円

大英図書館蔵絵巻（下巻のみ）にきわめて近く、大英絵巻の欠けた上巻部分を補う、貴重な伝本と位置づけられる。室町期に制作された物語絵巻を彷彿とさせる原本の雰囲気をフルカラーで再現、その全容を一望することができる。

田口章子　編　978-4-585-05419-1（2009 年 10 月）

元禄上方歌舞伎復元　初代坂田藤十郎 幻の舞台　A5判・並製・140頁・2800円

研究者と歌舞伎役者の協同研究成果である二つのシンポジウム記録や最新の論考、脚本、演出ノートを収録。初代坂田藤十郎の幻の舞台『夕霧七年忌』を復元した実験上演 DVD を付す。初代坂田藤十郎没後 300 年記念出版。

大東急記念文庫　編　978-4-585-03238-0（2009 年 10 月）

大東急記念文庫所蔵　芥子園画伝 初集 二集 三集　菊倍判・上製・1328頁・144000円

【大東急記念文庫創立 60 周年記念出版】東アジア絵画史を画した多色刷り画譜の全貌 !!　絵画制作の実践と理論の両面で計り知れない影響を与えた大ベストセラーの最善本を最先端の論考をそえて原寸原色で再現。

狩野探幽　尚信　安信　画／近衛家熙　筆／陽明文庫文庫長　名和修　監修／狩野博幸　小林保治　小峯和明　解題　978-4-585-00331-1（2008 年 1 月）

陽明文庫蔵　重要美術品　宇治拾遺物語絵巻　菊倍判・上製・280頁・28000円

歴代の近衛家当主により守られてきた陽明文庫秘蔵の文化財の中から、美術的・文学的価値を有する『宇治拾遺物語絵巻』を取り上げ、原本の全部分をフルカラーで影印。

中野幸一　編　978-4-585-00330-4（2007 年 10 月）

九曜文庫蔵　源氏物語扇面画帖　A3判変形・上製・132頁・10000円

九曜文庫の優品『源氏物語扇面画帖』（伝住吉如慶筆）をフルカラーで再現。絵と対に掲げられる優美な詞書の翻刻に加え、詳細な場面解説と各巻のあらすじを掲載。

小林保治　村重寧　解説／チェスター・ビーティー・ライブラリィ　監訳　978-4-585-00332-8（2008 年 7 月）　甦る絵巻・絵本

チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵

宇治拾遺物語絵巻　菊倍判・上製・120頁・12000円

妙なる絵画表現により動き出す、怪異幻想に彩られた説話世界在外の貴重物語絵巻をフルカラー再現。詞書と対照して読めるよう写真版の下に釈文・注釈と場面解説を、巻末には現代語訳を付し、物語世界を楽しむことが出来る。

木村千鶴子　八木意知男　解説／吉田とよ子　吉田宏美　英訳　978-4-585-00322-9（2006 年 10 月）　甦る絵巻・絵本

鎌倉英勝寺所蔵

大黒舞絵巻　菊倍判・上製・108頁・12000円

鎌倉に残る唯一の尼寺、東光山英勝寺に秘蔵されていた貴重絵巻をフルカラーで影印。理解を助ける釈文・解説・英訳を収載した。

大島由紀夫　小林祥次郎　真弓常忠　解説／チェスター・ビーティー・ライブラリィ　監訳　978-4-585-00323-6（2006 年 10 月）　甦る絵巻・絵本

チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵

俵藤太物語絵巻　菊倍判・上製・176頁・18000円

大百足退治・竜宮訪問譚・将門討伐…。極彩色の絵巻に甦る俵藤太の武勇伝。物語理解を助ける釈文・現代語訳・解説を収載。また、CBL 監修による英訳を附した。

石黒吉次郎　志村有弘　解説／チェスター・ビーティー・ライブラリィ　監訳　978-4-585-00324-3（2006 年 10 月）　甦る絵巻・絵本

チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵

大江山絵巻　菊倍判・上製・208頁・18000円

源頼光ら四天王が酒呑童子を退治する一部始終を描いた『大江山物語』を極彩色の奈良絵とともに綴った在外貴重絵巻をフルカラーで影印。物語理解を助ける釈文・現代語訳・解説を収載。また、CBL 監修による英訳を附した。

狩野山雪　画／神鷹徳治　解説／チェスター・ビーティー・ライブラリィ　編訳・蔵　978-4-585-00319-9（2006 年 4 月）　甦る絵巻・絵本

チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵

狩野山雪画　長恨歌画巻　菊倍判・上製・152頁・15000円

日本文学に多大なる影響を与えた詩人、白楽天。その傑作「長恨歌」が狩野山雪の筆により絵物語として甦る。眼前に立ち現れる楊貴妃と玄宗皇帝の悲恋物語。必見の在外名品をフルカラーの影印により忠実に再現！

小峯和明　宮腰直人　解説／クレア・ポラード　潮田淑子　翻訳　978-4-585-00314-4（2005 年 2 月）　甦る絵巻・絵本

チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵

義経地獄破り　菊倍判変形・上製・88頁・5800円

現在まで美しく残る絵本の名品をカラーで影印。大きく迫力のある図版と、読みやすい現代語訳と、本文。さらに、チェスタービーティーライブラリィ監修による英文を併記。充実した解題で、その成立背景もよくわかる。

国文学研究資料館　The Chester Beatty Library　共編　978-4-585-00313-7（2002 年 3 月）

チェスター・ビーティー・ライブラリィ絵巻絵本解題目録　図録篇・解題篇　全2冊　A4判・上製・730頁・47000円

アイルランド共和国チェスター・ビーティー・ライブラリィ蔵の、絵巻・絵本の解題目録。最大 4000 字に及ぶ精密な解説が載る解題篇、および、全 263 点の図版に日本語・英語で解説を付した図録篇の 2 分冊。**※在庫僅少**

中野幸一　監修／中野幸一　横溝博　共編　978-4-585-00325-0（2007 年 7 月）　九曜文庫蔵　奈良絵本・絵巻集成 1

竹取物語絵巻　菊倍判・上製・142頁・15000円

日本最古の物語文学を妙なる絵画表現と優美な筆跡で愉しむ。原本の全部分をフルカラーで影印。詞書の影印の下に対応する釈文・注釈を掲載。変体仮名の連綿体を読み解くための入門書としても最適。

増井光子　監修　978-4-585-05158-9（2006 年 10 月）

名画動物園　菊倍判・上製・96頁・2800円

近現代日本の画家たちの動物をモチーフにした絵画を、コンパクトかつビジュアルに紹介する作品集。動物たちの豊かな魅力を伝える動物の絵画約 50 点、総論、作家や動物園の園長のコラムを収録。

黒川紀章　著　978-4-585-01230-6（2006 年 10 月）

黒川紀章著作集　全 18 巻　A5判・上製・各巻約400頁・100000円

「共生」「ホモ・モーベンス」「メタボリズム」「中間領域」など時代を予見する言葉を生み出し、世界的視野に立つ建築家・思想家、黒川紀章の著作を集成した全集。

有吉保　解説　978-4-585-00320-5（2006 年 4 月）

徒然草　詳密彩色大和絵本　変形判・上製・540頁・43000円

詳細・極彩色の大和絵をそえ、優美な筆跡で書写された徒然草。某貴所に秘蔵・伝習されてきた豪華稀覯本に翻字を附し、原寸フルカラーで影印。真の古典的教養を培う必携書。

石山寺座主　鷲尾遍隆　監修／中野幸一編集　978-4-585-00317-5（2005 年 4 月）

石山寺蔵四百画面　源氏物語画帖　菊倍判変形・上製・416頁・25000円

源氏物語の様々な場面を、現在最多の四百画面にわたり描いている画帖。土佐派の図様を踏襲するが、狩野派の瀟洒も併せており、絵師は未詳。江戸中期の作品とされる。「源氏物語場面集」ともいい得る大作。

和歌山県立博物館　編／川崎剛志　解題・翻刻／高橋修　附説　978-4-585-10050-8（1999 年 2 月）

和歌山県立博物館所蔵

熊野権現縁起絵巻　菊倍判・上製・98頁・13000円

修験道の祖、役行者が登場する特異な伝本群の、現存する唯一の完本で、国文学・宗教史・美術史など諸分野から注目されている。全 3 巻の全巻を鮮明なカラーで影印し、絵画の場面は日英語併記で図像解説を試みた。

土佐光吉　画／狩野博幸　下坂守　今西祐一郎　解説　978-4-585-00311-3（1997 年 4 月）

京都国立博物館所蔵

源氏物語画帖　別冊絵柄解説釈文付　A3判変形・上製・110頁・15000円

本書は各時代に厖大な数が描かれてきた『源氏物語』画帖のなかでも最も著名な桃山時代の逸品、京都国立博物館所蔵本を原寸・四色カラーで原本に忠実に複製した。桃山美術の極致であるといえよう。

高山寺　監修／石塚晴通　編／大原嘉豊　解題　978-4-585-27181-9（2015 年 6 月）　高山寺の名宝

国宝　華厳宗祖師絵伝　義湘絵四巻　巻子･200000円

華厳宗を新羅に広めた高僧、義湘の伝記絵巻。本絵伝以前には見られない画中詞を有し、義湘の姿には明恵自身が投影されているといわれる。錯簡修正後の初の全篇公刊。各巻縦 31.7cm ／全長 7.47 ～ 17.12m。

高山寺　監修／石塚晴通　編／大原嘉豊　解題　978-4-585-27182-6（2015 年 6 月）　高山寺の名宝

国宝　華厳宗祖師絵伝　元暁絵三巻　巻子･150000円

華厳宗を新羅に広めた高僧、元暁の伝記絵巻で、王妃治癒の物語を中心に展開する。本絵伝以前には見られない画中詞を有し、元暁の姿には明恵自身が投影されているといわれる。錯簡修正後初の全篇公刊。各巻縦 31.7cm ／全長 7.47 ～ 17.12m。

高山寺　監修／石塚晴通　編／大原嘉豊　解題　978-4-585-27183-3（2015 年 6 月）　高山寺の名宝

国宝　鳥獣人物戯画　全四巻　巻子･120000円

高山寺の重宝中の重宝。大修復後の姿を料紙の繊維まで観察できる原寸原色の高精細画像で複製。甲巻（縦 30.4cm ／全長 11.48m）、乙巻（縦 30.6cm ／ 11.89m）、丙巻（縦 30.9cm ／全長 9.33m）、丁巻（縦 31.2cm ／全長 11.30m）。

高山寺　監修／石塚晴通　編／井並林太郎　解説　978-4-585-27187-1（2015 年 6 月）　高山寺の名宝

義湘像　軸･38000円

新羅における華厳宗の祖であり、日本においても祖師として鎌倉時代の絵巻物である『華厳宗祖師絵伝』に描かれている義湘。その肖像を軸装。祖師像の遺例は少なく、東大寺戒壇院伝来本と共通する貴重画像。180cm × 60cm。

高山寺　監修／石塚晴通　編／井並林太郎　解説　978-4-585-27188-8（2015 年 6 月）　高山寺の名宝

元暁像　軸･38000円

新羅浄土教の先駆者であり、同学である義湘とともに、『国宝　華厳宗祖師絵伝』にも描かれる元暁。その肖像を原寸・原色で軸装。祖師像の遺例は少なく、東大寺戒壇院伝来本と共通する貴重画像。180cm × 60cm。

高山寺　監修／石塚晴通　編／大原嘉豊　解説　978-4-585-27189-5（2015 年 6 月）　高山寺の名宝

国宝　明恵上人像　軸･38000円

樹上坐禅像としても知られる、高山寺の中興開祖明恵の肖像画を複製。明恵が山中の松林の樹上で坐禅を組むすがたを、弟子の恵日房成忍が筆写したものといわれる。縦 145cm ×横 59cm の原図を原寸・原色で軸装。

高山寺　監修／石塚晴通　編／池田証寿　解説　978-4-585-27184-0（2016 年 8 月）　高山寺の名宝

国宝　玉篇　巻第二十七　巻子･70000円

『玉篇』は中国の漢字字書で、南朝梁代に顧野王によって著され全 30 巻からなる。本書は巻第二十七の前半部にあたり、「糸」部から「索」部までの七部の部首目録を標挙し、「糸」部の 270 字収める。縦 27.2cm ／全長 9.15m。

高山寺　監修／石塚晴通　編／赤尾栄慶　解説　978-4-585-27185-7（2016 年 6 月）　高山寺の名宝

重要文化財　弥勒上生経（石川年足願経）　巻子･30000円

天平十（738）年、出雲守であった石川年足が発願写経させた天平写経の優品であり、墨書の仮名、朱の訓点を備える。本書は明恵が出仕した東大寺尊勝院との関係を有する写本と見られる。縦 26.9cm ／全長 4.57m。

京都国立博物館　編　978-4-585-28028-6（2016 年 12 月）

京都国立博物館所蔵　国宝　稿本北山抄巻第十　巻子･80000円

藤原公任が朝儀典礼に関して、多くの典籍類を駆使し著した『北山抄』の稿本。唯一の残存巻である、吏途（地方官の職務）について概要を記した「吏途指南」をフルカラー・原寸大の巻子装で再現。縦 30.3cm ／全長 1279.0cm。

高山寺　監修／石塚晴通　編／赤尾栄慶　解説　978-4-585-27186-4（2016 年 11 月）　高山寺の名宝

国宝　冥報記　全三巻　巻子･80000円

高山寺蔵本は承和年間（834 ～ 848）に入唐した円行が持ち帰った唐写本であり、中国では散逸し日本にのみ残る現存最古写本である。内容は唐・隋の説話を中心に蒐集し、因果応報の理を解く。全巻原寸原色版で影印する。

京都国立博物館　編／赤尾栄慶　神鷹徳治　解題／當山日出夫　翻刻　978-4-585-28020-0（2016 年 2 月）

京都国立博物館所蔵　重要文化財　神田本　白氏文集　巻子･60000円

我が国の古典文学に大きな影響を与えた白氏文集「新楽府」。その旧態を今に伝える最重要古写本を紙背を含め全編フルカラーで再現。（嘉承 2 年（1107）藤原茂明写、天永 4 年（1113）同加点、神田喜一郎博士旧蔵。

【注文方法】※当社の HP、または電話・FAX にてご注文を賜ります。

・本商品は巻子装・軸装となります。また、本商品は受注生産となります。
・ご注文をいただいた後、完成日程が確定できた段階で、完成日・お振り込み先をご連絡させていただきます。
　その後、お振り込みを確認後に商品を発送させていただきます。
・ご注文・ご入金をいただいてから発送まで、2～3 週間程度のお時間をいただきます。

篠田知和基　丸山顯徳　編　978-4-585-20036-9（2016 年 8 月）

世界神話伝説大事典　B5判・上製・1000頁・25000円

全世界 50 地域を網羅した画期的大事典。従来取り上げられてこなかった地域についても、最新の研究成果を反映。「神名・固有名詞篇」では 1500 超もの項目を立項。創作の原点として、現代にも影響を及ぼす話題の宝庫。

志村有弘　編　978-4-585-20048-2（2016 年 8 月）

吉川英治事典　A5判・上製・320頁・4200円

『新・平家物語』『私本太平記』『新書太閤記』『三国志』など日本を代表する多くの名作を遺し「国民作家」といわれた吉川英治。その作品と生涯を約 300 の項目で詳細に知る。年譜、主要参考文献、索引など資料も充実。

小谷野敦　深澤晴美　編　978-4-585-29107-7（2016 年 8 月）

川端康成詳細年譜　A5判・上製・720頁・12000円

川端の残した作品や公開された日記・書簡をベースに、当時の新聞記事や交友のあった作家らの回顧録などあまたの資料・記録を徹底的に渉猟。関係者への取材をも加え、その生活を再現する。研究の基盤となる大著。

綱本逸雄　著　978-4-585-22136-4（201604）

京都三山石仏・石碑事典　A5判・上製・480頁・5200円

京都三山（北山・東山・西山）の主な歴史古道の山越え路・峠・山麓周辺を踏破。知られざる石仏・石碑・道標を網羅的に取り上げ、その来歴を細かに検証する。受け継がれてきた「小さな歴史遺産」を見つめ直す旅。

志村有弘　編　978-4-585-20035-2（2015 年 11 月）

真田幸村歴史伝説文学事典　四六判・上製・296頁・3200円

戦国史上、もっとも人気の高い武将のひとりである真田幸村。数々の伝説と謎につつまれたその生涯を、関連人物、関連地や寺社、合戦など、あらゆる方向から追究する。年譜・史跡案内・関係参考文献目録など付録資料も充実。

小川晴久　張践　金彦鍾　編　978-4-585-20037-6（2015 年 11 月）

日中韓思想家ハンドブック　実心実学を築いた 99 人　四六判・上製・320頁・3200円

日中韓の 3 か国から各 33 名、近世の代表的思想家を紹介。実心実学思想は、東アジア世界の独自かつ共通の知的達成であった。近代以降を席巻した西洋の知的体系が見直しを迫られるいま、東アジア独自の知の源泉を再認識する。

加来耕三　編　978-4-585-20032-1（2015 年 6 月）

日本武術・武道大事典　菊判・上製・776頁・9800円

世界に類のない武士道精神の根幹を、武術・武道の歴史に訪ね、日本人についてあらためて考える。全武道家・武道教育者・日本精神史研究者必備。古流剣術・柔術から近現代の武道まで、発生から現代に至る展開まで理解できる。

佐藤貢悦　斎藤智文　嚴錫仁　著　978-4-585-22084-8（2015 年 1 月）

日中韓マナー・慣習基本事典　プライベートからビジネスまで知っておきたい 11 章　四六判・並製・256頁・1700円

日常生活からビジネスシーンまで、日中韓のマナー・しきたりの違いを場面ごとに解説。互いにすれ違う文化・慣習を理解し、円滑なコミュニケーションを取るために、東アジア世界を行き来する方々にとって必携の一冊！

詩と詩論研究会　編　978-4-585-20025-3（2014 年 11 月）

金子みすゞ作品鑑賞事典　四六判・上製・248頁・2400円

みすゞの名詩 194 篇を精選し、さまざまな角度から鑑賞を試みる。詩の本文とともに、詩に込められた深い思いを楽しむことが出来る一冊。各作品ごとに初出・収録・解説を付し、みすゞの詩の世界をより深く楽しめる。

今西幹一　企画／佐藤裕子　増田裕美子　増満圭子　山口直孝　編　978-4-585-20024-6（2014 年 10 月）

『坊っちゃん』事典　A5判・上製・328頁・4500円

国民的名作のすべて！　登場人物、地名・施設・風俗から、漱石の生い立ち・家族交友関係・前後の著作物、松山の史蹟まで、『坊っちゃん』のすべてを精査。成立考・研究史やパロディー・観光資源などコラムも満載。

吉元昭治　著　978-4-585-22087-9（2014 年 8 月）

日本の神話・伝説を歩く　菊判・上製・512頁・4800円

日本各地には神話・伝説・伝承を伝える史跡や遺物が数多く残されている。日本全国津々浦々を探訪した著者による日本文化の根源を知るためのガイドブック。400 箇所にわたる伝承地を 1000 点以上のカラー写真で紹介！

北影雄幸　著　978-4-585-21525-7（2014 年 6 月）

山頭火秀句鑑賞事典　四六判・上製・400頁・3200円

〈日本の自然風土の美しさ〉と〈日本人の心根の優しさ〉を視座として、山頭火の主要な句を時代ごと、テーマごとに解説。また、出自、母の自殺、一家の没落、出家、放浪など、その生涯を 11 のキーワードから詳述した。

北影雄幸　著　978-4-585-21526-4（2014 年 6 月）

山頭火旅情鑑賞事典　四六判・上製・400頁・3200円

常に動いて留まることがない「行雲流水」の旅路を行き、「一期一会」の世をなにものにも束縛されずに自由に生きようとした山頭火。旅について詠まれた句、書かれた日記を詳細に検証し、詩魂と詩情に導かれた旅の軌跡を追う。

北影雄幸　著　978-4-585-21524-0（2014 年 1 月）

武士道基本用語事典　四六判・上製・320頁・3200円

日本人の基本精神として、これだけは知っておきたい 150 語。江戸期を中心とした約 70 冊の武士道書から、最重要の武士道用語を紹介！　今日を生き抜き、明日を切り開く強力な心の糧としての武士道を知る事典。

志村有弘　編　978-4-585-20019-2（2013 年 7 月）

北海道文学事典　四六判・上製・350頁・4200円

ゆかりの小説家・評論家・詩人・歌人・俳人のみならず、漫画家、画家、シンガーソングライターまでも広範に紹介。文芸誌、各地方ごとの文学的特色、アイヌ文学の世界など、多彩な項目で北海道文学の全貌を明らかにする。

日本近代文学会東北支部　編　978-4-585-20016-1（2013 年 6 月）

東北近代文学事典　B5判・上製・848頁・15000円

青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島の東北 6 県の近代文学の達成を一望する大事典。文学史上に残る文豪から現在活躍中の作家まで 800 を超える人名に、地方の特色を盛り込んだ多くの項目を収録。図書館・研究者・愛好家必備！

学習院大学平安文学研究会　編　978-4-585-20017-8（2013 年 4 月）

うつほ物語大事典　B5判・上製・952頁・18000円

平安時代中期に成立した長編物語、初の総合事典。「文学史」「梗概」「登場人物事典」「典拠・引用」「他作品への影響」「享受史」「音楽史」「物語の言説」「テーマ」「モチーフ」など、基本事項から画期的な新見解まで幅広く掲載。

今村楯夫　島村法夫　監修　978-4-585-20009-3（2012 年 7 月）

ヘミングウェイ大事典　B5判・上製・956頁・25000円

数々の名作で知られる文豪の全主要作品を解説。またその人生を彩った無数のキーワードを網羅。最新の研究成果を踏まえた決定版大事典！　研究者、大学・公共図書館必備。

松居竜五　田村義也　編　978-4-585-20008-6（2012 年 1 月）

南方熊楠大事典　菊判・上製・808頁・9800円

古今東西の文献を渉猟し、領域を横断する浩瀚な「知」の世界を築き上げた南方熊楠。近年の網羅的な資料調査により浮かび上がってきた熊楠の実像を総合的に捉えるエンサイクロペディア。

有島武郎研究会　編　978-4-585-06065-9（2010 年 11 月）

有島武郎事典　A5判・上製・512頁・4800円

ヒューマニズムの作家、悲劇の知識人と呼ばれた有島武郎のイメージを覆す。有島武郎の文学と思想についての基本的な理解と現在に関わる課題についての情報を提供することを目的として編集した入門・研究の手引書となる事典。

志村有弘　歴史と文学の会　編　978-4-585-06060-4（2008 年 4 月）

松本清張事典　［増補版］　四六判・上製・544頁・3200円

いまなお抜群の人気と評価を誇る松本清張の文学を網羅的に集成した大事典。『点と線』『眼の壁』『砂の器』『D の複合』『ゼロの焦点』などの主要作品は勿論、人物や雑誌など関連項目、主要参考文献や年譜も充実。

岩見幸恵　著／文献目録・諸資料等研究会　編　978-4-585-06053-6（2004 年 9 月）　書誌研究文献目録シリーズ

松本清張書誌研究文献目録　A5判・上製・416頁・8800円

推理小説・純文学・西域史、そして日本の暗部を鋭く追求し続けた社会派文豪の全データ。これまで発表された作品の書誌はもとより、関連する書籍、雑誌・新聞記事を丹念に精査して網羅、今後の研究に大きく貢献する。

志村有弘　編　978-4-585-06058-1（2007 年 11 月）

司馬遼太郎事典　A5判・上製・450頁・3800円

司馬遼太郎のすべてを知る。『国盗り物語』『竜馬がゆく』『坂の上の雲』『街道をゆく』など主要 173 作品から関連人物・キーワードまでを詳細に解説、さらに巻末に「年譜」「主要参考文献」を付し、司馬遼太郎の世界を極める。

松本勝久　著／文献目録・諸資料等研究会　編　978-4-585-06052-9（2004 年 9 月）　書誌研究文献目録シリーズ

司馬遼太郎書誌研究文献目録　A5判・上製・360頁・8800円

『竜馬がゆく』『坂の上の雲』などの歴史・時代小説、『街道をゆく』をはじめとする紀行文・エッセイなど、膨大な著作を残し、日本の行く末を見つめ続けた国民的大作家の全書誌情報を網羅した決定版文献目録。

志村有弘　編　978-4-585-06059-8（2007 年 11 月）

藤沢周平事典　A5判・上製・500頁・3800円

藤沢周平のすべてを知る。『たそがれ清兵衛』『蟬しぐれ』『用心棒日月抄』『よろずや平四郎活人剣』など 275 の代表作に、関連人物、雑誌、キーワードなど 57 の一般項目を加えて解説。ブックガイドとしても最適。

渡部芳紀　編　978-4-585-06050-5（2007 年 7 月）

宮沢賢治大事典　菊判・上製・600頁・9800円

全 800 以上の項目にわたり、宮沢賢治のすべてを網羅した大事典。「銀河鉄道の夜」「注文の多い料理店」「セロ弾きのゴーシュ」「雨ニモ負ケズ」…。名作をより深く味わうために。小中学校、公共図書館、研究機関に必備の大事典。

志村有弘　渡部芳紀　編　978-4-585-06043-7（2005 年 1 月）

太宰治大事典　菊判・上製・976頁・9800円

太宰の作品を解明・解説する「作品篇」、太宰ゆかりの人物や土地、ためのキーワードを収載した「一般項目篇」の二部構成とし、500 以上の項目を収録。巻末付録として、詳細な太宰年譜・参考文献目録を収録。

志村有弘　編　978-4-585-06036-9（2002 年 7 月）

芥川龍之介大事典　菊判・上製・1048頁・9800円　※在庫僅少

一般項目篇には芥川に関連する人物、発表誌、風土、作品解読のキーワードなどを広範囲に収録。作品篇は小説・戯曲・評論など芥川の全作品についての梗概・解説・批評・参考文献を執筆。

関口安義　庄司達也　編　978-4-585-06015-4（2000 年 6 月）

芥川龍之介全作品事典　菊判・上製・680頁・9600円

全作品のあらゆる情報を集約し、21 世紀の芥川研究を創造する作品研究、教材研究に不可欠の一巻。「より便利な、利用し易い事典」を合言葉に編集し、どのページからも何らかの知識を得られ、作品の再発見が可能となろう。

竹内清己　編　978-4-585-06037-6（2001 年 4 月）

堀辰雄事典　菊判・上製・600頁・9800円

全 309 項目からなり、作品、文学、出典、人地、自然・環境、生活・情趣、資料の 7 つの譜に、堀に関わる研究者・評論家・作家など 100 名にも及ぶ執筆者の力を結集した。資料の譜に、年譜、研究文献目録を付す。索引付。

平岡敏夫　山形和美　影山恒男　編　978-4-585-06016-1（2000 年 7 月）

夏目漱石事典　菊判・上製・470頁・6000円　※在庫僅少

日本とヨーロッパのエッセンスが融合した漱石の作品世界を多角的に照応し、有機的に関連づけられるよう構成。漱石の作品と漱石を取り巻く人物群を 321 項目にわたって詳説。研究論文一覧・年譜・索引完備。

島尾ミホ　志村有弘　編　978-4-585-06014-7（2000 年 7 月）

島尾敏雄事典　菊判・上製・720頁・9500円

関わりのある作家、周辺の人物、所属した同人誌、演劇関係、風土、作品の初出・収録・梗概・批評・参考文献、年譜、全作品一覧、研究文献総目録、索引等々…。おのれの信ずる文学だけを書き続けた作家の全業績を集約。

永栄啓伸　山口政幸　共著／文献目録・諸資料等研究会　編　978-4-585-06051-2（2004 年 9 月）　書誌研究文献目録シリーズ

谷崎潤一郎書誌研究文献目録　A5判・上製・432頁・8800円

『鍵』『痴人の愛』『細雪』など、日本文学史上に残るかずかずの名作を残した文豪の全データ。本人の著作はもとより、関連する書籍、雑誌新聞記事、研究論文などの情報を満載。今後の調査・研究に不可欠の一冊。

有山大五　石内徹　馬渡憲三郎　編　978-4-585-06012-3（2000 年 2 月）

迢空・折口信夫事典　菊判・上製・460頁・4600円　※在庫僅少

釋迢空・折口信夫の人・学問・文学を知るための、入門・研究の手引書として構成。テクストには旧版折口信夫全集およびノート編を用い、文中の書名や引用文には可能な限り新版全集の巻数を付記。

志村有弘　編　978-4-585-06067-3（2010 年 3 月）

福岡県文学事典　菊判・上製・800頁・12800円

五木寛之「青春の門」、岩下俊作「無法松の一生」、火野葦平「花と龍」、松本清張「或る『小倉日記』伝」…。多くの名作を生み出した福岡の文学的土壌をあますところなく集成した大事典。

岩崎文人　編　978-4-585-06068-0（2010 年 12 月）

広島県現代文学事典　A5判・上製・512頁・12000円

文学研究者、郷土史家、雑誌同人、必備の大事典、遂に刊行！　ゆかりの作家、文学者を集成。文学史上に残る文豪から現在活躍中の作家まで、200 人を越える広島ゆかりの作家、文人を紹介。

歴史と文学の会　編　978-4-585-22042-8（2012 年 10 月）

古事記小事典　古代の真相を探る　四六判・上製・288頁・2800円

稗田阿礼、太安万侶とは何者か？　登場する神々、天皇、人々の風貌や、記録されている説話にひそむ真相とは？　スサノオの大蛇退治、海幸・山幸、因幡の白兎の話など、日本人が親しんできた伝説世界の真相と魅力を解き明かす。

歴史と文学の会　編　978-4-585-22017-6（2011 年 9 月）

平清盛小事典　平家物語の真実　四六判・上製・288頁・3200円

本書では清盛を軸として、政治、商業、合戦、伝説、平家一族、貴族と天皇家など、あらゆる角度から考察し、『平家物語』では見えてこない新しい清盛像を発見する。

小林祥次郎　著　978-4-585-06066-6（2009 年 7 月）

日本古典博物事典　動物篇　A5判・上製・592頁・9500円

日本人は動物をどのように感じ、表現してきたのか、動物と自然が織りなす環境にどのように向き合ってきたのか。古代から近現代の多種多様かつ厖大な文献群を博捜し日本人の心性の歴史を明らかにする画期的な博物事典。

神社と神道研究会　編　978-4-585-06044-4（2004 年 12 月）

菅原道真事典　菊判・上製・544頁・9800円

読み易さを念頭に置いた平易な表現で、文学・歴史・宗教の三方面を軸としてあらゆる角度から菅原道真を考究。神社関係者・歴史家・国文学者・作家など多彩な執筆人を擁し、文献目録、年譜、菅原道真を祀る神社総覧を付す。

神田龍身　編　978-4-585-06038-3（2002 年 5 月）

中世王朝物語・御伽草子事典　菊判・上製・1008頁・25000円

院政期と鎌倉時代の物語よりなる中世王朝物語篇と南北朝時代から江戸時代初期に及ぶ期間に成立した短編物語群の総称である御伽草子篇より構成。各々の篇に、散佚物語事典と室町物語類現存本簡明目録を付す。

志村有弘　諏訪春雄　編　978-4-585-06013-0（2000 年 6 月）

日本説話伝説大事典　B5判・上製・1060頁・25000円　※在庫僅少

古代から近世・明治初期までの説話と伝説を網羅的に結集し、その発生と伝承・変容を豊かな視点で編集。「説話伝説」のなかには、狭義の説話伝説のほかに、神話・昔話・芸能・奇談・逸話・歌謡の類がひろく包括されている。

徳田武　編　978-4-585-06005-5（1997 年 11 月）

日本古典文学研究史大事典　菊判・上製・1250頁・28000円　※在庫僅少

古典文学の作品・作家・事項等についての研究史を渉猟し、最新の研究成果をも取り入れて成った研究史の集大成事典。各項目は研究の重要度・密度によって時代別・ジャンル別に分類・整理、それぞれに的確な解説を加えた。

雨海博洋　神作光一　中田武司　編　978-4-585-06004-8（1997 年 2 月）

歌語り・歌物語事典　菊判・上製・668頁・15000円　※在庫僅少

「歌物語」は作品として、またその形態としては重要視されているが、その実態としての歴史性は充分把握されてはいない。これらの研究の現状を踏まえながら諸問題を如何に解説するかを本事典刊行の指針とした。

陳洲挙　著／山田芳明　訳　978-4-585-28005-7（2012 年 4 月）

語気助詞付き　中国語会話感情表現パターン辞典　A5判・並製・292頁・3600円

実会話、中国現代小説、ドラマ等で使用される表現を徹底研究し、500 超の頻出パターンとして精選・抽出。初級からの卒業を目指す全ての中国語学習者、および教育者におくる格好の一冊。

佐藤貢悦　嚴錫仁　著　978-4-585-06064-2（2010 年 6 月）

日中韓同字異義小辞典　A5判・上製・256頁・4500円

同じ漢字でも、日本・中国・韓国で意味が違う。日常的に使われる約 300 の熟語・漢字の意味の違いを詳述し、各国語の用例を付す。歴史・風土・風習の違いによって生じた意味の違いを知る、漢字文化圏の誤解解消に必携の辞典。

中井幸比古　編著　978-4-585-08009-1（2002 年 11 月）

京阪系アクセント辞典　A5判・上製・616頁・25000円

近畿周辺〜四国に分布する、京阪系諸アクセントの、初の本格的調査結果。中世〜近世の京阪アクセントをよく保存する諸アクセントのデータが多量に含まれ、アクセント史研究にも必須。

中井幸比古　開発・製作　978-4-585-08010-7（2002 年 11 月）

京阪系アクセント辞典　データ CD-ROM　CD-ROM・10000円

近畿周辺〜四国に分布する、京阪系諸アクセントの、初の本格的調査結果。中世〜近世の京阪アクセントをよく保存する諸アクセントのデータが多量に含まれ、アクセント史研究にも必須。CD-ROM 版。

志村有弘　編　978-4-585-20005-5（2011 年 2 月）

日本ミステリアス妖怪・怪奇・妖人事典　A5判・上製・304頁・4500円

ときにユーモラスで楽しく、ときに恐ろしく、ときに哀しく寂しい…。妖怪・鬼・悪霊から神仙・超人まで、日本に息づく異界のものたちを網羅した、不可思議総合事典！

志村有弘　編　978-4-585-05440-5（2009 年 12 月）

坂本龍馬事典　四六判・上製・352頁・2800円

同志、家族、幕府側要人などの関連人物はもとより、事件、地名、関連事項まで、140 以上の項目で龍馬のすべてを網羅。龍馬語録、年譜、文献目録など付録も充実した決定版事典。

志村有弘　編　978-4-585-06063-5（2008 年 12 月）

天皇皇族歴史伝説大事典　菊判・上製・888頁・15000円

初代神武天皇から第 125 代今上天皇まで、歴代全天皇を網羅。通読することで、日本の歴史、文化がわかる。また関連する皇族も可能な限り収載、1400 項目を超える圧倒的なボリュームで、類例のない総合的な皇室事典を実現。

吉元昭治　著　978-4-585-07200-3（2008 年 12 月）

日本全国神話・伝説の旅　菊判・上製・1264頁・9800円

日本のあけぼの飛鳥・宇陀から渡来人の足跡まで、日本人のルーツを今に伝える 800 以上の伝承地を、1,200 超の豊富な写真資料とともにフルカラーで紹介。あなたの近くの伝承地がわかる、画期的な神話伝説事典。

歴史と文学の会　編　978-4-585-06046-8（2005 年 10 月）

合戦騒動事典　菊判・上製・400頁・9800円

神武天皇の東征、蘇我・物部の戦い、以仁王の乱、応仁の乱、壇ノ浦の合戦、関ヶ原の戦い、三韓出兵、赤穂浪士の敵討、西南戦争…。国を揺るがせた合戦・騒動の全てを集大成した本邦初の大事典！

クリストフ・ヴルフ　編／藤川信夫　監訳

歴史的人間学事典　全３巻

歴史的人間学とは、伝統的な規範が拘束力を失った今、人間的な諸現象を多様に、トランスナショナルに学科横断的に研究し続ける努力、止むことのない思考の活動性である。初めて本格的に編まれた人間学事典の完訳版。末尾に付された文献目録によって、今後研究を行おうとする研究者にとって重要な手引きにもなる。

・第 1 巻　978-4-585-06047-5（2008 年 4 月）　A5判・上製・592頁・12000円
・第 2 巻　978-4-585-06048-2（2005 年 9 月）　A5判・上製・620頁・12000円
・第 3 巻　978-4-585-06049-9（2008 年 4 月）　A5判・上製・556頁・12000円

志村有弘　編　978-4-585-06042-0（2003 年 7 月）

姓氏家系歴史伝説大事典　B5判・上製・1320頁・25000円　※在庫僅少

最新・最大の姓氏家系事典！　全国の姓氏の発祥・分布・系譜・家紋を、その歴史・伝説と共に集成。あなたの一族に関する歴史・伝説を書き入れた、本邦初の姓氏家系事典の刊行。約 4,000 の姓氏を網羅。

志村有弘　松本寧至　編　978-4-585-06002-4（1994 年 2 月）

日本奇談逸話伝説大事典　菊判・上製・1018頁・15000円　※在庫僅少

桃太郎やかぐや姫を始め、文人たち、英雄的武将、立川文庫の世界、怨霊、そして多くの神々や天狗・鬼・妖怪などから動植物や器物に至るまでを幅広く取り上げ、詳しくわかり易く解説する読み物事典。

小林祥次郎　編　978-4-585-20011-6（2012 年 10 月）

江戸のイラスト辞典　訓蒙図彙　菊判・上製・1168頁・15000円

江戸時代初期、寛文 6 年（1666）刊の、わが国最初の図解辞典の初版初刷り本を復刻。日本の博物学の歴史に輝く名著として名高く、後続の絵入り辞書の模範となった。総語彙数約 8,000 語、図版点数 1,482 点を収録。

三浦功大　池上正治　写真と文／李軍　李振溪　訳　978-4-585-24004-4（2012 年 8 月）

世界の花蓮図鑑　Photographic Reference Book of World Lotus Flowers　A4判・上製・256頁・18000円

世界の蓮花 100 種類の美しい写真に、蓮の生態や来歴、信仰、物語・文学等々に語られる花蓮の世界を合わせ、総合花蓮学の書物として提供。10 章構成で代表的な蓮の花の写真を厳選、解説を付す。

中島理壽　編　978-4-585-03173-4（2007 年 12 月）

美術家書誌の書誌　雪舟から束芋、ヴァン・エイクからイ・ブルまで　A5判・上製・880頁・30000円

中世から今日までの美術家・美術関係者の網羅的な書誌情報を得ることができる。図書館・美術館・マスメディア必備の文献検索ツール！　国内外の美術家・美術関係者に関する文献目録や参考文献を収録した個人書誌の書誌。

工藤佳治　編　978-4-585-06057-4（2007 年 11 月）

中国茶事典　A5判・上製・384頁・7000円

250 以上の項目を収載した用語事典に加えて、主要銘茶 100 種をカラー頁で紹介。さらに中国茶の歴史、分類、詩文との関わりから茶器、陶磁器の歴史、茶館、茶藝までを詳細に解説。中国茶のすべてを網羅した総合事典。

藤野幸雄　編訳

世界児童・青少年文学情報大事典　全 16 巻

デトロイトのゲール・リサーチ出版との契約により刊行中の本事典は、同社の「作家・画家人物情報事典」である『作者についての情報』(Something about the Author、1976)、およびこれをもとに編纂された『児童・ヤングアダルト主要作家・挿絵画家』(Major Authors and Illustrators for Children and Young Adults、1993, 6 Vols.) から、わが国の読者に向けて選定した項目により構成されている。学校・公共図書館必備の事典である。

- 『第一巻　ア～ウィ』978-4-585-06021-5（2000 年 6 月）　A4判・上製・464頁・16000円
- 『第二巻　ウェ～オ』978-4-585-06022-2（2000 年 12 月）　A4判・上製・396頁・16000円
- 『第三巻　カ～クラ』978-4-585-06023-9（2001 年 5 月）　A4判・上製・438頁・16000円
- 『第四巻　クリ～コ』978-4-585-06024-6（2001 年 7 月）　A4判・上製・426頁・16000円
- 『第五巻　サ～ステ』978-4-585-06025-3（2001 年 10 月）　A4判・上製・454頁・16000円
- 『第六巻　スト～テ』978-4-585-06026-0（2002 年 1 月）　A4判・上製・576頁・16000円
- 『第七巻　ト～ハケ』978-4-585-06027-7（2002 年 5 月）　A4判・上製・446頁・16000円
- 『第八巻　ハシ～ヒ』978-4-585-06028-4（2002 年 8 月）　A4判・上製・488頁・16000円
- 『第九巻　フ～フリ』978-4-585-06029-1（2003 年 1 月）　A4判・上製・416頁・16000円
- 『第十巻　フル～ヘ』978-4-585-06030-7（2003 年 5 月）　A4判・上製・416頁・16000円
- 『第十一巻　ホ～マス』978-4-585-06031-4（2003 年 12 月）　A4判・上製・416頁・16000円
- 『第十二巻　マツ～ヨ』978-4-585-06032-1（2004 年 3 月）　A4判・上製・441頁・16000円
- 『第十三巻　ラ～ル』978-4-585-06033-8（2004 年 4 月）　A4判・上製・372頁・16000円
- 『第十四巻　レ～ワ』978-4-585-06034-5（2004 年 4 月）　A4判・上製・350頁・16000円
- 『第十五巻　補遺・索引』978-4-585-06035-2（2004 年 10 月）　A4判・上製・480頁・16000円
- 『第十六巻　欧文作者・作品索引』978-4-585-06045-1（2004 年 10 月）　A4判・上製・730頁・28000円

国文学研究資料館　編　978-4-585-20054-3（2017 年 3 月）

社会変容と民間アーカイブズ　地域の持続へ向けて　A5判・上製・368頁・8000円

人びとの営みを伝える資料群として、公文書と相互補完的な関係にある「民間アーカイブズ」。近年の急激な社会構造の変動により、これらの資料群は滅失の危機に瀕している。地域アーカイブズを取り巻く現場の最前線を紹介。

日本図書館情報学会研究委員会　編　978-4-585-20503-6（2016 年 11 月）　わかる！図書館情報学シリーズ3

メタデータとウェブサービス　四六判・並製・200頁・1800円

ウェブサービスがもはや生活・研究のインフラとなって久しいが、情報資源の多様化やメタデータの作成環境の発展がそのサービスに大きな変化をもたらしている。検索エンジンやクラウド・コンピューティングの可能性を知る。

渡邊重夫　著　978-4-585-20053-6（2016 年 8 月）

学びと育ちを支える学校図書館　四六判・上製・264頁・2400円

「思想善導」機関としての役割を担った戦前の図書館の歴史から情報統制の問題を再確認し、子どもたちが情報を得る権利を支援する教育環境としての学校図書館の在り方を提唱。人権をベースに子どもの学びと育ちを考える。

今井福司　著　978-4-585-20046-8（2016 年 5 月）

日本占領期の学校図書館　アメリカ学校図書館導入の歴史　A5判・上製・336頁・5000円

学校図書館の歴史を見通しながら、学校教育と図書館がどう連携できるのか、その課題と未来像を問う。2014 年の学校図書館法改正を始めとして、大きく変動する現場に対し、未だ積み重ねが乏しい研究状況に一石を投じる。

神奈川地域資料保全ネットワーク　編　978-4-585-22150-0（2016 年 5 月）

地域と人びとをささえる資料　古文書からプランクトンまで　四六判・上製・320頁・3500円

地域社会を形成する紐帯としての資料のあり方に着目し、文献、写真、伝承、地名、自然史資料など多種多様な地域資料の保存・保全、活用の現場での経験から、地域と人びと、資料と社会との関係の未来像を探る。

後藤敏行　著　978-4-585-20045-1（2016 年 4 月）　ライブラリーぶっくす

図書館員をめざす人へ　四六判・並製・240頁・2000円

図書館人になりたい、図書館で働きたいという皆さんを、基礎知識から実践まで、じっくりガイドします。図書館員へのインタビューも掲載、現場の声を届けます。図書館員になるためのガイドブック＆インタビュー集の決定版！

坂口貴弘　著　978-4-585-20047-5（2016 年 4 月）

アーカイブズと文書管理　米国型記録管理システムの形成と日本　A5判・上製・400頁・6000円

1934 年に設立された世界最大級のアーカイブズ施設「米国国立公文書館」。そのシステム開発の歴史を辿り、米国型の記録管理システムの形成過程を分析。またその影響下にある日本のシステムについても詳しく検証する。

石井正己　編　978-4-585-20038-3（2016 年 3 月）

博物館という装置　帝国・植民地・アイデンティティ　A5判・上製・416頁・4200円

我々は、いま博物館という装置を如何に考えていくべきか。時代ごとの思想と寄り添ってきたその歴史と、アイデンティティを創出する紐帯としてのあり方。双方向からのアプローチによりその存在意義と歴史的位置を捉えかえす。

吉井潤　著　978-4-585-20044-4（2016 年 3 月）　ライブラリーぶっくす

知って得する　図書館の楽しみかた　四六判・並製・224頁・1800円

図書館の多様な使い方を実は多くの人が知らない。また、職員から書籍の借り方は教えられても、図書館の詳しい使い方を説明されることはない。より豊かな図書館との付き合い方を、若き図書館長がやさしく指南。

青柳英治　編著／岡本真　監修　978-4-585-20039-0（2016 年 2 月）　ライブラリーぶっくす

ささえあう図書館　「社会装置」としての新たなモデルと役割　四六判・並製・272頁・1800円

これまでの本を貸す「箱」としての図書館ではなく、図書館と利用者が互いに「ささえあう」ことで、双方向的に新しい図書館の在り方を模索・構築している事例が増えている。双方からの視点で新たな図書館像・モデルを提示。

日本図書館情報学会研究委員会　編　978-4-585-20502-9（2015 年 10 月）　わかる！図書館情報学シリーズ2

情報の評価とコレクション形成　四六判・並製・176頁・1800円

情報化社会を生きる現代人に必須の「評価基準」とは何か。人々や図書館は、情報をどのように選択し、「コレクション」をどのように構築しているのか。理論から実践・実例までを備えた、基礎的テキストの決定版。

岡本真　柳与志夫　責任編集　978-4-585-20034-5（2015 年 6 月）

デジタル・アーカイブとは何か　理論と実践　A5判・並製・256頁・2500円

混迷の中にいる制作者・利用者のために、積み重ねた知恵と実例。Europeana の起ち上げ、東寺百合文書の WEB 公開、電子図書館、そして国立デジタルアーカイブセンター構想……。新たな仕組みは、ここから生まれる。

国立国会図書館　利用者サービス部　編　978-4-585-20313-1（2017 年 1 月）

参考書誌研究　第 78 号　A5判・並製・260頁・3600円

憲政資料室所蔵資料から、戦前記朝鮮・台湾・中国東北部関係の外交資料、および口述筆記（オーラル・ヒストリー）関連資料の成り立ち等を特集する。また、戦前の政治家の個人文書を使うために有用な文献や調査の発想法を紹介。

国立国会図書館　利用者サービス部　編　978-4-585-20312-4（2016 年 4 月）

参考書誌研究　第 77 号　A5判・並製・269頁・3600円

国立国会図書館憲政資料室所蔵「日本占領関係資料」について、収集経緯や来歴などをあとづけながら、資料をめぐる歴史的特性を明らかにした。また、戦前、内務省から帝国図書館に移管された、発売頒布禁止本の一覧も付す。

国立国会図書館 利用者サービス部　編　978-4-585-20311-7（2015 年 4 月）

参考書誌研究　第 76 号　A5判・並製・272頁・3600円

室町時代から江戸時代にかけて、日朝間の外交・貿易を担当した対馬藩主宗家が、職務遂行のために作成した記録、いわゆる「宗家文書」のうち、国会図書館で所蔵する約 1600 点（重要文化財）の目録を掲載。解説を付す。

東洋文庫　編　978-4-585-20030-7（2015 年 3 月）

アジア学の宝庫、東洋文庫　東洋学の史料と研究　四六判・上製・336頁・2800円

アジア地域の歴史文献 100 万冊を所蔵する東洋学研究の一大拠点、東洋文庫。その多彩かつ貴重な史料群は、いかにして収集され、活用されているのか。学匠たちが一堂に集い、文庫の歴史をひもとき、深淵な東洋学の世界へ誘う。

木部暢子　編　978-4-585-22110-4（2015 年 3 月）

災害に学ぶ　文化資源の保全と再生　四六判・上製・256頁・3200円

東日本大震災以来、アーカイブズ・文化財保護の現場は、新たな課題に直面している。災害により失われた人と人のつながりをどう再構築するか。被災した紙資料をいかに復旧するか。文化資源保全と地域文化復興の方途を探る。

赤間亮　鈴木桂子　八村広三郎　矢野桂司　湯浅俊彦　編　978-4-585-20031-4（2014 年 11 月）

文化情報学ガイドブック 情報メディア技術から「人」を探る　Digital Humanities for Arts and Cultures デジタル・ヒューマニティーズ　A5判・並製・216頁・1800円

浮世絵をコンピュータで統計的に解析、伝統芸能の動きをモーションキャプチャで分析……。情報技術の進歩が、新たな文化研究を導く。文化情報学を基礎から学ぶ人のために、文理の壁を超えて最先端の研究者たちが集結。

日本図書館情報学会研究委員会　編　978-4-585-20501-2（2014 年 11 月）　わかる！図書館情報学シリーズ1

電子書籍と電子ジャーナル　四六判・並製・176頁・1800円

読書の新たな可能性を切り拓く「電子書籍」、研究者の必需品となった「電子ジャーナル」。図書館の枠組みに大きく影響を与える新メディア、その基礎的な技術から利欠点、図書館における利活用のあり方まで解説する。

国立国会図書館　編　978-4-585-20029-1（2014 年 10 月）

図説　よりすぐり国立国会図書館　竹取物語から坂本龍馬直筆まで　B5判・並製・144頁・2800円

日本最大の図書館が所蔵する約 4000 万点の蔵書から、115 の名品を精選。仏教典籍、古写本、絵巻・絵本、古活字版から、幕末維新期の写真、書簡、憲法草案まで、名品の数々を味わい、日本文化の歴史を辿る。

編集部　編　978-4-585-20303-2（2014 年 8 月）

DHjp No.4　オープンアクセスの時代　B5判・並製・96頁・1600円

学術情報のオープンアクセス化が叫ばれる昨今。どのようなオープン化の流れが最も望ましいのか。論客たちが経緯・現状を分析しながら、未来のあり方を探る。

編集部　編　978-4-585-20302-5（2014 年 4 月）

DHjp No.3　デジタルデータと著作権　B5判・並製・96頁・1600円

情報のデジタル化・オープン化の中で、法整備も実践も、全てが追いついていない。デジタル世界の「秩序」は今、一体どうなっているだろうか？　デジタルな文化・学術情報と著作権について、考える。

編集部　編　978-4-585-20301-8（2014 年 3 月）

DHjp No.2　DH の最先端を知る　B5判・並製・96頁・1600円

今、どこにアクセスすれば最先端に触れられるのか。『DHjp』はこれから学問を志す若者達に DH という新たな潮流を紹介する。

編集部　編　978-4-585-20300-1（2014 年 1 月）

DHjp No.1　新しい知の創造　B5判・並製・96頁・1600円

今、欧米で勃興している新たな学問デジタル・ヒューマニティーズ（DH）。人文学にデジタル技術をもちいた横断的研究の可能性とは？　新たな議論の場『DHjp』がその展望を開く！

NPO 知的資源イニシアティブ　編　978-4-585-20028-4（2014 年 4 月）

これからのアーキビスト　デジタル時代の人材育成入門　A5判・並製・256頁・2500円

アーカイブづくりの中心となる人材を、いかに養成するか？ 技術的な観点だけでなく、社会制度としてのアーカイブづくりに貢献できる人材のあり方に視野を拡大。デジタル化を前提とする将来的なアーキビストのあり方を論じる。

楊暁捷　小松和彦　荒木浩　編　978-4-585-20023-9（2013 年 8 月）

デジタル人文学のすすめ　A5判・並製・304頁・2500円

国文学・歴史学におけるデジタルアーカイブや、妖怪データベース、電子図書館や e 国宝など、めまぐるしく変化する「デジタル人文学」の環境を、現場から捉え直し、人文学の未来を考える立ち位置と思考の拠り所を提供する。

今まど子　高山正也　編著　978-4-585-20022-2（2013 年 7 月）

現代日本の図書館構想　戦後改革とその展開　A5判・並製・300頁・2800円

日本の図書館はいかに構築され、何が実現され、何が課題なのか。戦後占領期から、現在に至る様々な組織・しくみが構築された 80 年代までを中心に、図書館法、JLS、国立国会図書館など、戦後図書館史のエポックを検討する。

渡邊重夫　著　978-4-585-20021-5（2013 年 4 月）

学校図書館の力　司書教諭のための 11 章　四六判・上製・256頁・2400円

司書教諭資格を取得するための科目のひとつ「学校経営と学校図書館」の内容に準拠。資格を取得しようとする人、司書教諭の任を担っている人を対象に、学校図書館に関する理解をより深め、その実践に役立てることを目的とする。

Molz, Redmond Kathleen・Dain, Phyllis　共著／山本順一　訳　978-4-585-20006-2（2013 年 1 月）

シビックスペース・サイバースペース　情報化社会を活性化するアメリカ公共図書館　A5判・上製・320頁・4200円

アメリカの科学技術分野の進展を支える図書館の歴史と発展動向を実証的に検討。混迷を深める日本の図書館界に向け、現実の地域社会と仮想情報空間にまたがる 21 世紀の図書館が果たすべき使命と役割について示唆を与える。

NPO 知的資源イニシアティブ　編　978-4-585-20018-5（2012 年 11 月）

アーカイブのつくりかた　構築と活用入門　A5判・並製・256頁・2500円

企画、デザイン、ツール、法律上の問題など、アーカイブ構築の際にだれもが直面する問題を整理し、それらをクリアするための実践例が満載。デジタルアーカイブをつくり、有効に運用するための具体的な方法と課題を紹介する。

三輪眞木子　著　978-4-585-05432-0（2012 年 3 月）　ネットワーク時代の図書館情報学

情報行動　システム志向から利用者志向へ　四六判・並製・224頁・2000円

情報行動に関する理論や概念モデルを概観するとともに、利用者にとって使いやすく親切な情報サービスの普及にむけた具体的なとりくみも紹介する。

新保史生　著　978-4-585-05430-6（2010 年 10 月）　ネットワーク時代の図書館情報学

情報管理と法　情報の利用と保護のバランス　四六判・並製・192頁・2000円

現在のネットワーク社会では、日々様々な情報が大量に利用されている。本書では、ネットワーク時代における図書館情報学をめぐる問題について、法的視点から情報の管理と法に関する問題について検討する。

安形麻理　著　978-4-585-05429-0（2010 年 9 月）　ネットワーク時代の図書館情報学

デジタル書物学事始め　グーテンベルク聖書とその周辺　四六判・並製・224頁・2000円

書物研究という面から見ると、書物とデジタル技術という組み合わせの前には明るい展望が開けている。デジタル画像やコンピュータを活用した「デジタル書物学」の「現在（いま）」を紹介。

谷口祥一　著　978-4-585-05428-3（2010 年 2 月）　ネットワーク時代の図書館情報学

メタデータの「現在」　情報組織化の新たな展開　四六判・並製・160頁・1700円

個人や機関によるメタデータの作成は増加しているが、その標準化や協力・連携は未だ十分とはいえない。その設計から作成、提供までの流れを具体的に示し、情報資源の組織化に向けたメタデータの「現在」を描く。

齋藤泰則　著　978-4-585-05426-9（2009 年 10 月）　ネットワーク時代の図書館情報学

利用者志向のレファレンスサービス　その原理と方法　四六判・並製・184頁・2000円

レファレンスサービスの目的は、「会話」によって図書館員が利用者の課題解決を支援することにある。ネットワーク上の情報源が増大する時代にこそ、より高度な利用者志向の人的支援が求められている。

小林麻実　著　978-4-585-05427-6（2009 年 10 月）　ネットワーク時代の図書館情報学

図書館はコミュニティ創出の「場」　会員制ライブラリーの挑戦　四六判・並製・208頁・2000円

六本木ライブラリーの取組みと新たな図書館像。21 世紀の図書館は、みずからが新たなコミュニティを創設する場であるという実例を紹介する。

青柳英治　著　978-4-585-20012-3（2011 年 12 月）

専門図書館の人的資源管理　A5判・上製・240頁・4800円

限られた人材を活用し、情報提供サービスの質を落とさないためにはどうすればよいのか。企業内専門図書館を対象とした考察をもとに、「情報専門職」の養成と教育訓練の今後のありかたを提示する。

NPO 知的資源イニシアティブ　編　978-4-585-20007-9（2011 年 7 月）

デジタル文化資源の活用　地域の記憶とアーカイブ　A5判・並製・224頁・2500円

あらゆる人間活動＝「文化資源」を保存し活用していくには、もはやデジタル技術は欠かせない。その具体例を紹介するとともに、求められる人材養成・財源・知的財産のありかたに対する政策を緊急提言する。

水谷長志　編　978-4-585-20002-4（2010 年 6 月）

MLA 連携の現状・課題・将来　A5判・上製・256頁・3500円

日本における博物館 (Museum)・図書館 (Library)・文書館 (Archives) には、それぞれが取り扱う資料の特性や組織の枠を超えた連携が求められている。

福森大二郎　著　978-4-585-20000-0（2010 年 4 月）

文化財アーカイブの現場　前夜と現在、そのゆくえ　四六判・上製・172頁・2800円

日本の“こころ”と“かたち”をデジタルで記す。豊富な具体例を交えながら、文化財アーカイブのプロセスや現状、問題点をわかりやすくまとめた一冊。

仲本秀四郎　編　978-4-585-05207-4（2007 年 4 月）　情報とメディア

科学技術図書館の現在と未来　四六判・並製・192頁・2000円

先進的な活動を展開している日本原子力研究所図書館の事例を通して、これからの専門図書館のありかた、ひいては大学・大学院・学術研究機関の図書館のあり方を考える。

研谷紀夫　著　978-4-585-10442-1（2009 年 2 月）

デジタルアーカイブにおける「資料基盤」統合化モデルの研究　B5判・上製・392頁・9400円

歴史的な背景を踏まえながら、現在のデジタルアーカイブの問題点を指摘し、それらを解決するための概念・構築フロー・評価モデルを提示する。各モデルに基づいた実際の構築内容も具体的に提示した実践的教本。

藤野幸雄　著　978-4-585-07123-5（2008 年 12 月）

図書館　この素晴らしき世界　四六判・上製・224頁・2000円

図書館はなぜ必要か――　図書館勤務の長い経験をもち、司書教育に尽力してきた著者が、図書館の未来を見据え、あるべき像を提示する。

松本勝久　著　978-4-585-07124-2（2008 年 8 月）

情報検索入門ハンドブック　データベース、Web、図書館の利用法　四六判・並製・288頁・1800円

多くの人がそもそもウェブの仕組みすら十分に理解せぬまま、膨大なノイズに阻まれ、不正確な情報にしかアクセスできていない。現代人に最も必要とされる「情報検索」の基本的なスキルを身に付ける、初心者必携の入門書。

村上征勝　編　978-4-585-00291-8（2006 年 3 月）　文化情報学ライブラリ

文化情報学入門　A5判・並製・196頁・1800円

「文化情報学」とはどのような学問なのか、概説する入門テキスト。文化に関する学問と自然科学に関する学問を融合し、更なる学問の発展を目指す「文化情報学」。13 人の執筆者による最新の研究事例を紹介。

E Orna & Ch. Pettitt　著／安澤秀一　監修／水嶋英治　編訳　978-4-585-00172-0（2003 年 6 月）　アート・ドキュメンテーション叢書 2

博物館情報学入門　A5判・上製・256頁・3500円

博物館・美術館の文化情報資源の有効活用のために――情報学の立場から論じた名著、待望の邦訳。

ICOM CIDOC　編／鯨井秀伸　編訳　978-4-585-00171-3（2003 年 6 月）　アート・ドキュメンテーション叢書 1

文化遺産情報の Data Model と CRM　A5判・上製・336頁・4500円

博物館資料情報のスタンダード――国際ガイドライン最新 CRM の基本と仕組みをまとめる。

日本図書館情報学会研究委員会　編　978-4-585-00279-6（2010 年 10 月）　図書館情報学のフロンティア 10

図書館・博物館・文書館の連携　A5判・並製・192頁・2500円

「制度・政策・経営面での連携」・「技術・規格面での連携」という二つの大きな動向を踏まえ、MLA の連携について、多角的な視点で現状と課題を提示する。

日本図書館情報学会研究委員会　編　978-4-585-00278-9（2009 年 10 月）　図書館情報学のフロンティア 9

情報アクセスの新たな展開　情報検索・利用の最新動向　A5判・並製・216頁・2500円

情報アクセスの手段が多様化し、図書館は情報流通の仲介者から情報源の一つとなりつつある。利用者が必要とする情報を提供するために、これからの図書館（員）に求められるサービスとは？

日本図書館情報学会研究委員会　編　978-4-585-00277-2（2008 年 10 月）　図書館情報学のフロンティア 8

変革の時代の公共図書館　そのあり方と展望　A5判・並製・216頁・2500円

今や公共図書館の「あり方」は、各地域の実情を踏まえつつ、自治体自らが主体的に考え、決定し、実現するものとなっている。諸外国の事例も参照しながら、日本の公共図書館をとりまく現状と今後のあり方を展望する。

日本図書館情報学会研究委員会　編　978-4-585-00290-1（2007 年 10 月）　図書館情報学のフロンティア 7

学術情報流通と大学図書館　A5判・並製・224頁・2700円

電子ジャーナル・オープンアクセス・機関リポジトリの広がりによって、学術情報流通は大きな変革期を迎えている。大学図書館の事例を中心に、最新の取り組みを紹介する。

日本図書館情報学会研究委員会　編　978-4-585-00289-5（2006 年 10 月）　図書館情報学のフロンティア 6

図書館情報専門職のあり方とその養成　A5判・並製・264頁・2800円

日本図書館情報学会の「LIPER プロジェクト」の成果を取り入れつつ、内外の情報専門職養成の現状を踏まえながら、図書館情報専門職のこれからを考える。

図書館情報学の基礎

新たな図書館像「ハイブリッド・ライブラリー」のあり方を提唱するシリーズ。「図書館情報学の基礎」を学ぶことは、21 世紀の高度情報化社会の専門職、ライブラリアンの育成に必要不可欠である。

- 2『図書館経営論』【改訂版】宮沢厚雄　著　978-4-585-00185-0（2006 年 7 月）　四六判・並製・126頁・1000円
- 3『図書館情報サービス論』金沢みどり　著　978-4-585-00188-1（2003 年 4 月）　四六判・並製・202頁・1400円　※品切
- 5『レファレンスサービス演習』【改訂版】吉田右子　著　978-4-585-00184-3（2006 年 5 月）　四六判・並製・168頁・1200円　※品切
- 7『図書館資料論』郡司良夫　著　978-4-585-00192-8（2003 年 4 月）　四六判・並製・224頁・1500円　※品切
- 9『資料組織演習』平井尊士　藤原是明　著　978-4-585-00194-2（2003 年 4 月）　四六判・並製・162頁・1200円
- 10『児童サービス論』伊香左和子　著　978-4-585-00195-9（2002 年 5 月）　四六判・並製・124頁・1000円　※品切
- 11『図書館文化史』水谷長志　著　978-4-585-00196-6（2003 年 5 月）　四六判・並製・152頁・1200円　※品切
- 13『生涯学習概説』新海英行　竹市良成　著　978-4-585-00198-0（2003 年 5 月）　四六判・並製・206頁・1400円　※品切
- 14『学校図書館概論』渡辺重夫　著　978-4-585-00199-7（2002 年 5 月）　四六判・並製・208頁・1500円　※品切

ツェラン・トンドゥプ　著／海老原志穂　大川謙作　星泉　三浦順子　訳　978-4-585-29142-8（2017 年 4 月）

闘うチベット文学　黒狐の谷　四六判・上製・416頁・3400円

現代人の孤独という同時代的な問題を投げかけるチベット作家の初翻訳小説集。英語、フランス語、ドイツ語などにも翻訳され、世界各地で読まれている。およそ 30 年にわたる作家活動の中から短編 15 篇、中編 2 篇を掲載。

放射線の正しい知識を普及する会　著　978-4-585-24008-2（2017 年 1 月）

放射線安全基準の最新科学　福島の避難区域と食品安全基準　四六判・並製・208頁・1600円

震災から 5 年。今こそ、放射線に対する偏見と風評被害を克服し、放射線科学の最先端からのパラダイム・シフトを実現するための警世の書。福島の復興と、日本のエネルギー問題の解決に向けて世界の科学者が提言する。

小倉真理子　著　978-4-585-29505-1（2016 年 9 月）

写真とイラストで辿る　金子みすゞ　A5判・並製・160頁・1800円

大正・昭和の童謡詩人、金子みすゞ。草花や動物たちが言葉を持つ優しい詩は、彼女が見た風景から生まれた。歌に詠み込まれた仙崎八景や下関の街並みを、当時と現代の写真を見比べながら巡る。

加瀬英明　監修／加地悦子　聞き手　978-4-585-22154-8（2016 年 7 月）

岸信介　最後の回想　その生涯と 60 年安保　四六判・並製・196頁・1300円

岸信介こそ、戦後もっとも偉大な首相だった。アメリカが内に籠もり、日本は自立を強いられる生誕 120 周年の今、36 年ぶりに公開される談話録によって、岸信介が蘇る。最晩年の岸が昭和について語りつくした貴重資料。

小野俊太郎　著　978-4-585-29127-5（2016 年 7 月）

未来を覗く　H・G・ウェルズ　ディストピアの現代はいつ始まったか　四六判・並製・256頁・2400円

その作品は、核の脅威、自然破壊などの環境問題、遺伝子などからの人体改造に関する倫理と科学の問題など、現代につながる問題を先駆的に問うている。その想像力の根底にある時代背景と時代への視点を探る。

竹内勝巳　著　978-4-585-20041-3（2016 年 3 月）

オビから読むブックガイド　四六判・並製・296頁・2800円

邪魔にされて、捨てられて……。そんなオビにも、著者・編集者たちの思いが詰まっている！書店での初めての出会いを演出するオビとコピー文。それを眺めながら全 150 冊をレビューする、これまでにないブックガイド。

藤井厳喜　稲村公望　茂木弘道　著／加瀬英明　序文　978-4-585-23036-6（2016 年 1 月）

日米戦争を起こしたのは誰か　ルーズベルトの罪状・フーバー大統領回顧録を論ず　四六判・並製・288頁・1500円

「日米戦争を起こしたのは狂人の欲望であった」と私が言うとマッカーサーも同意した」。50 年の封印を開き、2011 年に刊行された元アメリカ大統領フーバーの衝撃の大著の内容を紹介、討論する。

鈴木敏明　SUZUKI Tosiaki　978-4-585-22591-1（2015 年 12 月）

※在庫僅少

The U.S.A. is responsible for the Pacific War　A5判・上製・616頁・4000円

Looking at the Japan ?U.S. history since East India fleet commanded by Matthew Calbraith Perry came to Bay of Tokyo in 1853, we notice that Japan has never violated the vital interests of the U.S.. Then why two countries fought such a fierce war?

橋本直樹　著　978-4-585-23039-7（2015 年 12 月）

食卓の日本史　和食文化の伝統と革新　四六判・並製・330頁・2400円

平安貴族の宴会料理は？　信長のおもてなしとは？　江戸のファストフードって？　とんかつ、ラーメンは日本食？　食材の広がりや食事の作法まで、歴史的検証を重ねながら、長く深い伝統を持つ日本人の食の知恵を紹介する。

鈴木敏明　著　978-4-585-22134-0（2015 年 11 月）

大東亜戦争は、アメリカが悪い　四六判・並製・800頁・3200円

自虐史観の前提なしに、「戦争にも相手がある」という現実感覚で海外資料を博捜、事実関係を再確認。「この本は、いまだに大東亜戦争日本悪玉論を主張してやまない外国人や日本人知識人に対する挑戦です」。

所功　編著　978-4-585-22124-1（2015年9月）

松陰から妹達への遺訓　四六判・並製・192頁・1000円

明治維新の扉を開いた吉田松陰は、結婚した三人の妹達に将来への夢を託して、真心のこもった手紙を書き送っている。吉田松陰が家族に残した手紙、家族への遺訓を丁寧に解説。実際の手紙をはじめ、関連する図版を多数収録。

小林祥次郎　著　978-4-585-28021-7（2015年8月）

遊びの語源と博物誌　四六判・並製・264頁・1800円

じゃんけん、すごろく、はったり、おいらん……。こどもの遊びから賭博や遊郭にまつわる言葉まで、日常のなかにひそむ「遊び」の語源と歴史をご紹介。コトバから探る日本人の智恵とユーモア。

岡崎由美　松浦智子　訳　978-4-585-29101-5（上巻）／978-4-585-29102-2（下巻）（2015年6月）

完訳　楊家将演義　上巻　四六判・上製・346頁・2700円／下巻　四六判・上製・304頁・2700円

「三国志演義」「水滸伝」と並ぶ、中国英雄譚『楊家将演義』。中国では京劇やテレビドラマで定番となっており、老人から子供まで幅広く知られている。楊業一族の悲哀と活躍の物語を本邦初完訳。『楊家将演義』も同時刊行。

岡崎由美　松浦智子　編　978-4-585-29103-9（2015年6月）

楊家将演義　読本　四六判・上製・326頁・2400円

「三国志演義」「水滸伝」と並ぶ、中国の英雄譚『楊家将演義』解説本。『楊家将演義』という物語の来歴、物語の舞台となった時代、京劇の演目としての広まり、そして各視点から見た『楊家将演義』の解説を収録。

小林祥次郎　著　978-4-585-28018-7（2015年4月）

仏教からはみだした日常語　語源探索　四六判・並製・224頁・1800円

律儀、道楽、自業自得に四苦八苦……。何気なく口にしている日常のことばのルーツに実は仏教が隠れていた！　ことばの持つ本来の意味をずらしながら、自在に使い慣らしていく日本人のエスプリを垣間見る語源探訪エッセイ。

加瀬英明　著　978-4-585-22116-6（2015年3月）

昭和天皇の戦い　昭和二十年一月〜昭和二十六年四月　四六判・上製・480頁・2800円

終戦の1945年から、マッカーサーが日本を離れる1951年まで、昭和天皇をはじめ、宮中、皇族、政府、軍中枢はどのように動き、未曾有の事態に対応したのか。日本最大の危機に立ち向かった人びとの姿を克明に描きだす。

芹沢光治良　著／勝呂奏　解説　978-4-585-29086-5（2015年3月）

芹沢光治良戦中戦後日記　四六判・上製・560頁・3200円

1941年から1948年まで、『人間の運命』の作家が残した日記を初公開。〈人類はまだ幼年期を脱したのにすぎない。絶望することはない〉（昭和二十年八月十日）。戦中戦後の日本知識人の暮らしと思いを知る貴重な資料。

ラシャムジャ　著／星泉　訳　978-4-585-29085-8（2015年1月）

チベット文学の新世代　雪を待つ　四六判・上製・352頁・3200円

村長の息子であるぼく、やんちゃな洟たれ小僧タルペ、お姉さん肌のしっかりものセルドン、化身ラマとなったニマ・トンドゥプ。チベットの村で育った子供たちの過去の思い出と現在の苦悩を描く、新しい世代による現代小説。

岡本恵徳　高橋敏夫　本浜秀彦　編　978-4-585-29087-2（2015年1月）

新装版　沖縄文学選　日本文学のエッジからの問い　A5判・並製・432頁・2600円

「近代」、「アメリカ統治下」、「復帰後」、「90年代以降」と、4つに区分した時期の中で、特に重要な作品を厳選。山之口貘の詩から、芥川賞受賞作4作品を含む36篇に加え、作家書き下ろしのコラムも所収。

後藤裕也　小林瑞恵　高橋康浩　中川諭　著／中塚翠涛　題字　978-4-585-29078-0（2014年10月）

武将で読む　三国志演義読本　四六判・上製・450頁・2700円

中国の四大奇書のひとつを、〈呂布・関羽・趙雲・張遼・許褚・呂蒙・陸遜〉の視点から読む。名場面、人物の詳細な紹介や、武将図絵や地図、武将相関図など資料も充実。初心者から研究者まで、『三国志演義』を読むための必携本！

中野幸一　著　978-4-585-29057-5（2013年7月）

フルカラー　見る・知る・読む　源氏物語　A5判・並製・256頁・2200円

大和絵や錦絵、豆本・カルタ・双六・絵入本などの貴重な資料から見る『源氏物語』の多彩な世界。『源氏物語』の構成・概要・54帖のあらすじ・登場人物系図なども充実。『源氏物語』をもっと深く愉しめるコラムも満載！

莫言　著／立松昇一　訳　978-4-585-29072-8（2014年7月）

莫言傑作中短編集　疫病神　四六判・上製・320頁・2800円

「中華全省われが一番“狂”なり」（莫言）疫病神と呼ばれる整形“美人”が饒舌に語る、国境沿いの村で繰り広げられた己の出生譚とは――。初邦訳作品を含む全11篇を収めた日本オリジナルのアンソロジー。

佐野光雄　絵と文　978-4-585-24006-8（2014年8月）

ポケットブック　富士山の草花　B6判変形・並製・172頁・1200円

富士山のふもとに咲く野の花154種をフルカラーイラストとともに解説。名前の由来、特徴、似ている植物との見わけかたなど、世界遺産・富士山の草花を愛情を込めて紹介する。

堀切実　木原豊美　著　978-4-585-29504-4（2014年6月）

金子みすゞ再発見　新しい詩人像を求めて　四六判・上製・358頁・2800円

海のかなたに、空のはてに、夢と現実を重ねた“さびしい詩人”金子みすゞ。その人間像に実証的に迫りつつ、作品を丁寧に分析し、その詩の真の価値を童謡史・近代文芸史のなかに位置づける。

三浦勝也　著　978-4-585-28014-9（2014年6月）

近代日本語と文語文　今なお息づく美しいことば　四六判・上製・288頁・2500円

学校の校歌、手紙の文章、新聞記事等々…。戦後の国語改革で否定されてきた文語文が、なぜ、いまなお人びとの言語生活のなかに息づいているのか。古いことばの格調の高さがもつ魅力と、その意外な効果を明らかにします。

小林祥次郎　著　978-4-585-28013-2（2014年4月）

人名ではない人名録　語源探索　四六判・並製・232頁・1800円

日本語では、人名から派生したことば、人名になぞらえたことばが、さまざまな場面で使用されている。八百長、出歯亀、土左衛門、文楽、助兵衛、元の木阿弥…。知っているようで、実は知らない目からウロコの語源の数々をご紹介。

ペマ・ツェテン　著／チベット文学研究会　編／星泉　大川謙作　訳　978-4-585-29063-6（2013年12月）

チベット文学の現在　ティメー・クンデンを探して　四六判・上製・416頁・3000円

近代化による新しい文化と、伝統的な文化の狭間で揺れながら生活する若者たちの「いま」を描く、チベット現代作家の作品集。役者を探す旅に出た映画監督の放浪劇である表題作など、本邦初紹介の11作品を収める。

トンドゥプジャ　著／チベット文学研究会　編訳　978-4-585-29044-5（2012年11月）

チベット現代文学の曙　ここにも激しく躍動する生きた心臓がある　四六判・上製・480頁・3600円

チベットではじめて現代文学を生みだし、若くして自ら命を絶った伝説の作家、トンドゥプジャ。人びとの喜びや哀しみを丹念に描きだすその作品群は、物語を語る情熱と創造の気概にあふれ、世界でも類を見ない瑞々しさにあふれている。

沈従文　著／小島久代　訳　978-4-585-29059-9（2013年12月）

辺境から訪れる愛の物語　沈従文小説選　四六判・上製・400頁・2800円

透き通った視線で男女の普遍を描き、辺境の物語を紡いだ文豪の傑作集。大らかな愛を謳いつづけた沈従文（1902-88）。不遇の時代を越えてノーベル文学賞候補ともなったその作品群から、日本初翻訳6篇を含め全9篇収録。

秋山駿　勝又浩　監修／私小説研究会　編　978-4-585-29561-7（2013年10月）

コレクション私小説の冒険　第２巻　虚実の戯れ　四六判・並製・304頁・1800円

私小説という形式から生まれた、先鋭的な小説をここに集成。私小説は日本人が作り上げてきた誇るべき文学の一様式である。それは、事実でも虚構でもなく、そのあわいにあって読者を惑わす。入手困難だった作品も多数収録。

秋山駿　勝又浩　監修／私小説研究会　編　978-4-585-29560-0（2013 年 9 月）

コレクション私小説の冒険　第１巻　貧者の誇り　四六判・並製・296頁・1800円

つらい貧しさから、明るい貧しさ、そして気高き貧しさまで。苦しい日常こそが、人の生き方を輝かせる。日本文化のなかに確たる位置を占めている私小説が、いかに人生について豊饒な世界を見せているかを明らかにするアンソロジー。

志村有弘　盛厚三　編　978-4-585-29052-0（2013 年 6 月）

中戸川吉二作品集　A5判・上製・500頁・9800円

芥川龍之介らが激賞し将来を嘱望されながら、若くして創作の筆を断ち、活動期間の短さから、いつしか「幻の作家」となっていた中戸川吉二の作品集。「イボタの蟲」など代表作を厳選し、関係写真、年譜、参考文献等を付す。

詩と詩論研究会　編　978-4-585-29503-7（2013 年 1 月）

金子みすゞ 女性たちのシンパシー　四六判・上製・240頁・2400円

みすゞの詩には「可愛らしさ」「癒し」だけでなく、「孤独」「女の子としての悲しみ」など様々な思いが込められている。清らかさの向こう側に隠されているものを女性ならではのデリケートな感性ときめ細かな分析で探り出す。

桑島道夫　編　978-4-585-29521-1（2012 年 9 月）

中国新鋭作家短編小説選　９人の隣人たちの声　四六判・上製・384頁・2800円　※在庫僅少

90 年代以降にデビューした若手作家の作品を中心に、カフカ的不条理、マジック・リアリズム、ハードボイルドタッチから村上春樹の影響下の作品まで、日本からもっとも身近な“世界文学”を味わう珠玉のアンソロジー。

歴史と文学の会　編　978-4-585-29035-3（2012 年 8 月）

新視点・徹底追跡　方丈記と鴨長明　四六判・上製・312頁・2800円

鴨長明は見聞・遭遇した天災地変を克明に記し、その折々の「たがひめ」（くい違い、つまずき）を吐露し、方丈の庵での心に適した生活を語る。『方丈記』成立 800 年の節目に『方丈記』をあらゆる角度から論じる。

山口泉　著　978-4-585-29029-2（2012 年 3 月）

原子野のバッハ　被曝地・東京の三三〇日　四六判・上製・544頁・3800円

ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・水俣・チェルノブイリの後に、なぜフクシマは起こったか？　「この世の終わり」の後の日本で、いま人が真に携えるべきものとは？　“ポスト・フクシマ”を生きる思想。

芹沢光治良　著　978-4-585-29025-4（2012 年 2 月）

巴里に死す　四六判・並製・296頁・1800円

ノーベル賞候補作にも挙げられ、フランスをはじめヨーロッパ各国で高い評価を受けた代表作を、著者自身が最後に校閲した最良のテキストを用いて復刊。詳細な解説と関連資料を付す。

楊絳　著／桜庭ゆみ子　訳　978-4-585-29019-3（2011 年 7 月）

別れの儀式　楊絳と銭鍾書　ある中国知識人一家の物語　四六判・上製・296頁・3200円

家族の愛と生、そして死を、ユーモアを交えた静謐な文体で描きだす。日中戦争、文化大革命にいたる様々な政治運動を乗り越え、したたかに、しなやかに生き抜いた一家 3 人の物語。中国稀代のエッセイスト・楊絳のベストセラー。

小林祥次郎　著　978-4-585-28004-0（2011 年 7 月）

くいもの　食の語源と博物誌　四六判・並製・284頁・1600円

天麩羅・鮨・おでんにかまぼこ・蕎麦・ちくわから餃子にハヤシライスまで。身近な食べ物の語源を辞書・随筆ほか諸文献から博捜。日本人の知恵と感性を味わう。

大角修　著　978-4-585-29012-4（2011 年 2 月）

イーハトーブ悪人列伝　宮沢賢治童話のおかしなやつら　四六判・並製・256頁・2000円

「カムパネルラが川へはいったよ」「クラムボンは殺されたよ」。幻想的で美しい景色にひそむ鋭い悪と汚辱の罪を炙りだす。賢治童話でおなじみの「おかしなやつら」総出演の、可笑しくも哀しい世界。

石川洋　著　978-4-585-21005-4（2011 年 1 月）

やるなら決めよ　決めたら迷うな　四六判・並製・176頁・1000円

あなたが、人間関係に疲れたとき、子育てに悩んだとき、仕事がうまくいかないとき生きる力を失ったとき…。そっとこの本を開いてみてください。きっと乗り越える光が見えてくるはずです。

志村有弘　編　978-4-585-22012-1（2010 年 12 月）

戦国残照　お江とその時代　四六判・並製・192頁・1200円

歴史と文学をつなぎ、崇源院・お江と彼女の生きた時代を浮き彫りにする。弱者は強者に従う。これが、戦国時代の宿命である。お江の時代は、まさに戦国残照という名称がふさわしい。

篠沢秀夫　著　978-4-585-28003-3（2010 年 11 月）

美しい日本語の響き　母国語を知り、外国語を学ぶためのレッスン　四六判・上製・208頁・1600円

日本語に親しんでいる私たちが外国語を学ぶとき、一番の基本になるのは「発声」である。教師生活 40 年、難病と闘い声を失った篠沢教授が、どこまでもわかりやすく、明るく教鞭をとる。

詩と詩論研究会　編　978-4-585-29502-0（2012 年 8 月）

金子みすゞ　愛と願い　四六判・上製・320頁・2800円

東日本大震災直後、テレビから流れたみすゞの詩が、暗い日本人の心にどんなに強い励ましを与えたことか計り知れない。評論のみならず、詩・短歌・俳句・小説・戯曲・墨絵など、さまざまな手法で金子みすゞの世界を表現する。

詩と詩論研究会　編　978-4-585-29501-3（2011 年 3 月）

金子みすゞ　み仏への祈り　四六判・上製・224頁・2000円　※在庫僅少

優しさに満ちたみすゞのまなざしは、生きとし生けるもののかなしみを見つめている。おのずからあきらめと描く浄土への想い、み仏の心へといざなわれる詩人の魂。魚や鯨や小鳥や虫や海や空…。空想ははてしなく広がってゆく。

詩と詩論研究会　編　978-4-585-29500-6（2010 年 9 月）

金子みすゞ　永遠の抒情　四六判・上製・256頁・2400円

金子みすゞの文学抒情性はどこにあるのか。研究者・小説家・詩人・俳人が結集し、その詩のうちにある〈永遠なるもの〉を解明する。みすゞの詩をテーマにした挿画、小説も収録したユニークな論集。

詩と詩論研究会　編　978-4-585-05409-2（2009 年 3 月）

金子みすゞ　こだまする家族愛　四六判・上製・224頁・2400円

家族への愛、両親への思い、故郷への思い…。金子みすゞの描く家族愛を、様々な作家、また彼らの作品と比較することにより、いっそう鮮やかに浮かび上がらせる。夭折の作家・金子みすゞの家族愛に迫る。

詩と詩論研究会　編　978-4-585-05408-5（2009 年 3 月）

金子みすゞ　母の心 子の心　四六判・上製・224頁・2400円

母・父への追慕、命を賭した我が子への思い――　母に愛されたかった幼少時代。亡き父への追慕、命を賭して守った我が子。みすゞにとって「家族」とは何だったのか…。みすゞの家族愛を多角的に論じる。

志村有弘　著　978-4-585-10367-7（2002 年 11 月）　べんせいライブラリー 青春文芸セレクション

金子みすゞと清水澄子の詩　新書判・並製・288頁・1000円

「大漁」など日本人の心に残る美しい童謡を書いた薄幸の詩人・金子みすゞ。名作『ささやき』の作者・清水澄子。ふたりの夭折した天才文学少女、みすゞと澄子の詩を再読する。

立松和平　著　978-4-585-29000-1（2010 年 3 月）

遊行日記　四六判・上製・344頁・1800円

「何も心配ないからね。眠りたいだけ眠りな。何も心配ないから」中国から帰還した父のこと、病の床にある母のこと、仏の教え、自然の叡知、そして多くの友のこと…。急逝した著者が残した最後のメッセージ。

立松和平　著　978-4-585-05418-4（2010 年 2 月）

織田信長　『信長公記』紀行　四六判・上製・264頁・2200円

日本史上に巨大な足跡を残した天才児、織田信長。その唯一最も信頼できる資料である『信長公記』を読み解き、桶狭間から本能寺まで史跡を歩く。信長の生涯と思想を丹念な取材と作家的想像力を駆使して再構築する紀行評伝。

立松和平　著　978-4-585-05405-4（2008 年 12 月）

日光　四六判・上製・264頁・1800円

生きよという声が響いてきた――　日光の山河を舞台に、古代の勝道上人から現代まで、自然とともに生きる人々の姿を鮮やかに描く。生命と自然への讃歌を高らかに歌い上げる、立松文学の結晶。

志村有弘　編　978-4-585-05438-2（2009 年 11 月）

江戸川乱歩　徹底追跡　A5判・並製・344頁・2000円

いまなお絶大な人気を誇る江戸川乱歩。その全作品と創作活動を解説。「名作案内」「関連人物」「随筆・日記」「架空対談」など様々な切り口で、妖しくも楽しい乱歩の迷宮にいざなう。「年譜」「参考文献目録」など基本資料も充実。

志村有弘　編　978-4-585-05439-9（2009 年 11 月）

坂本龍馬と幕末動乱の時代　A5判・並製・256頁・2000円

西郷、武市、桂ら同志たちとの関係、乙女とおりょうの関係から、龍馬の剣はどれほど強かったのか、海援隊士たちのその後の運命など、龍馬や関連人物、事件について詳説。龍馬の生きた時代とその生涯を総覧する。

結城雅秀　著　978-4-585-05416-0（2009 年 5 月）

シェイクスピアの生涯　四六判・上製・400頁・2900円

裁判や訴訟記録、商業的取引や不動産売買、融資締結に関する記録、家族の宗教的背景に関する記録、当時生きていた人々の書き記した日記、記録、手紙などの新資料を駆使し、従来のシェイクスピア像を覆す新解釈を提示する。

志村有弘　編　978-4-585-29004-9（2010 年 5 月）

山頭火　徹底追跡　A5判・並製・240頁・2000円

その文学観、死生観、故郷や父母、酒への想いに迫る多数の論考に、金子兜太、片岡鶴太郎の特別インタビューをあわせる。山頭火との架空対談や小説、随想もおさめ、多方面からその魅力に迫る充実の一冊。

平泉澄　著　978-4-585-05404-7（2008 年 11 月）

山彦　四六判・並製・256頁・1200円

日本中世史研究の業績で知られ、独自の史観を確立して戦前から戦中にかけて東京帝国大学文学部国史学科教授として多くの子弟を育てた平泉澄。戦後の恬淡とした境地をつたえる、その嘉言に満ちた珠玉の文章を読み直す。

横尾忠則　著　978-4-585-05337-8（2007 年 6 月）

悩みも迷いも若者の特技だと思えば気にすることないですよ。皆そうして大人になっていくわけだから。ぼくなんかも悩みと迷いの天才だったですよ。悩みも迷いもないところには進歩もないと思って好きな仕事なら何でもいい。見つけてやってください。　A5判・上製・400頁・2800円

秋山忠彌　著　978-4-585-05369-9（2007 年 3 月）

江戸文人の嗜み　あそびの詩心・歌心　四六判・上製・432頁・3500円

たのしみは心にうかぶはかなこと　思いつづけて煙草すふとき　橘 曙覧江戸に生き、江戸を愛した風流人たち。酒、煙草、男、女、夢、そして老い…。さまざまな風物を詠みこんだ詩・歌・句に映し出される人間模様。

藤野幸雄　著　978-4-585-05362-0（2006 年 4 月）

決闘の話　四六判・上製・240頁・1800円

ヨーロッパ決闘史から読む人間の性。決闘にまつわる話ほど愚かで面白い話はない。同時にこれほどまで人間の心理と行動の背反をつきつける話も少ない。

北影雄幸　著　978-4-585-21532-5（2017 年 1 月）

尋常小学『国史』が教えた愛国心　四六判・並製・320頁・2000円

健全な祖国愛とは何か？　誇り高く不屈の日本人の精神と、健全な愛国心を培った『国史』には何が書かれていたのか？　いま、日本人の生きてきた歴史とアイデンティティーを取り戻す！

北影雄幸　著　978-4-585-21531-8（2016 年 2 月）

外国人が記録した幕末テロ事件　四六判・並製・240頁・1800円

尊王攘夷思想が吹き荒れた激動の時代、外国人たちは数々の襲撃事件や争乱を通して、日本の愛国心と忠誠心を身を以て体験することになる。当時日本に滞在していた外国人の手記・記録を読み解くことで日本人の愛国心を知る。

北影雄幸　著　978-4-585-21530-1（2015 年 7 月）

空は一片の雲を留めず　麦の穂青し　愛と感謝と哀しみの特攻　四六判・並製・224頁・926円

世界の戦死者の中で、特攻隊員ほど多くの遺書・遺稿を残した兵士はいないとされています。人類にとってもっとも重要な文化遺産のひとつである、特攻隊員たちの書き残した遺書・遺稿を丹念に読み解き平和への礎とする。

北影雄幸　著　978-4-585-21527-1（2014 年 11 月）

吉田松陰の主著を読む　四六判・並製・196頁・1800円

自立自尊の誇り、奔騰する士魂！　維新の原動力になった松陰の思想信条を明確に読み取る。『将及私言』『幽囚録』『士規七則』『七生説』『松下村塾記』など、松陰の主著 20 点について解説。松陰の動向を追う貴重資料。

北影雄幸　著　978-4-585-21528-8（2014 年 11 月）

吉田松陰の愛読書を読む　四六判・並製・216頁・1800円

先人に学び、先人を越える！　愛読書から得たものと批判の対比から、独自の松陰思想が鮮明に浮上する。松陰の愛読書を「尊王論・国史・水戸学・陽明学・山鹿流兵学」に区分して、そこから松陰思想を解説。

北影雄幸　著　978-4-585-21522-6（2013 年 5 月）

国体　十冊の名著　四六判・並製・272頁・1800円

日本の国体は、家族愛、郷土愛から祖国愛、人類愛までも育てあげる日本民族の清冽にして広大無辺な愛の賛歌である。『軍人勅諭』『教育勅語』『戦陣訓』『国民道徳要領』『宣戦の大詔』『大東亜秩序建設』など国体論を総覧。

北影雄幸　著　978-4-585-21521-9（2013 年 5 月）

尊王　十冊の名著　四六判・並製・256頁・1800円

現代における尊王とは、祖国の歴史と文化と伝統を振り返り、日本精神・大和魂を呼び戻すことである。「勝ち抜いて、誇りある国、日本を取り戻す」とは、民族のアイデンティティーとしての日本を取り戻すことに他ならない。

北影雄幸　著　978-4-585-21523-3（2013 年 9 月）

修身　尋常小学校教科書に学ぶ　四六判・上製・256頁・2500円

戦前の小学生達が学んだ『修身』の教科書を紐解き、日本人の夢や希望や祈りを改めて検証。人々が暮らす郷土とその四季の美しさを伝え、郷土愛、祖国愛を育んだ『修身』から、21 世紀の日本人が持つべき個性と誇りを学ぶ。

北影雄幸　著　978-4-585-21519-6（2013 年 2 月）

男の風格　「山本周五郎」を生きる　四六判・並製・248頁・1800円

いかなる時にも愛をつらぬき、強きに屈せず、不動の信念に生きる。『赤ひげ診療譚』『さぶ』ほか、山本周五郎の傑作から、理想の男性像を浮彫にする。混迷を深める現代において、堂々と生きるために必要な「風格」を学ぶ。

北影雄幸　著　978-4-585-21520-2（2013 年 2 月）

女の気品　凛として生きる　四六判・並製・240頁・1800円

苦しみを勇気に！　悲しみを希望に！　新島八重子をはじめ、強さに裏打ちされた本当の優しさを持った女性たち。動乱の世を美しく生き抜いた彼女たちの記録から、現代人にも必要とされる「気品」を学ぶ。

北影雄幸　著　978-4-585-21517-2（2013 年 1 月）

名著　葉隠の精神を読む　四六判・並製・192頁・1500円

「一生忍びて思ひ死にするこそ、恋の本意なれ」「恋の至極は忍ぶ恋」であると『葉隠』は極言する。日本人の誰もが持つ美意識の、高純度結晶体＝武士道美学、この独特の純粋思考が日本人の通奏低音になって流れている。

北影雄幸　著　978-4-585-21518-9（2012 年 11 月）

武士道　十冊の名著　四六判・並製・280頁・1800円

『五輪書』『葉隠』など、名著として定評のある十冊を選定し、各書の主題をできるだけ簡潔かつ鮮明に浮き彫りにする。明日を切り拓く、武士道の精華ともいうべき雄渾な文章。

北影雄幸　著　978-4-585-21511-0（2012 年 7 月）

特攻隊員の手記を読む　四六判・並製・360頁・2500円

特攻隊の真実の姿を知るための最善の方法は、彼らの手記を読むことである。数多の手記を様々な角度から分析、特攻志願から出撃に至るまでの彼らの心の軌跡を検証。死を賭けて守らんとしたものの実相を明らかにする。

北影雄幸　著　978-4-585-21516-5（2012 年 7 月）

自衛官のための武士道入門　四六判・並製・244頁・1800円

古代の防人、中世の武士、近代の軍人たちに共通する「武士道」精神。自衛官、警官、アスリート、企業経営者…。現在を生きる全ての戦闘者たちにおくる、渾身の書き下ろし。

北影雄幸　著　978-4-585-21510-3（2012 年 3 月）

桜と武士道　四六判・並製・208頁・1400円

桜の美を知るとは日本人の心の美しさを知ることでもある。そして武士道とは、散る桜の潔さを称えた散華の美学にほかならない。桜こそ日本の歴史と文化と伝統を象徴するにふさわしい国華である。

北影雄幸　著　978-4-585-21509-7（2012 年 3 月）

桜と特攻　四六判・並製・288頁・1800円

祖国が滅亡の危機に瀕した時、若者たちはためらいもなく桜の詩情の中に散って征った。特攻隊の若者たちが心の中に堅持した桜の美学。桜の美学とは散華の美学であると同時に再生の美学でもあった。

北影雄幸　著　978-4-585-21515-8（2012 年 3 月）

教師のための武士道入門　四六判・並製・224頁・1500円

武道必修化は、体育教師にのみ課せられた問題ではありません。中学校の全教師は、柔道・剣道といった武道の実践はしなくても、武道の根底にある武士道精神とは何かを理解しておくべきです。（「まえがき」より）

北影雄幸　著　978-4-585-21512-7（2012 年 1 月）

サムライアスリート魂　葉隠に学ぶ心技体　四六判・並製・224頁・1000円

より速く、より高く、より強く!!　錬成刻苦の日々を重ねて、全身全霊勝負に挑む激闘、死力を尽くせば感動の嵐澎湃として起こる！　清く正しく強くあれ！　にっぽん！　2012 年オリンピック年に甦れ日本！

北影雄幸　著　978-4-585-21508-0（2011 年 6 月）

予科練　特攻隊員の遺書　四六判・上製・384頁・3600円

やるとなれば断乎としてやる。国家と国民のために尽くしたいという強い使命感、責任感。その祖国愛、郷土愛がある限り、日本は決して滅びはしない。いまこそ、予科練の勇気に学ぶ！

北影雄幸　著　978-4-585-21502-8（2011 年 6 月）

大丈夫の美学　四六判・上製・256頁・2400円

四書五経はもとより、武士道美学の形成に大きな影響を与えた古代中国思想の名文句を網羅し味読して、志操堅固、質実剛健、大度宏量といった男の美学すなわち武士道精神の淵源を理解し、その精神の核心を会得する。

北影雄幸　著　978-4-585-21506-6（2011 年 6 月）

特攻　十冊の名著　四六判・上製・224頁・2000円

若者たちの自己犠牲の崇高な精神が歴史を作った！　危難にあって、愛する者、弱きものを助けないでいられるだろうか。彼らの遺書は、愛する者への別れの言葉、父母への感謝、美しい故郷の山河への思いを綴っている。

北影雄幸　著　978-4-585-21503-5（2011 年 6 月）

武家女性の美学　四六判・上製・256頁・2400円

女性の美しさは容姿ではなく、心の美しさにある。もの静かな中にもきりりとした威儀をそなえ、凛乎とした生き方を貫く女性こそ理想像であった。男女とも七歳にして切腹の儀礼を稽古した武家の教育は今の世に何を教えるのか。

北影雄幸　著　978-4-585-21504-2（2011 年 6 月）

BC 級戦犯の真実　四六判・上製・432頁・3600円

死刑を宣告された軍民の受刑者たちは、君国のため正々堂々と戦い、顧みてやましいことなし、戦争犯罪人とは皆、祖国愛の最も高かった人々である、従容として刑に服し最期を遂げた人びとの最後の行いと言葉に耳を澄ませる。

北影雄幸　著　978-4-585-21507-3（2011 年 6 月）

六大学　学徒出陣の特攻　四六判・上製・384頁・3400円

祖国日本が助けを必要としている。我等がやらずに誰がやる！　ペンを持つ手に銃を取り、祖国の要請に全力で応えた青春！

北影雄幸　著　978-4-585-21500-4（2011 年 6 月）

武士道の美学　四六判・上製・288頁・2400円

忠と義のため一所懸命、死をも乗りこえ目的を完遂する覚悟を鍛えあげた武士道こそ、日本精神の中核となる倫理であり美学であって、日本人の行動原理や行動美学の基本となっている。

北影雄幸　著　978-4-585-21514-1（2012 年 2 月）

幕末　十冊の名著　四六判・並製・224頁・1500円

坂本竜馬、勝海舟、西郷隆盛、吉田松陰…。幕末維新の英傑たちが書き、読んだ名著から、変革期を生き抜き、現代日本の礎を築いた志士たちの精神史が見えてくる。苛酷な現代を生き抜くために格好の一冊。

北影雄幸　著　978-4-585-21513-4（2012 年 2 月）

戦国　十冊の名著　四六判・並製・224頁・1500円

武士たちは何を読み、何を信条に生きぬいたのか。弱肉強食の時代において、武田信玄は、上杉謙信は、織田信長はどのような生き様を見せたのか。そして武士道の真髄とは何か。戦国時代を描いた名著を紐解く。

北影雄幸　著　978-4-585-21501-1（2011 年 6 月）

戦国武将の美学　四六判・上製・272頁・2400円

「恥を知る」「名こそ惜しけれ」とか「げに潔し」といった戦国武将の心映えを象徴する言葉は心に綺羅を飾るということを前提としていた。自らの全存在を賭けた迫真の言葉、命の言葉から現代のリーダーは何を学ぶべきか。

北影雄幸　著　978-4-585-21505-9（2011 年 6 月）

外国人が見たカミカゼ　四六判・上製・432頁・3600円

この手で愛する人を守りたい。今、よみがえるカミカゼ精神！　日本人の美事さを世界は知った。かつて連合軍将兵が絶賛した特攻隊の勇気と自己犠牲。その崇高な精神を現代に伝える。

編集部　編　978-4-585-20710-8（2017年3月）　書物学10

書物学　第10巻　南方熊楠生誕150年

B5判・並製・96頁・1500円

いまなお人びとを魅了してやまない博物学者・南方熊楠。彼の読書体験の実態は如何なるものであったのか。熊楠をめぐり、人びとと書物はどのように動いたのか。「知の巨人」との対話の最前線から見えてきた新たな側面を紹介。

編集部　編　978-4-585-20709-2（2016年10月）　書物学9

書物学　第9巻　江戸の欲望／江戸という欲望

B5判・並製・112頁・1500円

今なお現代の憧憬をあつめる、遥かなる江戸。われわれは一体そこに何を見ようとしているのか？ 同時に、当時の人びとは何を創り出そうとしてきたのか？ 欲望が新たな世界像を作り出していく様相を複眼の視点から明らかにする。

編集部　編　978-4-585-20708-5（2016年8月）　書物学8

書物学　第8巻　国宝　称名寺聖教／金沢文庫文書

B5判・並製・96頁・1500円

2016年、国宝指定！　中世の息吹を現代に伝えるタイムカプセル、称名寺聖教／金沢文庫文書の魅力に迫る。そのほか、ゲスナーの書誌学的方法、「欧文活字」研究、製本技術についてなど、本にまつわる豊富な話題を提供。

編集部　編　978-4-585-20707-8（2016年3月）　書物学7

書物学　第7巻　医書の世界

B5判・並製・92頁・1500円

人間の「生きる」という根源的な願いとともに洋の東西を問わず医学知識は発展をしてきた。医学にまつわる「知」はいかにして書きとどめられ、伝播していったのか。医書の世界をかいま見ることで、その歴史の一端をたどる。

編集部　編　978-4-585-20706-1（2015年11月）　書物学6

書物学　第6巻　「書」が語る日本文化

B5判・並製・112頁・1500円

小特集では、短冊、古筆切、和刻法帖、書の売買資料など、これまで見過ごされてきた資料から「書」と日本文化の関わりに光を当てる。鼎談では、累代の博士家・清原家の営みを伝える貴重資料を多数紹介。

編集部　編　978-4-585-20705-4（2015年7月）　書物学5

書物学　第5巻　洋古書の愉悦

B5判・並製・96頁・1500円

シェイクスピアが種本として使用したホリンシェッド『年代記』、今なお西洋古書版の中心に位置する「アルド版」……。多くの貴重な書籍は、どのように出版・蒐集され、今に伝わったのか。洋古書の魅力にせまる。

編集部　編　978-4-585-20704-7（2015年2月）　書物学4

書物学　第4巻　出版文化と江戸の教養

B5判・並製・96頁・1500円

江戸時代、「教養」はどのように人々に浸透していったのか。いま改めて問われるべき政事と文学の関わり、日本文化における漢詩文の位置付け、文化財の保存と修補、そして料紙論まで、書物の世界を読み解く多様な視点を提供。

編集部　編　978-4-585-20703-0（2014年8月）　書物学3

書物学　第3巻　書物とエロス

B5判・並製・96頁・1500円

第3巻では小特集「エロスと書物」と題し、春本や男色、密教における性の問題を文化史上に位置づけるエッセイを収載。書物世界を闊歩する先達による連載も充実。ここでしか読むことの出来ない書物文化の世界への水先案内。

編集部　編　978-4-585-20702-3（2014年5月）　書物学2

書物学　第2巻　書物古今東西

B5判・並製・96頁・1500円

世界三大宗教の思想を伝える書物をはじめ、忍術書や艶本、アジア世界に生まれた擬似漢字による典籍、そして電子書籍まで、洋の東西を越え、古今の書物文化の海を航海する。

編集部　編　978-4-585-20701-6（2014年3月）　書物学1

書物学　第1巻　書物学こと始め

B5判・並製・96頁・1500円

これまでに蓄積されてきた書物をめぐる精緻な書誌学、文献学の富を人間の学に呼び戻し、愛書家とともに、洋の東西を隔てず、現在・過去・未来にわたる書物論議を展開する場として創刊。「書物の人間学」を構築する。

完全版　人間の運命　全18巻セット

芹沢光治良　著

2013年9月・978-4-585-29559-4・四六判・並製・合計5216頁・32400円

芸術選奨文部大臣賞・日本芸術院賞受賞作。世界に誇る大長編・大傑作の完全版を初公開！明治・大正・昭和の激動の世紀に、日本人はいかに苦難と苦悩の道を歩み、希望をつないできたか。時代の証言として描かれた近代精神史を、長く遺族の手元に残された著者訂正本を底本に、完全版として刊行。別巻となる17・18巻には関連性の高い中編2作に加え、刊行時の対談や最晩年の随筆など、『人間の運命』を別角度から照射する諸作品を収録。

人間の運命1　次郎の生いたち

2013年1月・978-4-585-29530-3・四六判・並製・368頁・1800円

序章となる本巻では、主人公・森次郎の誕生から、幼い頃の日々を描く。叔父・史郎の死を遠因に信仰に目覚め、全財産を捧げた父・常造は、母・兄とともに伝道師となり村を出る。残された次郎は、祖父母と2人の若い叔母と5人、苦しい生活を送ることになるが、貧困・悲哀・孤独は、次郎に幼い内から「人生とは何か？」について考えさせることになる…。

人間の運命2　親と子

2013年1月・978-4-585-29531-0・四六判・並製・272頁・1800円

両親と別れ、貧しい暮らしのなか育った次郎。成績のよかった彼は、「上の学校に進み世の中に裨益する人間になれ」と担任から励まされ、横須賀に住む海軍の軍人・内藤氏の支援を得て、沼津中学校に進学。生涯の友となる石田孝一と出会うことになる…。

人間の運命3　友情

2013年2月・978-4-585-29532-7・四六判・並製・256頁・1800円

「君が一高志望だって校長から聞いて、うれしかった。おたがいに頑張って、一度でパスしようや。一高へパスさえすれば、家庭から超越できるばかりでなくて、僕たちの前には、洋々たる未来が開けてくるからね。」漁村に買われてくる男児も、売られてゆく娘たちも次郎の友達だった。

人間の運命4　愛

2013年2月・978-4-585-29533-4・四六判・並製・272頁・1800円

次郎は小学校の代用教員として働いて蓄えをつくり、念願の一高進学を果たし、生涯の友と出会い、兄一郎や吉原を足抜けしたおさく、幼なじみの石田や周囲の人たちと交わりながら、少年から青年へと成長する。自身の貧困と孤独、信仰などの問題を深くみつめながら、文学へ目覚めてゆく。

人間の運命5　出発

2013年3月・978-4-585-29534-1・四六判・並製・288頁・1800円

明治の御代とともに佳き時代は終わり、米騒動・労働運動・産業革命により社会が変動するなか、旧家も土台から崩れはじめる。西欧の影響をうけた大正デモクラシーが世相を変えてゆく。苦学生次郎は帝大を卒業し農商務省に任官、農民の救済や社会改善に邁進するが…。

人間の運命6　失われた人

2013年3月・978-4-585-29535-8・四六判・並製・280頁・1800円

9月1日の大地震は、日本の社会を根こそぎ揺り動かし、次郎の運命をも狂わす大震災となった。大災害の惨状と混乱、政治や社会の混迷、復興計画と闇市経済など激変する社会情勢をの中で、次郎は留学を断念、加寿子との愛も終わり告げる。

人間の運命7　結婚

2013年4月・978-4-585-29536-5・四六判・並製・272頁・1800円

秋田勤務に幻滅、追い打ちする失恋。その苦境に、無償の愛で世界に目を向けさせる養父。この人こそわが父、と次郎は親子の契りを再認識する。役人仕事に見切りをつけ、パリ留学を決めて結婚。憧れの国フランスへ、自分の過去からの旅立ち…。

人間の運命8　孤独の道

2013年4月・978-4-585-29537-2・四六判・並製・280頁・1800円

ソルボンヌ大学に論文を提出するが、死病の肺結核を患う。妻との不和。スイス療養所での孤独な闘病生活、文学への傾斜。帰国した日本は深刻な不況と思想の暴風が吹き荒れていた。周囲に理解されない中で、次郎は経済的自立と文学への孤独の道をあゆむ。

人間の運命 9　嵐のまえ

2013年5月・978-4-585-29538-9・四六判・並製・272頁・1800円

昭和 5 年、経済恐慌は常態化し、都市には失業者があふれた。娘を売るほど地方は貧困にあえぎ、結核は容赦なく蔓延する。思想活動は活発化し、社会も家庭も個人も文化も激変。閉塞感が充満するなか、日本を揺るがす満洲事変が勃発した…。

人間の運命 10　愛と死

2013年5月・978-4-585-29539-6・四六判・並製・288頁・1800円

昭和 7 年、5・15 事件、犬養毅首相暗殺。経済統制、労働争議の頻発、軍国的な言論思想統制の拡大、未熟かつ腐敗する政党政治、没落する旧家、軋む家族の関係、マルキシズムに傾倒する若者たち、熾烈を極める弾圧と拷問…。結核や狂信的信仰に苦悩する若者たちの愛と死を描く。

人間の運命 11　夫婦の絆

2013年6月・978-4-585-29540-2・四六判・並製・288頁・1800円

死んだ父との真の親子の恩愛の絆、その深い喪失感。実母の悲しい生涯と死。岳父と妾たちとその子供たちの複雑な家庭を守った義母の死。次郎たち夫婦の危機をもかえりみて、夫婦の絆の空白を見つめる。2・26 事件後、時代は不安をいっそう色濃くしてゆく。

人間の運命 12　戦野にたつ

2013年6月・978-4-585-29541-9・四六判・並製・288頁・1800円

亡き義母のもとに残された兵隊たちの手紙は、戦闘にあけくれる中国の各地から、「お母さん」と絶叫するようだった。大陸視察で目にしたものは、輸送船に満載された日の丸を振る兵士たち、戦地で野獣と化した日本軍であった。緊迫する世界情勢、進む戦時体制、募る不安を描く。

人間の運命 13　暗い日々

2013年7月・978-4-585-29542-6・四六判・並製・304頁・1800円

1940 年フランス軍降伏、ロンドン大空襲、7 月米内内閣から近衛内閣に、和平の期待が高まる一方、9 月仏印進駐、日独伊軍事同盟条約調印、10 月大政翼賛会創立、11 月紀元 2600 年式典挙行。戦争の泥沼化、国民総動員体制下に徴兵・徴用される国民の暮し、心境を描く。

人間の運命 14　夜明け

2013年7月・978-4-585-29543-3・四六判・並製・280頁・1800円

日本中の都市は、米軍の「みな殺し作戦」により無差別爆撃される。3 月 9 日、130 機の B29 が 2 時間半、東京下町の住宅密集地区を無差別爆撃、消失戸数 20 万、罹災民 100 万、死者 10 万、浅草・深川・本所が全滅。焦土と化した東京から大挙疎開し耐乏生活に。本土決戦にそなえ強制労働。原爆、そして終戦――

人間の運命 15　再会

2013年8月・978-4-585-29544-0・四六判・並製・304頁・1800円

昭和 20 年暮、占領軍統治下の廃墟と化した東京に戻る。衣食住物資のすべてが欠乏、人心も荒廃、政治も社会も混乱と不安が充満するなか、占領政策の日本国再編成により社会は劇的変貌をとげてゆく。

人間の運命 16　遠ざかった明日

2013年8月・978-4-585-29545-7・四六判・並製・312頁・1800円

昭和 26 年、スイスでの国際ペン大会参加のため出国。敗戦国民は捕虜ゆえ、どの国でも旅券の給付をしぶる。国家とは何か、国籍とは何か。帰化人や留学生の外国での生き様、ペールの眠るスイス・モンテローザへの旅、フランスの親友との再会。愛知の鉄道建設に生涯をかけた岳父の死と相続問題、様々な人生。講和条約締結と日本の将来への憂慮。

人間の運命 17　別巻 1　愛と知と悲しみと

2013年9月・978-4-585-29546-4・四六判・並製・296頁・1800円

フランス留学中の親友ジャック・ルクリュは、夫人と別居して戦争と革命の中国に、北京大学教授として赴任。革命と戦争の世紀に翻弄された夫婦それぞれの思いと、西洋の夫婦の関係を交遊記録として描く。ジャックは中国作家巴金と共通の友であった。参考作品「失恋者の手紙」他、自伝エッセイを併収。

人間の運命 18　別巻 2　岡野喜太郎伝・解題・関連資料集

2013年9月・978-4-585-29547-1・四六判・並製・288頁・1800円

著者と同郷の篤志家であり、駿河銀行創業者となった人物の土着の信仰と思想、人生は、近代日本人の理想的典型であり、『人間の運命』という大伽藍の庭に建つべき銅像であった。参考作品「我入道」「信者」他、『人間の運命』関連エッセイを収める。

林白　著／池上貞子　神谷まり子　訳　978-4-585-29520-4（2012 年 7 月）　コレクション中国同時代小説 10

たったひとりの戦争　四六判・上製・400頁・3600円

一人の女性が自我に目覚めて成長していく過程を男性社会との戦争という角度から描く。女性としての自己の内面を徹底的に見据える作者の作風が確立された作品であり、中国のジェンダー文学の代表作の一つに数えられる。

李鋭　著／関根謙　訳　978-4-585-29519-8（2012 年 7 月）　コレクション中国同時代小説 9

旧跡　血と塩の記憶　四六判・上製・400頁・3600円

四川省の架空の町・銀城（岩塩生産で有名な自貢がモデル）を舞台に、国共内戦から文化大革命を経て、改革開放に至るまでの劇的な社会の変遷を、この地で塩業を営む大家族三代の歴史として描く大河小説。

方方　著／渡辺新一　訳　978-4-585-29518-1（2012 年 7 月）　コレクション中国同時代小説 8

落日　とかく家族は　四六判・上製・400頁・3600円

伝統的な道徳観や倫理意識が希薄になっている現代を背景に、肉親どうしの打算と愛憎と相克を、突き放した冷酷な筆致で客観的に描く『落日』のほかに、二世代の典型的な中国知識人の生涯を描く『父のなかの祖父』などを収録。

遅子建　著／竹内良雄　土屋肇枝　訳　978-4-585-29517-4（2012 年 7 月）　コレクション中国同時代小説 7

今夜の食事をお作りします　四六判・上製・400頁・3600円

女性記者は微妙な感情の行き違いから夫と喧嘩して家を出る。見知らぬ他人のために夕食を作ることで、どこの家庭にも問題があると知って夫婦間の誤解はとけるが…。表題作ほか 6 作品を収録。

王安憶　著／飯塚容　宮入いずみ　訳　978-4-585-29516-7（2012 年 7 月）　コレクション中国同時代小説 6

富萍　上海に生きる　四六判・上製・400頁・3600円

蘇北の田舎から上海に出てきた 18 歳のヒロイン富萍が、家政婦をしながら暮らすうちに都会の生活に慣れ、自立して幸福をつかむまでを描く。上海の地方出身者の日常を描く表題作のほかに短篇 3 作を収録。

劉慶邦　著／渡辺新一　立松昇一　訳　978-4-585-29515-0（2012 年 4 月）　コレクション中国同時代小説 5

神木　ある炭鉱のできごと　四六判・上製・400頁・3600円

『神木』は中国の格差社会を背景に、出稼ぎ労働者をだまして命をねらう炭鉱夫の文字通り命がけの厳しい生活を描く。映画化され 2003 年ベルリン映画祭銀熊賞を受賞して話題を呼んだ。ほかに中篇 1 作と短篇 6 作を収録。

蘇童　著／竹内良雄　堀内利恵　訳　978-4-585-29514-3（2012 年 4 月）　コレクション中国同時代小説 4

離婚指南　四六判・上製・400頁・3600円

5 人の男女が繰り広げる離婚騒動を通じて、混沌とした中国社会とそこに暮らす人々の虚無感を描く表題作のほかに、新中国成立によって強制的に解放された二人の娼婦のその後の人生を描く『紅おしろい』などを収録。

韓東　著／飯塚容　訳　978-4-585-29513-6（2012 年 4 月）　コレクション中国同時代小説 3

小陶一家の農村生活　四六判・上製・400頁・3600円

1969 年、南京から蘇北の農村に移住した作家・老陶とその家族の物語。老陶はこの村に「根を下ろす」べく、農民たちと同じように家を建て、樹木や作物を植え、家畜を飼う。息子の小陶も見聞を広げ、しだいに成長していく。

王小波　著／桜庭ゆみ子　訳　978-4-585-29512-9（2012 年 4 月）　コレクション中国同時代小説 2

黄金時代　四六判・上製・400頁・3600円

雲南の農村に下放した青年と女医の「ふしだら」な関係の顛末。逃走した二人は山中に隠れて暮らすが、やがて農場に戻り処分を受けた。20 年後、北京で再会した二人は…。台湾『聯合報』文学賞中篇小説大賞（1993 年）受賞作。

阿来　著／山口守　訳　978-4-585-29511-2（2012 年 4 月）　コレクション中国同時代小説 1

空山　風と火のチベット　四六判・上製・400頁・3600円

『空山』は 6 つの独立した物語によって、チベット族の村の 1950 年代から 1990 年代までの変遷をたどる大長篇。本書はこのうち、50 年代～文革期を舞台とした第 1 部「風に散る」「天の火」の 2 作品を収録している。

立松和平　著　978-4-585-01299-3（2015 年 1 月）　立松和平全小説　別巻

遺されたもの　A5判・上製・560頁・4500円

自らのルーツ「足尾」にこだわり続けた作家が、最期まで書き続けた『白い河　風聞・田中正造』。修行者の行跡と思想を遍く追求した絶筆『良寛』。市井の人々へ温かい眼差しを向け続けた作家の二つの遺著。

立松和平　著　978-4-585-01298-6（2014 年 11 月）　立松和平全小説 30

道の人２　A5判・上製・352頁・4500円

末法の世。誰もが救いを求める世に仏法の深遠を説き続けた曹洞宗の開祖・道元。やがて教えは『正法眼蔵』へと至り修行の聖地「永平寺」が建立される……。命を賭して仏法を世に弘めた晩年までを描く下巻。

立松和平　著　978-4-585-01297-9（2014 年 10 月）　立松和平全小説 29

道の人１　A5判・上製・352頁・4500円

曹洞宗の開祖・道元。道を求め続けた不屈の生涯をたどり、その「悟り」に迫る大長編。仏教に目を開く神童時代から、正師を求めて日本、そして中国を歩き続ける青年期まで、若き日の熱い魂を描く上巻。

立松和平　著　978-4-585-01296-2（2014 年 8 月）　立松和平全小説28

救世　A5判・上製・392頁・4500円

仏の心とは何か？　仏教をこの国に定着させ「慈悲」の心をもって政を行った日本史上の聖人、聖徳太子。波瀾万丈の人生を追いながら仏教の真髄とこの世の救いを問う、著者渾身の大河小説。

立松和平　著　978-4-585-01295-5（2014 年 6 月）　立松和平全小説27

晩年へ　A5判・上製・528頁・4500円

作家は先立つ友人・知人たちのために物語を綴り、密かにとむらい続けた――。周囲の友人・知人の最期を描写し、自らの生と死に向き合う連作「晩年」。他、「人生のいちばん美しい場所で」、「南極にいった男」を収録。

立松和平　著　978-4-585-01294-8（2014 年 4 月）　立松和平全小説26

生きていく「私」　A5判・上製・384頁・4500円

カメラマンの夫・栄一は家族を置いて世界を飛び回り、待ち続ける妻の日出子は離婚を決意する。離婚後の日出子の日常に巻き起こる試練とそこに寄り添う犬と猫。人生の哀しみと慰めを丹念に描く傑作長篇。

立松和平　著　978-4-585-01293-1（2014 年 2 月）　立松和平全小説25

生命への凝視　A5判・上製・384頁・4500円

日高山中で雪崩に巻き込まれた山岳部六人。雪の下で最期の時を待つことになった男は、愛する女性の遺体を抱きしめ、昏睡と目覚めを繰り返す。実際に起きた雪崩事故に材を取った表題作『日高』。他、『浅間』、『日光』を収録。

立松和平　著　978-4-585-01292-4（2014 年 1 月）　立松和平全小説24

おのれを信じて　A4判・上製・432頁・4500円

僧の衣に取り付いている「のみ」と「しらみ」。互いに罵り合い、助け合いながら、尊敬する上人と北へ南へ。仏道を虫の目からユーモラスに描く表題作『木喰』。他、『軍曹かく戦わず』、『寒紅の色』を収録。

立松和平　著　978-4-585-01291-7（2013 年 11 月）　立松和平全小説23

庶民列伝　A5判・上製・440頁・4500円

駆け出しの作家である私は、先輩作家・深沢七郎と寝食を共にしながら「小説書き競争」を行う。ラブミー牧場での日々を描く表題作など 6 編を収める連作集『ラブミー・テンダー』ほか『下の公園で寝ています』『不憫惚れ』を収録。

立松和平　著　978-4-585-01290-0（2013 年 9 月）　立松和平全小説 22

反権力という生き方　A5判・上製・400頁・4500円

最大規模の公害となった足尾鉱毒事件と戦う田中正造を描く『毒　風聞・田中正造』（1997 年度毎日出版文化賞）に、島原の乱を題材にキリシタンと封建秩序との戦いを描く長編歴史小説『奇蹟　風聞・天草四郎』を併せる。

立松和平　著　978-4-585-01289-4（2013 年 7 月）　立松和平全小説 21

父祖の地へ　A5判・上製・376頁・4500円

曾祖父をモデルに、何もかもが「豊か」になる未来を夢見て足尾銅山の再開発に挑んだ坑夫たちの姿を生き生きと描く長編『恩寵の谷』。鉱毒事件の闇を描いた『毒　風聞・田中正造』（全集第 22 巻収録）と対をなす畢生の大作。

立松和平　著　978-4-585-01288-7（2013 年 5 月）　立松和平全小説 20

もう一つの世界　A5判・上製・360頁・4500円

「システム」に管理された人類に滅亡の日がせまる…。環境破壊と人心の荒廃が進む近未来都市トーキョーを舞台に、体制に抗して戦い、あがき続ける「最後の一人」を描く著者唯一の SF 長編『沈黙都市』。ほかに『龍神』を収録。

立松和平　著　978-4-585-01287-0（2013 年 1 月）　立松和平全小説 19

周辺に立つ　A5判・上製・440頁・4500円

荒波押し寄せる漁場で、漁師の若者と幼馴染みの娘との恋愛を軸に、最北の地「知床」で、生死を賭けた仕事に携わる人々の生活を瑞々しく描いた『月光のさざ波』。短篇小説集『風月』も併せ収録。

立松和平　著　978-4-585-01286-3（2012 年 11 月）　立松和平全小説 18

愛の形　A5判・上製・368頁・4500円

放蕩の噂が絶えず、親戚中から疎まれていた大叔父。彼に呼び出された私は、世間から隔絶された古い民家で妖艶な姉妹と刹那の快楽を貪る日々を語る彼の話に、次第に惹きこまれていく…。『日溜まりの水』ほか 4 作品を収録。

立松和平　著　978-4-585-01285-6（2012 年 7 月）　立松和平全小説 17

母への憧憬　A5判・上製・336頁・4500円

小さな食料品店を営む母と、電気工事士の父が丁寧に並べる白い卵。貧しくとも暖かかった日本の家族の原型と母への追憶を描く『卵洗い』『母の乳房』の 2 作品に、青春時代の混沌と彷徨を再び描いた長篇『鳥の道』を収録。

立松和平　著　978-4-585-01284-9（2012 年 5 月）　立松和平全小説 16

永遠への旅立ち　A5判・上製・464頁・4500円

旅することと書くことは作家の中の修羅の表出であった。80 年代初頭のこの時期、作家は長年かけて追い求めた「境界」「周縁」というテーマにあえて背を向け、今なお未解決の主題である「精神の飢餓感」と対峙する。

立松和平　著　978-4-585-01283-2（2011 年 11 月）　立松和平全小説 15

越境者たち　A5判・上製・400頁・4500円

居場所をうしない境界を越えてしまった者たちのやり場のない絶望と虚無を描いた『彼岸の駅』『楽土の家』。一転して、人間の生の原点を見つめた『瑠璃の波』。「周縁」に生きる人びとの光と影を描いて好対照をなす三つの短編集。

立松和平　著　978-4-585-01282-5（2011 年 8 月）　立松和平全小説 14

ここより他の場所　A5判・上製・424頁・4500円

大都市近郊の悲劇を描いた「遠雷四部作」の達成を経て、さまざまな「境界」の存在を感得した作家が、野生（自然）と都市文明との衝突・対決を描くことで、「ここより他の場所」＝よりよき世界を求め続けた彷徨の記録。

立松和平　著　978-4-585-01281-8（2011 年 6 月）　立松和平全小説 13

境界を生きる４　農への思い　A5判・上製・400頁・4500円

豊かだった日本の負の象徴としての地方都市近郊。そこに生きる青年の悲喜劇を描いた『雷神鳥』に、カトレアのバイオ栽培に未来を託した青年を襲った突然の不幸を描いた『黙示の華』を併せる。えぐり出される農村の現実。

立松和平　著　978-4-585-01280-1（2011 年 4 月）　立松和平全小説 12

境界を生きる３　破壊される農　A5判・上製・400頁・4500円

時代に翻弄される人間に対する哀切を伴った熱い共感と、そのような人間を生み出し続ける社会への激しい憤り。状況の只中に自らを置き続けた作家が見つめる日本の「農」。

立松和平　著　978-4-585-01279-5（2011 年 2 月）　立松和平全小説 11

境界を生きる２　滅亡から救いへ　A5判・上製・512頁・4500円

物質的なものに踊らされる精神の悲劇を描き、「遠雷四部作」の後半を成す『性的黙秘録』『地霊』を収録。農業から〈自然〉へ、そして〈救済〉へと至る大きな視界を開き、立松文学の円熟をもたらした記念碑的長編小説。

立松和平　著　978-4-585-01278-8（2010 年 11 月）　立松和平全小説 10

境界を生きる１　解体する共同体・家族　A5判・上製・328頁・4500円

ひとびとが生を営む境界線上に現れた＜崩壊＞を予感し、時代の核心を射て書かれた『遠雷』。〈土〉を手放し、〈家〉から離れた人間の生は、本来的なものとして存在し続けることができるのか。前期立松文学の最高峰。

立松和平　著　978-4-585-01277-1（2010 年 10 月）　立松和平全小説 9

冒険に駆り立てられて　A5判・上製・500頁・4500円

ボクシング、パリーダカール・ラリー、肉体労働…。言葉＝小説を離れた肉体の現場で獲得した「生のリズム」を創作の現場に還元することで生まれた長篇群。『砂の戦記』『雨の東京に死す』『ダカールへ』。

立松和平　著　978-4-585-01276-4（2010 年 9 月）　立松和平全小説 8

歴史へのまなざし　A5判・上製・500頁・4500円

無限に存在する名も無き庶民の「歴史」に目を向け、挫折と絶望の体験を基底に小説化する。みずからの足下＝故郷に豊かな「神話と歴史」を発見し、矢継ぎ早に放たれた『天狗が来る』『二つの太陽』『贋 南部義民伝』。

立松和平　著　978-4-585-01275-7（2010 年 8 月）　立松和平全小説 7

昭和という時代　A5判・上製・500頁・4500円

自らのルーツである親たちが生きた時代を描くことで、戦後史を個人史として捉えなおすことに成功した『歓喜の市』。ライフワークとなった「足尾」を発見し、立松版『百年の孤独』をめざした『閉じる家』。

立松和平　著　978-4-585-01274-0（2010 年 7 月）　立松和平全小説 6

「戦後」のはじまり　A5判・上製・500頁・4500円

ささやかな「夢」＝よりよき「生」を願ってたくましく生きる父母の世代を描き、アナーキーな精気に満ちた時代を活写した『天地の夢』と短編集『野のはずれの神様』。歴史小説へと向かい始めた時期の、記念碑的作品群。

立松和平　著　978-4-585-01273-3（2010 年 6 月）　立松和平全小説 5

旅に棲んで　A5判・上製・500頁・4500円

だれもが貧しく、行き場もなく、苛立ちと焦燥を抱えていた時代、一組の男女の恋愛を、多彩な登場人物と自伝的エピソードで綴る青春小説『蜜月』。「旅」＝生きることと捉えた作家の初期長篇に、短篇群『雨月』をあわせる。

立松和平　著　978-4-585-01272-6（2010 年 5 月）　立松和平全小説 4

闘いの果て　A5判・上製・500頁・4500円

学生紛争の時代、大学のバリケード内で行われた伝説的なライブを題材に、疾走する若い精神をジャズ・ビートに乗せて描いた名篇「今も時だ」。連合赤軍事件に真正面から取り組んだ『光の雨』。時代を越えた立松文学の問いかけ。

立松和平　著　978-4-585-01271-9（2010 年 4 月）　立松和平全小説 3

異議ありの声　A5判・上製・536頁・4500円

「革命の季節」が溶解していく時代の声にならない叫びを描ききったはじめての長篇『光匂い満ちてよ』に、8 篇の多彩な短篇を収める。

立松和平　著　978-4-585-01270-2（2010 年 2 月）　立松和平全小説 2

惑いと彷徨　A5判・上製・500頁・4500円

家族をかかえ、どうにもならない状況で荒れ狂う精神をしずめることもできず何ものかから逃げ続ける日々。とりとめのない自由のなかで自分を見失ったぼくの惑いを描く「ぼくらの未来」など、初期の短篇作品 19 篇を収める。

立松和平　著　978-4-585-01269-6（2009 年 12 月）　立松和平全小説 1

青春の輝き　A5判・上製・392頁・4500円

処女作「溜息まじりの死者」のほか、ベトナム戦争下、沖縄のナイトクラブで働いた体験を描く文壇デビュー作「途方にくれて」など、最初期の作品を収録。立松文学の原形質がここにある。

早坂暁　著　978-4-585-01195-8（2010年9月）　早坂暁コレクション17

夢千代日記　四六判・上製・504頁・3200円

山陰の小さな温泉街。肩を寄せ合うように生きるひとびとの、哀しくも心温まる人間模様。早坂暁の最高傑作、テレビシリーズ全話を収録した決定版。

早坂暁　著　978-4-585-01194-1（2010年3月）　早坂暁コレクション16

東京パラダイス　四六判・上製・512頁・2800円

『ダウンタウン・ヒーローズ』状況後の世界を、文豪や超人気喜劇俳優、懐かしきボードビリアン、無政府主義者などなど、多彩な人物とともに描く、自伝的長編小説。

早坂暁　著　978-4-585-01193-4（2010年3月）　早坂暁コレクション15

ダウンタウン・ヒーローズ　四六判・上製・352頁・2400円

旧制松山高校を舞台に、個性溢れる“自称天才”たちが躍動する、最高に愉快でどこか懐かしく、やがて哀しき青春の記。同名映画も好評を博した、早坂暁の自伝的小説。

早坂暁　著　978-4-585-01192-7（2009年5月）　早坂暁コレクション14

公園通りの猫たち　四六判・上製・376頁・2400円

渋谷の雑踏に生きる自由猫たちの猫生を軽妙に描く傑作エッセイ。日が落ちる頃、私の好きな猫たちが目をさまして、坂道の街に姿を見せはじめるのだ…。

早坂暁　著　978-4-585-01191-0（2009年12月）　早坂暁コレクション13

華日記　昭和生け花戦国史　四六判・上製・432頁・2400円

勅使河原蒼風、小原豊雲、安達潮花、そして孤高の天才・中川幸夫…。戦後の復興のなかで、家元を頂点として巨大な権力構造を形成し熾烈な争いを繰り広げた華道界。美しき花の背後にうごめく人間の欲望を描ききった長編。

早坂暁　著　978-4-585-01215-3（2008年6月）　早坂暁コレクション12

花へんろ　海の巻　四六判・上製・400頁・2400円

「私は昭和の涙、笑い、そして昭和の無念ばかりを歌ってきたような気がする」「戦争の昭和史」を圧倒的なスケールで描いた『「戦艦大和」日記』と双璧を成す、著者の自伝的長編。「庶民の昭和史」を描ききった傑作、完結編。

早坂暁　著　978-4-585-01190-3（2008年6月）　早坂暁コレクション11

花へんろ　風の巻　四六判・上製・400頁・2400円

「あの遍路 うれしく笠に とんぼかな」戦争とは、家族とは、母とは…。激動の時代に翻弄されながらも強く暖かく生きる庶民の生活を叙情豊かに描く著者のライフワーク。長期連載を経て、初単行本化も含む第二巻。

早坂暁　著　978-4-585-01189-7（2008年6月）　早坂暁コレクション10

花へんろ　夢の巻　四六判・上製・400頁・2400円

「昭和とは　どんな眺めぞ　花へんろ」大正末期から昭和初期の四国。遍路道にある風早町を舞台に、大きな時代のうねりの中で、支えあってたくましく生きる庶民の姿を描く。自らの少年時代を描く著者の代表作。

早坂暁　著　978-4-585-01188-0（2007年11月）　早坂暁コレクション8

天下御免　3　四六判・上製・416頁・2800円

四国は讃岐から異国の風吹く長崎を経て、花のお江戸へ。時は享保の徳川時代、平賀源内、右京之介、稲葉小僧たちが繰り広げる痛快無比の傑作時代劇。驚異的な人気を誇った伝説のテレビドラマ、復活。

早坂暁　著　978-4-585-01187-3（2006年11月）　早坂暁コレクション7

天下御免　2　四六判・上製・416頁・2800円

時代の流れ、人間の哀しみをあたたかな視線で見つめ続ける早坂暁。小説、映画シナリオ、テレビ脚本、戯曲、エッセイなど、多岐にわたる文業の集成。テレビ史に残る数々の名作シナリオが蘇える！

早坂暁　著　978-4-585-01186-6（2006年11月）　早坂暁コレクション6

天下御免　1　四六判・上製・416頁・2800円

四国は讃岐から異国の風吹く長崎を経て、花のお江戸へ。時は享保の徳川時代、平賀源内、右京之介、稲葉小僧たちが繰り広げる痛快無比の傑作時代劇。驚異的な人気を誇った伝説のテレビドラマ、復活。

早坂暁　著　978-4-585-01185-9（2007年11月）　早坂暁コレクション5

「戦艦大和」日記　5　四六判・上製・400頁・2400円

ついに巨大戦艦大和が進水、その威容を海上に現す。しかし、戦争は「航空主兵」の新時代へと突入していた。ゲームの達人たちが世界を賭けた外交戦を繰り広がるなか、山本五十六と井上成美は、秘策を胸に艦隊の再編を進める。

早坂暁　著　978-4-585-01184-2（2006年4月）　早坂暁コレクション4

「戦艦大和」日記　4　四六判・上製・436頁・2400円

「欧州の天地は複雑怪奇なる新情勢を生じ…」列強各国との外交戦のなかで翻弄される日本には大局を見極める目がなく、米英との開戦に向かって否応なく転落していく。戦争を食い止めるべく全国を奔走する水野広徳。

早坂暁　著　978-4-585-01183-5（2006年4月）　早坂暁コレクション3

「戦艦大和」日記　3　四六判・上製・436頁・2400円

「西に向かって行くからは　浄土か」日中事変が泥沼化するなか、松岡洋右が、東条英機が、石原莞爾が、日本を破滅へと導いていく。そして軍部に独走を許す“魔法の杖”「統帥権干犯」が姿を現す…。

早坂暁　著　978-4-585-01182-8（2006年1月）　早坂暁コレクション2

「戦艦大和」日記　2　四六判・上製・436頁・2400円

歴史に翻弄される人々の情熱と哀しみが、大和の雄姿をかたち作ってゆく。いよいよ大和の建造が始まる。海軍次官・山本五十六は巨大戦艦に危惧を抱いていたが…。

早坂暁　著　978-4-585-01181-1（2006年1月）　早坂暁コレクション1

「戦艦大和」日記　1　四六判・上製・436頁・2400円

「次の一戦は、日本滅亡の大戦争だ！」昭和の日本は、栄光を夢見て、ゆっくりと大惨禍に向かい動き出す。その戦慄の日記がいま甦る。悪夢といってはいけない。すべては必死の正夢である。

《鉄幹晶子全集　別巻》

鉄幹晶子全集　別巻全８巻

978-4-585-01086-9　～　978-4-585-01093-7・C0392・各巻A5判・上製・9000円（全8巻セット：72000円）

単行本未掲載の詩（漢詩を含む）、短歌、小説、評論、随想、童話、古典翻訳、研究などから、没後発掘された貴重な資料までを網羅する。『鉄幹晶子全集』以前には鉄幹の全集はなく、晶子の全集にも古典訳はなかった。別巻を含めた本全集によってはじめて、ふたりの生涯の歩みを探ることができる。

逸見久美ほか　編　978-4-585-01086-9（2013年11月）　鉄幹晶子全集33

鉄幹晶子全集　別巻１　拾遺篇―詩　A5判・上製・546頁・9000円

本書では、鉄幹の漢詩から晶子の散文詩まで詩作品を掲載。主な収録作品は寛の「海内詩媒」（漢詩）「爆弾三勇士」、晶子の「防空演習の夜」など。

逸見久美ほか　編　978-4-585-01087-6（2016年5月）　鉄幹晶子全集34

鉄幹晶子全集　別巻２　拾遺篇―明治期短歌　A5判・上製・544頁・9000円

短歌、詩、小説、評論、随想、童話、古典翻訳など、単行本未収録作品から没後発見の貴重な資料までを網羅する。本巻では、明治期に発表された、単行本未収録の短歌作品を掲載。ふたりの作品を完全な発表順で配列した。

逸見久美ほか　編

鉄幹晶子全集　本文篇＋全歌集五句索引篇　全32巻

全32巻セット　219000円

日本文学史上に永遠に名をとどめる与謝野鉄幹、晶子の作品を網羅的に編集。日本初の夫婦全集であるとともに、初の鉄幹全集にして、晶子全集の決定版。詩・短歌・評論・古典現代語訳など、ふたりの文業と生涯のすべてがわかる。近代文学・詩・短歌・女性史研究に必備の大作であり、公共図書館、研究機関に必須の全集。本文篇がついに完結。

「明治期篇」
- 第1巻「東西南北／天地玄黄／鉄幹子」978-4-585-01054-8（2001年12月）　A5判・上製・408頁・6000円
- 第2巻「紫／みだれ髪／新派和歌大要／うもれ木」978-4-585-01055-5（2002年8月）　A5判・上製・442頁・6000円
- 第3巻「小扇／毒草／恋衣／舞姫／夢之華」978-4-585-01056-2（2002年11月）　A5判・上製・389頁・6000円
- 第4巻「常夏／佐保姫／相聞／女子のふみ」978-4-585-01057-9（2003年2月）　A5判・上製・400頁・6000円
- 第5巻「槲之葉／おとぎばなし少年少女／春泥集」978-4-585-01058-6（2003年6月）　A5判・上製・399頁・6000円
- 第6巻「一隅より／青海波／雲のいろいろ」978-4-585-01059-3（2002年3月）　A5判・上製・448頁・6000円
- 第7巻「新訳源氏物語上巻／中巻」978-4-585-01060-9（2002年1月）　A5判・上製・471頁・6000円
- 第8巻「新訳源氏物語下巻の一／下巻の二」978-4-585-01061-6（2002年2月）　A5判・上製・457頁・6000円

「大正期篇Ⅰ」
- 第9巻「明るみへ／夏より秋へ」978-4-585-01062-3（2004年2月）　A5判・上製・490頁・6000円
- 第10巻「巴里より／八つの夜」978-4-585-01063-0（2003年11月）　A5判・上製・344頁・6000円
- 第11巻「新訳栄華物語上巻／中巻前半」978-4-585-01064-7（2003年7月）　A5判・上製・379頁・6000円
- 第12巻「新訳栄華物語中巻後半／下巻」978-4-585-01065-4（2003年8月）　A5判・上製・429頁・6000円
- 第13巻「リラの花／和泉式部歌集」978-4-585-01066-1（2004年4月）　A5判・上製・560頁・6000円
- 第14巻「さくら草／雑記帳／鴉と雨／うねうね川」978-4-585-01067-8（2004年7月）　A5判・上製・434頁・6000円
- 第15巻「歌の作りやう／朱葉集／短歌三百講」978-4-585-01068-5（2004年10月）　A5判・上製・314頁・6000円
- 第16巻「人及び女として／舞ごろも／新訳紫式部日記／新訳和泉式部日記」978-4-585-01069-2（2004年12月）　A5判・上製・480頁・6000円

「大正期篇Ⅱ」
- 第17巻「新訳徒然草／我等何を求むるか／晶子新集」978-4-585-01070-8（2005年3月）A5判・上製・420頁・6000円
- 第18巻「愛、理性及び勇気／若き友へ」978-4-585-01071-5（2005年6月）　A5判・上製・366頁・6000円
- 第19巻「心頭雑草／いってまいります／激動の中を行く」978-4-585-01072-2（2005年9月）A5判・上製・300頁・6000円
- 第20巻「火の鳥／晶子歌話／女人創造」978-4-585-01073-9（2006年2月）　A5判・上製・400頁・6000円
- 第21巻「太陽と薔薇／人間礼拝／草の夢」978-4-585-01074-6（2006年7月）　A5判・上製・325頁・6000円
- 第22巻「愛の創作／流星の道／瑠璃光／砂に書く」978-4-585-01075-3（2007年1月）A5判・上製・384頁・6000円

「昭和期篇」
- 第23巻「心の遠景／光る雲／霧島の歌」978-4-585-01076-0（2007年8月）　A5判・上製・384頁・6000円
- 第24巻「女子作文新講巻一／巻二／巻三」978-4-585-01077-7（2008年1月）　A5判・上製・384頁・6000円
- 第25巻「女子作文新講巻四／参考／上級」978-4-585-01078-4（2008年9月）　A5判・上製・652頁・6000円
- 第26巻「満蒙遊記／街頭に送る」978-4-585-01079-1（2008年12月）　A5判・上製・448頁・6000円
- 第27巻「優勝者となれ／平安朝女流日記「蜻蛉日記」」978-4-585-01080-7（2009年4月）A5判・上製・350頁・6000円
- 第28巻「新新訳源氏物語第一巻／第二巻」978-4-585-01081-4（2009年7月）　A5判・上製・396頁・6000円
- 第29巻「新新訳源氏物語第三巻／第四巻」978-4-585-01082-1（2009年11月）　A5判・上製・560頁・6000円
- 第30巻「新新訳源氏物語第五巻／第六巻」978-4-585-01083-8（2010年1月）　A5判・上製・500頁・6000円
- 第31巻「与謝野寛遺稿歌集／白桜集」978-4-585-01084-5（2010年12月）　A5判・上製・650頁・9000円
- 第32巻「全歌集五句索引篇」978-4-585-01085-2（2011年8月）　A5判・上製・1152頁・30000円

松田稔　著　978-4-585-01242-9（2010年11月）　人間愛叢書

中国の孝子伝　若い人々に孝を考えてもらうために

四六判・並製・168頁・1400円

古代、中国にかくも美しい孝子たちがいた…　中国の孝子伝の日本語訳。孝子伝はかつて中国社会の構成と密接不利の関係にあった。日本では説話集や唱導書などに大きな影響を受けた。孝子の意義を問う、日本人必読の書。

志村有弘　編著　978-4-585-01241-2（2010年5月）　人間愛叢書

孝女白菊

四六判・並製・176頁・1200円

今、明治時代の家庭小説が蘇る。西南戦争で父は戦いに、白菊は母と共に阿蘇に避難したが、まもなく母はこの世を去った。帰って来た父は狩りに出て行方不明となった。父を恋い慕う白菊は、父を尋ねて放浪の旅に出た…。

三野恵　著／笹川臨風　原作　978-4-585-01239-9（2010年5月）　人間愛叢書

苅萱　石童丸物語

四六判・並製・176頁・1200円

筑前の守護職加藤繁氏は無常を観じて筑前から出奔した。出家した繁氏は苅萱と名を改め、高野山で修行を重ねていた。やがて、息子石童丸は繁氏を捜し尋ねてきたが、父は名乗らず、親子は師弟として仏道に励んだ。

石川洋　著　978-4-585-05447-4（2010年2月）　人間愛叢書

ありがとう宣言

四六判・上製・256頁・1800円

ありがとうといえば　ありがたいものが見えてくる　ありがたいものが見えてくれば　ありがたいあかしがあらわれる。いのちの真実と愛に目覚め、感謝の生涯を捧げる感動の物語。

暁烏敏　著　978-4-585-01240-5（2009年12月）　人間愛叢書

母の死

四六判・並製・176頁・1200円

暁烏敏は母への孝養を献身的に続けたが、思いは空しく母はこの世を去った。死を前に嬰児の如く息子に甘える母。そして、息子は母の死に号泣し続けた。カリスマ的宗教者の看病日記と母の死を悼む慟哭の歌集。

高井ふみや　著　978-4-585-07107-5（2004年5月）　智慧の海叢書6

金色堂はなぜ建てられたか　金色堂に眠る首級の謎を解く

B6判・並製・232頁・1400円

金色堂・須夜壇の下の、首の主はだれ？　金色堂は、平泉政権初代清衡の実父・経清を祀る葬堂であった？　資料・文献を渉猟して、定説・四代目清衡説をくつがえす！

神作光一　大滝貞一　編　978-4-585-00276-5（2001年10月）　勉誠新書16

短歌青春

新書判・並製・246頁・800円　**※在庫僅少**

みずみずしい青春の感性。若者たちはいつの時代も新鮮な息吹をあたえ、新しい文化を創出していく。東洋大学「現代学生百人一首」コンクール15周年を記念し、過去の秀歌200首をとりあげ、一首一首を新たな感性で批評。

“HULA”　ハワイの風にのせて／鳥山親雄　著
「オウム真理教事件」完全解読／竹岡俊樹　著
「戦争花嫁」五十年を語る／植木武　編
『サクラ読本』の父　井上赳／藤富康子　著／雨海博洋　序
『史記』に於ける中国古代王朝史の特質　付戦国中山王国小史／高橋庸一郎　著
50代からの健康ハンドブック／吉元昭治　著
DNAが解き明かす日本人の系譜／崎谷満　著
アジアの芸術論　演劇理論集／永井啓夫・宮尾慈良　編
アメリカという物語　欲望大陸の軌跡／松尾弌之　著
アルタイ語対照研究　なぞなぞに見られる韻律節の構造／城生佰太郎　著
ある批評家の肖像　平野謙の〈戦中・戦後〉／杉野要吉　著
イラク戦争の衝撃／木村汎　朱建栄　編
インターネット大学で学ぶ家庭教育学／八洲学園大学家庭教育課程　編
ウイルスと人類／日沼頼夫　著
ウイルスはどこにでもいる／日沼頼夫　著
おばあちゃんの玉手箱／田波潤一郎　著／遠山芳　絵
お諏訪さま　祭りと信仰／諏訪大社　監修／鈴鹿千代乃・西沢形一　編
カメハメハ大王　ハワイの歴史／後藤明　著
キャンプの知／筑波大学野外運動研究室　編
ことわざと成句が語るロシア文化／リュドミーラ・クラピーヴニク・水上則子　著
ザンビア通信／沼崎義夫　著
ソウル大学校所蔵　近世芸文集1・2　（全2冊）／鳥居フミ子　編
ソウル大学校所蔵　近世芸文集3・4　（全2冊）／鳥居フミ子　編
ソウル大学校所蔵　近世芸文集5・6　（全2冊）／鳥居フミ子　編
ただし先生やぶにらみ　日本人を叱る／小林ただし　著
だれでもわかる著作権特許商標出願法／豊沢豊雄　著
パズルde日本文学／宮崎修二朗　著
パリ本日葡辞書／石塚晴通　解題
ハンドブック　百人一首の旅／神作光一　監修／名古屋茂郎　長谷川哲夫　著
プーチンの変貌？　9・11以後のロシア／木村汎・佐瀬昌盛　編
フランス図書館の伝統と情報メディアの革新／日仏図書館情報学会　編
ふるさと幻想の彼方 白鳥の世界／松本鶴雄　著
まっさきに読む『禅』の本／秋月龍珉　著
マルテンス教授の旅立ち／ヤーン・クロス　著／藤野幸雄　訳
らくらく早引き字典／編集部　編
ロシア　おいしい味めぐり／小町文雄　著
われらは乱歩探偵団／小野孝二　著
愛欲怪奇　今昔物語集／中村晃　著
茜さす　萬葉集を彩る染めと織／安藤武子　著
安藤昌益の学問と信仰／萱沼紀子　著
安倍晴明 陰陽師 伝奇文学集成／志村有弘　編
伊是名貝塚　沖縄県伊是名貝塚の調査と研究／沖縄県伊是名村伊是名貝塚学術調査団　編
偉人の効用魔鏡のなかの近代／大橋健二　著
偉人は未来を語る　近代批判としての偉人論　／大橋健二　著
異説 日本古代研究ノート／星野聰　著
井関隆子日記(下)　／深沢秋男　校注
井関隆子日記(上)　／深沢秋男　校注
井関隆子日記(中)　／深沢秋男　校注
一中節の基礎的研究　正本集／諏訪春雄　小俣喜久雄　編
映画・テレビドラマ原作文芸データブック／江藤茂博　著
永井荷風　ミューズの使徒／松田良一　著
英国人による英国留学生活ハンドブック／ブリティッシュ・カウンシル　編

英国中世ブンガク入門／桜井俊彰　著
英国美術と地中海世界　BRITISH ART and the MEDITERRANEAN／フリッツ・ザクスル　ルドルフ・ウィトカウアー　著／鯨井秀伸　訳
英和俗語辞典　本文編 初版 複刻版／松村明　編／アーネスト・サトウ　石橋政方　共著
越し人慕情　発見芥川龍之介／松本寧至　著
延慶本　平家物語　索引篇／北原保雄・小川栄一　編
延命地蔵菩薩経直談鈔／渡浩一　編
応永書写延慶本　平家物語／北原保雄・小川栄一　編
横光利一　文学と俳句／中田雅敏　著
横光利一見聞録／保昌正夫　著
翁久允と移民社会 1907-1924　在米十八年の軌跡／逸見久美　著
沖縄文学選　日本文学のエッジからの問い／岡本恵徳・高橋敏夫　編
沖縄民間説話の研究／丸山顕徳　著
屋根裏のコイン／スーザン・T・シェハック　著／鈴木邑　訳
牡丹灯記の系譜／太刀川清　著
音図及手習詞歌考／大矢透　編
仮名書き観無量寿経 影印と研究／中田祝夫　編
仮名草子の基底／渡辺守邦　著
加賀の文学創造　戦国軍記・実録考／青山克彌　著
歌舞伎の根元／今尾哲也　著
歌舞伎の方法／諏訪春雄　著
歌物語(伊勢物語・平中物語・大和物語)総合語彙索引／木村雅則・西端幸雄　編
花と言葉の散歩道　車椅子オヤジの絵手紙集／串田由幸　著
会津陣物語／松田稔　著
回想 与謝野寛 晶子研究／逸見久美　著
怪談　累ケ淵／志村有弘　編著
改訂新版　英国人による英国留学生活ハンドブック／ブリティッシュ・カウンシル　編
改訂版　古點本の國語學的研究／中田祝夫　編
絵巻の図像学　「絵そらごと」の表現と発想／山本陽子　著
学校文書集／樺島忠夫・徳弘郁也　共編
関係性喪失の時代／大木昌　著
韓国服飾文化の源流／金文子　著／金井塚良一　訳
喜劇の精粋抄／新藤謙　著
奇蹟への回路　小林秀雄・坂口安吾・三島由紀夫／松本徹　著
季語遡源／小林祥次郎　著
鬼謀の宰相　原敬／中村晃　著
疑問仮名遣　前編・後編／国語調査委員会(文部省内)　編
吉備大臣入唐絵巻　知られざる古代中世一千年史／倉西裕子　著
宮沢賢治　風を織る言葉／小林俊子　著
巨商　沈万三／呉恩培　著／方蘭・陳鵬仁　訳
教育構造改革／野田耕一　編
狂言記の研究／北原保雄・大倉浩　著
近世芸能の発掘／鳥居フミ子　著
近世後期歳時記 本文集成並びに総合索引／尾形仂・小林祥次郎　著
近世人名録集成　姓名・別称・別姓総索引／森銑三・中島理壽　編
近世著述目録集成／森銑三・中島理寿　編著
近世文学の研究／鶴見誠　著
近代自我の解体／松本道介　著
近代中国のシャーマニズムと道教／志賀市子　著
近代文学研究とは何か　三好行雄の発言／三好行雄　著／『近代文学研究とは何か』刊行会　編
金澤文庫本白氏文集　上製本1／白居易　著
金澤文庫本白氏文集　上製本2／白居易　著

金澤文庫本白氏文集　上製本3／白居易　著
金澤文庫本白氏文集　上製本4／白居易　著
金澤文庫本白氏文集　特装本１／白居易　著
金澤文庫本白氏文集　特装本２／白居易　著
金澤文庫本白氏文集　特装本３／白居易　著
金澤文庫本白氏文集　特装本4／白居易　著
景と心　平安前期和歌表現論／佐藤和喜　著
芸術学の視座／眞保亨先生古稀記念論文集編集委員会　編
芸能の古層　ユーラシア／星野紘　著
建築家とつくる「こだわり派」の家　スタイリッシュ＆ローコストの家造り／上野俊彦　著
憲法　問題点を解説する／山本順一　編
賢治童話の方法／多田幸正　著
元禄京都諸家句集／雲英末雄　編
元禄京都俳壇研究／雲英末雄　編
元禄京都洛中洛外大絵図／白石克　編
元禄浄瑠璃の展開／鳥居フミ子　著
原本三河物語／大久保忠教　著／中田祝夫　編
源義経　謎と怪奇／志村有弘　編
源氏物語　引用の研究／田中隆昭　著
源氏物語　語彙用例総索引　自立語篇／上田英代・村上征勝・今西祐一郎・樺島忠夫・上田裕一　編
源氏物語　歴史と虚構／田中隆昭　著
源氏物語とその周辺　今井卓爾博士傘寿記念論文集／今井卓爾博士傘寿記念論集編集委員会　編
源氏物語の源泉受容の方法／藤河家利昭　著
源氏物語の主題と表現世界／森一郎　著
源氏物語の話声と表現世界／陣野英則　著
源氏物語作中人物論集　付・主要論文目録／森一郎　編
源平盛衰記／菊池寛　著
玄玖本太平記(一)／前田育徳会尊経閣文庫　編
玄玖本太平記(五)／前田育徳会尊経閣文庫　編
玄玖本太平記(三)／前田育徳会尊経閣文庫　編
玄玖本太平記(四)／前田育徳会尊経閣文庫　編
玄玖本太平記(二)／前田育徳会尊経閣文庫　編
現代国際ボランティア教育論／遠藤克弥　編
現代中国治国論　蔣介石から胡錦涛まで／許介鱗　村田忠禧　編
古今和歌集正義／香川景樹　著／瀧澤貞夫　解説
古今和歌集正義講稿／竹岡正夫　解説
古代叙事伝承の研究／三浦佑之　著
古代日本の異文化交流／鈴木靖民　編
古代日本研究文献総合目録筆者別目録　明治元年～平成十年三月／平田耿二　編
古代和歌の成立／森朝男　著
古本節用集の研究／上田萬年・橋本進吉　著
胡錦涛と現代中国／祁英力　著／おうちすえたけ　編訳／辻康吾　監修
胡錦涛体制の挑戦／辻康吾　監修／祁英力　著／おうちすえたけ　編訳
五本対照改編節用集／亀井孝　編
五木寛之　風狂とデラシネ／志村有弘　編
呉越復讐の剣／方蘭　著
呉音漢音の対応関係の研究　文明本『節用集』三内撥音・入声字の母音を通して／侯鋭　著
後拾遺時代歌人の研究／千葉義孝　著
御物本　更級日記／菅原孝標女　著／今井卓爾　編
語文叢考／春日和男　著
交錯する古代／早稲田大学古代文学比較文学研究所　編
交流する平安朝文学／田中隆昭　著

口語法・同別記／国語調査委員会　編／福嶋邦道　解説
口遊注解／幼学の会　編
幸若舞・歌舞伎・村芝居／庵逧巌　著
校本中外抄・冨家語とその研究／宮田裕行　編
江戸東京魔界紀行／歴史と文学の会　編
江戸文学の方法／諏訪春雄　著
江談證注／川口久雄・奈良正一　著
行基説話の生成と展開／米山孝子　著
高橋敏夫書評集　「いま」と「ここ」が現出する／高橋敏夫　著
国学者　多田義俊南嶺の研究／古相正美　著
国語学書目解題／赤堀又次郎　編
国文学研究とコンピュータ／安永尚志　著
黒田如水／原田種眞　著
今昔物語集震旦部考／宮田尚　著
砕けた瓦／趙本夫　著／永倉百合子　訳
坂本竜馬／泉淳　著
作家の魂／羽鳥徹哉　著
作家伝の魅力と落とし穴／佐伯彰一　著
作者類別年代順　萬葉集／澤瀉久孝　森本治吉　著
桜川／大東急記念文庫　編／加藤定彦　解説
三浦綾子　書誌／黒古一夫　監修／岡野裕行　著
三宅島流人　小金井小次郎／下村昇　著
三島由紀夫事典／松本徹・佐藤秀明・井上隆史　編
三宝類聚名義抄／尾崎知光　解説
山田風太郎　幻妖のロマン／志村有弘　編
山梨の民俗芸能／水木亮　著
四国霊場記集／雲石堂寂本　著／近藤喜博　解説
市民のための行政法入門／山本順一・西鳥羽和明・池村好道・高橋雅夫・春日修　著
寺社略縁起類聚　Ⅰ／稲垣泰一　編
寺田寅彦と連句／小林惟司　著
自分を表現して生きる／内野久美子　著
実験音声学研究／城生佰太郎　著
篠沢秀夫　最新講義／篠沢秀夫　著
守覚法親王の儀礼世界　仁和寺蔵紺表紙小双紙の研究／仁和寺紺表紙小双紙研究会　編
首都デリー／クシュワント・シン　著／結城雅秀　訳
宗祇連歌の研究／両角倉一　著
宗教と考古学／金関恕先生の古稀をお祝いする会　編
秋元松代　希有な怨念の劇作家／相馬庸郎　著
春回生の世界　島崎藤村の文学／松本鶴雄　著
春扉を叩く／中西伊之助　著／青木信雄　解説
庶民宗教民俗学叢書　復刻版／志村有弘　編
諸本集成古事記(上中下)／小野田光雄　編
将軍・乃木希典／志村有弘　編
小嶌に寄る仇の白浪／萩原義雄　編
尚仁親王と栗山潜鋒／松本丘　著
松本清張事典／歴史と文学の会　編
上海職業さまざま／菊池敏夫・日本上海史研究会　編
上方舌耕文芸史の研究／宮尾興男　著
浄瑠璃稀本集／鳥居フミ子　編
植物の力／内野久美子　著／小林ふさ子　写真
心空版　倭点法華経／中田祝夫　編
新陰流　上泉信綱／中村晃　著

新教育事典／遠藤克弥　監修／坂本辰朗　佐藤尚子　鈴木孝光　田中治彦　田部井潤　西岡正子　長谷敏夫　編
新選組事典／歴史と文学の会　編
新選組伝奇／志村有弘　編
新日本人の起源　神話からＤＮＡ科学へ／崎谷満　著
真福寺本　文鳳抄／菅原為長　撰／大東文化大学東洋研究所　編川口久雄　解説
真名本　曾我物語／伊東祐淳氏　所蔵／山岸徳平・中田祝夫　解題
神戸残照　久坂葉子／柏木薫　志村有弘　久坂葉子研究会　編
人はなぜ歌い踊るのか／星野紘　著
図書館概説 現代の図書館／藤野幸雄　著
図書館情報学の創造的再構築／吉田政幸・山本順一　編
粋の世界／小松田良平　著
姓氏4000歴史伝説事典／志村有弘　編
性の民俗叢書　復刻版／川村邦光　編
正治百首の研究／山崎桂子　著
清盛 頼朝 義経 義仲 源平時代人物関係写真集／志村有弘　編
生命力の回復　細胞呼吸法／曾紅　著
西側による国家テロ／アレクサンダー・ジョージ　編／古川久雄・大木昌　訳
西村本小説集　下／石川了ほか　編
西村本小説集　上／石川了ほか　編
西鶴 環境と営為に関する試論／西島孜哉　著
西鶴語彙新考／前田金五郎　著
西鶴新展望／前田金五郎ほか　著
西鶴大矢数注釈 索引／小川武彦　編
西鶴大矢数注釈　第一巻／前田金五郎　著
西鶴大矢数注釈　第三巻／前田金五郎　著
西鶴大矢数注釈　第四巻／前田金五郎　著
西鶴大矢数注釈　第二巻／前田金五郎　著
西鶴展望／浅野晃　著
西鶴発句注釈／前田金五郎　著
西鶴論攷／浅野晃　著
西來寺蔵仮名書き法華経翻字篇／近藤良一　監修／萩原義雄　編
石原慎太郎を知りたい　石原慎太郎事典／志村有弘　著
折口信夫　虚像と実像／穂積生萩　著
占いの創造力　現代中国周易論文集／池田和久・伊藤文生・久保田知敏・中島隆博・馬淵昌也　編訳
川村湊書評集　あのころ読んだ小説／川村湊　著
戦国城主諸家伝　外様大名篇／新田完三　編
戦国武将逸話集　訳注『常山紀談』巻一〜七／湯浅常山　原著／大津雄一　田口寛　訳注文化財学の構想／三輪嘉六　編
戦争・ラジオ・記憶／貴志俊彦・川島真・孫安石　編
前田利家　栄光の軌跡／青山克彌　編
宋代の中日交流史研究／王麗萍　著
想い出の食彩／鳥居フミ子　著
早引き字典／勉誠社編集室　編
草原の王朝・契丹国(遼朝)の遺跡と文物／前川要・臼杵勲　監修
足利本仮名書き法華経　影印篇／中田祝夫　編
足利本仮名書き法華経　索引篇／中田祝夫　編
足利本仮名書き法華経　翻字篇／中田祝夫　編
続狂言記の研究／北原保雄・大倉浩　著
尊経閣蔵三巻本 色葉字類抄／前田育徳会尊経閣文庫　編
太宰治全作品研究事典／神谷忠孝・安藤宏　編
対校　真言伝／栄海　編著／説話研究会　編
待遇表現の談話分析と指導法　漱石作品を資料にして／呉少華　著
大江健三郎とこの時代の文学／黒古一夫　著

大城立裕文学アルバム／黒古一夫
大谷大学本　節用集　研究並びに総合索引／影印索引研究　編／片岡了　編著
大般若経音義の研究　索引篇／築島裕　著
大般若経音義の研究　本文篇／築島裕　著
谷崎潤一郎と古典　大正続・昭和篇／長野甞一　著
知識人の諸相　中国宋代を基点として／伊原弘　小島毅　編
地蔵堂通夜物語／西野辰吉　著
中央アジアの行方　米ロ中の綱引き／木村汎　石井明　編
中国の水環境問題　開発のもたらす水不足／中尾正義・銭新・鄭躍軍　編
中国古代葬制の伝統と変革　漢墓の考古学的研究／黄暁芬　著
中国民俗学概論／陶立璠　著／佐野賢治　監訳／上野稔弘　訳
中世説話の人間学／小林保治　藤本徳明　著
中世仏教説話の研究／廣田哲通　著
中田祝夫博士功績記念国語学論集／中田祝夫博士功績記念国語学論集刊行会　編
著作権100の事件簿／富樫康明　著
著作権に気をつけろ！／富樫康明　著
張赫宙日本語作品選／南富鎮・白川豊　編
挑発する教育・格闘する若者／下橋邦彦　著
直訴は必要だったか　足尾鉱毒事件の真実／砂川幸雄　著
堤中納言物語総索引／森口年光　著
定本 黒島傳治全集　全5巻／佐藤和夫　編
鉄斎の陽明学　わしの画を見るなら、まず賛をよんでくれ／戦暁梅　著
天治本　萬葉集／伊藤博・佐藤恒雄　編
天神の物語・和歌・絵画　中世の道真像／山本五月　著
天平の女／宮地たか　著
伝統と創造／鳥居フミ子　編
都市の常民たち　作家のいる風景／勝又浩　著
唐音の研究／湯沢質幸　著
唐史道洛墓　原州聯合考古隊発掘調査報告１／原州聯合考古隊　編
東郷平八郎／中村晃　著
東洋大学の歌人たち／大滝貞一　神作光一　高久茂　中根美枝子　編
当麻曼荼羅と中将姫／日沖敦子　著
頭蓋の形態変異／溝口優司　著
内務官僚の栄光と破滅／柴山肇　著
南北劇への招待／鶴屋南北研究会　編
日英二カ国語による　能・オセロー　創作の研究／宗片邦義　著
日記文学事典／石原昭平　三角洋一　森田兼吉　守屋省吾　編
日記文学新論／石原昭平　編
日葡辞書／亀井孝　解題
日仏辞書／ Leon Pages　著／福島邦道　解題
日本・神話と歌の国家／工藤隆　著
日本における中国伝統文化／蔡毅　編
日本のことば遊び／小林祥次郎　著
日本の書物／紀田順一郎　著／宮田雅之　画
日本の文字文化を探る　日仏の視点から／クリストフ・マルケ　マリアンヌ・シモン＝及川　クレール碧子・ブリッセ　パスカル・グリオレ　共編
日本歌謡・芸能の周辺／浅野建二　著
日本近・現代文学の中国語訳総覧／黒古一夫　監修／康東元　著
日本近世小説史　井原西鶴編／野田壽雄　著
日本近世小説史　仮名草子篇／野田壽雄　著
日本古典文学の諸相／桑原博史　編
日本全国神話伝説道指南／吉元昭治　著

日本文化の連続性と非連続性／エドゥアルド・クロッペンシュタイン　編
日本文学の創造と展開　近現代篇／松本寧至　監修／今西幹一　編
日本文学の創造と展開　古典篇／松本寧至監修・望月郁子　編
日本霊異記と中国の伝承／河野貴美子　著
忍法からくり伝奇／志村有弘　編
波多野流平曲譜本の研究　付・秦音曲鈔影印本／奥村三雄　著
俳林逍遥／大内初夫　著
梅と日本人／小林祥次郎　著
爆笑！　江戸の百人一首／江口孝夫　著
発明・開発技術マニュアル／鈴木勝　著
発明のすすめ／中本繁実　著
半生縁／張愛玲　著／方蘭　訳
評伝王増祥　台湾・日本・香港を生きた、ある華人実業家の近現代史／久末亮一　著
不老を夢みた徐福と始皇帝／池上正治　編訳
浮世絵の現在／山口桂三郎　編
仏教再生への道すじ／藤井正雄　編
文化資料と画像処理／山田奨治　著
文学と風土／日本文学風土学会　編
文学にみられる「運命」の諸相　近世文学・太宰治・芹沢光治良／森田喜郎　著
文明と遺伝／福田一郎・劉剛　編
文明の錯誤を正す　新家族論／諏訪春雄　著
文明十四年三月二十六日漢和百韻譯注　四／京都大学国文学研究室中国文学研究室　編
平安朝「所・後院・俗別当」の研究／所京子　著
平安朝文学と漢文世界／渡辺秀夫　著
平安日記文学 土佐日記・蜻蛉日記・和泉式部日記・紫式部日記・大和物語 総合語彙索引／木村雅則・西端幸雄・志甫由紀恵　共編
平安日記文学の研究／石原昭平　著
平家物語の旅　源平時代を歩く／志村有弘　著
平家物語考／山田孝雄　著
平成異変　打開のリーダー／諏訪春雄　編著
平泉澄博士全著作紹介／田中卓　編著
壁仕合／折登岑夫　著
変わるインド　変わらないインド／武藤友治　著
宝井其角全集／今泉準一　石川八朗　鈴木勝忠　古相正美　波平八郎　共編
北周田弘墓　原州聯合考古隊発掘調査報告２／原州聯合考古隊　編
本物の絵巻を現代語で読む　竹取物語絵巻／樺島忠夫　文・解説／杉本まゆ子　巻末　解説・絵巻／宮内庁書陵部・国立国会図書館　蔵
枕草子　表現の方法／鄭順粉　著
万歳前／廉想渉　著・白川豊　訳
万松寺　首塚縁起／中村晃　著
万葉仮名音韻字典／大塚毅　著
満鉄総裁　中村是公と漱石／青柳達雄　著
民俗音楽の底力　群馬県モデルを中心に／日本民俗音楽学会　編
名語記／田山方南　校閲／北野克　写
明治唱歌の誕生／中山エイ子　著
模倣と創造のダイナミズム／山田奨治　編
蒙古語訳『牛首山授記経』の研究／樋口康一　著
柳田國男事典／野村純一　宮田登　三浦佑之　吉川祐子　編
羊の門／李佩甫　著／永田小絵　訳／辻康吾　監修
落語　笑う門　おなじアホなら笑わにゃそんそん／吉元昭治　著
落語犯科帳／石井明　著
略縁起　資料と研究2／略縁起研究会　編

略縁起　資料と研究3／石橋義秀・菊池政和・橋本章彦　編
旅と花／鳥居フミ子　著
良心と至誠の精神史　日本陽明学の近現代／大橋健二　著
林富士馬評論文学全集／林富士馬　著
類証弁異全九集／曲直瀬道三　著
連歌研究の展開／金子金治郎　編
論叢元禄の文学／浅野晃　著
和漢古典学のオントロジ／相田満　著
夭折の歌人　中城ふみ子／中島美千代
廣日本文典・同別記／大槻文彦　著
拉致　異常な国家の本質／荒木和博　著
漱石と魯迅における伝統と近代／欒殿武　著
漱石漢詩と禅の思想／陳明順　著
甦る人類化石　骨のメッセージをたどる／道方しのぶ　著
續吾輩ハ猫デアル／三四郎著・志村有弘　解説
萬葉集構文論／佐佐木隆　著
萬葉集美夫君志／木村正辭　撰／小島憲之　解説
蜻蛉日記の心と表現／篠塚純子　著
魔界の住人　川端康成　　その生涯と文学(上・下巻)／森本穫　著
江戸・東京語研究　共通語への道／土屋信一　著
中国学入門　中国古典を学ぶための13章／二松學舍大学文学部中国文学科　編
石器・天皇・サブカルチャー　考古学が解く日本人の現実／竹岡俊樹　著
民主党政策ハンドブック2014・秋／海江田万里　編
書籍流通史料論　序説／鈴木俊幸　著
長恨歌　楊貴妃の魅力と魔力／下定雅弘　著
図説　書誌学　古典籍を学ぶ／慶應義塾大学附属研究所斯道文庫　編
古代散文引用文学史論／東原伸明　著
中国故事受容論考　古代中世日本における継承と展開／山田尚子　著
中国古典と漢字の精神病理学／塚本嘉壽　著
尾張狂俳の研究／冨田和子　著
中世文化の発想／小林保治　著
近世文学雑記帳／前田金五郎　著
小町伝説の伝承世界　生成と変容／明川忠夫　著
中国古典文学批評史／周勛初　著／高津孝　訳
平安中期私家集論　歌人・伝本・表現／福田智子　著
源氏物語と王朝文化誌史／原豊二　著
西行　長明　受容と生成／下西善三郎　著
菅原道真論集／和漢比較文学会　編
日本近世小説史　談義本篇／野田壽雄　著
白居易「諷諭詩」の研究／静永健　著
寂蓮の研究／半田公平　著
西鶴連句注釈／前田金五郎　著
中国預言書伝本集成／中野達　編
本朝麗藻簡注／川口久雄　本朝麗藻を読む会　編
明恵上人手訂定稿本　光明真言土沙勧信記　付・如来遺跡講式　高弁 著／大東急記念文庫　編／川瀬一馬　監修
新撰朗詠集漢字索引／當山日出夫　編
千載佳句漢字索引／當山日出夫　編
和漢朗詠集漢字索引／當山日出夫　編
だからプロレタリア文学　名文・名場面で「いま」を照らしだす17の傑作／栩沢健　著
立松和平書評集　物語を生きる小説家の至福／立松和平　著
辻井喬書評集　かたわらには、いつも本／辻井喬　著
朝鮮近代の知日派作家、苦闘の軌跡　廉想渉、張赫宙とその文学／白川豊　著

現代のバイブル　芥川龍之介『河童』注解／羽鳥徹哉・布川純子　監修／成蹊大学大学院近代文学研究会　編
大城立裕全集　全13巻／大城立裕　著／立松和平・仲程昌徳・大野隆之・黒古一夫　編
新世紀の日中文学関係　その回顧と展望／和漢比較文学会・中日比較文学学会　編
小田切秀雄全集　全19巻（本巻18巻・別巻1巻）／本多秋五・立石伯・勝又浩・浦西和彦・田中単之・黒古一夫　編
横光利一の表現世界　日本の小説／茂木雅夫　著
近代詩歌書の表情／今井卓爾　著
続「訓読」論　東アジア漢文世界の形成／中村春作・市來津由彦・田尻祐一郎・前田勉　編
一般音声学講義／城生佰太郎　著
旅のお供に　今すぐ使えるトルコ語入門／福盛貴弘　デニズ・ビョケソイ　著
日常生活ですぐに使える英語表現集／曾根田憲三　ブルース・パーキンス　著
図説松下文法ハンドブック／徳田政信　著
命令・依頼の表現　日本語・中国語の対照研究／王志英　著
現代日本語・韓国語の格助詞の比較研究／朴在權　著
日本漢字音史論考／湯沢質幸　著
改撰標準　日本文法／松下大三郎　編／徳田政信　著
悉曇章の研究／馬渕和夫　著
改編　匠材集／小林祥次郎　編
文化財学の課題　和紙文化の継承／湯山賢一　編
勇猛精進の聖　鈴木正三の仏教思想／加藤みち子　著
活字印刷の文化史　きりしたん版・古活字版から新常用漢字表まで／小宮山博史・府川充男　企画編集
両面の鬼神　飛騨の宿儺伝承の謎／尾関章　著
気の文明と気の哲学　蒼龍窟 河井継之助の世界／大橋健二　著
大地 女性 太陽 三語で解く日本人論／諏訪春雄　著
古代史から解く　伴大納言絵巻の謎／倉西裕子　著
中世醍醐寺と真言密教／藤井雅子　著
朝鮮の祭儀と食文化／依田千百子　著
朝鮮の王権と神話伝承／依田千百子　著
稲作の社会史　19世紀ジャワ農民の稲作と生活史／大木昌　著
神話の壊滅　大塩平八郎と天道思想／大橋健二　著
石器の見方／竹岡俊樹　著
國史／白鳥庫吉　著／所功　解説
沖縄船漕ぎ祭祀の民族学的研究／白鳥芳郎・秋山一　編
確率入門／片山徹　著
民主党公式ハンドブック2014／海江田万里　編
変わるバリ、変わらないバリ／倉沢愛子・吉原直樹　編
教育の挑戦　多文化化・国際化／遠藤克弥　著
教育学における優生思想の展開／藤川信夫　編
萩原朔太郎『郷土望景詩』幻想／司修　著
聖像画（イコン）と手斧　ロシア文化史論／J・H・ビリントン　著／藤野幸雄　訳
伊豆と川端文学事典／川端文学研究会　編
川端康成全作品研究事典／羽鳥徹哉・原善　編
枕草子大事典／枕草子研究会　編
音声学基本事典／城生佰太郎・福盛貴弘・斎藤純男　編
文章構成の基本大事典／樺島忠夫　編・監修
レファレンスサービスのための主題・主題分析・統制語彙／愛知淑徳大学図書館　編／鹿島みづき　著
データサイエンス入門／鄭躍軍・金明哲・村上征勝　著
金子みすゞ　この愛に生きる／詩と詩論研究会　編
親と子の愛と憎しみと／歴史と文学の会　編
日本のことば遊び　新装増補版／小林祥次郎　著
江戸の替え歌　百人一首／江口孝夫　著
昭和天皇の時代　元式部官の私記／武田龍夫　著
京都異界の旅／志村有弘　編著

日本人の偽悪醜・日本人の真善美　新日本人論／武田龍夫　著
仮面の隣国・素顔の隣国　新隣国論／武田龍夫　著
恩愛の絆　無窮花の国から／松本富生　著
戦国武将　勝利の実学／火坂雅志　著
怪奇幻想　雨月物語／中村晃　著
超かんたん著作権特許商標出願法／豊沢豊雄　著
ソクラテスになった猫／左近司祥子　著
もののけと悪霊祓い師／志村有弘　編
あの日を、ぼくは忘れない／名柄尭　絵と文／早坂暁　編
あの日を、わたしは忘れない／河野きよみ　絵と文／早坂暁　編

【GYROS】
1　一神教の功罪／諏訪春雄　責任編集
2　子どもの反乱／諏訪春雄　責任編集
3　国文学の死と再生／諏訪春雄　責任編集
4　天皇制と日本人／諏訪春雄　責任編集
5　沖縄の苦悩／諏訪春雄　責任編集
6　日本仏教への緊急提言／諏訪春雄　責任編集
7　ゲノム革命／諏訪春雄　責任編集
8　職場の若者／諏訪春雄　責任編集
9　書物と電子書籍／諏訪春雄　責任編集
10　アニメ文化／諏訪春雄　責任編集
11　今に続く明治の光と影／諏訪春雄　責任編集
12　治安崩壊／諏訪春雄　責任編集
13　今、教育の原点を問う／諏訪春雄　責任編集
14　日本語の現在／諏訪春雄　責任編集
15　グローバル化時代の日本人／諏訪春雄　責任編集
16　非婚・崩壊・少子化　どこへ行く日本の家族／諏訪春雄　責任編集
【museo】
1　京都魔界紀行／志村有弘　編
2　奇書！　奇書！　奇書の達人／歴史と文学の会　編
3　天神さまの起源／田中隆昭　監修／山本五月・菊地真　編
4　安倍晴明　陰陽師　超能力者／志村有弘・豊嶋泰國　編
5　つげ義春の魅力／歴史と文学の会　編
6　日本伝説紀行ガイド／吉元昭治　著
7　東海道ちょっと物知りウォーキング／菊地真・小林祥次郎　編
8　招き猫の文化誌／菊地真・日本招猫倶楽部　編
9　金子みすゞの世界／詩と詩論研究会　編
10　水木しげるの魅力／歴史と文学の会　編
11　中国秘境　青海　崑崙／諏訪春雄・有澤晶子・王承喜　編
12　大谷探検隊とその時代／白須淨眞　著
13　宮部みゆきの魅力／歴史と文学の会　編
【SCIENCE of HUMANITY】
30　座談会：21世紀知の構想、歴史学とマルチメディアプレゼンテーション／編集部　編
31　どのように「表外漢字字体表」は答申されたか／編集部　編
32　新世紀社会と敬意表現／編集部　編
33　国際社会に対応する日本語の在り方／編集部　編
34　前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る／編集部　編
35　日本人と日本文化の源流／編集部　編
36　世界の教育改革戦略／編集部　編
37　希望の心理学／編集部　編
38　せめぎあう官と民／編集部　編

39　デジタル技術とミュージアム／国立西洋美術館　編
40　日本旧石器学の再出発　36人の提言／編集部　編
41　縄文農耕を捉えなおす／編集部　編
42　日本列島の人類学的多様性／日沼頼夫・崎谷満　編
【WORLD CINEMA】
1　ブラッド・ピット／編集部　編
2　メグ・ライアン／編集部　編
3　トム・クルーズ／編集部　編
4　キャメロン・ディアス／編集部　編
5　キアヌ・リーヴス／編集部　編
【アシアーナ叢書】
1　泰山　中国人の信仰／エデュアール・シャバンヌ　著／菊池章太　訳
【キリシタン資料集成】
1　日本文典／ロドリゲス　著／土井忠夫・三橋健　解説
2　サントスの御作業　影印篇／Ｈ・チーリスク　著／福嶋邦道・三橋健　解説
3　サントスの御作業　翻字研究篇／福嶋邦道　著
4　コンテムツスムンヂ／松岡洸司・三橋健　解説
6　羅西日辞書／コリヤード　編　大塚光信　解説
7　羅葡日対訳辞書／福嶋邦道・三橋健　解説
9　天草版平家物語総索引／近藤政美ほか　編集
【スサノオ】
1　鬼と日本人／志村有弘　責任編集
2　サムライ道／志村有弘　責任編集
3　天皇　力と光と闇／志村有弘　責任編集
4　桜伝説／志村有弘　責任編集
【べんせいライブラリー】
〈まじない秘法セレクション〉安倍晴明夢占い／志村有弘　編
〈まじない秘法セレクション〉神拝祭式　加持祈禱神伝／志村有弘　編
〈まじない秘法セレクション〉神霊まじない秘法伝／志村有弘　編
〈ミステリーセレクション〉黒の怪／志村有弘　編
〈ミステリーセレクション〉人間心理の怪／志村有弘　編
〈ミステリーセレクション〉水の怪／志村有弘　編
〈ミステリーセレクション〉白の怪／志村有弘　編
〈ミステリーセレクション〉魔の怪／志村有弘　編
〈ミステリーセレクション〉罠の怪／志村有弘　編
〈教科書セレクション〉教育勅語　昭和天皇の教科書／杉浦重剛　著／所功　解説
〈時代小説セレクション〉宮本武蔵伝奇／志村有弘　編
〈時代小説セレクション〉赤穂浪士伝奇／志村有弘　編
〈時代小説セレクション〉柳生秘剣伝奇／志村有弘　編
〈青春文芸セレクション〉春の絵巻／中谷孝雄　著
〈青春文芸セレクション〉若い川の流れ／石坂洋次郎　著
〈青春文芸セレクション〉春の日のかげり／島尾敏雄　著
〈青春文芸セレクション〉ドミノのお告げ／久坂葉子　著
〈青春文芸セレクション〉ささやき／清水澄子　著
【マイライフシリーズ】
MIT熟年留学記／武藤友治　著
ゆとりの旅ごころ　熟年おしどり紀行／小町文雄　著
熟年スクーバダイビング開眼／小町文雄　著
【一茶自筆資料集成】
1　化政期俳人句録／小林一茶　著／前田利治　編・解説
2　父の終焉日記・浅黄空・俳諧寺抄録／小林一茶　著／前田利治　編・解説
3　寛政三年紀行・たびしうゐ・さらば笠・三韓人　　／小林一茶　著／前田利治　編・解説

【影印注解悉曇學書選集】
2　平安後期／馬淵和夫　編
3　鎌倉前期／馬淵和夫　編
4　鎌倉後期／馬淵和夫　編
5　南北朝期／馬渕和夫　編
8　室町物語／濱中修　編著
【影印本テキスト】
いさよひの日記　永青文庫蔵本／阿仏尼　著作／江口正弘　解説
たけくらべ(雑誌掲載・テキスト二種）／樋口一葉　著／中田祝夫　編著
雨月物語／森田喜郎　解説
歌仙　三十六歌仙五種類／有吉保　編
活語指南　友鏡、和語説ノ略図／東条義門　著作／岡崎正継　解説
閑居友／太田晶二郎　解説
古京遺文　（上製本）／狩谷棭斎　著／山田孝雄・香取秀真　増補
古今集和歌助辞分類／村上織部　著／根上剛士　解説
讃岐典侍日記／石井文雄　解説
将門記／中田祝夫　解説
中外抄・冨家語／宮田裕行　解説
遊子方言／中田祝夫　解説・翻字
【家庭教育叢書】
家庭は子どもの教育の原点　家族の再生のために／中田雅敏　著
家庭における人間形成　子どもの自立を考える／水野建雄　著
【歌舞伎台帳集成】
1　心中鬼門角　松風　傾城建仁寺供養　女土佐日記　信徳丸ゾ柏／歌舞伎台帳研究会　編
2　傾城妻恋桜　鶴渡城女軍　蘆屋道満大内鑑　山椒太夫五人跨／歌舞伎台帳研究会　編
3　大塔宮曦鎧　敵討巌流島　契情鸚鵡石　伊勢街道銭掛松　けいせい嵐山／歌舞伎台帳研究会　編
4　卅三年忌袂白絞　雷神不動北山桜　熊野御前平絞日／歌舞伎台帳研究会　編
5　傾城室町桜　菊水由来染　大井川三組盃　傾城千引鐘／歌舞伎台帳研究会　編
6　粂仙人吉野桜　昔形吉岡染　二月堂暁鐘／歌舞伎台帳研究会　編
16　けいせい熊野山　音羽山恋慕飛泉　大門口鎧襲　嬬髪歌仙桜／歌舞伎台帳研究会　編
17　傾城花城山　けいせい反魂香／歌舞伎台帳研究会　編
18　傾城高砂浦　島原小蝶菜種の紋日／歌舞伎台帳研究会　編
【楽しく豊かに】
1　心を育てる絵本／下村昇　著
2　作文しよう！　投稿しよう！／下村昇　著
3　発見！　漢字の意味力／下村昇　著
【近世人名録集成】
1　地域別編１　影印編／森銑三・中島理寿　編
2　地域別編２　影印編／森銑三・中島理寿　編
3　分野別編１　影印編／森銑三・中島理寿　編
4　分野別編２　影印編／森銑三・中島理寿　編
5　別称索引　総索引／森銑三・中島理寿　編
【近世文学資料類従　仮名草子】
1　堪忍記(上）／近世文学書誌研究会　編／浅井了意　著
2　堪忍記(下)／近世文学書誌研究会　編／浅井了意　著
3　大倭二十四孝　上／近世文学書誌研究会　編
4　大倭二十四孝　下／近世文学書誌研究会　編
5　孝行物語／近世文学書誌研究会　編
6　本朝女鑑　上／近世文学書誌研究会　編
7　本朝女鑑　下／近世文学書誌研究会　編
8　よだれかけ／近世文学書誌研究会　編
9　案内者・世諺問答／近世文学書誌研究会　編／岡雅彦　解説

10　七人比丘尼　小倉物語　三人比丘尼付一休水鏡／田中伸　解説
11　にぎはひ草　目覚草／長尾高明　解説
12　浮世ばなし付明心宝鑑／深沢秋男　解説
13　薄雪物語　女郎物語／渡辺守邦　解説
14　ゑもん桜物語　あだ物語　うすぐも恋物語／渡辺守邦　解説
15　日蓮聖人註画讃／冠賢一　解説
16　続つれづれ草　寂寞草新註／野田千平　解説
17　桑名百詠　釣虚散人法語　釣虚三編　尾陽発句帳／岡本勝　解説
18　童蒙先習　明意宝鑑　政要抄／関場武　解説
19　四十二のみめ争ひ　あづま物語　吉原雀／小野晋　解説
20　恨之介／著者不明／東明雅　解説
21　可笑記評判 上／深沢秋男　解説
22　可笑記評判　中／深沢秋男　解説
23　可笑記評判　下／深沢秋男　解説
24　百物語　私可多咄／関場武　解説
25　身の鏡　理非鏡／渡辺憲司　解説
26　仁勢物語　犬百人一首　酒茶論　酒餅論／渡辺守邦　解説
27　小さかつき／小川武彦　解説
28　宗祇諸国物語／江本裕　解説
29　ひそめぐさ　ふしんせき／関場武　解説
30　竹斎物語集　竹斎　古活字十一行本・寛永整板本／小川武彦　解説
31　竹斎物語集　竹斎狂哥物語　けんさい物語　下り竹斎　鱗形屋板／小川武彦　解説
32　為愚癡物語　上／田中伸・金井康　解説
33　為愚癡物語　下／田中伸・金井康　解説
34　遊女評判記集　上　よし原六方 新改さいけん名寄評判 吉原七福神 ゑにし染 吉原丸鑑／近世文学書誌研究会　編
35　遊女評判記集　中　吉原こまざらい　吉原恋の道引　吉原下職原　吉原大雑書　なには鉦　たきつけ草　もえくゐ　けしすみ　難波鉦返答古銀買／小川武彦　解説
36　遊女評判記集　下　吉原大全新鑑　吉原源氏五十四君　吉原用文書　吉原三茶三幅一對　大坂新町古今若女郎衆序　長崎土産　志家位名見／小川武彦　解説
37　男色物集　衆道物語　催情記　色物かたり／小川武彦　解説
38　似我蜂物語／小川武彦　解説
別冊　露殿物語　重要美術品／岡田利兵衛・安田富貴子　解説

【近世文学資料類従　狂歌編】

1　古今夷曲集／森川昭　解説
2　吾吟我集　古今狂歌仙　狂歌たびまくら　鼻笛集／森川昭　解説
3　後撰夷曲集／森川昭　解説
4　貞徳百首狂歌　堀川狂歌集　狂歌三百首抄　貞徳狂歌集／森川昭　解説
5　新撰狂歌集　四生歌合／森川昭　解説
6　半井卜養狂歌集　同拾遺・類字　名所狂歌集／森川昭　解説

【近世文学資料類従　古俳諧編】

1　犬子集／松江重頼　編／加藤定彦　解説
2　小町踊　河船付徳万歳　十二枝句合(上)／森川昭　解説
3　小町踊　河船付徳万歳　十二枝句合(下)／森川昭　解説
4　俳諧初学抄　塵塚誹諧集　付尤之双紙(上)／安藤武彦　解説
5　俳諧初学抄　塵塚誹諧集　付尤之双紙(下)／安藤武彦　解説
6　牛飼／燕石　編／加藤定彦　解説
7　佐夜中山集(上)／松江重頼　編／荻野秀蜂　解説
8　佐夜中山集(下)／松江重頼　編／荻野秀蜂　解説
9　懐子(1)／松江重頼　編／島本昌一　解説
10　懐子(2)／松江重頼　編／島本昌一　解説
11　懐子(3)／松江重頼　編／島本昌一　解説
12　懐子(4)／松江重頼　編／島本昌一　解説

13　懐子(5)／松江重頼　編／島本昌一　解説
14　雀子集／銀竹軒光方　編／雲英末雄　解説
15　捨子集／高瀬梅盛　編／田中善信　解説
16　新続犬筑波集(上)／北村季吟　編／雲英末雄　解説
17　新続犬筑波集(中)／北村季吟　編／雲英末雄　解説
18　新続犬筑波集(下)／北村季吟　編／雲英末雄　解説
19　山の井／北村季吟　編／島本昌一　解説
20　独琴／北村季吟　編／島本昌一　解説
21　砂金袋(上)／山本西武　編／森川昭　解説
22　砂金袋(下)／山本西武　編／森川昭　解説
23　崑山集(上)／鶏冠井良徳　編／荻野秀蜂　解説
24　崑山集(中)／鶏冠井良徳　編／荻野秀蜂　解説
25　崑山集(下)／鶏冠井良徳　編／荻野秀蜂　解説
26　遠近集(上)／長愛子吉竹　編／乾裕幸　解説
27　遠近集(下)／長愛子吉竹　編／乾裕幸　解説
28　宗因千句　宗因五百句　宗因七百韻　しぶうちわ　蚊柱百句　釈教百韻　しぶ団返答／加藤定彦・雲英末雄　解説
29　江戸十歌仙　江戸両吟　大坂三吟　大坂独吟集　五徳　両吟一日千句　大坂壇林桜千句／乾裕幸・雲英末雄　解説
30　西鶴五百韻　みつかしら　高名集　百人一句難波色紙　三ヶ津　庵桜／加藤定彦・櫻井武次郎・永野仁・田中善信・萩原恭男　解説
31　西鶴大矢数／井原西鶴　著／田中善信　解説
32　中庸姿　誹諧破邪顕正　破邪顕正返答　誹諧猿蓑　鱗形／高政・随流・惟中・随流　編著／雲英末雄・安藤武彦　解説
33　江戸俳諧談林十百韻　談林軒端の独活　七百五十韻　俳諧次韻／松意・信徳・桃青　編／萩原恭男・雲英末雄　解説
34　冨士石　江戸宮笥／調和・心友　編／島本昌一　解説
35　江戸蛇之鮓　誹諧おくれ双六　誹諧白根嶽　稲莚　誹諧一橋／言水・清風・調実　編／萩原恭男・雲英末雄　解説
36　当流篭抜(宗旦)　ぬれ烏(一礼・益友)　大坂八百韻(益翁)　難波曲(自問)　渡し船(順水)　すがた哉(朧麿)／桜井武次郎　解説
37　日本行脚文集／三千風　著／岡本勝解　説
38　非無漏毛理　古保理山／正章・正式　著／加藤定彦　解説
39　正章千九　紅梅千句　貞徳誹諧記／正章・貞徳・一貞　編著／安藤武彦・荻野秀峰　解説
40　玉海集付五条之百句(貞室)(上)／田中善信・雲英末雄　解説
41　玉海集付五条之百句(貞室)(下)／田中善信・雲英末雄　解説
42　伊勢正直集(如之編)(上)／荻野秀峰　解説
43　伊勢正直集(如之編)(下)／荻野秀峰　解説
44　一本草(未琢編)(上)／島本昌一　解説
45　一本草(未琢編)(下)／島本昌一　解説
46　旅衣　十種千句／友意・玄札・白鵜　編著／雲英末雄　解説
47　続無名抄(惟中)　ひたち帯(児水)　反故集(遊林)　付増補大和言葉／加藤定彦　解説
48　物見車　石車／加賀田可休・西鶴　編著／永野仁　解説

【近世文学資料類従　古板地誌編】

1　京童／中川喜雲　著／市古夏生　解説
2　京童跡追／中川喜雲　著／市古夏生　解説
3　洛陽名所集　外題「都物語」／山本泰順　著／安田富貴子　解説
4　京雀／浅井了意　著／市古夏生　解説
5　山城四季物語　嵯峨名所鑑　伏見鑑／坂内直頼　著／安田富貴子　解説
6　出来斎京土産／浅井了意　著／松本隆信　解説
7　東海道名所記／浅井了意　著／市古夏生　解説
8　江戸名所記／浅井了意　著／市古夏生　解説
9　江戸雀／近行遠通　撰／深沢秋男　解説
10　故郷歸の江戸咄／著者不明／安田富貴子　解説
11　江戸方角安見図(その他)／図翁遠近道印　著／森川昭　解説
12　鎌倉物語　順礼鎌倉記／中川喜雲・沢庵和尚　著／森川昭　解説
13　三河雀　身延鑑　身延のみちの記／花翁・洛陽の沙門　著／森川昭　解説

14　南都名所集／太田叙親・村井道弘　編／岡本勝　解説
15　吉野山獨案内　南北二京霊　地集／謡春庵周可・釈良定　著／岡本勝　解説
16　吉野夢見草／釈雲水　編／岡本勝　解説
17　奈良名所八重桜／大久保秀興　著／横山重・小川武彦　解説
18　蘆分船　難波百絶詩草／一無軒道冶・清水春流　著／島田勇雄　解説
19　難波鑑　住吉相生物語／一無軒道冶　著／小川武彦　解説
20　河内鑑名所記／三田浄久　著／三田章・小川武彦　解説
21　有馬地誌集／平子政長　撰／森川昭　解説
22　日本分形図・人国記／松本隆信　解説

【近世文学資料類従　参考文献編】

1　武具訓蒙図彙／雪任子湯浅得之　著／小池章太郎　解説
2　人倫重宝記／江本裕　解説
3　邇言便蒙抄　影印並びに解題・索引／永井如瓶子　著／小林祥次郎　解題
4　訓蒙図彙　影印並びに解題・索引／中村惕斎　著／小林祥次郎　解題
5　書札調法記／著者不明／長尾高明　解説
7　志不可起　影印並びに解題・索引／箕田患貞　著／小林祥次郎　解題
8　世話重宝記／小林祥次郎　解説
10　重宝記大全　萬民調宝記／小林祥次郎　解題
12　算法闕疑抄／松崎利雄　解題
13　俳諧小傘／島本昌一　解題
14　重宝記集一　邪兇呪禁法則　呪詛調法記　陰陽師調法記　礼式書札集　霊宝聞書全抄／野田千平　解題
15　重宝記集二　秘伝雑方集　妙薬秘方集　男女御土産重宝記　医道日用重宝記　昼夜調法記／野田千平　解題
17　男重宝記／小川武彦　解説
18　女重宝記　家内重宝記／小川武彦　解題

【近世文学資料類従　西鶴編】

1　好色一代男(大坂版)（天和二年刊）／金井寅之助　解説
2　好色一代男(江戸版)（貞享元年刊）／金井寅之助　解説
3　諸艶大鑑(好色二代男)（貞享元年刊）／安田富貴子　解説
4　好色五人女(貞享三年刊）／青山忠一　解説
5　好色一代女(貞享三年刊）／田中伸　解説
6　本朝二十不孝(貞享三年刊）／小野晋　解説
7　男色大鑑(貞享四年刊）／小野　晋　解説
8　武道伝来記(貞享四年刊）／野田千平　解説
9　日本永代蔵(貞享五年刊）／吉田幸一　解説
10　武家義理物語(貞享五年刊）／吉田幸一　解説
11　新可笑記(元禄元年刊）／深沢秋男　解説
12　好色盛衰記(貞享五年刊）／多治比郁夫　解説
13　本朝桜陰比事(元禄二年刊）／長尾高明　解説
14　世間胸算用(元禄五年刊）／金井寅之助　解説
15　西鶴置土産(元禄六年刊）／金井寅之助　解説
16　西鶴織留(元禄七年刊）／青山忠一　解説
17　西鶴俗つれづれ(元禄八年刊）／吉田幸一　解説
18　萬の文反古(元禄九年刊）／岡本勝　解説
19　西鶴名残の友(元禄十二年刊）／金井寅之助　解説
20　難波顔ハ伊勢の白粉　付難波立聞昔語　舞曲扇林／諏訪春雄　解説
21　凱陣八島　小竹集／信多純一　解説
22　一目玉鉾(元禄二年刊)付西海路之づ(延宝五年刊）／小池章太郎・前田金五郎　解説
23　近代艶隠者(貞享三年刊）　付西行撰集抄(挿絵)（貞享四年刊）／小川武彦　解説
24　新吉原つねづね草(元禄二年刊）／青山忠一　解説
25　浮世栄花一代男(元禄六年刊）／安田富貴子　解説

【金子みすゞ評伝シリーズ】

金子みすゞ　永遠の母性／詩と詩論研究会　編

金子みすゞ　花と海と空の詩／詩と詩論研究会　編
金子みすゞ　詩と真実／詩と詩論研究会　編
金子みすゞ　美しさと哀しみの詩／詩と詩論研究会　編
金子みすゞと夭折の詩人たち／詩と詩論研究会　編

【月光】

1　中原中也　シャルルヴィル=メジェールからの出発／福島泰樹　立松和平　黒古一夫　太田代志朗　竹下洋一　編
2　発見！　宮沢賢治　「海岸は実に悲惨です」／福島泰樹　立松和平　黒古一夫　太田代志朗　竹下洋一　編

【源氏物語講座】

1　源氏物語とは何か／今井卓爾　後藤祥子　鬼束隆昭　中野幸一　編
2　物語を織りなす人々／今井卓爾　後藤祥子　鬼束隆昭　中野幸一　編
3　光る君の物語／今井卓爾　後藤祥子　鬼束隆昭　中野幸一　編
4　京と宇治の物語・物語作家の世界／今井卓爾　後藤祥子　鬼束隆昭　中野幸一　編
5　時代と習俗／今井卓爾　後藤祥子　鬼束隆昭　中野幸一　編
6　語り・表現・ことば／今井卓爾　後藤祥子　鬼束隆昭　中野幸一　編
7　美の世界　雅びの継承／今井卓爾　後藤祥子　鬼束隆昭　中野幸一　編
8　源氏物語の本文と受容／今井卓爾　後藤祥子　鬼束隆昭　中野幸一　編
9　近代の享受と海外との交流／今井卓爾　後藤祥子　鬼束隆昭　中野幸一　編
10　研究文献目録／今井卓爾　後藤祥子　鬼束隆昭　中野幸一　編

【古辞書大系】

2　改訂新版　文明本節用集　研究並びに総合索引／中田祝夫　著
7　恵空編　節用集大全　研究並びに索引／中田祝夫　著
11　改訂新版　古本節用集六種　研究並びに総合索引／中田祝夫　著
12　字鏡集 白河本寛元本研究並びに総合索引　影印篇　第1冊／中田祝夫・林義雄　著
13　合類節用集　研究並びに索引／中田祝夫・小林祥次郎・野沢勝夫　著
15　字鏡鈔　天文本研究並びに総合索引　索引篇／中田祝夫・林義雄　著

【古典資料類従】

1　神宮文庫本万葉集１／林勉　解説
2　神宮文庫本万葉集２／林勉　解説
3　神宮文庫本万葉集３／林勉　解説
4　神宮文庫本万葉集４／林勉　解説
5　五山版大字本　夢中問答集　付谷響集／夢窓国師　著／川瀬一馬　解説
7　元和九年心也開板古活字体　狭衣物語／三谷栄一　解説
8　平家物語　波多野流節付語り本　１／渥美かをる　解説
9　平家物語　波多野流節付語り本　２／渥美かをる　解説
10　平家物語　波多野流節付語り本　３／渥美かをる　解説
11　平家物語　波多野流節付語り本　４／渥美かをる　著
12　平家物語　波多野流節付語り本　５／渥美かをる　解説
13　平家物語　波多野流節付語り本　６／渥美かをる　解説
14　源平盛衰記　慶長古活字体　１／渥美かをる　解説
15　源平盛衰記　慶長古活字体　２／渥美かをる　解説
16　源平盛衰記　慶長古活字体　３／渥美かをる　解説
17　源平盛衰記　慶長古活字体　４／渥美かをる　解説
18　源平盛衰記　慶長古活字体　５／渥美かをる　解説
19　源平盛衰記　慶長古活字体　６／渥美かをる　解説
20　甲陽軍鑑／酒井憲二　解説
24　梅沢本　栄花物語　１／川口久雄　解説
25　梅沢本　栄花物語　２／川口久雄　解説
26　梅沢本　栄花物語　３／川口久雄　解説
27　梅沢本　栄花物語　４／川口久雄　解説
28　梅沢本　栄花物語　５／川口久雄　解説
29　梅沢本　栄花物語　６／川口久雄　解説
30　眞寸鏡　桂宮本／佐藤高明　解説

37　撰集抄　大林院本・小林本／渡邊信和・安田孝子　編

【古点本資料叢刊】
1　無量義経古点／中田祝夫　編
2　正倉院本　地蔵十輪経　巻五・七元慶点／中田祝夫　編

【工作】
1　熱の力をつかう　熱の工作／住野和男　著
2　水の力をつかう　水の工作／住野和男　著
3　風の力をつかう　風の工作／住野和男　著
4　光の力をつかう　光の工作／住野和男　著

【江戸川柳の美学】
第1巻『何んでもうたに　国民みな詩人』／江口孝夫　著
第2巻『見立てとうがち　躍動する詩心』／江口孝夫　著
第3巻『もじりとやじり　光る批判精神』／江口孝夫　著
第4巻『あまえとおどけ馬鹿するゆとり』／江口孝夫　著
第5巻『のろけとちゃかし笑いは艶に』／江口孝夫　著

【講座元禄の文学】
1　元禄文学の流れ／浅野晃　雲英末雄　谷脇理史　原道生　宗政五十緒　編
2　元禄文学の開花Ⅰ／浅野晃　雲英末雄　谷脇理史　原道生　宗政五十緒　編
3　元禄文学の開花Ⅱ／浅野晃　雲英末雄　谷脇理史　原道生　宗政五十緒　編
4　元禄文学の開花Ⅲ／浅野晃　雲英末雄　谷脇理史　原道生　宗政五十緒　編
5　元禄文学の状況／浅野晃　雲英末雄　谷脇理史　原道生　宗政五十緒　編

【講座日本の演劇】
1　日本演劇史の視点／諏訪春雄・菅井幸雄　編
2　古代の演劇／諏訪春雄・菅井幸雄　編
3　中世の演劇／諏訪春雄・菅井幸雄　編
4　近世の演劇／諏訪春雄・菅井幸雄　編
5　近代の演劇Ⅰ／諏訪春雄・菅井幸雄　編
6　近代の演劇Ⅱ／諏訪春雄・菅井幸雄　編
7　現代の演劇Ⅰ／諏訪春雄・菅井幸雄　編
8　現代の演劇Ⅱ／諏訪春雄・菅井幸雄　編

【三島由紀夫論集】
1　三島由紀夫の時代／松本徹　佐藤秀明　井上隆史　編
2　三島由紀夫の表現／松本徹　佐藤秀明　井上隆史　編
3　世界の中の三島由紀夫／松本徹　佐藤秀明　井上隆史　編

【鹿島平和研究所叢書】
フランス今昔　その知られざるプロフィール／鹿島平和研究所　編／井川克一・矢田部厚彦　著
回想の戦時外交／鹿島平和研究所　編／平泉渉　加瀬俊一　中川融　菊地清明　著
経済外交の現場を語る／鹿島平和研究所　編／菊地清明・深田宏　著
国際情勢の分析　集中討議①／鹿島平和研究所　編／小原武・佐藤嘉恭・都甲岳洋・平泉渉・深田宏・柳井俊二・山下新太郎・湯下博之　著
国際情勢の分析②／鹿島平和研究所　編
平成大不況　克服／鹿島平和研究所　編／原田泰・野村誠・田中努・水上萬里夫　著

【春日政治著作集】
1　仮名発達史の研究／春日和男　編集・解説
2　国語文体発達史序説／春日和男　編集・解説
3　国語叢考／春日和男　編集・解説
4　続国語叢考／春日和男　編集・解説
5　萬葉方々 その他／春日和男　編集・解説
6　古訓点の研究／春日和男　編集・解説
7　国文法教育／春日和男　編集・解説
8　青靄集／春日和男　編集・解説
別巻　西大寺本　金光明最勝王経　古点の国語学的研究／春日政治　著

【女流日記文学講座】
1　女流日記文学とは何か／今井卓爾　監修／石原昭平ほか　編
2　『蜻蛉日記』／今井卓爾　監修／石原昭平ほか　編
3　和泉式部日記・紫式部日記／今井卓爾　監修／石原昭平ほか　編
4　更級日記・讃岐典侍日記・成尋阿闍梨母集／今井卓爾　監修／石原昭平ほか　編
5　とはずがたり・中世女流日記文学の世界／今井卓爾　監修／石原昭平ほか　編
6　建礼門院右京太夫集・うたたね・竹むきが記／今井卓爾　監修／石原昭平ほか　編

【抄物大系】
1　中華若木詩抄／中田祝夫　編
2　燈前夜話／中田祝夫　編／小林千草　解説
3　蒙求抄／中田祝夫　編／金田弘　解説
4　毛詩抄／中田祝夫　編／外山映次　解説
5　足利本 論語抄／中田祝夫　編・解説
6　人天眼目抄／中田祝夫　編／外山映次　解説
7　応永二十七年本 論語抄／中田祝夫　編・翻字・解説
8　三体詩素隠抄／中田祝夫　編／谷沢尚一　解説
9　三体詩幻雲抄／中田祝夫　編／坪井美樹　解説
11　江湖風月集抄／中田祝夫　編／西田絢子　解説
別刊　玉塵抄(一)／中田祝夫　編
別刊　玉塵抄(九)／中田祝夫　編
別刊　玉塵抄(五)／中田祝夫　編
別刊　玉塵抄(三)／中田祝夫　編
別刊　玉塵抄(四)／中田祝夫　編
別刊　玉塵抄(七)／中田祝夫　編
別刊　玉塵抄(十)／中田祝夫　編
別刊　玉塵抄(二)／中田祝夫　編
別刊　玉塵抄(八)／中田祝夫　編
別刊　玉塵抄(六)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(一)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(九)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(五)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(三)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(四)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(七)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(十)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(十一)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(十二)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(二)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(八)／中田祝夫　編
別刊　四河入海(六)／中田祝夫　編

【松下文法シリーズ】
改訂解説 標準漢文法／松下大三郎著・徳田政信　編
校訂 日本俗語文典 付遠江文典／松下大三郎　著／徳田政信　編
松下文法要覧／徳田政信　編

【笑いと創造】
第1集／ハワード・ヒベット＋日本文学と笑い研究会　編
第2集／ハワード・ヒベット＋日本文学と笑い研究会　編
第3集／ハワード・ヒベット＋日本文学と笑い研究会　編
第4集／ハワード・ヒベット＋日本文学と笑い研究会　編
第5集／ハワード・ヒベット＋日本文学と笑い研究会　編
第6集／ハワード・ヒベット＋日本文学と笑い研究会　編

【蕉門俳書集】
1　馬蹄二百句　俳諧勧進牒　流川集　ひるねの種　俳諧五節句／蕉門俳書研究会　編
2　あめ子　熱田皺筥物語　草苅笛　蝶すがた　幾人水主／蕉門俳書研究会　編
3　蛙合　茶のさうし　青葛葉　西の詞集　野烏／蕉門俳書研究会　編
4　俳諧桃の実　後の旅集　続猿蓑　けふの昔　幻之庵／蕉門俳書研究会　編
5　波留濃日　ひさご　誹諧曾我　そこの花　伊丹古蔵／蕉門俳書研究会　編
6　俳諧翁艸　まくらかけ　櫻山伏　はつたより　刷毛序１／蕉門俳書研究会　編
【情報とメディア】
法情報サービスと図書館の役割／指宿信　編
【情報考古シリーズ】
2　狩猟採集から農耕社会へ　先史時代ワールドモデルの構築／原俊彦　著
3　民族考古学／後藤明　著
【親子で楽しむ歴史と古典】
1　ヤマトタケル／松田稔　著
2　かぐや姫／中村和子　著
3　光源氏の君／弥谷まゆ美　著
4　鬼と天狗のものがたり／志村有弘　著
5　こぶとり爺さん／青山克彌　著
6　弓の名人為朝／矢代和夫　著
7　鉢かづき・酒呑童子／石黒吉次郎　著
8　太閤秀吉／轟龍造　著
9　関ヶ原の戦い／中村晃　著
10　大岡裁き／西野辰吉　著
11　亡霊／葉山修平　著
12　小野小町／松本徹　著
13　陰陽師　安倍晴明／志村有弘　著
14　一休／葉山修平　著
15　里見八犬伝／鈴木邑　著
16　水戸黄門／松尾政司　著
17　赤穂浪士／高橋千劔破　著
18　紀伊国屋文左衛門／小田淳　著
19　良寛／大森光章　著
20　江戸のホラー　稲生物怪録／志村有弘　著
21　勝海舟／杉田幸三　著
22　坂本龍馬／泉淳　著
【人間愛叢書】
いのちの初夜／北條民雄　著
こんなに優しい日本人／志村有弘　著
愛と信義の人／志村有弘　著
火の女／福田清人　著
生命讃歌　お伽噺／石川洋　著
土佐の竜馬／泉淳　著
無法松の一生／岩下俊作　著
長崎の鐘／永井隆　著
【人文学と情報処理】
1　人文学におけるコンピュータ利用の現在／編集部　編
2　データベースの構築と利用／編集部　編
3　画像データベース／編集部　編
4　図書館・博物館・美術館の情報システム／編集部　編
5　情報化時代の著作権／編集部　編
6　大学の情報処理教育／編集部　編
7　歴史研究と情報処理／編集部　編

8　インターネット入門から活用へ／編集部　編
9　電子図書館の未来／編集部　編
10　文字コード　現状と未来／編集部　編
11　明日の考古学をひらく／編集部　編
12　音声データベース／編集部　編
13　重点領域研究　人文科学とコンピュータ／編集部　編
14　画像の世界／編集部　編
15　インターネットと学術情報／編集部　編
16　ヒューマンネットワーク宣言／編集部　編
17　電子博物館構想／編集部　編
18　挑戦　古文書ＯＣＲ／編集部　編
19　最新実例データベース／編集部　編
20　創造への挑戦　数量分析最前線／編集部　編
21　自然言語処理のすべて／編集部　編
22　日本史研究の情報化／編集部　編
23　デジタル百科への期待／編集部　編
24　電脳東洋学／編集部　編
25　歴史学系データベースと文字コード／編集部　編
26　文字コード論から文字論へ／編集部　編
27　デジタルアーカイビング／編集部　編
28　情報検索／編集部　編
29　リアルワールドとサイバースペースの交錯／編集部　編
別冊　1　電子図書館はどうなる／編集部　編
【図書館・情報メディア双書】
1　図書館史・総説／藤野幸雄　著
2　世界の図書館　その歴史と現在／寺田光孝　編
3　ディジタル図書館／田畑孝一　著
5　電子時代の著作権／山本順一　著
6　情報検索の考え方／緑川信之　著
10　建築から図書館をみる／植松貞夫　著
11　図書館情報学の課題と展望／吉田政幸　著
12　図書館を使う／遠藤卓郎　黒古一夫　編
【図書館情報学のフロンティア】
1　電子図書館　デジタル情報の流通と図書館の未来／日本図書館情報学会研究委員会　編
2　図書館を支える法制度／日本図書館情報学会研究委員会　編
3　図書館の経営評価　パフォーマンス指標による新たな図書館評価の可能性／日本図書館情報学会研究委員会　編
4　図書館目録とメタデータ／日本図書館情報学会研究委員会　編
5　学校図書館メディアセンター論の構築に向けて／日本図書館情報学会研究委員会　編
【推理・探偵文学館】
アッブルビィ警部の事件簿／マイケル・イネス　著／森一　訳
シャーロックホームズ 知られざる事件／リチャード・Ｌ・グリーン　編／佐藤明子　訳
【世界の作家】
コンラッド　人と文学／武田ちあき　著
カポーティ　人と文学／越智博美　著
【正本近松全集】
1　世継曾我　出世景清　佐々木大鑑　今川了俊／近松書誌研究会　編
2　天智天皇　十二段　大磯虎稚物語　せみ丸／近松書誌研究会　編
3　曾我七以呂波　吉野忠信　当流小栗判官　最明寺殿百人上臈　丹州千年狐　曾我五人兄弟／近松書誌研究会　編
4　団扇曾我　賀古教信七墓廻　文武五人男　南大門秋彼岸　曾根崎心中／近松書誌研究会　編
5　薩摩歌　雪女五枚羽子板　用明天王職人鑑　松風村雨束帯鑑／近松書誌研究会　編
6　鎌田兵衛名所盃　源義経将棊経　心中二枚絵草紙　本領曾我　加増曾我／近松書誌研究会　編
7　兼好法師物見車他／近松書誌研究会　編

8　酒呑童子枕言葉　心中重井筒　丹波与作待夜の小室節　傾城反魂香　淀鯉出世滝徳　心中刃は氷の朔日／近松書誌研究会　編
9　曾我虎が鷹　傾城吉岡染　心中万年草　百合若大臣野守鏡／近松書誌研究会　編
10　孕常磐　源氏れいぜいぶし　吉野都女楠　浦嶋年代記／近松書誌研究会　編
11　冥途の飛脚　今宮の心中　大職冠／近松書誌研究会　編
12　けいせい懸物揃　弘徽殿鵜羽産家　嫗山姥／近松書誌研究会　編
13　長町女腹切　瘵静胎内捃　天神記／近松書誌研究会　編
14　釈迦如来誕生会　相模入道千疋犬　俄哥かるた／近松書誌研究会　編
15　嵯峨天皇甘露雨　音曲百枚笹　杷狩剣本地　大経師昔暦／近松書誌研究会　編
16　持統天皇哥軍法　生玉心中　国性爺合戦／近松書誌研究会　編
17　国性爺後日合戦　鑓の権三重帷子　聖徳太子絵伝記／近松書誌研究会　編
18　山崎与次兵衛寿の門松　日本振袖始　曾我会稽山／近松書誌研究会　編
19　博多小女郎波枕　本朝三国志　平家女護嶋／近松書誌研究会　編
20　傾城嶋原蛙合戦　傾城酒呑童子　井筒業平河内通／近松書誌研究会　編
21　双生隅田川　日本武尊吾妻鑑　心中天の網嶋／近松書誌研究会　編
22　津国女夫池　女殺油地獄　信州川中嶋合戦／近松書誌研究会　編
23　唐船噺今国性爺　心中宵庚申　関八州繋馬／近松書誌研究会　編
24　大原問答／近松書誌研究会　編
25　赤染衛門栄華物語　つれつれ草　三社託宣由来　鳥羽恋塚物語　十六夜物語　平安城／近松書誌研究会　編
26　東山殿子日遊　亀谷物語　藍染川　京わらんべ　大原御幸　惟喬惟仁位諍／近松書誌研究会　編
27　念仏往生記　以呂波物語　賢女の手習幷新暦　凱陣八陣　源氏長久移徒悦／近松書誌研究会　編
28　信濃源氏木曾物語　都富士　花洛受法記　源三位頼政　頼朝浜出／近松書誌研究会　編
29　巴大鼓　千載集　薩摩守忠度　義経東六法／近松書誌研究会　編
30　主馬判官盛久　盛久　三世相　自然居士／近松書誌研究会　編
31　ゑがらの平太他／近松書誌研究会　編
32　ひらがな太平記他／近松書誌研究会　編
33　頼朝伊豆日記他／近松書誌研究会　編
34　根元曾我他／近松書誌研究会　編
35　甲子祭　忠臣身替物語　一心五戒魂　田村将軍初観音　善光寺御堂供養／近松書誌研究会　編
別巻1　浄瑠璃本奥書／近松書誌研究会　編
別巻2　研究篇　付影印篇　全巻目次／近松書誌研究会　編

【精神科医からのメッセージ】
うつ病新時代　双極Ⅱ型障害という病／内海健　著

【昔ばなしで英会話】
つるのおんがえし The Crane Repays a Favor ／曾根田憲三　監修／ブルース・パーキンス　翻訳
桃太郎　The Peach Boy ／曾根田憲三　監修／ブルース・パーキンス　翻訳
かぐや姫　The Shining Princess ／曾根田憲三　監修／ブルース・パーキンス　翻訳

【説話の講座】
1　説話とは何か／本田義憲・池上洵一・小峯和明・森正人・阿部泰郎　編
2　説話の言説　口承・書承・媒体／本田義憲・池上洵一・小峯和明・森正人・阿部泰郎　編
3　説話の場唱導・注釈／本田義憲・池上洵一・小峯和明・森正人・阿部泰郎　編
4　説話集の世界　Ⅰ古代／本田義憲・池上洵一・小峯和明・森正人・阿部泰郎　編
5　説話集の世界／本田義憲・池上洵一・小峯和明・森正人・阿部泰郎　編
6　説話とその周縁物語・芸能／本田義憲・池上洵一・小峯和明・森正人・阿部泰郎　編

【川端文学の世界】
1　その生成／田村充正　馬場重行　原善　編
2　その発展／田村充正　馬場重行　原善　編
3　その深化／田村充正　馬場重行　原善　編
4　その背景／田村充正　馬場重行　原善　編
5　その思想／田村充正　馬場重行　原善　編

【想像する平安文学】
1　〈平安文学〉というイデオロギー／河添房江　神田龍身　小嶋菜温子　小林正明　深沢徹　吉井美弥子　編

2　〈平安文化〉のエクリチュール／河添房江　神田龍身　小嶋菜温子　小林正明　深沢徹　吉井美弥子　編
3　言説の制度／河添房江　神田龍身　小嶋菜温子　小林正明　深沢徹　吉井美弥子　編
4　交渉することば／河添房江　神田龍身　小嶋菜温子　小林正明　深沢徹　吉井美弥子　編
5　夢そして欲望／河添房江　神田龍身　小嶋菜温子　小林正明　深沢徹　吉井美弥子　編
6　家と血のイリュージョン／河添房江　神田龍身　小嶋菜温子　小林正明　深沢徹　吉井美弥子　編
7　系図をよむ／地図をよむ　物語時空論／河添房江　神田龍身　小嶋菜温子　小林正明　深沢徹　吉井美弥子　編

【台湾大学所蔵近世芸文集】
1　浄瑠璃本／鳥居フミ子　編
2　歌舞伎／鳥居フミ子　編
3　浮世草紙／鳥居フミ子　編
4　俳諧・他／鳥居フミ子　編
5　草双紙　他／鳥居フミ子　編

【大学古典叢書】
1　新註雨月物語／高田衛・稲田篤信　編
2　新註今昔物語集
3　新註 百人一首　付 歌人説話／深津睦夫・
4　新註無名草子／川島絹江　篇
5　新註去来抄／尾形仂・野々村勝英・嶋中道則　編
6　演習　伊勢物語　拾穂抄／片桐洋一・青木賜鶴子　編著
9　図説資料　近世文学史／諏訪春雄　著

【大衆〈奇〉文学館】
1　村の怪談／田中貢太郎　著
2　不死身・幽鬼楼／大泉黒石　著
3　怪談／ラフカディオ・ハーン　著／森一　訳

【智慧の海叢書】
1　視覚革命　浮世絵／諏訪春雄　著
2　御伽草子　その世界／石川透　著
3　美術館商売　美術なんて…と思う前に／安村敏信　著
4　日本文学から「自然」を読む／川村晃生　著
5　エマソンと三人の魔女／吉田とよ子　著
7　江戸三大奇書と共に／江口孝夫　著
8　応天門炎上　伴大納言／長野甞一　著
9　芥川龍之介　王朝物の背景／長野甞一　著
10　ひらいてみよう　古典の小箱／梅花女子大学日本文化創造学科　編
11　多文化国家米国の高等教育への挑戦／遠藤克弥　著
12　日中の風穴／矢吹晋　著
13　アメリカの永久革命　共和党と民主党が生むダイナミズム／松尾弌之　著
14　草枕と旅の源流を求めて　万葉の多胡・田子浦の歌／吉田金彦　著
15　夢みる人　作曲家フォスターの一生／藤野幸雄　著
16　インド＝宗教の坩堝／武藤友治　著
17　長崎出島の遊女近代への窓を開いた女たち／白石広子　著
18　義経の東アジア／小島毅　著
19　「敬語」論／浅田秀子　著

【土偶研究の地平】
第1集／「土偶とその情報」研究会　編
第2集／「土偶とその情報」研究会　編
第3集／「土偶とその情報」研究会　編
第4集／「土偶とその情報」研究会　編

【湯澤幸吉郎著作集】
1　国語史概説／湯澤幸吉郎　著
2　国語学論考／湯澤幸吉郎　著
3　現代語法の諸問題／湯澤幸吉郎　著

4　現代口語の実相／湯澤幸吉郎　著

【日沼頼夫対談集】

医・薬を撃つ／日沼頼夫　著

医学の根っこ／日沼頼夫　著

【日本合戦騒動叢書】

1　赤松物語・嘉吉記／矢代和夫　著
2　応仁記／志村有弘　著
3　謙信軍記・上杉二十四将／中村晃　著
4　朝倉始末記／藤居正規　著
5　肥陽軍記／原田種眞　著
6　元親記／泉淳　著
7　関ヶ原合戦記／西野辰吉　著
9　川角太閤記／志村有弘　著
10　真田三代記／矢代和夫　著
11　安西軍策・毛利元就合戦記／石黒吉次郎　著
12　賤ヶ嶽合戦記／志村有弘　著
13　北条五代記／矢代和夫・大津雄一　著
14　前田利家・利長軍記／青山克彌　著
15　里見軍記・里見九代記・里見代々記／稲田篤信　著

【文芸文庫・古典】

1　竹取物語／高橋貞一　編
2　伊勢物語／高橋貞一　編
3　方丈記／高橋貞一　編
4　徒然草／高橋貞一　編
5　おくのほそ道／吉江久弥　編
6　曾根崎心中・心中天の網島／鶴見誠　編
7　古今和歌集／瀧澤貞夫　編
8　西行物語／高橋貞一　編
9　仁勢物語　犬百人一首　酒茶論　酒餅論／渡辺守邦　解説
10　新古今和歌集／瀧澤貞夫　編
11　住吉物語／高橋貞一　編

【勉誠社文庫】

1　古京遺文／狩谷棭斎　著／山田孝雄・香取秀真　増補
2　猿蓑／前田利治　解説
3　天草版 イソポ物語／福島邦道　解説
4　法華修法一百座聞書抄／山岸徳平翻字　解説
5　雨月物語／森田喜郎　解説
6　好色五人女／青山忠一　解説
7　天草版 平家物語　上／福島邦道　解説
8　天草版 平家物語　下／福島邦道　解説
10　玉あられ　字音仮字用格／本居宣長　著／福田真久　解説
11　活語指南 友鏡・和語説ノ略図／東条義門　著
12　東大寺諷誦文稿／中田祝夫　解説
13　古活字本　伊曾保物語／中川芳雄　解説
14　守武千句／沢井耐三　解説
15　雑兵物語／金田弘　解説
16　あゆひ抄／富士谷成章　著／中田祝夫　解説
17　寛永五年版　韻鏡／鈴木真喜男　解説
18　金句集四種集成／福島邦道　解説
19　雑談集／榎本其角　著／岡本勝　解説
20　中華若木詩抄／中田祝夫　解説
21　キリシタン版 落葉集／福島邦道　解説

22　古言衣延辨 古言衣延辨證補／奥村栄実・大矢透　著／中田祝夫　解説
23　倭名類聚鈔(元和三年古活字版 二十巻本)／源順　編／中田祝夫　解説
24　姉小路式　歌道秘蔵録　春樹顕秘抄・春樹顕秘増抄／根来司　解説
25　詞の通路(上)／本居春庭　著／島田昌彦　解説
27　庭訓往来諺解大成／永井如瓶子　著／小林祥次郎　解説
28　竹むきが記／水川喜夫　解説
29　博士讀攷證／岡本保孝　著／中田祝夫　解説
30　珠光編 浄土三部経音義／中田祝夫　解説／土屋博映　索引
31　訓点復古／日尾荊山　著／中田祝夫　解説
32　遊子方言／中田祝夫　解説・翻字
33　音韻仮字用例／白井寛蔭　著／湯沢質幸　解説
35　徒然草 細川幸隆所持本(上)／桑原博史　解説
36　徒然草 細川幸隆所持本(下)／桑原博史　解説
37　指出廼礒　礒乃／東条義門　著
38　徒然草 烏丸本(上)／小林祥次郎　解説
39　徒然草 烏丸本(下)／小林祥次郎　解説
40　宇都宮朝業日記／外村展子　解説・翻字
41　韻鏡考・随唐音図・上／大矢透　著／小松英雄　解説
42　韻鏡考・随唐音図・下／大矢透　著
43　助字詳解／皆川淇園　著／国金海二　解説
44　百人一首基箭抄／井上秋扇　著／小林祥次郎　解説
45　稿本あゆひ抄／富士谷成章　著／竹岡正夫　解説
46　源通親日記／水川喜夫　解説
47　仮名書き 観無量寿経・阿弥陀経／中田祝夫　編著
48　山口の栞(上)／東条義門　著／中田祝夫　解説
49　山口の栞(下)／東条義門　著／中田祝夫　解説
50　玉霰窓の小篠(上)／中島広是　著／土屋博映　解説
51　玉霰窓の小篠(下)／中島広是　著／土屋博映　解説
52　薬師寺金石文考四種 附薬師寺縁起／中田祝夫　編著
53　仮字大意抄・仮字拾要／村田春海　著／吉見孝夫　解説
54　古言別音抄／草鹿砥宣隆　著／大久保恵子　解説
55　どちりいな きりしたん(バチカン本)／亀井孝・小島幸枝　解説
56　どちりな きりしたん(カサナテンセ本)／亀井孝・小島幸枝　解説
57　漢呉音図／太田全斎　著／林史典　解説
58　古言佛／揖取魚彦　著／林義雄　解説
59　助辭譯通／岡白駒　著／国金海二　解説
60　日本霊異記 片仮名本／中田祝夫　解説
61　男信／東条義門　著／湯沢質幸　解説
62　仮字本末(上)／伴信友　著／峰岸明　解説
63　仮字本末(下)／伴信友　著／峰岸明　解説
64　詞玉橘・詞玉襷／富樫広蔭　著／小林賢次　解説
65　活語雑話／東条義門　著／小池晴治　解説
66　倭讀要領／太宰春台　著／小林芳規　解説
67　漢字三音考 地名字音転用例／本居宣長　著／林史典・湯沢質幸　解説
69　讃岐典侍日記／石井文雄　解説
70　同文通考／新井白石　著／古屋彰　解説
71　クリフォード 琉球語彙／亀井孝　解説
72　金毘羅講 説教記録／中出惇・大内美子子　解説
73　助辭鵠(上)／河北景楨・國金海二　解説
74　助辭鵠(下)／河北景楨・國金海二　解説
75　古今集和歌助辞分類／村上織部　著／根上剛士　解説
76　中外抄・冨家語／宮田裕行　解説

77　六韜秘傳／藤本二朗　解説
78　神風知明顕正義集／田山信郎・松田武夫　編著／北野克　解説
79　御物本 増鏡(上・中) ／佐藤高明　解説
80　御物本 増鏡(下) ／佐藤高明　解説
81　きのふはけふの物語／岡雅彦　解説
82　てにをは係辞弁／萩原広道　著／舩城俊太郎　解説
83　源氏物語抄・「末摘花」断簡／田山方南　校訂／舩田武夫　解題／北野克　後記
84　雲州往来二種／藤原明衡　著／佐藤武義　編著
85　上宮聖徳法王帝説／中田祝夫　編著
86　坊っちゃん『ホトトギス』初出本文／夏目漱石　著／青柳達雄　解説
87　たけくらべ 雑誌掲載・テキスト二種／樋口一葉　著／中田祝夫　解説
88　御書音義／小川栄一　解説
89　仮字考／岡田真澄　著／小川栄一　解説
90　磨光韻鏡／文雄　著／林史典　解説
91　韻鏡指要録 翻切伐柯篇／文雄　著／林史典　解説
92　重校正字磨光韻鏡／文雄　著／林史典　解説
93　磨光韻鏡餘論／文雄　著／林史典　解説
94　訂正古訓古事記　上／本居宣長　著／小野田光雄　解説
95　訂正古訓古事記　中／本居宣長　著／小野田光雄　解説
96　訂正古訓古事記　下／本居宣長　著／小野田光雄　解説
97　遊仙窟鈔　上／林望　解説
98　遊仙窟鈔　下／林望　解説
100　俳題正名／山本鷺喬　著／中村俊定　編著
101　萬葉集文字辨證／木村正辭　著／神田喜一郎　解説
102　萬葉集字音辨證／木村正辭　著／神田喜一郎　解説
104　本朝世事談綺(上) ／菊岡沾涼　著／小林祥次郎　解説
105　本朝世事談綺(下) ／菊岡沾涼　著／小林祥次郎　解説
107　大和物語 永青文庫本／迫徹朗　解説
108　寛永刊ぶんしやうのさうし／相磯裕　解説
110　菅笠日記／本居宣長　著／尾崎知光　解説
111　伊勢物語　伝一条兼良筆本／片桐洋一　解説
113　俳諧天爾波抄(上)　／富士谷成元　著／竹岡正夫　解説
114　俳諧天爾波抄(下)　／富士谷成元　著／竹岡正夫　解説
116　詩家推敲／釈大典　著／小島憲之　編著
117　倭字古今通例全書(上) ／橘成員　著／井野口孝　編著
118　倭字古今通例全書(下) ／橘成員　著／井野口孝　編著
121　和訓栞／大綱　谷川士清　著／尾崎知光　編著
122　奥細道菅菰抄／高橋梨一著／大内初夫　編著
124　梅澤本　古本説話集／川口久雄　解説
125　閑居友／太田晶二郎　解説
126　一歩／中田祝夫　解説
127　柳橋新誌 伊都満底草／青柳達雄　解説
128　三宝絵詞(上) ／小泉弘　解説
129　三宝絵詞(下) ／小泉弘　解説
130　迴国雑記標註／関岡野洲良　著／中田嘉種　解説
131　将門記／中田祝夫　解説
132　和泉式部日記／小林茂美　解説
133　八丈の寝覚草／中田祝夫　解説
134　とはずがたり(上) ／後深草院二条　著
135　とはずがたり(下) ／後深草院二条　著
136　飛鳥井雅有日記／水川喜夫　編著
137　延宝八年板　歳旦集／下垣内和人　解説

138　歌行詩諺解　長恨歌伝　長恨歌　琵琶行　野馬台詩注解／神鷹徳治　編著
139　詞八衢／本居春庭　著／尾崎知光　解説
140　源氏遠鏡／栗田直政　著／尾崎知光・野田昌　解説

【勉誠新書】

1　平安の闇／樺島忠夫　著
2　南京城の鬼／吉田とよ子　著
3　もう一人の五島慶太伝／太田次男　著
4　ブロンテ家の物語／藤野幸雄　著
5　泡盛の考古学／小田静夫　著
6　女西行　とはずがたりの世界／松本寧至　著
7　西鶴のおもしろさ　名篇を読む／江本裕　谷脇理史　著
8　文章構成基礎から完成１手紙が書ける　手紙文作成システムによる練習／樺島忠夫　監修／広滝道代　著
9　文章構成　基礎から完成２　小論文の書き方　文章を読んで論説文を書く／樺島忠夫　監修／井上章子　著
10　文章構成　基礎から完成３　文章修行帖／樺島忠夫　監修／岩崎夏子　著
15　図書館へのこだわり／藤野幸雄　著
昭和天皇の教科書　教育勅語／杉浦重剛　著／所功　解説
昭和天皇の教科書　日本歴史　下／白鳥庫吉　著／所功　解説
昭和天皇の教科書　日本歴史　上／白鳥庫吉　著／所功　解説

【遊学叢書】

1　現代日本の宗教事情／諏訪春雄　編
2　神とものの け／志村有弘　編
3　万葉集と六朝詩／吉田とよ子　著
4　アジアの性／諏訪春雄　編
5　漱石　イギリスの恋人／佐藤高明　著
6　アジアの人形芸　諏訪春雄　編
7　小山内薫と二十世紀演劇／曾田秀彦　著
8　深沢七郎　この面妖なる魅力／相馬庸郎　著
9　東アジアの身体技法／石田秀実　編
10　歌・踊り・祈りのアジア／星野紘　野村伸一　編
11　日本人と米／諏訪春雄　編
12　在外和書を訪ねて／鳥居フミ子　著
13　透谷・漱石・独立の精神／小澤勝美　著
14　古代日本人と外国語／湯沢質幸　著
15　流離抄／松本寧至　著
16　巨木と鳥竿／諏訪春雄　編
17　じゃがたらお春の消息／白石広子　著
18　エルミタージュ　波乱と変動の歴史／郡司良夫　藤野幸雄　著
19　近代文学の〈朝鮮〉体験／南富鎮　著
20　五感で味わう中国大陸　道教聖地探訪の旅／奈良行博　著
21　金太郎の誕生／鳥居フミ子　著
22　小田実　「タダの人」の思想と文学／黒古一夫　著
23　歌い踊る民／星野紘　著
24　中国雲南　摩梭族の母系社会／遠藤織枝　著
25　中国少数民族と日本文化　古代文学の古層を探る／工藤隆　著
26　降神の秘儀　シャーマニズムの可能性／諏訪春雄　編／佐々木宏幹　藤崎康彦　野村伸一　櫻井徳太郎　著
27　反近代の精神　熊沢蕃山／大橋健二　著
28　近代日本と朝鮮人像の形成／南富鎮　著
29　韓国を歩く／須川英徳　編
30　エロスと貞節の靴　弾詞小説の世界／方蘭　著
31　哭きの文化人類学　もう一つの韓国文化論／崔吉城　著／舘野晳　訳

【連歌貴重文献集成】

1　二条良基・他／金子金治郎　編

2　梵灯庵と兼良／金子金治郎　編
3　宗砌・専順・他／金子金治郎　編
4　心敬の連歌論書／金子金治郎　編
5　心敬の自注・他／金子金治郎　編
6　宗祇の著作／金子金治郎　編
7　宗祇関係の諸書／金子金治郎　編
8　兼載と肖柏／金子金治郎　編
9　宗長と宗碩／金子金治郎　編
10　宗牧から紹巴まで／金子金治郎　編
別巻一　菟玖波集／金子金治郎　解説
別巻三　下／湯之上早苗　解説
別巻三　上／湯之上早苗　解説

【論集近世文学】
第1巻『近松とその周辺』／諏訪春雄　編
第2巻『歌舞伎』／諏訪春雄　編
第3巻『西鶴とその周辺』／檜谷昭彦　編
第4巻『俳諧史の新しき地平』／森川昭　編
第5巻『秋成とその時代』／高田衛　編

【論集平安文学】
1　文学空間としての平安京／後藤祥子　鈴木日出男　田中隆昭　中野幸一　増田繁夫　編
2　東アジアの中の平安文学／後藤祥子　鈴木日出男　田中隆昭　中野幸一　増田繁夫　編
3　平安文学の視角　女性／後藤祥子　鈴木日出男　田中隆昭　中野幸一　増田繁夫　編
4　源氏物語試論集／後藤祥子　鈴木日出男　田中隆昭　中野幸一　増田繁夫　編
5　平安文学の想像力／後藤祥子　鈴木日出男　田中隆昭　中野幸一　増田繁夫　編
6　平安文学と絵画／後藤祥子　鈴木日出男　田中隆昭　中野幸一　増田繁夫　編

【和歌文学講座学】
1　和歌の本質と表現／有吉保　稲岡耕二　上野理　島津忠夫　藤平春男　武川忠一　編
2　万葉集Ⅰ／有吉保　稲岡耕二　上野理　島津忠夫　藤平春男　武川忠一　編
3　万葉集Ⅱ／有吉保　稲岡耕二　上野理　島津忠夫　藤平春男　武川忠一　編
4　古今集／有吉保　稲岡耕二　上野理　島津忠夫　藤平春男　武川忠一　編
5　王朝の和歌／有吉保　稲岡耕二　上野理　島津忠夫　藤平春男　武川忠一　編
6　新古今集／有吉保　稲岡耕二　上野理　島津忠夫　藤平春男　武川忠一　編
7　中世の和歌／有吉保　稲岡耕二　上野理　島津忠夫　藤平春男　武川忠一　編
8　近世の和歌／有吉保　稲岡耕二　上野理　島津忠夫　藤平春男　武川忠一　編
9　近代の短歌／有吉保　稲岡耕二　上野理　島津忠夫　藤平春男　武川忠一　編
10　現代の短歌／有吉保　稲岡耕二　上野理　島津忠夫　藤平春男　武川忠一　編

【甦る絵巻・絵本】
チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵　竹取物語絵巻／小嶋菜温子・渡辺雅子・保立道久　解説／チェスター・ビーティー・ライブラリィ　監訳

【白居易研究講座】
1　白居易の文学と人生Ⅰ／太田次男ほか　編
2　白居易の文学と人生Ⅱ／太田次男ほか　編
3　日本における受容　韻文編／太田次男ほか　編
4　日本における受容　散文編／太田次男ほか　編
5　白詩受容を繞る諸問題編／太田次男ほか　編
6　白氏文集の本文／太田次男ほか　編
7　日本における白居易の研究／太田次男ほか　編

【古代文学講座】
1　古代文学とは何か／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編
2　自然と技術／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編
3　都と村／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編
4　人生と恋／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編

5　旅と異郷／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編
6　人々のざわめき／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編
7　ことばの神話学／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編
8　万葉集／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編
9　歌謡／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編
10　古事記・日本書紀・風土記／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編
11　霊異記・氏文・縁起／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編
12　古代文学研究史／古橋信孝　三浦佑之　森朝男　編

【仏教文学講座】
1　仏教文学の原典／伊藤博之　今成元昭　山田昭全　編
2　仏教思想と日本文学／伊藤博之　今成元昭　山田昭全　編
3　法語・詩偈／伊藤博之　今成元昭　山田昭全　編
4　仏教思想と和歌・連歌・俳諧／伊藤博之　今成元昭　山田昭全　編
5　仏教思想と物語・日記・随筆／伊藤博之　今成元昭　山田昭全　編
6　僧伝・寺社縁起・絵巻・絵伝／伊藤博之　今成元昭　山田昭全　編
7　歌謡・芸能・劇文学／伊藤博之　今成元昭　山田昭全　編
8　唱導の文学／伊藤博之　今成元昭　山田昭全　編
9　研究史と研究文献目録／伊藤博之　今成元昭　山田昭全　編

【日本の作家100人】
三島由紀夫　人と文学／佐藤秀明　著
島崎藤村　人と文学／下山嬢子　著

【立松和平日本を歩く】
1　北日本を歩く／立松和平　著／黒古一夫　編
2　関東を歩く／立松和平　著／黒古一夫　編
3　中部日本を歩く／立松和平　著／黒古一夫　編
4　西日本を歩く／立松和平　著／黒古一夫　編
5　知床を歩く／立松和平　著／黒古一夫　編
6　沖縄・奄美を歩く／立松和平　著／黒古一夫　編
7　東京を歩く／立松和平　著／黒古一夫　編

※品切書籍につきましては、索引未掲載となります。

編 著 者 名 索 引

E Orna & Ch. Pettitt 131
HGIS 研究協議会 70
ICOM CIDOC 131
Molz, Redmond Kathleen・Dain, Phyllis 129
NPO 知的資源イニシアティブ 129, 130
NPO 法人子ども大学かわごえ 108
T・モルダノフ 78
The Chester Beatty Library 116
Wiebke DENECKE 3, 88

【あ】

相田満 1, 91
青井紀子 1
青柳英治 127, 130
青山英正 53
赤尾栄慶 45, 118, 119
安形麻理 130
赤間亮 128
秋道智彌 111
秋本守英 24
秋山虔 22
秋山駿 31, 135, 136
秋山忠彌 2, 138
秋山哲雄 59
秋山洋子 106
暁烏敏 153
浅田徹 84
麻原美子 5, 20
芦田耕一 91
阿部泰郎 78, 87, 89
雨海博洋 124
アメデ・テータールト・ドゥ・ゼデルヘム 53
綾目広治 32
阿来 145
荒井秀規 71
荒川慎太郎 88
荒川正晴 53
荒木浩 1, 8, 50, 51, 129
蘭信三 74, 90, 108
有泉学宙 39
有島武郎研究会 121
有山大五 123
有吉保 10, 117
アンジェラ・ユー 85
飯倉照平 68
飯塚容 145
飯沼賢司 89
家入博徳 9
五十嵐信彦 47
池上貞子 145
池上正治 69, 125
池田和臣 18
池田秀三 40
池田証寿 118
池田末則 69
池田是誰 26
池村奈代美 24
威光山法明寺 51
石井知章 85
石井正己 127
石内徹 38, 123
石川千恵子 72
石川徹也 75
石川一 2, 19, 24
石川洋 137, 153
石黒吉次郎 19, 38, 115, 116
石崎研二 70
石澤一志 3
石田仁志 87
石田勇治 52, 72
石塚晴通 40, 41, 45, 48, 49, 118
石原俊 108
石原比伊呂 55
石山寺座主 117
磯貝治良 33
磯部彰 61
磯水絵 2, 9
井田太郎 58
市來津由彦 42
市古夏生 3, 19
逸見久美 151, 152
糸井通浩 67, 76
伊藤幸司 55, 56, 63
伊藤瑞叡 47
伊東玉美 36
伊藤徳也 70, 88
伊藤信博 87
伊藤好英 51
稲垣安伸 37
稲田篤信 10, 91
稲葉清毅 108, 109
井並林太郎 118
稲村公望 133
犬井善寿 20
井上泰至 53, 87
井上祐子 113
井ノ口哲也 58
伊原弘 68, 74~76, 86
今井福司 127
今西幹一 10, 120
今西祐一郎 9, 18, 23, 25, 117
今村楯夫 121
井本英一 90
岩阪恵子 33
岩崎文人 38, 123
岩松博史 79
岩見幸恵 122
岩山泰三 2
ヴァネッサ・ハーディング 55
植木武 106
上阪彩香 1
上田英代 25
上田学 29
上田裕一 25
上原作和 2, 9, 13, 92
上原麻有子 53
宇佐美斉 33
潮田淑子 116
内山精也 86
内山美樹子 13
宇都木昭 41
内海健 82
宇野瑞木 1
宇野隆夫 73
梅棹忠夫 71
梅澤亜由美 31
浦野聡 50
江口重幸 82
江口孝夫 10, 11
江戸英雄 10
エドワード・H・シェーファー 76
榎本千賀 18
榎本渉 63
海老井英次 38
海老澤衷 59, 86, 89
海老原志穂 133
及川祥平 51
王安憶 145
王小波 145
王征 108
王成 86
王静 69
王泰平 109
王朝物語史研究会 22
王敏 110
近江正典 51
王勇 8, 75, 84, 104
王利器 105
大井健輔 57
大角修 63, 69, 136
大川謙作 133, 135
大久保純一 113
大倉浩 14, 15, 20
大澤広嗣 85
大下英治 110
大島由紀夫 116
大須賀瑞夫 51
大高洋司 86, 113
大滝貞一 153
太田淳 53
太田次男 6, 11, 14, 26
大谷大学文学史研究会 15
大谷明史 57
大塚秀高 87
大津雄一 10, 62
大野修作 19
大野寿子 30, 68
大橋一章 69
大橋健二 68
大橋正叔 19
大橋毅彦 29, 86
大橋直義 87
大畠章宏 109
大林太良 105
大原嘉豊 118
大矢透 46
岡墻裕剛 45
岡崎由美 134
尾形仂 26
岡田貴憲 3
岡田希雄 46
緒形康 85, 109
岡野翔太 84
岡野裕行 36
岡雅彦 19
岡本和夫 81
岡本恵徳 134
岡本真 127, 128
岡本勝 19
小川栄一 20, 21, 43
小川武彦 18
小川晴久 120
置田雅昭 79
奥江晴紀 113
奥田勲 58
奥野克巳 52
小倉真理子 37, 133
落合博志 19
オックスフォード大学ボードレイアン図書館 45
小野俊太郎 133
小野泰央 8
小原仁 62
嚴錫仁 56, 120, 124

【か】

過偉 75
會谷佳光 48, 49
艾未未 108
加来耕三 70, 120
学習院大学平安文学研究会 121
郭俊海 92
鹿毛敏夫 51, 61
掛野剛史 87
影山恒男 123
嘉指信雄 109
笠原十九司 72
笠松宏至 66
加地悦子 133
柏谷嘉弘 45
加須屋誠 72
何清漣 111
加瀬英明 106, 107, 133, 134
片桐一男 52, 57, 58
葛飾区郷土と天文の博物館 69
勝又浩 30, 31, 135, 136
加藤昌嘉 4, 9
加藤定彦 19
加藤隆則 107
加藤隆浩 91
門脇むつみ 77
金井景子 29
神奈川県立金沢文庫 62
神奈川地域資料保全ネットワーク 127
金沢大学法文学部国文学研究室 46
金子修一 60
金子拓 69
金子未佳 35
兼築信行 8, 10
狩野山雪 116
狩野博幸 115, 117
樺島忠夫 25
上川通夫 53, 72
神鷹徳治 19, 22, 90, 116, 119
神谷まり子 145
唐澤太輔 60
川口憲二 46
川口智康 50
川口洋 70
川口幸大 110
川越淑江 110
川崎剛志 117
川島真 56
川瀬一馬 16
河添房江 54, 89
河地修 10
川戸貴史 50
川畑博昭 53
川原秀城 40, 81, 84, 86
川平敏文 52, 89
川邉雄大 53
川道麟太郎 58, 60
姜英淑 40
神作光一 124, 153
神田龍身 124
韓東 145
菅野恵美 70
菊池紳一 55, 56
菊池有希 30
貴志俊彦 56
岸睦子 35
季羨林 105
北岡伸一 58
北影雄幸 121, 139~141
北川博子 16
北﨑勇帆 40
木田隆文 84
北爪寛之 56
北波道子 84
北野克 15
北原保雄 14, 15, 21, 22, 42, 44
北村紗衣 53
北村昌幸 19
北山円正 85
喜納育江 30
木下厚 107
木下鉄矢 40
木下直子 106
木下華子 3
木原豊美 135
木部暢子 44, 67, 128
君島久子 75, 105
木村純子 70
木村千鶴子 116
木村雅則 24
九州大学国語学国文学研究室 79
九州大学附属図書館研究開発室 23
京都国立博物館 45, 113, 118, 119
京都地名研究会 67
許敬震 87
雲英末雄 19
金永晃 76
琴榮辰 7
金関恕 79
金廣植 61
金彦鍾 120
金志虎 57
金時徳 84
金明哲 1
クォン・ボドゥレ 62
日下力 10
日下幸男 5, 18
鯨井秀伸 131
工藤佳治 126
工藤健一 77
工藤隆 2, 11, 73, 76
工藤元男 104
久能靖 109
窪田順平 54
久保智康 91
熊田淳美 75
久米康生 74
倉重篤郎 51
倉田雅美 39
蔵中進 46
倉西裕子 71, 73
クリスチャン・ダニエルス 103
クリストフ・ヴルフ 125
クリストフ・マルケ 3
楜沢健 29
クレア・ポラード 116
クロード・アモン 52
黒川紀章 116
黒川みどり 61
黒古一夫 32, 33, 37
黒田悦子 108
黒田俊郎 107
桑島道夫 136
慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 19, 21, 77
氣賀澤保規 22, 50, 63, 95
元政庵瑞光寺 50
玄武岩 107
小秋元段 19
小池一郎 5
五井信 35
小磯純子 10, 19
恋田知子 115
小井土守敏 20
康熙奉 55
髙山寺 113, 118
黄翠娥 30
河野貴美子 3, 8, 84, 88
河野龍也 30
河野実 5
神戸女子大学古典芸能研究センター 114
国文学研究資料館 3, 4, 18, 19, 21, 23, 85, 114, 116, 127
国立国会図書館 128
小島毅 76, 89, 103, 104
小島久代 135
小島道裕 113
小島康敬 87

小島麗逸　111
小助川貞次　48, 49
小谷一明　30, 107
後藤昭雄　4, 5, 8, 12, 22, 50
後藤敏行　127
後藤真　70
後藤裕也　134
後藤幸良　38
小長谷有紀　71, 110, 113
小浜正子　85, 106, 108, 110
小林和子　35
小林健二　114
小林賢次　22, 41, 44
小林孝吉　32
小林幸夫　85
小林祥次郎　22, 26, 46, 116, 123, 125, 134~136
小林千草　41, 43
小林俊子　32
小林英夫　56, 70
小林英美　30
小林宏光　113
小林麻実　130
小林瑞恵　134
小林保治　10, 11, 19, 115, 116
小林芳規　26
小林亮　54
小松和彦　67, 111, 129
小松健一　114
小峯和明　7, 8, 84, 86, 88, 90, 91, 115, 116
小谷野敦　120
コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所　4
近藤有宜　66
近藤政美　24, 25
近藤三佐子　24, 25
今野達説話文学論集刊行会　10
今まど子　129

【さ】

崔官　88
埼玉県立嵐山史跡の博物館　69
財団法人前田育徳会　7
財団法人前田育徳会尊経閣文庫　114
齊藤公輔　51
齋藤忠和　59
斎藤智文　120
齋藤文俊　42
齋藤泰則　130
齋藤幸雄　75
斎藤嘉孝　110
齋藤龍一　91
佐伯俊源　45
佐伯弘次　86
早乙女勝元　114
酒井明夫　83
酒井紀美　86
酒井憲二　46, 62
榊原史子　63
坂口明　50
坂口貴弘　127
坂田桂一　60
佐川英治　54
崎谷満　74, 82
作田明　83
桜庭ゆみ子　136, 145
笹川勲　1
笹川臨風　153
佐々木新太郎　22
佐々木信綱　26
笹原亮二　59
佐藤愛弓　57
佐藤貢悦　120, 124
佐藤進一　66
佐藤高明　24
佐藤智広　20
佐藤文子　59
佐藤道生　1, 18
佐藤裕子　120
佐藤洋一郎　61, 67
佐藤吉文　71
佐野賢治　78
佐野光雄　135
サムエル・C・モース　73
澤井充生　107
澤本光弘　88
三宮千佳　60
三野恵　153
私小説研究会　31, 135, 136
静岡大学「アジア学の構築」プロジェクト　104
静永健　9, 86, 89, 90
詩と詩論研究会　120, 136, 137
篠沢秀夫　137
篠田知和基　76, 77, 120
柴格朗　12
柴田幹夫　53, 60, 68, 89, 92
柴田光彦　74
柴山守　70
斯波義信　48
渋谷香織　87
志甫由紀恵　24
島尾伸三　32
島尾ミホ　123
島田裕巳　75
嶋田義仁　90
島村幸一　3, 61
島村法夫　39, 121
島本昌一　26
清水克行　86
清水光明　86
志村有弘　32, 71, 92, 97, 116, 120~125, 136~138, 153
志村真幸　50
下坂守　117
下定雅弘　11, 15, 19, 74
下澤和義　68
下西善三郎　36
下野玲子　50
周一良　105
雋雪艷　9
城生佰太郎　41, 43, 46
庄司達也　122
上代文献を読む会　54
庄田秀志　32
上智大学研究機構　85
正道寺康子　2
ジョージ・H・カー　60
初代 山川園松　115
徐禎完　90
白石典之　56
白井忠功　15, 25
白川哲夫　55
白須淨眞　59, 68, 85
白鳥庫吉　107
城山拓也　31
新川登亀男　3, 57, 69, 71
神社と神道研究会　77, 123
新藤健一　114
真銅正宏　29, 31
陣野英則　2, 3, 8, 9
新編西鶴全集集委員会　11
新編森克己作集集委員会　72
新保史生　130
新堀歓乃　63
新間一美　85
新免康　104
杉浦重剛　106, 111
杉浦未樹　53, 86
杉崎仁　75
杉本直次郎　22
勝呂奏　32, 134
鈴木彰　85
鈴木國文　82
鈴木桂子　128
鈴木元　4
鈴木健一　2, 5
鈴木健郎　91
鈴木貞美　31
鈴木敏明　133
鈴木俊幸　18, 19
鈴木紀　113
鈴木一　43
鈴木英之　69
鈴木靖民　51, 60, 69, 71, 73, 104
鈴木涼太郎　110
須田哲夫　22
須田牧子　53, 55
スリアーノ・マヌエラ　35
諏訪春雄　5, 8, 11, 73, 92, 105, 110, 124
清田文武　31
関口安義　122
関口真規子　75
関周一　55
石舒清　108
関根謙　94, 110, 145
関根浩子　53
関根真保　86
関野樹　70
薛化元　30
説話研究会　23, 24
芹沢光治良　134, 136, 143
銭暁波　84

戦暁梅　87
千野拓政　89
五月女肇志　10
総本山西大寺　45, 66, 67
蘇童　145
染谷智幸　88
ソランジュ・ブラン　68
孫安石　56
孫晋泰　74

【た】

ダード・ハンター　74
醍醐寺文化財研究所　55, 66
大正大学綜合佛教研究所　63
大東急記念文庫　115
高井ふみや　153
高井康典行　88
高島要　22, 23
高田智和　40
高田衛　11
高津希和子　10
高津孝　73
高橋恵美子　72
高橋敏夫　134
高橋敏子　59
高橋広満　36
高橋昌彦　52
高橋康浩　134
高橋悠介　87
高橋良雄　25
高松寿夫　9
高村めぐみ　40
高山京子　73
高山正也　129
高山有紀　79
高山龍三　71
滝川幸司　85
瀧本弘之　87, 90
田口章子　115
田口和夫　114
田口寛　62
田口律男　87
武井和人　14
竹内栄美子　37
竹内勝巳　133
竹内清己　37, 122
武内進一　72
竹内良雄　145
武内善信　68
竹岡俊樹　59, 62, 77
竹田和夫　71, 88
武田早苗　36
竹本忠雄　53, 61
竹本幹夫　10
武山隆昭　14, 24, 25
田島治　82
田島奈都子　113
田尻祐一郎　42
舘野和己　56
立松昇一　135, 145
立松和平　137, 138, 146~149
田中健次　115
田中謙二　105
田中草大　40
田中大喜　59
田中英道　52
田中史生　59
田中隆昭　12, 104
谷口祥一　130
谷山俊英　69
田渕句美子　8, 21
田村景子　31
田村嘉勝　36
田村義也　90, 121
田村航　62
旦匡子　113
チェスター・ビーティー・ライブラリィ　116
知恵の会　67, 76
近本謙介　50
遅子建　145
知念真理　33
千葉俊二　84
チベット文学研究会　135
チメッツェレン・アマルゾル　43
千本英史　14, 88
中国一九三〇年代文学研究会　30
「中国六〇年代と世界」研究会　84
張海燕　40
張践　120
張哲俊　8
張寶三　13
陳翀　7
沈従文　135
陳捷　86
陳洲拳　124
陳來幸　84
ツェラン・トンドゥプ　133
塚田貫康　47
築島裕　46
月本雅幸　45
津久井隆　29
辻康吾　111
辻本雄一　30
津田潔　18
土田衛　16
土屋肇枝　145
土山玄　1
土屋昌明　68, 84, 91
土屋有里子　10
綱本逸雄　66, 120
鶴岡昭夫　45
都留文科大学国文学科　9
鄭炳説　87
鄭淳一　57
鄭大成　62
鄭躍軍　111
テニハ秘伝研究会　43
暉峻康隆　42
天理大学考古学・民俗学研究室　50, 54, 57
土井洋一　24
東京大学史料編纂所　54
東京大空襲・戦災資料センター　113, 114
東京都立大学中世語研究会　22
東京文化資源会議　106
唐顥芸　30
統計数理研究所　23
當山日出夫　119
東洋大学附属図書館　10
東洋文庫　48, 49, 57, 128
研谷紀夫　131
徳田武　6, 8, 54, 61, 62, 70, 124
徳田政信　43
徳間佳信　108
徳丸吉彦　115
所功　60, 106, 107, 109, 111, 134
所京子　51
土佐秀里　10
土佐光吉　117
戸松泉　35
富田光明　39
巴山岳人　30
都守淳夫　23
富山清琴　115
豊里真弓　30
豊島正之　48, 49
豊田浩志　50, 54
豊田直巳　109
トンドゥプジャ　135

【な】

中井幸比古　124
永栄啓伸　123
永岡杜人　33
長尾直茂　2, 85, 87
中尾真樹　24
中尾正義　72
中川諭　134
中川照将　4, 9
中川真弓　50
中木愛　3
長坂成行　19
中里理子　40
中沢弥　87
永島広紀　56
中島理壽　22, 125
仲田順和　51
中田武司　14, 124
中田祝夫　45, 46
中田雅敏　36
中塚翠涛　134
永冨青地　56
中西健治　14
長沼さやか　110
長野一雄　73
中野玄三　72
中野幸一　8, 17, 18, 21, 115~117, 135
長野甞一　33
中野聰　63
中野猛　78
中野三敏　5
中林史朗　56
永藤靖　15
仲程昌徳　33, 34
中村聡　58
中村春作　42
永村眞　66

中村康夫　111
仲本秀四郎　131
永山ゆかり　60
名古屋大学文学研究科人類文化遺産テクスト学研究センター　55
名波弘彰　20
奈良雅史　107
名和修　115
仁木夏実　50
西端幸雄　24, 23
西原一幸　40
西山美香　90~92
西弥生　76
仁平道明　88
日本近代文学会東北支部　121
日本情報考古学会　80
日本図書館情報学会研究委員会　127, 128, 131, 132
日本文学風土学会　2
人間文化研究機構　3, 18
根本誠二　73
能地克宜　29
野上元　108
野川美穂子　115
野口華世　59
野口裕子　35
野澤勝夫　43
野嶋剛　68, 114
野尻忠　45
野田研一　29, 52, 90
野田壽雄　13
野乃宮紀子　37
野村純一　79

【は】

梅益　105
梅家玲　30
袴田光康　87
萩野敦子　37
萩原義雄　41, 45
白居易研究会　5, 6
莫言　135
白承鍾　71
箱石大　62
橋本直樹　133
橋本不美男　46
橋本雄　55, 72
羽田聡　45
八村広三郎　128
服部英雄　89
馬場基　40
濱田麻矢　30
濱千代いづみ　24
濱野靖一郎　84
早川万年　71
早坂暁　150, 151
林知己夫著作集集委員会　112
林博史　73
林匡　85
林洋子　3
原正一郎　70
原尻英樹　109, 111
原田信之　12
原田正俊　59, 84
原豊二　87, 91
針原孝之　10, 35
ハルオ・シラネ　8, 10, 90
「反核・写真運動」　114
半澤幹一　18
樊秀麗　77
半田公平　38
東アジア恠異学会　85
東アジア数学史研究会　81
日沼頼夫　82
日比野利信　56
平泉澄　138
平岡敏夫　123
平川祐弘　29, 48
平野健一郎　48
平野多恵　58
平野芳信　35
平山正美　82
広岡祐　29
広島市文化協会文芸部会　31
広島和歌文学研究会　19
廣瀬緑　52
廣田收　4
フェアバンクス香織　30
深沢秋男　26
深沢克己　72
深澤晴美　120
福岡愛子　109
福島金治　78
福嶋三知子　16
福田博子　110
福永光司　105
福永美和子　52
福原敏男　59
福間良明　108
福森大二郎　130
福盛貴弘　43
福家俊幸　18
藤井厳喜　106, 107, 133
藤井浩基　113
藤尾健剛　32
藤川信夫　125
藤川玲満　3
藤澤茜　23
藤澤全　31
藤澤紫　23
藤田拓之　86
藤田徳太郎　15
藤田昌志　52
藤田真理　25
藤野博　32
藤野幸雄　126, 131, 138
藤巻和宏　58, 71, 87
伏見岳志　53, 86
藤本幸夫　41
藤本灯　40
藤原潤子　60
藤原松三郎　81
仏教における生研究会　63
舩城俊太郎　41
古田東朔　44
古田正幸　10
古畑康雄　106, 109
文献目録・諸資料等研究会　122, 123
文草の会　18
ペマ・ツェテン　135
放射線の正しい知識を普及する会　133
北條勝貴　77
北条氏研究会　58
方方　145
星泉　133~135
星野紘　78
細川裕史　51
細谷勘資遺稿集刊行会　76
細谷博　31, 37
歩平　58
堀池信夫　91
堀井弘一郎　84
堀内利恵　145
堀川貴司　9, 19
堀切実　135
堀裕　59
本田義憲　1

【ま】

眞有澄香　36
前川健一　58
前城淳子　34
前田金五郎　7, 11, 15, 26
前田勉　42
前田雅之　53, 89
牧陽一　108
枕草子研究会　13
増井光子　116
増尾伸一郎　74, 77, 90
増田裕美子　120
増満圭子　120
松井優子　39
松井洋子　53, 86
松居竜五　90, 121
松浦智子　134
松岡悦子　106, 108, 110
松尾公就　56
松倉文比古　74
松下大三郎　43
松田稔　153
松村良　87
松本勝久　122, 131
松本真輔　71, 76
松本武夫　38
松本典昭　50
松本寧至　125
馬渕和夫　46
真弓常忠　116
マリア・V・トロピギナ　24
丸山顕誠　85
丸山顕徳　70, 77, 88, 120
馬渡憲三郎　123
三浦永年　113
三浦勝也　135
三浦功大　125
三浦順子　133
三木サニア　35
三木雅博　15, 85
三澤薫生　45
水井万里子　53, 86
水上和則　75
水上則子　107
水口幹記　63
水嶋英治　67, 131
水島司　52, 91
水谷長志　130
溝井裕一　51, 60
三田明弘　10
三谷博　52
三橋正　63
緑川明憲　7
皆川雅樹　54, 89
水門の会　64
峰岸明　46
蓑島栄紀　55, 90
宮入いずみ　145
宮腰直人　116
宮澤俊雅　42, 46
宮間純一　55
三山陵　115
三輪眞木子　130
村井章介　55, 58
村上研究室　23
村上征勝　1, 25, 47, 131
村重寧　116
室井昌也　107
室城秀之　23
室伏信助　9, 13, 22
文字研究会　42
茂木弘道　133
本浜秀彦　134
森岡ゆかり　33
盛厚三　136
森下隆　114
森銑三　22
森貴史　58
森瀧春子　109
森田系太郎　29
森部豊　87
守屋正彦　77
諸田龍美　7

【や】

八木意知男　116
安井眞奈美　108
安澤秀一　131
安本美典　64~66
柳沢昌紀　19
柳沢良一　25
柳澤良一　20
柳与志夫　128
簗瀬一雄　78
矢野桂司　128
矢野環　78
矢羽勝幸　37
山形和美　123
山口泉　136
山口栄鉄　60
山口直孝　120
山口政幸　37, 123
山口守　145
山崎誠　46, 78
山崎正伸　10
山田篤朗　36
山田和夫　82
山田智　61
山田尚子　1
山田仁史　60, 85
山田芳明　124
山辺昌彦　113
山本順一　129
山本浄邦　108
山本登朗　85
山本陽子　114
山本洋平　29
湯浅常山　62
湯浅俊彦　128
結城雅秀　138
結城正美　30
湯沢質幸　41, 42
湯山賢一　67
楊海英　59, 89, 109
尤海燕　5
幼学の会　25
葉漢鰲　78
楊暁捷　129
楊儒賓　13
楊絳　136
横尾忠則　138
横溝博　116
横山伊徳　75
横山詔一　40
吉井潤　127
吉澤貞人　25
吉田金彦　42
吉田とよ子　116
吉田宏美　116
吉田真弓　76
吉野諒三　111
吉原浩人　75
吉元昭治
吉元昭治　77, 121, 125
米田明美　20

【ら】

ラシャムジャ　134
李宇玲　9
李鋭　145
李暁辰　54
李征　31
李先胤　29
李銘敬　11, 84
略縁起研究会　77
劉輝　105
劉暁峰　87
劉慶邦　145
劉守華　79
林忠鵬　43, 46
林白　145
ルチア・ドルチェ　63
歴史と文学の会　122, 123, 125, 136
廉思　110

【わ】

若井勲夫　40
若木太一　52, 61
和歌山県立博物館　117
鷲尾遍隆　117
早稲田大学古代文学比較研究所　104
和田恭幸　19
渡瀬淳子　1
和田琢磨　19
渡邊明義　67
渡辺憲司　90
渡辺健哉　88
渡辺浩一　55, 59
渡邊重夫　127, 129
渡辺昭一　88
渡辺新一　145
渡邊澄子　35, 36
渡辺尚志　52
渡辺秀夫　4
渡邊欣雄　98
和田博文　30
渡部芳紀　122

編著者名索引

書名索引

【あ】

アーカイブズと文書管理　米国型記録管理システムの形成と日本　127
アーカイブのつくりかた　構築と活用入門　129
アーサー・ミラー　人と文学　39
アイ・ウェイウェイ スタイル　現代中国の不良　108
会津藩儒将　秋月韋軒伝　70
アイヌ史を問いなおす　生態・交流・文化継承　90
愛の形　147
秋里籬島と近世中後期の上方出版界　3
秋成前後の中国白話小説　6
芥川龍之介全作品事典　122
芥川龍之介大事典　122
芥川龍之介と古典　33
芥川龍之介　人と文学　38
浅草文芸ハンドブック　29
朝彦親王伝　維新史を動かした皇魁　70
アジア学の宝庫、東洋文庫　東洋学の史料と研究　128
アジア・ディアスポラと植民地近代　歴史・文学・思想を架橋する　109
アジア〈日本・日系〉ラテンアメリカ　日系社会の経験から学ぶ　97
アジアの家社会　97
アジアの怪　97
アジアの怪奇譚　92
アジアの〈教養〉を考える　学問のためのブックガイド　89
アジアの孝子物語　93
アジアの心と身体　93
アジアの出産と家族計画　「産む・産まない・産めない」身体をめぐる政治　108
アジアの出産　リプロダクションからみる文化と社会　92
アジアの正月　100
アジアの進路と地球の運命　104
アジアのスピリチュアリティ　精神的基層を求めて　96
アジアの茶文化研究　95
アジアの都市住宅　96
アジアのなかの日本官僚　歴史と現在　110
アジアの美術　103
アジアの人びとの自然観をたどる　67
アジア文化圏の中国文字　103
アジア遊学　84~105
アジア遊学100号の提案　これからの研究構想を語る　94
遊びの語源と博物誌　134
吾妻鏡地名寺社名等総覧　56
阿仏尼本　はゝき木　10
阿倍仲麻呂傳研究　手沢補訂本　22
天駆ける馬　101
甘粕正彦と李香蘭　満映という舞台　56
天草版平家物語語彙用例総索引　24
天野山金剛寺善本叢刊　第一期　第一巻　漢学・第二巻　因縁・教化　50
阿弥陀仏と極楽浄土の物語　全訳・浄土三部経　63
アメリカ・中国・中東は、どうなってゆくのか　107
アラブの都市と知識人　96
ありがとう宣言　153
有島武郎事典　121
蟻族　高学歴ワーキングプアたちの群れ　110
「慰安婦」問題の言説空間　日本人「慰安婦」の不可視化と現前　106
イーハトーブ悪人列伝　宮沢賢治童話のおかしなやつら　136
イェール大学所蔵　日本関連資料　研究と目録　54
異議ありの声　148
生きていく「私」　146
〈異郷〉としての大連・上海・台北　30
移行期の東海地域史　中世・近世・近代を架橋する　52
十六夜日記　白描淡彩絵入写本・阿仏の文　21
石川県立図書館蔵川口文庫善本影印叢書　全3巻　20
石山寺蔵四百画面　源氏物語画帖　117
偉人崇拝の民俗学　51
イスタンブル　宗教と民族が交錯する国際都市　99
泉鏡花　人と文学　36
『和泉式部日記』を越えて　3
和泉式部　人と文学　36
出雲文化圏と東アジア　91
イスラムとの出会い　101
伊勢神宮と日本文化　式年遷宮“常若”の英知　60
伊勢物語　坊所鍋島家本　21
一条兼良の学問と室町文化　62
一休詩の周辺　漢文世界と中世禅林　2
井上靖の小説世界　ストーリーテラーの原風景　31
井上靖　人と文学　36
井伏鱒二　人と文学　38
移民のエスニシティと活力　100
癒しのシンフォニー　ある在宅ホスピスの記録　82
『色葉字類抄』の研究　40
院政時代文章様式史論考　41
印融自筆本重要文化財　塵袋とその研究　全2冊　46
鵜飼文庫　蜻蛉日記　阿波国文庫本　18
雨月物語　精読　10
宇治川歴史散歩　75
薄雲御所　慈受院門跡所蔵　大織冠絵巻　115
歌垣の世界　歌垣文化圏の中の日本　2
歌語り・歌物語事典　124
美しい日本語の響き　母国語を知り、外国語を学ぶためのレッスン　137
うつほ物語大事典　121
うつほ物語の総合研究　1　本文編・語彙索引編　23
うつほ物語の総合研究　2　古注釈編　1　23
うつほ物語の表現形成と享受　10
海からみた歴史と伝統　遣唐使・倭寇・儒教　76
海を渡る史書　東アジアの「通鑑」　84
海を渡る天台文化　75
梅棹忠夫の「人類の未来」　暗黒のかなたの光明　71
売立目録の書誌と全国所在一覧　23
雲南省ペー族　歌垣と日本古代文学　11
雲南の歴史と文化とその風土　50
永遠への旅立ち　147
英雄を支えた賢者たち　97
描かれたザビエルと戦国日本　西欧画家のアジア認識　51
越境者たち　147
越境する新疆・ウイグル　104
越境する日本文学研究　カノン形成・ジェンダー・メディア　10
越境するメディアと東アジア　リージョナル放送の構築に向けて　107
江戸川乱歩　徹底追跡　138
江戸時代初期出版年表　19
江戸女人の碑文　74
江戸のイラスト辞典　訓蒙図彙　125
江戸文人の嗜み　あそびの詩心・歌心　138
江戸文人百景　2
榎本星布全句集　19
MLA連携の現状・課題・将来　130
絵を読む文字を見る　日本文学とその媒体　93
縁起の東西　聖人・奇跡・巡礼　93
延慶本平家物語の日本語史的研究　43
延慶本平家物語　本文篇　21
円地文子　人と文学　35
オアシス地域の歴史と環境　黒河が語るヒトと自然の2000年　72
黄金時代　145
黄金の言葉　和歌編　10
桜山本 春雨物語　26
王朝から「国民国家」へ　清朝崩壊100年　89
黄土高原の自然環境と漢唐長安城　102
大内と大友　中世西日本の二大大名　61
大江匡房　碩学の文人官僚　9
大谷光瑞　「国家の前途」を考える　89
大谷光瑞とアジア　知られざるアジア主義者の軌跡　68
大谷光瑞とスヴェン・ヘディン　内陸アジア探検と国際政治社会　59
大谷光瑞の研究　アジア広域における諸活動　60
大谷探検隊研究の新たな地平　アジア広域調査活動と外務省外交記録　68
大伴家持　人と文学　35
小川洋子　見えない世界を見つめて　32
沖縄近代短歌の基礎的研究　33
沖縄　島人の歴史　60
沖縄文化の創造　99
織田信長　『信長公記』紀行　138
織田信長という歴史　『信長記』の彼方へ　69
男の風格　「山本周五郎」を生きる　139
鬼とデーモン　98
小野小町　人と文学　36
オノマトペの語義変化研究　40
おのれを信じて　146
小原鉄心と大垣維新史　62
オビから読むブックガイド　133
思い出雑記帳　7
折口信夫　人と文学　38
折口信夫　民俗学の場所　51
終わらないイラク戦争　フクシマから問い直す　109
女の気品　凜として生きる　139

【か】

怪異を媒介するもの　85
外国人が記録した幕末テロ事件　139
外国人が見たカミカゼ　141
改訂新版　古本節用集六種　研究並びに総合索引　45
改訂新版　書言字考節用集 研究並びに索引　46
改訂新版　文明本節用集 研究並びに索引　46
改訂版　歌川派の浮世絵と江戸出版界　23
改訂版 守覚法親王と仁和寺御流の文献学的研究　金沢文庫蔵御流聖教　78
科学技術図書館の現在と未来　131
加賀前田家と尊経閣文庫　文化財を守り、伝えた人々　55
鏡の国としての日本　互いの〈参照枠〉となる日中関係　110
かかりむすび考　41
学術情報流通と大学図書館　132
華人宗教のネットワーク　102
歌人正徹研究序説　15
数のシンボリズム　102
勝海舟の蘭学と海軍伝習　52
学校図書館の力　司書教諭のための11章　129
合戦騒動事典　125
『仮名書き法華経』研究序説　43
仮名遣及仮名字体沿革史料　46
金子みすゞ　愛と願い　137
金子みすゞ　永遠の抒情　137
金子みすゞ　こだまする家族愛　137
金子みすゞ再発見　新しい詩人像を求めて　135
金子みすゞ作品鑑賞事典　120

金子みすゞ 女性たちのシンパシー　136
金子みすゞと清水澄子の詩　137
金子みすゞ　母の心子の心　137
金子みすゞ　み仏への祈り　137
鎌倉英勝寺所蔵　大黒舞絵巻　116
鎌倉文化の思想と芸術　武士・宗教・文学・美術　52
鴨長明研究　表現の基層へ　3
カラー図説　グリムへの扉　30
カラー図説　勅撰和歌集入門　和歌文学理解の基礎　10
カラー図説　天皇の祈りと宮中祭祀　109
カラー百科　写真と古図で見る狂言七十番　114
カラー百科見る・知る・読む能五十番　115
唐物と東アジア　舶載品をめぐる文化交流史　89
苅萱　石童丸物語　153
カレンダー文化　94
河口慧海への旅　釈迦生誕地に巡礼した人びと　71
川端康成詳細年譜　120
寛永文化の肖像画　77
環境人文学Ⅰ　文化のなかの自然　29
環境人文学Ⅱ　他者としての自然　29
環境という視座　日本文学とエコクリティシズム　90
環境と心性の文化史　上・下　77
環境と歴史学　歴史研究の新地平　91
環境に挑む歴史学　52
菅家文草注釈　文章篇　第一冊　巻七上　18
観光という〈商品〉の生産　日本〜ベトナム　旅行会社のエスノグラフィ　110
観光の都市空間　99
韓国語慶尚道諸方言のアクセント研究　40
漢字字体史研究　41
漢字字体史研究　二　字体と漢字情報　40
漢籍伝来　白楽天の詩歌と日本　9
漢籍と日本人　95
漢籍と日本人Ⅱ　93
菅専助全集　全6巻　16
完全版　人間の運命　全18巻セット　143
神田本白氏文集の研究　26
漢文訓読と近代日本語の形成　42
完訳　楊家将演義　上巻　134
韓流・日流　東アジア文化交流の時代　108
キーツ　人と文学　39
菊池寛　人と文学　35
岸信介　最後の回想　その生涯と60年安保　133
義湘像　118
徽宗とその時代　98
北原保雄トークアンソロジー　ことばの教育　42
北原保雄トークアンソロジー　日本語とともに　42
契丹[遼]と10〜12世紀の東部ユーラシア　88
岐点の軌跡　わが歩み来し道　42
「偽」なるものの「射程」　漢字文化圏の神仏とその周辺　88
旧鈔本の世界　漢籍受容のタイムカプセル　90
旧鈔本を中心とする白氏文集本文の研究　14
九世紀の東アジアと交流　102
九世紀の来航新羅人と日本列島　57
旧跡　血と塩の記憶　145
旧石器時代文化研究法　62
境界を生きる1　解体する共同体・家族　148
境界を生きる2　滅亡から救いへ　148
境界を生きる3　破壊される農　147
境界を生きる4　農への思い　147
共感覚から見えるもの　アートと科学を彩る五感の世界　53
狂言絵　彩色やまと絵　114
狂言記　外五十番の研究　14
狂言記拾遺の研究　15
狂言台本を主資料とする中世語彙語法の研究　44
狂言六義全注　22
狂言六義総索引　22
教師のための武士道入門　140
共生する神・人・仏　日本とフランスの学術交流　96
京都学の企て　76
京都学を楽しむ　古都をめぐる33の講座　67
京都国立博物館所蔵　源氏物語画帖別冊絵柄解説釈文付　117
京都国立博物館所蔵　国宝　岩崎本　日本書紀　45
京都国立博物館所蔵　国宝　稿本北山抄巻第十　118
京都国立博物館所蔵　国宝　浄名玄論　45
京都国立博物館所蔵　国宝　吉田本　日本書紀　45
京都国立博物館所蔵　重要文化財　神田本　白氏文集　119
京都三山石仏・石碑事典　120
京都の地名　検証　風土・歴史・文化をよむ　全3巻　67
京都盆地の災害地名　66
京の歴史・文学を歩く　76
清岡卓行論集成　33
清河八郎伝　漢詩にみる幕末維新史　54
『玉葉』を読む　九条兼実とその時代　62
清原宣賢講『日本書紀抄』の本文と研究　43
キリシタン版　日葡辞書　カラー影印版　45
キリシタン文化と日欧交流　91
キリストの受難　十字架の道行き　心的巡礼による信仰の展開　53
「近世化」論と日本　「東アジア」の捉え方をめぐって　86
近世・近代初期　書籍研究文献目録　18
近世儒学韻学と唐音　訓読の中の唐音直読の軌跡　41
近世人名録集成　影印編　22
近世前期歳時記十三種　本文集成並びに総合索引　26
近世日本の歴史叙述と対外意識　53
近世武家肖像画の研究　77
近世文学雑考　11
近代学問の起源と編成　58
近代歌謡の研究　15

近代漢詩のアジアとの邂逅　33
近代中国美術の胎動　87
近代日本語と文語文　今なお息づく美しいことば　135
近代日本とアジア　地政学的アプローチから　52
近代日本におけるバイロン熱　30
近代仏教教団とご詠歌　63
近代琉歌の基礎的研究　34
くいもの　食の語源と博物誌　136
空海及び白楽天の著作に係わる注釈書類の調査研究　11
空山　風と火のチベット　145
偶然の日本文学　小説の面白さの復権　31
公卿補任図解総覧　大宝元年(701)〜明治元年(1868)　60
救世　146
句題詩論考　王朝漢詩とは何ぞや　1
宮内庁所蔵　那波本　白氏文集　19
九曜文庫蔵源氏物語享受資料影印叢書　全12巻　21
九曜文庫蔵　源氏物語扇面画帖　115
クランがゆがめる行政　日本病の根源　108
黒川紀章著作集　全18巻　116
黒古一夫書評集　戦争・辺境・文学・人間　大江健三郎から村上春樹まで　33
鍬形蕙斎画　近世職人尽絵詞　江戸の職人と風俗を読み解く　113
君台観左右帳記の総合研究　茶華香の原点・江戸初期柳営御物の決定　78
「訓読」論　東アジア漢文世界と日本語　42
京城帝国大学の韓国儒教研究　「近代知」の形成と展開　54
形成される教養　十七世紀日本の〈知〉　2
京阪系アクセント辞典　124
京阪系アクセント辞典　データCD-ROM　CD-ROM　124
計量文献学の射程　1
決定版　東京空襲写真集　アメリカ軍の無差別爆撃による被害記録　114
決定版　長崎原爆写真集　The Collection of Nagasaki Atomic bomb Photographs　114
決定版　広島原爆写真集　The Collection of Hiroshima Atomic bomb Photographs　114
決闘の話　138
喧嘩から戦争へ　戦いの人類誌　85
験記文学の研究　14
研究史　日本語の起源　「日本語＝タミル語起源説」批判　65
元暁像　118
兼好　人と文学　36
源氏物語　宇治十帖を読む　1
源氏物語　梅枝・紅葉賀　甲南女子大学蔵鎌倉時代古写本　20
源氏物語が語る古代史　交差する日本書紀と源氏物語　71
源氏物語　語彙用例総索引　付属語篇　25
源氏物語　榊原本　18
『源氏物語』前後左右　4
『源氏物語』という幻想　4
源氏物語の漢詩文表現研究　1
源氏物語論　女房・書かれた言葉・引用　2
原子野のバッハ　被曝地・東京の三三〇日　136
検証　島尾敏雄の世界　32
現代語で読む歴史文学　全19巻　12
現代中国のジェンダー・ポリティクス　格差・性売買・「慰安婦」　106
現代中国のポピュラーカルチャー　94
現代日本の図書館構想　戦後改革とその展開　129
現代日本をめぐる国際移動　94
遣唐使をめぐる人と文学　101
権力奪取とPR戦争　政治家という役者たち　110
元暦校本　萬葉集　全4冊　26
元禄上方歌舞伎復元　初代坂田藤十郎 幻の舞台　115
元禄・正徳　板元別出版書総覧　3
公園通りの猫たち　150
黄河は流れず　アジアの水問題　97
交響するエロス　103
考古学崩壊　前期旧石器捏造事件の深層　59
交錯する台湾認識　見え隠れする「国家」と「人びと」　84
皇室典範と女性宮家　なぜ皇族女子の宮家が必要か　109
口承神話伝説の諸相　70
好色一代女全注釈　15
好色五人女全注釈　26
孝女白菊　153
幸田文　人と文学　35
校訂　京大本　太平記　19
校訂　浜松中納言物語　22
孝の風景　説話表象文化論序説　1
甲陽軍鑑校注　序冊　62
誤解された万葉語　42
古活字版源氏物語　九州大学所蔵　全巻画像データベース　CD-ROM　23
後漢経学研究序説　58
語気助詞付き　中国語会話感情表現パターン辞典　124
故宮物語　政治の縮図、文化の象徴を語る90話　114
後京極殿御自歌合・慈鎮和尚自歌合　全注釈　19
古今集注釈書影印叢刊　全8巻　21
古今集注釈書伝本書目　19
古今和歌集と礼楽思想　勅撰和歌集の編纂原理　5
国際地域学入門　107
国葬の成立　明治国家と「功臣」の死　55
国体　十冊の名著　139
国文学の百年　5
国宝　玉篇　巻第二十七　118
国宝　華厳宗祖師絵伝　義湘絵四巻　118
国宝　華厳宗祖師絵伝　元暁絵三巻　118

国宝　古文尚書　巻第三・巻第五・巻第十二／重要文化財　古文尚書　巻第六　48
国宝西大寺本　金光明最勝王経　天平宝字六年百済豊虫願経　45
国宝　史記　夏本紀　秦本紀　49
国宝　春秋経伝集解　巻第十／重要文化財　論語集解　文永五年写　巻第八　48
国宝　水左記　7
国宝　鳥獣人物戯画　全四巻　118
国宝　土佐日記　7
国宝　宝積経要品　高野山金剛三昧院奉納和歌短冊　7
国宝　万葉集　7
国宝　明恵上人像　118
国宝　名物大典太・名物太郎作正宗・名物富田郷〈刀剣三振〉　7
国宝　冥報記　全三巻　118
国宝　毛詩／重要文化財　礼記正義　巻第五残巻　48
国宝　文選集注　巻第四十八・第五十九・第六十八・第八十八・第百十三　48
ここより他の場所　147
『古今奇談 英草紙』と白話語彙　40
古今東西のおさな神　95
古事記　環太平洋の日本神話　88
古事記小事典　古代の真相を探る　123
後七日御修法再興記　影印・翻刻・解題　51
古写本和名類聚抄集成　46
コスモポリタン国家への道　バイリンガルのすすめ　106
古代宮廷文学論　中日文化交流史の視点から　9
古代製紙の歴史と技術　74
古代世界の霊魂観　91
古代説話の変容　風土記から霊異記へ　15
古代地中海の聖域と社会　50
古代中世日本の内なる「禅」　90
古代・中世の境界意識と文化交流　71
古代日本の東アジア交流史　51
古代年代論が解く邪馬台国の謎　科学が照らす神話の時代　64
古代東アジアの道路と交通　71
古代東アジアの仏教と王権　王興寺から飛鳥寺へ　73
古代物部氏と『先代旧事本紀』の謎　66
古代ローマの港町　オスティア・アンティカ研究の最前線　50
古典化するキャラクター　91
古典キャラクターの可能性　93
古典キャラクターの展開　92
〈琴〉の文化史　東アジアの音風景　92
子どものための大学　日本初の子ども大学　108
子どもを産む・家族をつくる人類学　オールターナティブへの誘い　106
子どもを伸ばす世代間交流　子どもをあらゆる世代とすごさせよう　110
小林一茶　人と文学　37
小林秀雄　人と文学　37
古墳文化とその伝統　79
後水尾院の研究　研究篇・資料篇・年譜稿　18
これからのアーキビスト　デジタル時代の人材育成入門　129
コレクション私小説の冒険　第1巻　貧者の誇り　136
コレクション私小説の冒険　第2巻　虚実の戯れ　135
金剛寺本『三宝感応要略録』の研究　22
金色堂はなぜ建てられたか　金色堂に眠る首級の謎を解く　153
今昔物語集南都成立と唯識学　12
今昔物語集仏伝の研究　1
今野達説話文学論集　10
今夜の食事をお作りします　145

【さ】

斎王研究の史的展開　伊勢斎宮と賀茂斎院の世界　51
災害に学ぶ　文化資源の保全と再生　128
西郷「征韓論」の真相　歴史家の虚構をただす　60
最新・新宗教事情　カルト、スピリチュアル、おひとりさま　75
西大寺の創建と称徳天皇　66
在宅緩和ケアと分子標的治療ハンドブック　その現在と未来　82
斎藤茂吉　人と文学　37
〈在日〉文学全集　全18巻　33
魚太平記　校本と研究　15
嵯峨本　方丈記　18
坂本龍馬事典　124
坂本龍馬と幕末動乱の時代　138
桜と特攻　140
桜と武士道　140
サクラメンタ提要　長崎版　49
ささえあう図書館　「社会装置」としての新たなモデルと役割　127
佐藤春夫読本　30
真田幸村歴史伝説文学事典　120
サマルカンドの金の桃　唐代の異国文物の研究　76
サムライアスリート魂　葉隠に学ぶ心技体　140
The U.S.A. is responsible for the Pacific War　133
算合本拾遺集の研究　15
サンクトペテルブルグ大学有栖川コレクション解説目録　24
参考書誌研究　第76号　128
参考書誌研究　第77号　128
参考書誌研究　第78号　128
『三国遺事』の新たな地平　韓国古代文学の現在　87
山西省　黄色い大地の世界　100
三大編纂物 群書類従・古事類苑・国書総目録の出版文化史　75
山頭火秀句鑑賞事典　121
山頭火　徹底追跡　138
山頭火旅情鑑賞事典　121
詩歌とイメージ　江戸の版本・一枚摺にみる夢　5
CD-ROM版　源氏物語本文研究データベース　CD-ROM　23
西海固の人々　中国最貧地区に住む回族の暮らし　108
シーボルト日本書籍コレクション　現存書目録と研究　3
地歌・箏曲の世界　いま甦る初代富山清琴の芸談　115
自衛官のための武士道入門　140
シェイクスピアの生涯　138
ジェノサイドと現代世界　72
ジェノサイドと文化大革命　内モンゴルの民族問題　59
ジェンダーの中国史　85
慈円法楽和歌論考　2
時空間とオントロジで見る和漢古典学　1
時空を超える生命　〈いのち〉の意味を問いなおす　63
自己語りと記憶の比較都市史　55
地獄と極楽　103
四川民族走廊　104
知って得する　図書館の楽しみかた　127
『四天王寺縁起』の研究　聖徳太子の縁起とその周辺　63
しなやかな子どもの心身を求めて　義務教育化された武道教育　109
司馬遼太郎事典　122
司馬遼太郎書誌研究文献目録　122
シビックスペース・サイバースペース　情報化社会を活性化するアメリカ公共図書館　129
渋沢敬三と竜門社　「伝記資料編纂所」と「博物館準備室」の日々　57
シベリア・ハンティ族の熊送りと芸能　78
島唄の魅力　98
島尾敏雄事典　123
島田雅彦　〈恋物語〉の誕生　32
島津重豪と薩摩の学問・文化　近世後期博物大名の視野と実践　85
シャーマニズムの諸相　90
社会変容と民間アーカイブズ　地域の持続へ向けて　127
ジャカルタのいまを読む　95
寂蓮　人と文学　38
社寺縁起の研究　78
写真集土方巽肉体の舞踏誌　114
写真とイラストで辿る　金子みすゞ　133
シャルコー　力動精神医学と神経病学の歴史を遡る　82
上海租界の劇場文化　混淆・雑居する多言語空間　86
上海一〇〇年　日中文化交流の場所　31
上海　未来と過去の交錯する都市　101
上海モダン　98
「周縁」を生きる少数民族　現代中国の国民統合をめぐるポリティクス　107
宗教と儀礼の東アジア　交錯する儒教・仏教・道教　84
宗教を生きる東南アジア　95
拾玉集本文整定稿　24
習近平時代のネット社会　「壁」と「微」の中国　106
習近平の政治思想　「紅」と「黄」の正統　107
周作人と日中文化史　88
修身　尋常小学校教科書に学ぶ　139
重層と連関　続　中国故事受容論考　1
集と断片　類聚と編纂の日本文化　4
周辺に立つ　147
重要文化財　ジョン・セーリス『日本渡航記』　48
重要文化財　ドチリーナ・キリシタン　天草版　49
重要文化財　弥勒上生経（石川年足願経）　118
重要文化財　楽善録　宋版・円爾旧蔵　49
重要文化財　論語集解　正和四年写　48
重要文化的景観への道　エコ・サイトミュージアム田染荘　89
守覚法親王と仁和寺御流の文献学的研究　仁和寺蔵御流聖教全2冊　78
宿命の日韓二千年史　交流と攻防のドラマ　55
修験道教団成立史　当山派を通して　75
出産の民俗学・文化人類学　108
述書賦全訳註　19
『酒飯論絵巻』の世界　日仏共同研究　87
松陰から妹達への遺訓　134
唱歌・童歌・寮歌　近代日本の国語研究　40
少数民族とことば表現世界　98
少数民族の謎の歴史　103
上代写経識語注釈　54
小陶一家の農村生活　145
松涛文庫本　熊野の本地　79
聖徳太子伝と合戦譚　76
浄土真宗と近代日本　東アジア・布教・漢学　53
衝突と融合の東アジア文化史　84
字様の研究　唐代楷書字体規範の成立と展開　40
紹巴本竹取物語　原寸影印　22
情報アクセスの新たな展開　情報検索・利用の最新動向　131
情報管理と法　情報の利用と保護のバランス　130
情報検索入門ハンドブック　データベース、Web、図書館の利用法　131
情報考古学　80
情報行動　システム志向から利用者志向へ　130
情報の評価とコレクション形成　128
称名寺聖教尊勝院弁暁説草　翻刻と解題　62
浄瑠璃史の十八世紀　13
昭和天皇の教科書　国史　原本五巻縮写合冊　107
昭和天皇の戦い　昭和二十年一月〜昭和二十六年四月　134
昭和天皇の学ばれた教育勅語　111
昭和天皇の学ばれた「倫理」　倫理御進講草案抄　106
昭和という時代　148
昭和文学の上海体験　29

初期俳諧季題総覧　22
食卓の日本史　和食文化の伝統と革新　133
食の多様性　61
食の風景　宴の演出と造形　102
植民地期における日本語朝鮮説話集の研究　帝国日本の「学知」と朝鮮民俗学　61
植民地朝鮮と帝国日本　民族・都市・文化　90
植民地としてのモンゴル　中国の官制ナショナリズムと革命思想　109
書誌学入門　古典籍を見る・知る・読む　9
女性から描く世界史　17〜20世紀への新しいアプローチ　53
書籍版　土井本太平記　本文及び語彙索引　24
触感の文学史　感じる読書の悦しみかた　29
徐福　アジア二〇〇〇年の青い鳥　99
諸本集成仲文章注解　25
庶民列伝　146
書物学　第1巻　書物学こと始め　142
書物学　第2巻　書物古今東西　142
書物学　第3巻　書物とエロス　142
書物学　第4巻　出版文化と江戸の教養　142
書物学　第5巻　洋古書の愉悦　142
書物学　第6巻　「書」が語る日本文化　142
書物学　第7巻　医書の世界　142
書物学　第8巻　国宝　称名寺聖教／金沢文庫文書　142
書物学　第9巻　江戸の欲望／江戸という欲望　142
書物学　第10巻　南方熊楠生誕150年　142
所与と自由　近現代文学の名作を読む　31
史料としての『日本書紀』　津田左右吉を読みなおす　71
資料にみる最新中国史　95
シルクロードと近代日本の邂逅　西域古代資料と日本近代仏教　53
シルクロードの来世観　85
死をめぐる習俗　100
シンガポール都市論　92
真贋論争「金印」「多賀城碑」　揺れる古代史像、動かぬ真実は？　64
新視点・徹底追跡　方丈記と鴨長明　136
尋常小学『国史』が教えた愛国心　139
新常用漢字表の文字論　42
心身一如の身体づくり　武道、そして和する“合気”、その原理・歴史・教育　111
新生の気学　団藤重光「主体性理論」の探求　68
新装版　沖縄文学選　日本文学のエッジからの問い　134
新装版　唐物と東アジア　舶載品をめぐる文化交流史　54
清代学術と言語学　古音学の思想と系譜　40
『信長記』と信長・秀吉の時代　69
清朝宮廷演劇文化の研究　61
浸透する教養　江戸の出版文化という回路　5
新版 すらんぐ(卑語)　庶民の感性と知恵のコトバ　42
「神仏習合」再考　63
人物で読む源氏物語　全20巻　13
新編西鶴全集　全5巻　11
新編森克己著作集　全5巻　72
神木　ある炭鉱のできごと　145
人名ではない人名録　語源探索　135
水滸伝の衝撃　東アジアにおける言語接触と文化受容　91
菅原道真事典　123
スコット　人と文学　39
鈴木春信絵本全集　23
図説　日本列島旧石器時代史　77
図説　よりすぐり国立国会図書館　竹取物語から坂本龍馬直筆まで　128
図像学入門　疑問符で読む日本美術　114
住吉物語の基礎的研究　14
世阿弥　人と文学　38
西欧の衝撃と日本　29
「生活の芸術」と周作人　中国のデカダンス＝モダニティ　70
「征韓論政変」の真相　歴史家の史料批判を問う　58
聖教精華　FLOSCVLI　48
生産・流通・消費の近世史　52
姓氏家系歴史伝説大事典　125
政治家失言・放言大全　問題発言の戦後史　107
青春の輝き　149
清少納言　人と文学　37
精神医療の静かな革命　向精神薬の光と影　82
聖地と聖人の東西　起源はいかに語られるか　71
西南中国納西族・彝族の民俗文化　78
西南部九州二型アクセントの研究　44
「清明上河図」と徽宗の時代　そして輝きの残照　68
『清明上河図』をよむ　68
「清明上河図」をよむ　103
生命への凝視　146
正訳　源氏物語　本文対照　第一冊　桐壺／帚木／空蝉／夕顔／若紫　17
正訳源氏物語本文対照第二冊　末摘花／紅葉賀／花宴／葵／賢木／花散里　17
正訳源氏物語本文対照第三冊　須磨／明石／澪標／蓬生／関屋／絵合／松風　17
正訳　源氏物語　本文対照　第四冊　薄雲／朝顔／少女／玉鬘／初音／胡蝶　17
正訳源氏物語本文対照第五冊　蛍／常夏／篝火／野分／行幸／藤袴／真木柱／梅枝／藤裏葉　17
正訳　源氏物語　本文対照　第六冊　若菜上／若菜下　17
正訳　源氏物語　本文対照　第七冊　柏木／横笛／鈴虫／夕霧／御法／幻　17
正訳　源氏物語　本文対照　第八冊　匂宮／紅梅／竹河／橋姫／椎本／総角　17

西來寺蔵仮名書き法華経対照索引並びに研究　45
世界から読む漱石『こころ』　85
世界児童・青少年文学情報大事典　全16巻　126
世界史のなかの女性たち　86
世界史のなかの平清盛　70
世界神話伝説大事典　120
世界の宴会　98
世界の巨匠　ティニ・ミウラの手造り豪華本　1990-2015　113
世界の洪水神話　海に浮かぶ文明　77
世界のコリアン　95
世界の出産　儀礼から先端医療まで　110
世界の中華料理　96
世界の花蓮図鑑　Photographic Reference Book of World Lotus Flowers　125
世界へひらく和歌　言語・共同体・ジェンダー　8
関流和算書大成―関算四伝書―全三期　81
関流和算書大成　第一期　―関算四伝書―　81
関流和算書大成　第二期　―関算四伝書―　81
関流和算書大成　第三期　―関算四伝書―　81
説話集の構想と意匠　今昔物語集の成立と前後　8
説話と横笛　平安京の管絃と楽人　2
芹沢光治良戦中戦後日記　134
芹沢光治良　人と文学　37
戦間期東アジアの日本語文学　87
「戦艦大和」日記　1　151
「戦艦大和」日記　2　151
「戦艦大和」日記　3　151
「戦艦大和」日記　4　151
「戦艦大和」日記　5　151
宣教師たちの東アジア　日本と中国の近代化とプロテスタント伝道書　58
戦国残照　お江とその時代　137
戦国　十冊の名著　141
戦国武将の美学　141
「戦後」のはじまり　148
戦後派作家たちの病跡　32
戦時上海グレーゾーン　溶融する「抵抗」と「協力」　84
戦争社会学の構想　制度・体験・メディア　108
戦争とメディアそして生活　93
戦争を知らない国民のための日中歴史認識　『日中歴史共同研究〈近現代史〉』を読む　72
戦犯裁判の研究　戦犯裁判政策の形成から　東京裁判・BC級裁判まで　73
「戦没者慰霊」と近代日本　殉難者と護国神社の成立史　55
専門図書館の人的資源管理　130
占領期の出版メディアと検閲　戦後広島の文芸活動　31
想起する帝国　ナチス・ドイツ「記憶」の文化史　51
想起の文化とグローバル市民社会　52
双極II型障害という病　改訂版うつ病新時代　82
箏曲要集　115
雑司ヶ谷鬼子母神堂開堂　三百五十年・重要文化財指定記念　雑司ヶ谷鬼子母神堂　51
漱石の近代日本　32
宋銭の世界　74
宋銭の世界　東アジアの国際通貨　102
宋代知識人の諸相　103
宋代募兵制の研究　近世職業兵士の実相　59
増補改訂　古代日本人と外国語東アジア異文化交流の言語世界　42
増補改訂　戦争・ラジオ・記憶　56
増補　校訂　標準日本口語法　43
ソウル　六百年の歴史と未来の共存　101
続　戦国武将逸話集　訳注『常山紀談』巻八〜十五　62
続々　戦国武将逸話集　訳注『常山紀談』巻十六〜二十五　62
ソグド人と東ユーラシアの文化交渉　87
族譜　家系と伝説　97
空は一片の雲を留めず　麦の穂青し　愛と感謝と哀しみの特攻　139
尊王　十冊の名著　139

【た】

大炎上「三角縁神獣鏡＝魏鏡説」　これはメイド・イン・ジャパン鏡だ　65
醍醐寺叢書 史料篇 建築指図集図版篇解説篇第1巻　66
醍醐寺叢書 史料篇 枝葉抄　影印・翻刻・註解　66
醍醐寺叢書 目録篇　67
醍醐寺の歴史と文化財　66
醍醐寺文化財研究所研究紀要　第23号　55
醍醐寺文化財調査百年誌　「醍醐寺文書聖教」国宝指定への歩み　66
対釈新撰万葉集　18
大乗院寺社雑事記紙背文書　第一巻　66
大乗院寺社雑事記紙背文書　第二巻　66
大丈夫の美学　140
大震災の記録と文学　32
大地母神と役行者　神々の原風景を描く『八犬伝』　8
大東亜戦争は、アメリカが悪い　133
大東急記念文庫所蔵　芥子園画伝初集二集三集　115
大崩壊「邪馬台国畿内説」　土器と鏡の編年・不都合な真実　65
當麻寺の歴史と信仰　57
対訳　唐詩三百首(下)律詩・絶句篇　11
対訳　唐詩三百首(上)古詩篇　10
平清盛小事典　平家物語の真実　123
大涼山彝族における葬送儀礼と霊魂観を通してみた帰属集団意識の形成　77
台湾からみる日本　進化する国際コラボレーション　97
台湾　模索の中の躍動　99
ダウンタウン・ヒーローズ　150
高浜虚子　人と文学　36
竹取物語絵巻　116

竹取物語本文集成　22
太宰治大事典　122
闘いの果て　148
闘うチベット文学　黒狐の谷　133
闘う南方熊楠　「エコロジー」の先駆者　68
たったひとりの戦争　145
田中大秀　全7巻10冊　14
谷川士清自筆本『倭訓栞』　影印・研究・索引　45
谷崎潤一郎書誌研究文献目録　123
谷崎潤一郎　中国体験と物語の力　84
谷崎潤一郎と古典　明治・大正篇　33
谷崎潤一郎　人と文学　37
旅に棲んで　148
旅のお供に　今すぐ使えるモンゴル語入門　43
田山花袋　人と文学　35
短歌青春　153
地域情報学の創出　93
地域情報マッピングからよむ東南アジア　陸域・海域アジアを越えて地域全体像を解明する研究モデル　70
地域と人びとをささえる資料　古文書からプランクトンまで　127
地域と文化財　ボランティア活動と文化財保護　67
チェスター・ビーティー・ライブラリィ絵巻絵本解題目録　図録篇・解題篇　全2冊　116
チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵　宇治拾遺物語絵巻　116
チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵　大江山絵巻　116
チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵　狩野山雪画　長恨歌画巻　116
チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵　俵藤太物語絵巻　116
チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵　義経地獄破り　116
地球環境を黒河に探る　94
秩父平氏の盛衰　畠山重忠と葛西清重　69
知の開拓者　杉田玄白　『蘭学事始』とその時代　58
チベット現代文学の曙　ここにも激しく躍動する生きた心臓がある　135
チベット族の美術と芸能　102
チベット文学の現在　ティメー・クンデンを探して　135
チベット文学の新世代　雪を待つ　134
地名の考古学　奈良地名伝承論　69
茶文化史にそった中国茶碗の考古学　75
中院通勝の研究　年譜稿篇・歌集歌論篇　5
中華幻想　唐物と外交の室町時代史　72
中近世日本の貨幣流通秩序　50
中国学のパースペクティブ　科挙・出版史・ジェンダー　73
中国漢代墓葬装飾の地域的研究　70
中国現代散文傑作選　1920－1940　戦争・革命の　時代と民衆の姿　30
中国現代文学の越境　95
中国高度成長の構造分析　中国モデルの効用と限界　111
中国古代都城の設計と思想　円丘祭祀の歴史的展開　54
中国古典文学と挿画文化　87
中国残留孤児の叫び　終わらない戦後　96
中国残留日本人という経験　「満洲」と日本を問い続けて　74
中国慈城の餅文化　69
中国社会構造の変容　96
中国書籍史のパースペクティブ　出版・流通への新しいアプローチ　56
中国新鋭作家短編小説選　9人の隣人たちの声　136
中国人作家の帝都東京体験　103
中国茶事典　126
中国中世四川地方史論集　56
中国中世仏教石刻の研究　63
中国都市の形象　宋代都市の景観をよむ　75
中国都市の時空世界　96
中国における社会主義的近代化　宗教・消費・エスニシティ　110
中国のイスラーム思想と文化　91
中国の音楽文化　三千年の歴史と理論　84
中国の虚像と実像　99
中国の孝子伝　若い人々に孝を考えてもらうために　153
中国版画史論　113
中国女神の宇宙　75
中国モダニズム文学の世界　一九二〇、三〇年代上海のリアリティ　31
中国リベラリズムの政治空間　85
中世往生伝の形成と法然浄土教団　69
中世王朝物語・御伽草子事典　124
中世学僧と神道　了誉聖冏の学問と思想　69
中世漢文学の形象　8
中世宮廷儀式書成立史の研究　76
中世興福寺の門跡　73
中世興福寺維摩会の研究　79
中世古典学の書誌学的研究　14
中世寺社の空間・テクスト・技芸　「寺社圏」のパースペクティヴ　87
中世荘園の環境・構造と地域社会　備中国新見荘をひらく　59
中世聖徳太子伝集成　全5巻　77
中世書写論　俊成・定家の書写と社会　9
中世真言僧の言説と歴史認識　57
中世日記・紀行文学全評釈集成　全7巻　25
中世の荘園空間と現代　備中国新見荘の水利・地名・たたら　86
中世の対馬　ヒト・モノ・文化の描き出す日朝交流史　86

中世文学の回廊　10
中世未刊和歌　文学資料集成　24
中世密教寺院と修法　76
中世結城氏の家伝と軍記　72
長安の都市空間と詩人たち　98
超域する異界　68
迢空・折口信夫事典　123
鳥獣戯画　修理から見えてきた世界　国宝　鳥獣人物戯画修理報告書　113
朝鮮王朝の絵画　東アジアの視点から　92
朝鮮語ソウル方言の韻律構造とイントネーション　41
朝鮮社会と儒教　99
朝鮮朝後期の社会と思想　86
朝鮮民譚集　74
ちりめん本影印集成　日本昔噺輯篇　18
チンギス・カンとその時代　56
造り物の文化史　歴史・民俗・多様性　59
辻邦生　人と文学　35
津田左右吉、大日本帝国との対決　天皇の軍服を脱がせた男　57
徒然草古注釈集成　25
徒然草　詳密彩色大和絵本　117
徒然草への途　中世びとの心とことば　1
DHjp No.1　新しい知の創造　129
DHjp No.2　DHの最先端を知る　129
DHjp No.3　デジタルデータと著作権　129
DHjp No.4　オープンアクセスの時代　129
DNA・考古・言語の学際研究が示す新・北海道史　アイヌ民族・アイヌ語の成立史　74
DNA・考古・言語の学際研究が示す新・日本列島史　日本人集団・日本語の成立史　74
『鄭鑑録』　朝鮮王朝を揺るがす予言の書　71
帝国以後の人の移動　ポストコロニアリズムとグローバリズムの交錯点　108
帝国崩壊とひとの再移動　引揚げ、送還、そして残留　90
テーマで読む源氏物語　全4巻　9
テキストとイメージを編む　出版文化の日仏交流　3
デジタル・アーカイブとは何か　理論と実践　128
デジタルアーカイブにおける「資料基盤」統合化モデルの研究　131
デジタル書物学事始め　グーテンベルク聖書とその周辺　130
デジタル人文学のすすめ　129
デジタル文化資源の活用　地域の記憶とアーカイブ　130
鉄幹晶子全集　別巻1　拾遺篇―詩　151
鉄幹晶子全集　別巻2　拾遺篇―明治期短歌　151
鉄幹晶子全集　別巻全8巻　151
鉄幹晶子全集　本文篇+全歌集五句索引篇　全32巻　152
テニハ秘伝の研究　43
寺内正毅と帝国日本　桜圃寺内文庫が語る新たな歴史像　56
寺内正毅ゆかりの図書館　桜圃寺内文庫の研究　文庫解題・資料目録・朝鮮古文書解題　63
天下御免　1　151
天下御免　2　150
天下御免　3　150
天空の神話学　92
電子書籍と電子ジャーナル　128
天正十八年本　節用集　48
天女　そして天空を舞うものたち　103
天皇皇族歴史伝説大事典　125
伝播する蘭学　江戸・長崎から東北へ　57
ドイツ王侯コレクションの文化史　禁断の知とモノの世界　58
東瀛詩選　本文と総索引　22
東京パラダイス　150
道教美術の可能性　91
東京復興写真集1945～46　文化社がみた焼跡からの再起　113
TOKYO1／4が提案する東京文化資源区の歩き方　江戸文化からポップカルチャーまで　106
TOKYO1／4と考える　オリンピック文化プログラム2016から未来へ　106
統計的社会調査　心を測る理論と方法　111
道賢銘経筒の真贋　天神伝説の新展開　102
東西交渉とイラン文化　90
動物園の文化史　ひとと動物の5000年　60
『東方見聞録(世界の記述)』　1485[?]年刊ラテン語版　48
東北近代文学事典　121
渡航僧成尋、雨を祈る　『僧伝』が語る異文化の交錯　63
図書館員をめざす人へ　127
図書館　この素晴らしき世界　131
図書館情報学の基礎　132
図書館情報専門職のあり方とその養成　132
図書館・博物館・文書館の連携　131
図書館はコミュニティ創出の「場」　会員制ライブラリーの挑戦　130
図書寮本類聚名義抄　46
特攻　十冊の名著　141
特攻隊員の手記を読む　140
トラウマと未来　精神医学における心的因果性　82
ドラゴン・ナーガ・龍　101
トランプ革命で復活するアメリカ　日本はどう対応すべきか　106
鳥と人間をめぐる思考　環境文学と人類学の対話　52
トルコ語の母音調和に関する実験音声学的研究　43
敦煌仏頂尊勝陀羅尼経変相図の研究　50

【な】

内藤湖南とアジア認識　日本近代思想史からみる　61

長崎先民伝 注解　近世長崎の文苑と学芸　52
長崎・東西文化交渉史の舞台　ポルトガル時代／オランダ時代　61
長崎・東西文化交渉史の舞台　明・清時代の長崎／支配の構図と文化の諸相　61
中戸川吉二作品集　136
長門本平家物語自立語索引　20
長門本平家物語　全4巻　20
長門本平家物語の総合研究　第一巻　校注篇上　20
長門本平家物語の総合研究　第二巻　校注篇下　20
長門本平家物語の総合研究　第三巻　論究篇　20
中野重治　人と文学　37
謎の名画・清明上河図　北京故宮の至宝、その真実　68
夏目漱石事典　123
夏目漱石　非西洋の苦闘　29
波騒ぐ東アジア　97
悩みも迷いも若者の特技だと思えば気にすることないですよ。……　138
奈良時代の阿弥陀如来像と浄土信仰　63
奈良・南都仏教の伝統と革新　73
なるほど幼児教育　育児のために知っておきたいこと　110
南宋・元代日中渡航僧伝記集成　附　江戸時代における僧伝集積過程の研究　63
南宋江湖の詩人たち　中国近世文学の夜明け　86
南宋の隠れたベストセラー『夷堅志』の世界　86
21世紀に安部公房を読む　水の暴力性と流動する世界　29
21世紀 日本像の哲学　アニミズム系文化と近代文明の融合　73
日米戦争を起こしたのは誰か　ルーズベルトの罪状・フーバー大統領回顧録を論ず　133
日明関係史研究入門　アジアのなかの遣明船　55
日韓音楽教育関係史研究　日本人の韓国・朝鮮表象と音楽　113
日韓漢文訓読研究　41
日韓の書誌学と古典籍　86
日光　138
日中から見る「旧満洲」　100
日中韓思想家ハンドブック　実心実学を築いた99人　120
日中韓同字異義小辞典　124
日中韓の武将伝　87
日中韓の霊魂観の違い　94
日中韓マナー・慣習基本事典　プライベートからビジネスまで知っておきたい11章　120
「日中国交回復」日記　外交部の「特派員」が見た日本　109
日中相互認識のずれ　97
日中文化研究　105
日中昔話伝承の現在　79
「日中歴史共同研究」報告書　第1巻 古代・中近世史篇／第2巻 近現代史篇　58
入唐僧恵蕚と東アジア　附　恵蕚関連史料集　59
二・二六　弱者救済という「叛乱」　54
二宮尊徳の仕法と藩政改革　56
日本音声学研究　実験音声学方法論考　46
日本化する法華経　84
日本漢学研究初探　13
日本・起源の古代からよむ　76
日本奇談逸話伝説大事典　125
日本琴學史　2
日本近世小説史　浮世草子篇(上)　13
日本近世都市の文書と記憶　59
日本近世文学と朝鮮　88
日本犬の誕生　純血と選別の日本近代史　50
日本語教育の音声　41
日本語教育の語彙　41
日本語史の新視点と現代日本語　41
日本古代の「漢」と「和」　嵯峨朝の文学から考える　85
日本古代の宗教と伝承　74
日本古代のみやこを探る　56
日本古代文学と白居易　王朝文学の生成と東アジア文化交流　9
日本古代文学と東アジア　12
日本古典漢語語彙集成　45
日本古典博物事典　動物篇　123
日本古典文学研究史大事典　124
日本語の談話におけるポーズの研究　40
日本語文法研究書大成　14巻　44
日本詩紀　本文と総索引　23
日本庶民文芸と中国　94
日本人のアジア観の変遷　満鉄調査部から海外進出企業まで　70
日本人の精神性を論じる　106
日本神話120の謎　65
日本神話伝説伝承地紀行　77
日本数学史要　81
日本説話伝説大事典　124
日本全国神話・伝説の旅　125
日本占領期の学校図書館　アメリカ学校図書館導入の歴史　127
日本・中国交流の諸相　104
日本中世史入門　論文を書こう　59
日本庭園学の源流『作庭記』における日本語研究　影印対照翻刻・現代語訳・語の注解　41
日本で暮らす外国人　地方都市の日系人・アジア人　92
日本と《宋元》の邂逅　中世に押し寄せた新潮流　92
日本における「文」と「ブンガク」　88
日本の遣唐使　104
日本の神話・伝説を歩く　121
日本武術・武道大事典　120
日本仏教説話集の源流　11
日本「文」学史　第一冊　3

日本文学の空間と時間　風土からのアプローチ　2
日本文学のなかの〈中国〉　84
日本文化にみる道教的要素　97
日本文化の基本形○△□　76
日本ミステリアス妖怪・怪奇・妖人事典　124
日本民族の誕生　環日本海古民族と長江流域文化の融合　64
入門　説話比較の方法論　4
能楽と中国の古芸能・信仰　78
能面を科学する　世界の仮面と演劇　114
野上弥生子　人と文学　36
野口雨情　人と文学　35
遺されたもの　146
野間宏　人と文学　37

【は】

『誹諧絵文匣』注解抄　江戸座画賛句の謎を解く　19
俳諧と紀行文学　研究と資料　10
馬琴・京伝　中編読本解題　8
白居易研究年報　第一〜十号　6
白居易研究年報　第十一号　特集『長恨歌』　6
白居易研究年報　第十二号　特集「新楽府―諷諭の精神」　6
白居易研究年報　第十三号　特集「琵琶行―天涯淪落の歌」　6
白居易研究年報　第十四号　特集　閑適と隠遁　6
白居易研究年報　第十五号　特集　先蹤と継承　6
白居易研究年報　第十六号　特集　仏教と文学　5
白居易研究年報　第十七号　特集　書蹟と絵画　5
白居易の幸福世界　3
白居易の文学と白氏文集の成立　廬山から東アジアへ　7
白居易恋情文学論　長恨歌と中唐の美意識　7
莫言傑作中短編集　疫病神　135
白氏文集を読む　15
博物館情報学入門　131
博物館という装置　帝国・植民地・アイデンティティ　127
幕末　十冊の名著　141
幕末明治　移行期の思想と文化　53
白楽天の愉悦　生きる叡智の輝き　11
八幡神社　歴史と伝説　77
初本結　26
華日記　昭和生け花戦国史　150
花へんろ　海の巻　150
花へんろ　風の巻　150
花へんろ　夢の巻　150
母の死　153
母への憧憬　147
林京子　人と文学　35
林知己夫著作集　全15巻　112
原民喜　人と文学　38
巴里に死す　136
反権力という生き方　146
バンコク　国際化の中の劇場都市　98
伴大納言絵巻　冷泉為恭　復元模写　115
「反日」と「嫌韓」の同時代史　ナショナリズムの境界を越えて　107
晩年へ　146
B. H. チェンバレン『文字のしるべ』　影印・研究　45
BC級戦犯の真実　141
比較史学への旅　ガリア・ローマから古代日本へ　69
東アジアが読む魯迅　102
東アジア国民性比較　データの科学　111
東アジア笑話比較研究　7
東アジア世界と中国文化　文学・思想にみる伝播と再創　8
東アジア世界の「知」と学問　伝統の継承と未来への展望　87
東アジアにおける旅の表象　異文化交流の文学史　86
東アジアにおける日本朱子学の位相　崎門学派の理気心性論　56
東アジアの王権と宗教　89
東アジアの音楽文化　物語と交流と　87
東アジアの漢籍遺産　奈良を中心として　8
東アジアのグローバル化　96
東アジアの結婚と女性　文学・歴史・宗教　88
東アジアの遣唐使　104
東アジアの今昔物語集　翻訳・変成・予言　8
東アジアのサブカルチャーと若者のこころ　89
東アジアの死者の行方と葬儀　92
東アジアの短詩形文学　俳句・時調・漢詩　89
東アジアの道教と民間信仰　103
東アジアのなかの建長寺　宗教・政治・文化が交叉する禅の聖地　58
東アジアの平泉　94
東アジアの文学圏　比較から共有へ　93
東アジアを結ぶモノ・場　91
東アジアをめぐる金属工芸中世・国際交流の新視点　91
東インド会社とアジアの海賊　57
東日本大震災　緊急対応88の知恵　国交省初動の記録　109
樋口一葉　人と文学　35
美術家書誌の書誌　雪舟から東芋、ヴァン・エイクからイ・ブルまで　125
碑石は語る　95
日出づる国と日沈まぬ国　日本・スペイン交流の400年　53
ヒト癌ウイルス探究　82
ヒト癌ウイルスと日本人のDNA　HTLV-1研究と分子腫瘍学・　分子人類学が解明する「日本人」　82
卑弥呼の墓・宮殿を捏造するな！　誤りと偽りの「邪馬台国＝畿内説」　65
卑弥呼の墓は、すでに発掘されている!!　福岡県平原王

墓に注目せよ　64
百物語全注釈　18
評伝　小川国夫　生きられる“文士”　32
評伝田中清玄　昭和を陰で動かした男　51
漂泊の叙事　一九四〇年代東アジアにおける分裂と接触　30
ひらめきをのがさない！梅棹忠夫、世界のあるきかた　71
広島県現代文学事典　123
ヒロシマ・ナガサキからフクシマへ　「核」時代を考える　32
不安・うつは必ず治る　82
風雅和歌集　校本と研究　3
風景としての中国　101
風水の歴史と現代　99
富萍　上海に生きる　145
深草元政『草山集』を読む　近世初期学僧のことばと心　50
福岡県文学事典　123
複合犯罪　83
武家女性の美学　141
ふしぎな社会　おかしな行政　109
藤沢周平事典　122
武士道基本用語事典　121
武士道　十冊の名著　140
武士道の美学　141
武将で読む　三国志演義読本　134
父祖の地へ　147
仏教がつなぐアジア　王権・信仰・美術　59
仏教からはみだした日常語　語源探索　134
仏教伝来の源流　百済観音と救世観音がむすぶ東洋と西洋　73
仏教の死生観と基層信仰　76
仏教文明と世俗秩序　国家・社会・聖地の形成　57
「仏教」文明の受容と君主権の構築　東アジアのなかの日本　69
仏教文明の転回と表現　文字・言語・造形と思想　57
仏教をめぐる日本と東南アジア地域　85
復興する八犬伝　11
ブッダと神々の物語　釈迦の生涯と経典の言葉　69
仏典説話を現代語で読む　73
フランスにおける日本学の現在　94
フルカラーで楽しむ中国年画の小宇宙庶民の伝統藝術　115
フルカラー　見る・知る・読む　源氏物語　135
フルカラー　メディチ家の至宝　驚異の工芸コレクション　50
不老不死という欲望　104
プロパガンダ・ポスターにみる日本の戦争　135枚が映し出す真実　113
文化遺産情報のData ModelとCRM　131
文学から環境を考えるエコクリティシズムガイドブック　30
文化財アーカイブの現場　前夜と現在、そのゆくえ　130
文化財教育学ことはじめ　67
文化財と古文書学　筆跡論　67
文化情報学ガイドブック　情報メディア技術から「人」を探る　Digital Humanities for Arts and Cultures　デジタル・ヒューマニティーズ　128
文化情報学入門　131
文化創造の図像学　日本の宗教空間と身体　89
文化大革命再検討　98
文化大革命を問い直す　84
文科の継承と展開　都留文科大学国文学科50周年記念論文集　9
平安朝漢文学史論考　8
平安朝漢文学論考　補訂版　12
平安文学の交響　享受・摂取・翻訳　8
平安末期物語攷　14
平家物語世界の創成　5
平家物語高野本　語彙用例総索引　自立語篇　25
平家物語高野本　語彙用例総索引　付属語篇　24
平家物語長門本・延慶本対照本文　20
米国大統領への手紙　市丸利之助中将の生涯／高村光太郎と西洋　29
平和の海と戦いの海　二・二六事件から「人間宣言」まで　29
北京1966　フランス女性が見た文化大革命　68
北京　変わりゆく古都　100
ヘミングウェイ大事典　121
ヘミングウェイの遺作　自伝への希求と〈編纂された〉テクスト　30
ヘミングウェイ　人と文学　39
HERITEX　Vol.1　特集1　東アジアの宗教儀礼／特集2　バルテュスとその境界　55
変革の時代の公共図書館　そのあり方と展望　131
辺境から訪れる愛の物語　沈従文小説選　135
変容するジェンダー　中国の女性たち　100
冒険に駆り立てられて　148
鳳岡林先生全集　61
放射線安全基準の最新科学　福島の避難区域と食品安全基準　133
方法としての仏教文化史　ヒト・モノ・イメージの歴史学　72
北東アジアの中世考古学　93
ポケットブック　富士山の草花　135
保建大記打聞編注　75
戊辰戦争の史料学　62
渤海使と日本古代文学　104
北海道文学事典　121
渤海と古代東アジア　104
法華寺阿弥陀浄土院と平等院鳳凰堂　60
『坊っちゃん』事典　120

北方諸民族文化のなかのアイヌ文化　102
堀辰雄事典　122
堀辰雄　人と文学　37
本格の書　小倉百人一首　麗しの仮名作例集　113
梵語千字文／胎蔵界真言　49
香港　現在進行形　101
本朝漢詩文資料論　5
本朝文粹抄　4
本朝文粹抄　二　4
本朝文粹抄　三　4
本朝文粹抄　四　4
本朝文粹の研究　校本篇・漢字索引篇　全3冊　24
本朝麗藻総索引　25
梵文法華経萩原・土田本総索引　47

【ま】

前田育徳会尊経閣文庫所蔵　七十一番職人歌合　114
枕草子　13
魔術と狂気　83
松尾芭蕉　人と文学　37
松下文法論の新研究　43
松本清張事典［増補版］　122
松本清張書誌研究文献目録　122
惑いと彷徨　148
学びと育ちを支える学校図書館　127
マルコ・ポーロの仲間たち　100
三浦綾子　人と文学　36
三河鳳来寺旧蔵暦応二年書写　和漢朗詠集　影印と研究　18
三島由紀夫と神格天皇　32
三島由紀夫と能楽　『近代能楽集』、または堕地獄者のパラダイス　31
見捨てられ体験者のケアと倫理　真実と愛を求めて　82
水と環境　111
水と生活　111
水と文化　111
水・雪・氷のフォークロア　北の人々の伝承世界　60
水を分かつ　地域の未来可能性の共創　54
道の人1　146
道の人2　146
南方熊楠大事典　121
南方熊楠とアジア　90
南方熊楠の説話学　68
南方熊楠の見た夢　パサージュに立つ者　60
水門　言葉と歴史　64
水門　第二十六号　言葉と歴史　64
水門　第二十七号　言葉と歴史　64
宮沢賢治　絶唱　かなしみとさびしさ　32
宮沢賢治大事典　122
明恵上人夢記　訳注　58
未来を覗く　H・G・ウェルズ　ディストピアの現代はいつ始まったか　133
民国期美術へのまなざし　辛亥革命百年の眺望　90
武蔵武士を歩く　重忠・直実のふるさと　埼玉の史跡　58
村上春樹　「喪失」の物語から「転換」の物語へ　33
村上春樹　人と文学　35
村上龍　「危機」に抗する想像力　33
紫式部日記語彙用例総索引〈付録〉付表・紫式部集索引　25
紫式部　人と文学　38
室町時代の陰陽道と寺院社会　70
室町時代の将軍家と天皇家　55
室町の知的基盤と言説形成　仮名本『曾我物語』とその周辺　1
室町連環　中世日本の「知」と空間　4
名画動物園　116
明治・大正の日本論・中国論　比較文化学的研究　52
名著　葉隠の精神を読む　140
冥報記の研究　第一巻　24
冥報記の研究　第二巻　23
メキシコのゆくえ　国家を超える先住民たち　108
メコン　風土と野生イネ　99
メタデータとウェブサービス　127
メタデータの「現在」　情報組織化の新たな展開　130
メディアとプロパガンダ　99
もう一つの古典知　前近代日本の知の可能性　89
もう一つの世界　147
もう一つの日本文学史　室町・性愛・時間　85
「もの」と交易の古代北方史　奈良・平安日本と北海道・アイヌ　55
モノと図像から探る怪異・妖怪の世界　57
モノと図像から探る怪異・妖怪の東西　50
モノと図像から探る妖怪・怪獣の誕生　54
モノとヒトの新史料学　古代地中海世界と前近代メディア　54
森鷗外『舞姫』を読む　31
モンゴル語母音調和の研究　実験音声学的接近　43

【や】

「邪馬台国畿内説」徹底批判　65
邪馬台国と出雲神話　65
邪馬台国と高天の原伝承　65
邪馬台国は、銅鐸王国へ東遷した　大和朝廷の成立前夜　64
邪馬台国は99.9％福岡県にあった　ベイズの新統計学による確率計算の衝撃　64
山田孝雄著『日本文体の変遷』本文と解説　40
山田美妙　人と文学　36
大和心の鏡像　日本と西洋　二つの空が溶け合うとき　61
大和朝廷の起源　65
山彦　138
やるなら決めよ　決めたら迷うな　137

柳美里　〈柳美里〉という物語　33
ユーラシア古代都市・集落の歴史空間を読む　73
ユーラシア諸宗教の関係史論　他者の受容、他者の排除　72
遊行日記　137
夢千代日記　150
夢と表象　眠りとこころの比較文化史　51
揺れ動く『源氏物語』　9
楊家将演義　読本　134
謡曲画誌　影印・翻刻・訳註　19
陽明文庫　王朝和歌集影　19
陽明文庫蔵　重要美術品　宇治拾遺物語絵巻　115
ヨーロピアン・グローバリゼーションの歴史的位相　「自己」と「他者」の関係史　88
予科練　特攻隊員の遺書　140
予言の力　101
〈予言文学〉の世界　過去と未来を繋ぐ言説　88
吉川英治事典　120
吉田松陰の愛読書を読む　139
吉田松陰の主著を読む　139
吉嗣拝山年譜考證　2
義経から一豊へ　大河ドラマを海域にひらく　104
吉行淳之介　人と文学　36
豫楽院鑑　近衛家凞公年譜　7
よりよい親子関係を築くために　成長の発達段階に応じた対応　110

【ら】

楽園　東と西　96
落日　とかく家族は　145
ラサ　天空の世界遺産都市　100
ラジオのお仕事　107
ラフカディオ ハーン、B.H.チェンバレン往復書簡　48
ラホ日辞典の日本語　46
離婚指南　145
律令制国家と古代宮都の形成　72
略縁起集成　全6巻　78
略縁起　資料と研究1　77
琉球　交叉する歴史と文化　61
琉球文学の歴史叙述　3
龍谷大学本　徒然草　索引篇　24
龍谷大学本　徒然草　本文篇　24
柳宗元　逆境を生きぬいた美しき魂　74
劉白唱和集(全)　12
龍門文庫善本叢刊　全12巻・別編3巻　16
利用者志向のレファレンスサービス　その原理と方法　130
梁職貢図と東部ユーラシア世界　60
『良友』画報とその時代　94
旅行記を読む　101
類聚名義抄の研究　手沢訂正本　46
ルヴァン ラ ヌーブ大学蔵　日本書籍目録　23
霊魂の文化誌　神・妖怪・幽霊・鬼の日中比較研究　73
霊性と東西文明　日本とフランス「ルーツとルーツ」対話　53
歴史GISの地平　景観・環境・地域構造の復原に向けて　70
歴史知識学ことはじめ　75
歴史的人間学事典　全3巻　125
歴史のなかの金・銀・銅　鉱山文化の所産　88
歴史へのまなざし　148
恋愛の時代　大正期(1920年代前半)朝鮮における文化と流行　62
老子訳注　帛書「老子道徳経」　5
60年代の青年運動　100
六大学　学徒出陣の特攻　141
路地裏の宗教　98
ロレンス　人と文学　39

【わ】

ワーズワスとその時代　『リリカル・バラッズ』と読者たち　30
ワールドシネマ・スタディーズ　世界の「いま」を映画から考えよう　113
倭王卑弥呼と天照大御神伝承　66
若い有権者のための政治入門　18歳から考える日本の未来　107
わが心の妙好人　市井に生きた善人たち　71
和歌の詩学　平安朝文学と漢文世界　4
和歌山県立博物館所蔵　熊野権現縁起絵巻　117
別れの儀式　楊絳と銭鍾書　ある中国知識人一家の物語　136
和漢聯句の世界　95
和漢朗詠集とその享受　15
「倭寇図巻」「抗倭図巻」をよむ　53
和紙のすばらしさ　日本・韓国・中国への製紙行脚　74
「倭人語」の解読　65
私小説千年史　日記文学から近代文学まで　30
私小説の技法　「私」語りの百年史　31
私小説ハンドブック　31
倭名類聚抄十巻本・廿巻本　所引書名索引　46
倭名類聚抄諸本の研究　42
和名類聚抄の文献学的研究　43
「網民」の反乱　ネットは中国を変えるか？　109

電子書籍販売専門サイト

E-BookGuide.jp

http://e-bookguide.jp

◎当社刊行書籍を電子版（PDF 形式）でダウンロード販売。
◎最新刊から品切の書籍までラインナップ。
◎支払いはクレジットカード対応の Paypal に対応。
◎販売価格は書籍版の価格よりも安い。
◎購入したデータは何度でもダウンロード可能。

Copyright © E-BookGuide.jp All Rights Reserved.

平川祐弘 決定版 著作集 全34巻

A5判上製・各巻約三〇〇～八〇〇頁
月一冊配本予定

古今東西の知を捉える

日本は外来文明の強烈な影響下に発展した。「西欧の衝撃と日本」という文化と文化の出会いの問題を西からも東からも複眼で眺め、鷗外・漱石・諭吉・八雲などについて驚嘆すべき成果を上げたのは、著者がルネサンス人にも比すべき多力者であったからである。複数の言語をマスターし世界の諸文化を学んだ比較研究者平川教授はその学術成果を芸術作品として世に示した。

この見事な日本語作品は
わが国における比較文化史研究の
最高の軌跡である。
奇蹟といってもよい。

各巻収録作品　＊は既刊

第1巻　和魂洋才の系譜（上）
第2巻　和魂洋才の系譜（下）◎二本足の人、森鷗外【森鷗外関係索引】
＊第3巻　夏目漱石――非西洋の苦闘
第4巻　内と外からの夏目漱石【夏目漱石関係索引】
＊第5巻　西欧の衝撃と日本
＊第6巻　平和の海と戦いの海――二・二六事件から「人間宣言」まで
＊第7巻　米国大統領への手紙――市丸利之助中将の生涯◎高村光太郎と西洋
＊第8巻　進歩がまだ希望であった頃――フランクリンと福沢諭吉
第9巻　天ハ自ラ助クルモノヲ助ク――中村正直と『西国立志編』
＊第10巻　小泉八雲――西洋脱出の夢
＊第11巻　破られた友情――ハーンとチェンバレンの日本理解
第12巻　小泉八雲と神々の世界
第13巻　オリエンタルな夢――小泉八雲と霊の世界
第14巻　ラフカディオ・ハーン――植民地化・キリスト教化・文明開化【ハーン関係索引】
第15巻　ハーンは何に救われたか
第16巻　西洋人の神道観
第17巻　竹山道雄と昭和の時代【竹山道雄関係索引】
第18巻　昭和の戦後精神史――渡辺一夫、竹山道雄、E・H・ノーマン
第19巻　ルネサンスの詩――白と泉と旅人と
第20巻　中世の四季――ダンテとその周辺
第21巻　ダンテの地獄を読む
第22巻　ダンテ『神曲』講義【ダンテ関係索引】
第23巻　謡曲の詩と西洋の詩
第24巻　アーサー・ウェイリー――『源氏物語』の翻訳者【ウェイリー関係索引】
第25巻　東西の詩と物語◎世界の中の紫式部◎袁枚の詩◎西洋の詩　東洋の詩◎留学時代の詩◎平川祐弘の詩◎夏石番矢讃◎母国語で詩を書くことの意味
第26巻　マッテオ・リッチ伝（上）
第27巻　マッテオ・リッチ伝（下）【リッチ関係索引】
第28巻　東の橘西のオレンジ
第29巻　開国の作法
第30巻　中国エリート学生の日本観◎日本をいかに説明するか
第31巻　日本の生きる道◎日本の「正論」
第32巻　日本人に生まれて、まあよかった◎日本語は生きのびるか――米中日の文化史的三角関係【時論関係索引】
第33巻　書物の声 歴史の声
第34巻　自伝的随筆◎金沢に於ける日記

西洋列強の衝撃と格闘した
近代日本人の姿を、
学問的かつ芸術的に描いた
不朽の金字塔。

公益財団法人東洋文庫［監修］　石塚晴通・小助川貞次・豊島正之・會谷佳光［解題］

東洋文庫善本叢書

全十二巻

世界に誇る白眉の書物を原寸原色で初公開！

2014年9月刊行	❶	国宝	**史記** 夏本紀 秦本紀	菊四裁枡形判・一〇八頁・本体二五、〇〇〇円（＋税）
	❷	重要文化財	**ドチリーナ・キリシタン** 天草版	菊四裁枡形判・一〇八頁・本体二六、〇〇〇円（＋税）
2014年10月刊行	❸	重要文化財	**楽善録** 宋版・円爾旧蔵	菊倍判・四〇〇頁・本体七〇、〇〇〇円（＋税）
	❹		**サクラメンタ提要** 長崎版	四六倍判・四七〇頁・本体五七、〇〇〇円（＋税）
2014年11月刊行	❺	国宝	**毛詩** 重要文化財 **礼記正義** 巻第五残巻	A5判・一六〇頁・本体一四、〇〇〇円（＋税）
	❻		**梵語千字文　胎蔵界真言**	菊四裁枡形判・一〇八頁・本体二五、〇〇〇円（＋税）
2014年12月刊行	❼	国宝	**古文尚書** 巻第三夏書・第五商書・第十二周書 重要文化財 **古文尚書** 巻第六残巻	菊四裁枡形判・一六〇頁・本体四〇、〇〇〇円（＋税）
	❽	天正十八年本	**節用集**	四六倍判・四二八頁・本体五二、〇〇〇円（＋税）
2015年1月刊行	❾	国宝	**春秋経伝集解** 巻第十 重要文化財 **論語集解** 文永五年写 巻第八残巻	菊四裁枡形判・三一〇頁・本体二九、〇〇〇円（＋税）
	❿		**聖教精華** フロクスリー	菊倍判・二三〇頁・本体三八、〇〇〇円（＋税）
2015年2月刊行	⓫	重要文化財	**論語集解** 正和四年写	菊四裁枡形判・四六頁・本体九八、〇〇〇円（＋税）
	⓬	国宝	**文選集注** 巻第四十八・第五十九・第六十八・第八十八・第百十三	菊四裁枡形判・四二四頁・本体九八、〇〇〇円（＋税）

全十二巻セット（分売可）・本体五七二、〇〇〇円（＋税）

正訳源氏物語本文対照

完結

全10冊

語りの文学『源氏物語』、その原点に立ち返る。
本文に忠実でありながらよみやすい。
最上の現代語訳、誕生！

『源氏物語』は物語である。
物語とは本来、語りの姿勢で書かれているものである。
本書はその語りの姿勢に徹し、本文に忠実に訳し、
なおかつ、美しく正しい日本語で、読みやすい。
本文と対照させて読むことにより、
本物の『源氏物語』の世界を感じることができる。

中野幸一　訳

各冊構成（全10冊）

第一冊…桐壺◎帚木◎空蟬◎夕顔◎若紫
第二冊…末摘花◎紅葉賀◎花宴◎葵◎賢木◎花散里
第三冊…須磨◎明石◎澪標◎蓬生◎関屋◎絵合◎松風
第四冊…薄雲◎朝顔◎少女◎玉鬘◎初音◎胡蝶
第五冊…蛍◎常夏◎篝火◎野分◎行幸◎藤袴◎真木柱 梅枝◎藤裏葉
第六冊…若菜（上）◎若菜（下）
第七冊…柏木◎横笛◎鈴虫◎夕霧◎御法◎幻（雲隠）
第八冊…匂宮◎紅梅◎竹河◎橋姫◎椎本◎総角
第九冊…早蕨◎宿木◎東屋
第十冊…浮舟◎蜻蛉◎手習◎夢浮橋

各冊二五〇〇円（＋税）
A5判・上製カバー装・約四〇〇頁

本書の特色

◎美しく正しい日本語で、物語の本質である語りの姿勢を活かした訳。
◎物語本文を忠実に訳し、初の試みとして、物語本文と訳文と対照できる本文対照形式。
◎訳文に表わせない引歌の類や、地名・歳事・有職などの説明を上欄に簡明に示す。
◎敬語の語法を重視し、人物の身分や対人関係を考慮して、有効かつ丁寧に訳す。
◎物語本文で省略されている主語を適宜補い、官職名や女君・姫君などと示される人物にも適宜、（　）内に呼名を示し、読解の助けとする。
◎訳文には段落を設け、小見出しを付けて内容を簡明に示す。また巻頭に「小見出し一覧」としてまとめ、巻の展開を一覧できるようにした。
◎各巻末に源氏物語の理解を深めるための付図や興味深い論文を掲載。

ホームページのご案内

http://bensei.jp

当社書籍は、ホームページからもご購入いただけます。

全書籍のタイトル・著編者名・目次・書籍概要
近刊情報・新刊情報・在庫状況・書評掲載情報
価格・判型・ISBN などがご覧いただけます。